一、金五拾五萬千圓　教育費中建築費

內譯

金拾八萬九千圓　大正十三年度支出額

金拾八萬千圓　大正十四年度支出額

金拾八萬千圓　大正十五年度支出額

右ハ、府立第一高等女學校客歲ノ大震火災ニ依リ、燒失シクルニ依リ三箇年ノ繼續事業トシテ其ノ完成ヲ期セントス。

府第五十號議案

（自大正十三年度至大正十五年度）東京府教育費繼續費年期及支出方法

一、金二百五萬九千圓　教育費中建築費

內譯

金七拾九萬千圓　大正十三年度支出額

金六拾參萬四千圓　大正十四年度支出額

金六拾參萬四千圓　大正十五年度支出額

右ハ、府立工藝學校府立實科工業學校府立化學工業學校、客歲ノ大震火災ニ依リ燒失シタルニ依リ、各三箇年度繼續事業トシテ其ノ完成ヲ期セントス。

此内十二年度土木費は、第三十七號議案大正十二年度東京府歲入歲出更正豫算書中に同日決議し、十三年度分は、同時に府第四十七號議案を以て決議せらる。

府第四十七號議案

大正十三年度東京府歲入歲出追加豫算書

歲入

經常部

第四款　市郡分賦額　金參百九拾五萬八千百貳圓

內　市部收入　金貳百貳拾七萬八千百五拾參圓
　　郡部收入　金百六拾七萬九千九百四拾九圓

第一項　市郡分賦額　金參百九拾五萬八千百貳圓

經常部合計金參百九拾五萬八千百貳圓

內　市部收入　金貳百貳拾七萬八千百五拾參圓
　　郡部收入　金百六拾七萬九千九百四拾九圓

臨時部

第一款　國庫補助金　金百五拾九萬七千七百參拾五圓

內　市部收入　金百拾壹萬八千四百拾五圓
　　郡部收入　金四拾七萬九千參百貳拾圓

第十一項　土木費補助金　金百九萬七千七百參拾五圓

第十二項　都市計畫事業費補助金　金五拾萬圓

第六款　寄附金　金四萬九千圓

內　市部收入　金參萬四千七百九拾圓
　　郡部收入　金壹萬四千貳百拾圓

第一項　都市計畫事業費寄附金　金四萬九千圓

臨時部合計金百六拾四萬六千七百參拾五圓

內　市部收入　金百拾五萬參千貳百五圓
　　郡部收入　金四拾九萬參千五百參拾圓

歲入總計金五百六拾萬四千八百參拾七圓

內　市部收入　金參百四拾參萬千參百五拾八圓
　　郡部收入　金貳百拾七萬參千四百七拾九圓

歲出

臨時部

第十七款　土木費本年度支出額　金百九拾四萬八千八百八拾壹圓

內　市部負擔　金九拾八萬九千八百四拾九圓
　　郡部負擔　金九拾五萬千參拾貳圓

第三項　道路橋梁費本年度支出額　金百九拾四萬八千八百八拾壹圓

第二十一款　教育費本年度支出額　金百貳拾參萬圓

內　市部負擔　金七拾壹萬參千四百圓
　　郡部負擔　金五拾壹萬六千六百圓

第一項　中學校費本年度支出額　金貳拾五萬圓

第二項　高等女學校費本年度支出額　金拾八萬九千圓

第三項　實業學校費本年度支出額　金七拾九萬千圓

臨時部合計金五百六拾萬四千八百參拾七圓

內　市部負擔　金參百四拾參萬千參百五拾八圓
　　郡部負擔　金貳百拾七萬參千四百七拾九圓

歲入總計金五百六拾萬四千八百參拾七圓

內　市部負擔　金參百四拾參萬千參百五拾八圓
　　郡部負擔　金貳百拾七萬參千四百七拾九圓

是日市部會に於ては、第二十五號議案第二十四號議案復興資金起債案を可決し、郡部會に於ては、第五十號議案第五十三號議案復興資金起債案を可決す。

市部第二十五號議案

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法

第一條　復興事業ノ資金ニ充ツル爲、大正十二年度ニ於テ金五拾參萬五千五百拾貳圓ヲ復興事業貸付金ヨリ借入ルルモノトス。

第二條　借入金ノ利子ハ一箇年百分ノ五トシ、每年三月三十一日ニ其ノ年度分ノ利子ヲ仕拂フモノトス、但借入ノ時ヨリ大正十七年迄ハ利子ヲ附セス。

第三條　借入金ハ借入ノ時ヨリ大正十七年度据置キ大正十八年度ヨリ左ノ通償還スルモノトス、但經濟ノ都合ニ依リ繰上ケ償還ヲ爲シ又ハ償還年限ヲ短縮スルコトヲ得。

大正十八年度	金八千六拾圓
大正十九年度	金八千四百六拾參圓
大正二十年度	金八千八百八拾六圓
大正二十一年度	金九千參百參拾壹圓
大正二十二年度	金九千七百九拾七圓
大正二十三年度	金壹萬貳百八拾七圓
大正二十四年度	金壹萬八百壹圓
大正二十五年度	金壹萬千四百四拾貳圓
大正二十六年度	金壹萬千九百九圓
大正二十七年度	金壹萬貳千五百四圓
大正二十八年度	金壹萬參千百貳拾九圓
大正二十九年度	金壹萬參千七百八拾六圓
大正三十年度	金壹萬四千四百七拾五圓
大正三十一年度	金壹萬五千百九拾九圓
大正三十二年度	金壹萬五千九百五拾九圓
大正三十三年度	金壹萬六千七百五拾七圓
大正三十四年度	金壹萬七千五百九拾四圓
大正三十五年度	金壹萬八千四百七拾四圓
大正三十六年度	金壹萬九千參百九拾八圓
大正三十七年度	金貳萬參百六拾八圓
大正三十八年度	金貳萬千參百八拾六圓
大正三十九年度	金貳萬貳千四百五拾五圓
大正四十年度	金貳萬參千五百七拾八圓
大正四十一年度	金貳萬四千七百五拾七圓
大正四十二年度	金貳萬五千九百九拾五圓
大正四十三年度	金貳萬七千貳百九拾五圓
大正四十四年度	金貳萬八千六百六拾圓

大正四十五年度	金參萬九拾參圓
大正四十六年度	金參萬千五百九拾七圓
大正四十七年度	金參萬參千百七拾七圓

第四條　前條ノ償還ハ一般財源及都市計畫特別稅ヲ以テ之ニ充ツルモノトス。

市部第二十八號議案

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法

第一條　復興事業ノ資金ニ充ツル爲、大正十三年度ニ於テ金百五拾七萬八千六百圓ヲ復興事業貸付金ヨリ借入ルルモノトス。

第二條　借入金ノ利子ハ一ケ年百分ノ五トシ、每年度三月三十一日ニ其ノ年度ノ利子ヲ支拂フモノトス、但借入ノ時ヨリ大正十七年度迄ハ利子ヲ附セス。

第三條　借入金ハ、借入ノ時ヨリ大正十七年度迄据置キ、大正十八年度ヨリ左ノ通リ償還スルモノトス、但經濟ノ都合ニ依リ繰上ケ償還ヲ爲シ、又ハ償還年限ヲ短縮スルコトヲ得。

大正十八年度	金貳萬參千七百六拾圓
大正十九年度	金貳萬四千九百四拾八圓
大正二十年度	金貳萬六千百九拾六圓
大正二十一年度	金貳萬七千五百五圓
大正二十二年度	金貳萬八千八百八拾壹圓
大正二十三年度	金參萬參百貳拾五圓
大正二十四年度	金參萬千八百四拾壹圓
大正二十五年度	金參萬參千四百參拾參圓
大正二十六年度	金參萬五千百五圓
大正二十七年度	金參萬六千八百六拾圓
大正二十八年度	金參萬八千七百參圓
大正二十九年度	金四萬六百參拾八圓
大正三十年度	金四萬貳千六百七拾圓
大正三十一年度	金四萬四千八百參圓
大正三十二年度	金四萬七千四拾參圓
大正三十三年度	金四萬九千參百九拾六圓
大正三十四年度	金五萬千八百六拾五圓
大正三十五年度	金五萬四千四百五拾九圓
大正三十六年度	金五萬七千百八拾貳圓
大正三十七年度	金六萬四拾壹圓
大正三十八年度	金六萬參千四拾參圓
大正三十九年度	金六萬六千百九拾五圓
大正四十年度	金六萬九千五百五圓
大正四十一年度	金七萬貳千九百八拾圓
大正四十二年度	金七萬六千六百貳拾九圓
大正四十三年度	金八萬四百六拾圓
大正四十四年度	金八萬四千四百八拾參圓
大正四十五年度	金八萬八千七百八圓
大正四十六年度	金九萬參千百四拾參圓
大正四十七年度	金九萬七千八百圓

第四條　前條ノ償還ハ、一般財源及都市計畫特別稅ヲ以テ之ニ充ツルモノトス。

郡部第五十號議案

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法

第一條　復興事業ノ資金ニ充ツル爲、大正十二年度ニ於テ五拾壹萬四千五百拾壹圓ヲ復興事業貸付金ヨリ借入ル丶モノトス。

第二條　借入金ノ利子ハ、一個年百分ノ五トシ、每年度三月三十一日ニ其ノ年度分ノ利子ヲ仕拂フモノトス、但借入ノ時ヨリ大正十七年度迄ハ利子ヲ附セス。

第三條　借入金ハ借入ノ時ヨリ大正十七年度迄据置キ大正十八年度ヨリ左ノ通償還スルモノトス、但經濟ノ都合ニ依リ繰上ケ償還ヲ爲シ又ハ償還年限ヲ短縮スルコトヲ得。

大正十八年度	金七千七百四拾四圓
大正十九年度	金八千百參拾壹圓
大正二十年度	金八千五百參拾八圓
大正二十一年度	金八千九百六拾五圓
大正二十二年度	金九千四百拾參圓
大正二十三年度	金九千八百八拾四圓
大正二十四年度	金壹萬參百七拾八圓
大正二十五年度	金壹萬八百九拾七圓
大正二十六年度	金壹萬壹千四百四拾貳圓
大正二十七年度	金壹萬貳千拾四圓
大正二十八年度	金壹萬貳千六百拾四圓
大正二十九年度	金壹萬參千貳百四拾五圓
大正三十年度	金壹萬參千九百七圓
大正三十一年度	金壹萬四千六百參圓
大正三十二年度	金壹萬五千參百參拾參圓
大正三十三年度	金壹萬六千九拾九圓
大正三十四年度	金壹萬六千九百四圓
大正三十五年度	金壹萬七千七百五拾圓
大正三十六年度	金壹萬八千六百參拾七圓
大正三十七年度	金壹萬九千五百六拾九圓
大正三十八年度	金貳萬五百四拾七圓
大正三十九年度	金貳萬壹千五百七拾五圓
大正四十年度	金貳萬貳千六百五拾四圓
大正四十一年度	金貳萬參千七百八拾六圓
大正四十二年度	金貳萬四千九百七拾六圓
大正四十三年度	金貳萬六千貳百貳拾四圓
大正四十四年度	金貳萬七千五百參拾六圓
大正四十五年度	金貳萬八千九百拾貳圓
大正四十六年度	金參萬參百五拾八圓
大正四拾七年度	金參萬壹千八百七拾六圓

第四條　前條ノ償還ハ、一般財源及都市計畫特別稅ヲ以テ之ニ充ルモノトス。

郡部第五十三號議案

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法

第一條　復興事業ノ資金ニ充ツル爲、大正十三年度ニ於テ金百四拾九萬四千五百四拾六圓ヲ復興事業貸付金ヨリ借入ル、モノトス。

第二條　借入金ノ利子ハ一個年百分ノ五トシ、每年度三月三十一日ニ其ノ年度分ノ利子ヲ仕拂フモノトス、但借入ノ時ヨリ大正十七年度迄ハ利子ヲ附セス。

第三條　借入金ハ借入ノ時ヨリ大正十七年度迄据置キ大正十八年度ヨリ左ノ通償還スルモノトス、但經濟ノ都合ニ依リ繰上ケ償還ヲ爲シ又ハ償還年限ヲ短縮スルコトヲ得。

大正十八年度	金貳萬貳千四百九拾五圓
大正十九年度	金貳萬參千六百貳拾圓
大正二十年度	金貳萬四千八百壹圓
大正二十一年度	金貳萬六千四拾壹圓
大正二十二年度	金貳萬七千參百四拾參圓
大正二十三年度	金貳萬八千七百拾圓
大正二十四年度	金參萬百四拾五圓
大正二十五年度	金參萬千六百五拾參圓
大正二十六年度	金參萬千貳百參拾五圓
大正二十七年度	金參萬四千八百九拾七圓

大正二十八年度	金參萬六千六百四拾貳圓
大正二十九年度	金參萬八千四百七拾四圓
大正三十年度	金四萬參百九拾八圓
大正三十一年度	金四萬貳千四百拾八圓
大正三十二年度	金四萬四千五百參拾九圓
大正三十三年度	金四萬六千七百六拾六圓
大正三十四年度	金四萬九千百四圓
大正三十五年度	金五萬千五百五拾九圓
大正三十六年度	金五萬四千百參拾七圓
大正三十七年度	金五萬六千八百四拾四圓
大正三十八年度	金五萬九千六百八拾六圓
大正三十九年度	金六萬貳千六百七拾圓
大正四十年度	金六萬五千八百四圓
大正四十一年度	金六萬九千九拾四圓
大正四十二年度	金七萬貳千五百四拾九圓
大正四十三年度	金七萬六千百七拾六圓
大正四十四年度	金七萬九千百八拾五圓
大正四十五年度	金八萬參千九百八拾四圓
大正四十六年度	金八萬八千百八拾四圓
大正四十七年度	金九萬貳千五百九拾參圓

第四條　前條ノ償還ハ、一般財源及都市計畫特別稅ヲ以テ之ニ充ツルモノトス。

二　執行

東京府に於て執行する復興事業は、曰く道路の改修なり、曰く學校の建築なり。

第一、道路改修

イ、國道

一、國道改修　國道改修は、震災前の計畫に從ひ、震災前著手したる工事に引續き、左記四路線の改修を爲さんとするものにして、大正十二年九月八日より大正十五年度に至る四箇年間に執行する事業なり、左に大正十四年までの功程を擧ぐ。

1、京濱國道（第一號國道）　荏原郡品川町八ツ山より神奈川縣界に至る延長五、六四〇間幅員十二間の改修にして、品川町八ツ山より同町海晏寺に至る約千七十間の區間は、目黑川橋梁改築の部分を除き工事完了し、海晏寺より大森町一本松に至る約千百三十間の區間は、大井町鈴ヶ森京濱電氣鐵道交叉の部分を除き工事完了し、一本松より蒲田町夫婦橋に至る約千八百九十間の區間は、一部支障物件移轉未了のものを除き工事完了し、夫婦橋より六鄕橋に至る約千五百三十間の區間は、現に工事の進行中にして、豫定年度內には全線完了の見込なり。

總工費	四、七五五、三一八圓
內譯	
國庫補助	二、三一五、六五九圓
貸付金	二、二八〇、五五二圓
府負擔	一五九、一〇七圓

2、陸羽街道（第四號國道）　南足立郡千住町地內新開橋より荒川放水路右岸大正道路に至る、此延長約八七〇間幅員十二間の改修工事にして、千住町新開橋より熊谷堤防に至る約二百二十間の區間は、步車道の鋪裝を除き略工事完了し、熊谷堤より大正道路に至る約六百五十間の區間も、亦步車道の鋪裝を除き五分通り工事進行し、大正十五年三月完了の見込なり。

總工費	九〇四、二七五圓
內譯	
國庫補助	四五二、一三七圓
貸付金	四五二、一三八圓

3、千葉街道（第七號國道）　南葛飾郡龜戶町水神森より同町淺草道に至る、此延長七百十間幅員十二間の改修工事にして、本線は土地買收並地上物件移轉は略完了せしも、城東電氣軌道移轉未了の爲全路幅の工事を執行し得ざるに依り、目下左側に於ける幅員の半を改修中にして、大正十五年三月完了の見込なり、尙右側に於ける幅員の半は、工事は步車道の鋪裝と共に大正十五年四月より着手し、豫定年度內に完了の見込とす。

總工費	一、〇〇三、一四六圓
內譯	
國庫補助	三八八、九一二圓
貸付金	三四七、三三七圓
府負擔	二六六、八九七圓

一、中仙道（第九號國道）　本線は北豐島郡巢鴨町巢鴨橋より板橋町に至る延長千六百五十間幅員十二間半の改修工事なり、卽ち巢鴨橋より西巢鴨町庚申塚に至る約六百七十間の區間は、土地買收を了し、目下地上物件移轉中にして、庚申塚に至る約三百二十間の區間は、土地物件移轉完了し、現に工事中なり、尙右終點より板橋町に至る約七百五十間の區間は、土地買收並地上物件移轉中にして、大正十五年度中に完了し、全線工事は大正十六年度に全部完了の豫定なり。

總工費	二、六七二、〇四三圓
內譯	
國庫補助	八三六、〇二一圓
貸付金	八三五、八六三圓
府負擔	一、〇〇〇、一五九圓

二、橋梁

1、六鄕橋（一號國道筋）　本橋は神奈川縣と共同執行のものにして大正十四年八月竣功す、延長二四四間幅員八間、鐵橋。

總工費	五〇〇、〇〇〇圓　東京府負擔分
內譯	
國庫補助	三三三、三三三圓
貸付金	一六六、六六七圓

2、千住大橋（四號國道筋）　本橋は南足立郡千住町地內千住大橋架換工事にして、目下橋臺工事及上部構造工作中にして、大正十五年八月完了の見込なり、長約六十間幅員十二間。

總工費	一、〇三七、八四一圓
內譯	
國庫補助	五一八、九二一圓
貸付金	二五九、一八二圓
府負擔	二五九、七三八圓

3、千住新橋（四號國道筋荒川放水路架橋）　本橋は南足郡千住町地內荒川放水路架橋工事にして、延長二五〇間幅六間の鐵橋なり、大正十三年七月竣功す。

總工費	三四五、四一四圓
內譯	
國庫補助	一六〇、二七一圓
貸付金	一七〇、九七四圓
府負擔	一四、一六九圓

ロ、府縣道

府縣道改修事業は、郡部環狀線及放射線改修道路にして、既定計畫に從ひ、震災前に着手したる工事に引續き、既定計畫中樞要部分たる左記十ヶ所の改修工事を大正十三年度より大正十七年度に至る五ヶ年度に執行するものにして之が改修箇所左の如し。

(一)一等大路第三類第八　本線は荏原郡品川町八ッ山より大崎町谷在家に至る延長千間にして、一部工事施行中なり。

(二)一等大路第三類第九　本線は荏原郡目黒町役場前より同町氷川神社前に至る延長約八百六十間の區間にして、目下工事中に屬す。

(三)一等大路第三類第十　本線は豐多摩郡澁谷町陸軍道路より鐵道山の手線に至る延長約百四十間の區間にして、工事未着手なり。

(四)一等大路第三類第十　本線は豐多摩郡千駄ヶ谷町裏參道より同町四ッ谷區界に至る延長約四百九十間の區間にして、目下土地物件の移轉中なり。

(五)一等大路第三類第十三　本線は北豐島郡西巣鴨町鐵道板橋線より同町庚申塚に至る延長約八百二十間の區間にして、目下工事施行準備中なり。

(六)一等大路第三類第十五　本線は北豐島郡三河島町木の本より南千住町下谷區界に至る約八百二十間の區間にして、一部工事未了箇所を除き殆んど完了せり。

(七)一等大路第三類第十七　本線は南葛飾郡吾嬬町小村井より龜戸町城東電車軌道に至る延長約千十間の區間にして、目下工事施行準備中なり。

(八)一等大路第三類第二十　本線は荏原郡大崎町谷在家より同町鐵道線に至る延長約二百四十間の區間にして、工事完了す。

(九)二等大路第一類第十　本線は豐多摩郡澁谷町玉川電氣軌道より目黒町役場前に至る延長約七百九十間の區間にして、大部分工事完了す。

(一〇)二等大路第一類第十二　本線は北豐島郡西巣鴨町小石川區界より同町池袋環狀線に至る延長約七百九十間の區間にして、工事未着手とす。

總工費　七、五〇〇、〇〇〇圓（十箇所分）

内譯

國庫補助　二、五〇〇、〇〇〇圓

貸付金　五、〇〇〇、〇〇〇圓

第二、學校建築

復興事業としての學校建設は、府立第三中學校府立第一高等女學校及府立工藝學校府立實科工業學校府立化學工業學校の三實業學校を再建するものにして、十三年度は區劃整理の關係上、未だ工事を進むるに至らず、共功程左の如し。

費目	豫算	支出濟
府立第三中學校	二五〇、〇〇〇・〇〇円	八、一八八・九八円
府立第一高等女學校	一八九、〇〇〇・〇〇	五、四三一・八八
實業學校	七九一、〇〇〇・〇〇	二一、二四三・四五
内　府立工藝學校	—	七、一六五・三〇
府立實科工業學校	—	七、二七四・〇〇
府立化學工業學校	—	六、八〇四・一五

第二項　復舊施設

一　復舊工事

東京府復舊事業は、大約左の如く、大正十二年度より執行す。

種別	工費
南多摩郡役所	一〇、一二四・〇〇円
荏原郡役所	一四、〇六八・五〇
南葛飾郡役所	六、八五九・〇〇
豐多摩郡役所	四、四六一・〇〇
北豐島郡役所	七、一三二・五〇
青山師範學校	二九、四〇〇・〇〇
豐島師範學校	二八、三五〇・〇〇
女子師範學校	二四、一五〇・〇〇
第一中學校	一二、六〇〇・〇〇
第二中學校	二一、五五五・九八
第四中學校	一五、七五〇・〇〇
第五中學校	一、〇五〇・〇〇
第六中學校	一〇、五〇〇・〇〇
第七中學校	六、七七九・八四
第三高等女學校	一五、七五〇・〇〇
第四高等女學校	三、〇一〇・八八
第五高等女學校	一五、七五〇・〇〇
織染學校	三、六四二・四五
第一商業學校	二、七九九・八三
第二商業學校	二、一八七・一五
品川高等女學校	三六五・九三
小松川高等女學校	七、九一一・七四
園藝學校	二二、〇一〇・八九
農林學校	八四〇・〇〇
中野農業學校	五五五・四五
中野實業女學校	四一八・九五
瀧野川商工學校	二、八三六・五三
松澤病院	二三六、二〇七・八八
蠶業試驗場	四、四〇二・〇八
蠶業取締所	七、三三八・九二
府廳舍	三〇〇、〇〇〇・〇〇
度量衡王子檢定所	二、二五一・〇〇
全生病院	一〇、五五八・五〇
松澤病院倒壞建築物復舊	二一〇、一〇〇・八九
蠶業試驗場冷藏庫改築	一五、二六四・〇〇

二　復舊助成

復舊事業の助成は、工業農業農地荒廢林地漁業等の復舊復興を補助するものにして、內工業復興助成は、大正十三年十二月二十七日東京市本所區綠町三ノ三六信用利用販賣組合東京硝子工業商（工場荏原郡羽田町）に五十六萬圓を補助したるを初とし、十四年に下谷區車坂町六四東鈸信用利用販賣購買組合に六萬五千圓等の助成を爲し、農業復舊助成は、

共同倉庫補助	六、三〇〇・〇〇
共同作業場補助	三、〇〇〇・〇〇
共同機械器具補助	三、〇〇〇・〇〇
稚蠶共同飼育所補助	一〇、五〇〇・〇〇
計	二二、八〇〇・〇〇

を補助し、農地復舊助成としては、大正十二年度に耕地整理復舊補助五萬八千圓、震災荒廢林地應急費補助としては、大正十二年度に一萬三千二百圓、十三年度に一萬二千九百六十圓、十四年度に二萬六千百四十八圓を支出したるの類なり、漁業復興助成は、大正十三年十二月六日補助規程を設け、十四年より之が助成金を下付せり、所謂補助規程は、

東京府訓令第五號

震災地漁業復興助成規則左ノ通定ム。

大正十三年十二月六日　東京府知事　宇佐美勝夫

震災地漁業復興助成規則

第一條　大正十二年九月ノ震災ニ因ル漁業上ノ被害ニ對シ、之カ復興ヲ助成スル爲メ、漁船ノ建造船ヲ爲サムトスルモノニハ、本規則ニ依リ補助金ヲ交付ス。

第二條　前條ノ補助率ハ左ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ム。

一、漁船

(一)船體

イ、肋骨ヲ先ニ建テ後ニ外板ヲ張リタルモノ、重要寸法ノ相乘積數一立方尺(又ハ呎)ニ付金壹圓五拾錢。

ロ、外板ヲ先ニ建テ後船ノ首尾ヲ通シ心距三尺以內ニ肋骨若ハ仕切板ヲ挿入セルモノ。

重要寸法ノ相乘積數一立方尺（又ハ呎）ニ付金壹圓貳拾五錢

ハ、「イ」「ロ」以外ノモノ。

重要寸法ノ相乘積數一立方尺(又ハ呎)ニ付金壹圓。

ニ、破損ノ修繕ヲ爲スモノハ修繕費ノ二分ノ一以內。

(二)機關

イ、指定工場ノ製作ニ係ルモノ一馬力ニ付金百五拾圓。

ロ、「イ」以外ノモノニシテ十馬力未滿ノモノ一馬力ニ付金百貳拾圓。

ハ、破損ノ修繕ヲ爲スモノハ修繕費ノ二分ノ一以內。

指定工場ハ東京府告示ヲ以テ之ヲ定ム。

機關ノ馬力數ハ知事ノ認定ニ依ル。

二、漁具

購入費又ハ修繕費ノ二分一以內。

三、船曳場

總工事ノ二分ノ一以內。

遠洋漁業奬勵法ニ依リ漁船奬勵金ヲ受ケ又ハ水產會カ國庫ヨリ受ケタル補助金ヲ以テ支出セル補助金ヲ受ケ建造又ハ購入シタル漁船漁具ニ在リテハ前項補助率ニ依リ算出シタル金額ヨリ既ニ受ケタル奬勵金又ハ補助金ヲ控除シテ補助金額ヲ算定ス。

外國製ノ機關「ガソリン」機關（發動ノ際ニ限リ「ガソリン」ヲ使用スルモノヲ除ク）及漁船ニ定着セサル機關ニハ補助セス十馬力以上ノ機關ニシテ指定工場以外ノ製作ニ係ルモノ亦同シ。

第三條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ大正十三年十二月二十五日限リ知事ニ申請スヘシ。

第四條　漁船ノ建造修繕又ハ漁具ノ購入修繕ノ補助申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ。

一、漁船

イ、漁船

漁業ノ種類船型ノ種別噸數又ハ積石數船ノ長幅深設計仕樣書圖面造船所名起工竣工期日造船費又ハ修繕費ノ豫算書（既ニ建造シタルモノニアリテハ支拂證憑書類）。

ロ、機關

種類名稱馬力設計仕樣書圖面製作所名据付漁船名据付着手及完了期日据付從業地購入費又ハ修繕豫算書（既ニ購入シタルモノニ在リテハ支拂證憑書類）。

二、漁具

漁具ノ名稱數量製造所設計書漁具ヲ使用スル船型ノ種別噸數又ハ積石數(又ハ肩幅)從業人員着手及完成期日購入豫算書（既ニ購入シタルモノニ在リテハ支拂證憑書類）。

前項ノ書類ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ。

第五條　船曳場築造ノ補助ハ大島以外ノ離島ヲ除ク全沿岸ニ於ケル公共團體又ハ漁業組合ノ施設ニシテ其ノ工事種目ハ左ノ各號ノ一又ハ二以上ニ該當スルモノニ限ル。

一、船曳場面ノ築造工事

二、船曳場築造ニ附帶スヘキ浚渫工事

三、同　掘鑿工事

四、同　盛土護岸土止工事

五、同　岩礁除却工事

六、船曳擁護小突堤工事

七、共他船曳場築造ニ伴フ雜工事。

第六條　補助金交付ノ請求書ニハ、經費ノ精算書及支拂證書類（補助金交付申請書ニ添付シタル場合ヲ除ク）ヲ添付シ知事ニ差出スヘシ

第七條　補助金ハ漁船ノ建造修繕若クハ漁具ノ購入修繕又ハ船曳場ノ一部若ハ全部ノ築造完了後檢査ノ上之ヲ交付ス。

第八條　第二條第一項第一號及第二號ノ補助ヲ受ケタル者ハ補助金交付日ヨリ三箇年間之ヲ他人ニ讓渡貸付又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス但シ知事ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス。

第九條　補助ノ指揮ヲ受ケタルモノハ共事業ニ付知事ノ命令又ハ知事ノ命シタル官吏員ノ檢査若ハ書類ノ檢閱ヲ拒ムコトヲ得ス。

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリト認ムルトキハ、補助ノ指令ヲ取消シ、又ハ補助金ノ一部若ハ全部ヲ返還セシムルコトアルヘシ。

一、本規則又ハ本規則ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ。

二、虛僞ノ申告ヲ爲シ又ハ不正ノ行爲アリタルトキ。

三、事業ノ施行確實ナラサルトキ。

第十一條　本規則ニ依リ提出スル書類ハ所轄町村役場及郡市役所島廳ヲ經由スヘシ。

附　則

本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス。

東京府告示第四百五十二號

震災地漁業復興助成規則第二條ニ依ル機關ノ指定工場左ノ通定ム。

大正十三年十二月六日　東京府知事　宇佐美勝夫

東京市麹町區有樂町一丁目三番地	株式會社新潟鐵工所
同　芝區本芝四丁目十五番地	株式會社池貝鐵工所
東京府荏原郡大崎町居木橋四百六十一番地	日本鐵工株式會社
神戸市兵庫須佐野通八丁目一番地	株式會社神戸發動機製造所
同　一番町三丁目六番地	株式會社阪神鐵工所
同　東尻池町七丁目一番地	日本發動機株式會社
同　兵庫莉藻通五丁目八番地	株式會社山陽工作所
明石市材木町九番地	木代發動機製作所
同　大明石千九百九十九番地	木下鐵工所
靜岡縣志太郡燒津町城之腰五十番地	赤坂鐵工所
松江市御船手場五百五十五番地	石橋鐵工所
同　旭町四百八十四番地ノ八	合名會社中村鐵工所
山口縣豐浦郡彥島町大字彥島四千三百二十二番地ノ一	中部鐵工造船所

十四年度に補助したるもの左の如し。

漁船建造	修繕	漁具	組合名
六、二八〇、八〇	六六〇、九〇	三三、〇九九、三八	深川浦漁業組合
五九五、六九	八五、八五	四、六二一、八一	砂町漁業組合
四二六、六四	三四、三四	三、五一〇、三三	佃島漁業組合
八〇三、七三	二六七、三二	一、三四七、五四	金杉浦漁業組合

三八四、六二	—	三五六、九八	芝港町漁業組合
三、一二〇、六六	五六三、三一	四四二、五三	大島漁業組合
—	一四四、二八	—	葛西浦漁業組合

第三節　東京市施設

第一項　復興施設

第一　機　關

一　議事機關

大正十二年九月五日永田市長は市會議員全員（海外旅中の者を除く）に東京市災害救濟委員を囑託せしが、十五日に至り、協議會に於て近藤副議長東京市非常災害善後策並復興策に關する實行委員を指名選定す。

東京市非常災害善後策並復興ニ關スル實行委員

第一部（火災保險金並金融ニ關スル件）

戸倉　嘉市　小島左馬太郎　小島　七郎　橋本　直一
宮島清次郎　笠原文太郎　田中　康三　入山祐治郎
福田　又一　山本茂三郎　安東　正臣　秋山　朗
寺田彌一郎　長町　康夫　倉田金三郎　宇都宮政市
早川庄太郎　松尾　要　鈴木　隆　中南定太郎
角野庄太郎　廣橋嘉七郎　髙橋　俊太

第二部（衣食住並ニ罹災民救助ニ關スル件）

島田　藤吉　瀨川　光行　大崎　清作　三枝米太郎
松崎英太郎　吉川　忠志　鈴木　一朗　井上　萬吉
託摩　武彥　五木田治郎吉　尾後貫朝吾郎　山口　德二
本田　義成　佐藤　長祐　鈴木　彌吉　西村吉兵衞
大野　敬吉　大岩　豐吉　久保　三友　有竹　雅巳
竹下　延保　森脇源三郎　國枝捨次郎　長谷川吉次
中村　萬吉　小栗富五郎　木下　常松　本宮辰次郎
礒　部　尙　柳田　諒三

第三部（燒跡整理並復興ニ關スル件）

中田　敬義　垣見八郎右衞門　遠藤　憲治　吉田勘右衞門
片山　久藏　尾中　勝也　若林　成昭　伊藤仁太郎
坪野　房治　中村　彛二　鎌田芳太郎　天利庄次郎
金子　東一　渡邊繁太郎　中村富三郎　村松恒一郎
河井榮三郎　小久江美代吉　小坂　梅吉　小森七兵衞
大石　熊吉　松　永　東　大野　伴睦　村山　賢作
原　伊三郎　小俣　政一　鳩山　一郎　森原　嘉逸
小瀧　辰雄　瀧澤　七郎

是に於て各部委員會は、直に左の委員長理事を互選したり。

第一部
委員長　宮島清次郎
理　事　入山祐次郎　福田　又一　倉田金三郎
早川庄太郎

第二部
委員長　中村　萬吉
理　事　瀨川　光行　大崎　清作　竹下　延保
長谷川吉次　木下　常松

第三部
委員長　鳩山　一郎
理　事　中田　敬義　若林　成昭　中村　彛二

小久保美代吉　小俣　政一

若夫れ全員委員長は、慣例に從ひ副議長近藤達見之に當る、既にして十月二十八日議員戸倉嘉市外六十名市會に左の建議案を提出す。

一、東京市復興ニ關スル常設委員會條例制定の建議

右提出候也。

提出者

大正十二年十月十八日　戸倉　嘉市　瀨川　光行
中田　敬義　大崎　清作　三枝米太郎
垣見八郎右衞門　小島左馬太郎　松崎英太郎
吉川　忠志　小島　七郎　橋本　直一
吉田勘右衞門　宮島清次郎　井上　萬吉
託摩　武彥　尾後貫朝吾郎　山口　德二
本田　義成　片山　久藏　田中　康三
尾中　勝也　若林　成昭　坪野　房吉
入山祐次郎　福田　又一　近藤　達見
中村　彛二　安東　正臣　秋山　朗
鎌田芳太郎　天利庄次郎　金子　東一
西村吉兵衞　村松恒一郎　河井榮三郎
小久江美代吉　寺田彌一郎　小坂　梅吉
大野　敬吉　久保　三友　小森七兵衞
大石　熊吉　長町　康夫　有竹　雅巳
倉田金三郎　竹下　延保　大野　伴睦
森脇源三郎　村山　賢作　宇都宮政市
小俣　政一　長谷川吉次　中村　萬吉
小栗富五郎　木下　常松　本宮辰次郎
礒　部　尙　森原　嘉逸　柳田　諒三
瀧澤　七郎　高橋　俊太

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

東京市復興ニ關スル常設委員會條例制定ノ建議

這回ノ大災害ニ對スル復興ニ關シテハ、特ニ常設委員ヲ設ケ、愼重審議之カ完成ヲ期スルノ必要アルモノト認ム。依テ理事者ハ、速ニ是ニ關スル條例ヲ制定セラレムコトヲ望ム。

異議なく之を可決し、市長より左の提案あり、十一月十三日の市會に上議す。

第百二號東京市復興委員規程設定ニ關スル件

東京市復興規程左ノ通設定スルモノトス。

東京市復興委員規程

第一條　本市復興ニ關スル重要事項ヲ調査審議スル爲、復興委員ヲ置ク。

第二條　委員ハ市會議員三十名、名譽職參事會員七名ヲ以テ組織ス。

第三條　委員長ハ、委員ノ互選トス。

附　則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス。

説明　本市復興ニ關シ委員ヲ設置スルモノトシ本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十二年十一月十二日市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ、同意セリ。

大正十二年十一月十二日
提出者　東京市長　永田秀次郎

議員吉川忠志動議して、市參事會員七名を五名に改め、之を可決す。十一月七日東京市告示第二百六十四號を以て之を公示す。

東京市告示二百六十四號

本市會ノ議決ヲ經東京市復興委員規程左ノ通定ム。

大正十二年十一月十七日　東京市長　永田秀次郎

東京市復興委員規程

第一條　本市復興ニ關スル重要事項ヲ調査審議スル爲、復興委員ヲ置ク。

第二條　委員ハ市會議員三十名、名譽職參事會員七名ヲ以テ組織ス

第三條　委員長ハ委員ノ互選トス。

附　則

本規程ハ發布ノヨリ之ヲ施行ス。

委員は十二月三日左の如く決定す。

市會議員ヨリ選出

島田藤吉　瀨川光行
大崎清作　垣見八郎右衞門
吉川忠志　吉田勘右衞門
尾後貫朝吾郎　本田義成
田中康三　坪野房治
入山祐治郎　中村彝二
安東正臣　鎌田芳太郎
金子東一　鈴木彌吉
渡邊繁太郎　小久保美代吉
大野敬吉　小林七兵衞
長町康夫　大野伴睦
國枝捨次郎　原伊三郎
本宮辰次郎　森原嘉逸
小瀧辰雄　瀧澤七郎
角野庄太郎　廣橋嘉七郎

名譽職參事會員ヨリ選出

松崎英太郎　若林成昭
村松恒一郎　有竹雅巳
高橋俊太

十三年七月五日中央卸賣市場調査委員會を設く。

東京市告示第二百五十五號

中央卸賣市場調査委員會規則、左ノ通定ム。

大正十三年七月五日　東京市長　永田秀次郎

中央卸賣市場調査委員會規程

第一條　中央卸賣市場調査委員會ハ、市長ノ諮問ニ應シ、中央卸賣市場設置ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條　中央卸賣市場調査委員會ハ、前條ノ事項ニ關シ市長ニ建議スルコトヲ得。

第三條　中央卸賣市場委員會ハ、委員長一人及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス。

委員長及委員ハ、市長之ヲ囑託シ、又ハ之ヲ命ス。

第四條　委員長ハ會務ヲ統理ス、委員長事故アルトキハ委員長ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス、

第五條　委員長必要アリト認ムルトキハ、委員外ノ者ヲシテ會議ニ列席シ意見ヲ述ヘシムルコトヲ得。

第六條　委員會ニ、幹事及書記若干人ヲ置ク。

市職員中ヨリ市長之ヲ命ス。

幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ整理シ、書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス。

二　執行機關

東京市役所は、對災應急措置に對し、臨時機關を設けて之を處理せしも、應急措置を了すると共に、平常の機關に復し、復興事業の規畫の如き、主として調査課をして之に當らしむ、然るに大正十三年に入り、復興事業次第に實施の期に近づくを以て、新に之が機關を設くるの必要を生じ、三月二十七日市役所處務規程を改正せり。

是時に於ける處務規程改正の要點は庶務課の分掌事務に、

十六、都市計畫及復興事業ニ關スル事項

十七、復興委員會ニ關スル事項

を加へ、道路局に、

第二　道路課

一、復興事業ニ關スル街路築造工事ニ關スル事項

一、復興事業ニ關スル工事用材料器具機械ノ出納及保管ニ關スル事項

三、復興事業ニ關スル道路工事ノ竣功明細書ノ調製ニ關スル事項

橋梁課

二、復興事業ノ橋梁工事ニ關スル事項

を置き、新に臨時建築局を設けて、營繕事務と共に復興事業に屬する學校建築等を掌管する事としたり。

臨事建築局

庶　務　課

一、局ノ機密ニ關スル事項

二、局長ノ印及局印ノ管守ニ關スル事項

三、文書ニ關スル事項

四、豫算決算及物品ニ關スル事項

五、工事並物品材料ノ檢査ニ關スル事項

六、廳舍ノ營繕幷ニ管理ニ關スル事項

七、其他局ノ庶務ニ關スル事項

營　繕　課

一、建築物ノ營繕ニ關スル事項

二、電燈電話其他電氣並暖房ノ裝置及諸設備ニ關スル事項

三、建築物ノ評價其他建築ノ諸調査ニ關スル事項

學校建設課

一、學校建設ノ設計工事其他技術ニ關スル事項

市場建設課

一、市場ノ建設ニ關スル事項

公園上下水道衞生施設社會事業の復興に關するものは、公園課水道局下水課衞生課社會局之に任じ、土地關係の事務は地理課之に當り、物資供給の事務は商工課之に任じ、土地區劃整理に至りては、別に新に區劃整理局を設く。

區劃整理局

庶　務　課

一、局ノ機密ニ關スル事項

二、局長ノ公印及局印ノ管守ニ關スル事項

三、文書ニ關スル事項

四、豫算決算及物品ニ關スル事項

五、其他局ノ庶務ニ關スル事項

技　術　課

一、區劃整理ノ技術ニ關スル事項

既にして六月六日區劃整理局の分課を改正し、九月一日區劃整理局現場從事員勤務規程を定め、十一月八日處務規程を改正し、十四日復興總務部を設く。

東京市訓令甲第十六號

市役所處務規程中、左ノ通改正ス。

大正十三年六月六日　東京市長　永田秀次郎

第一章　總　則

第一條第一項中區劃整理局ノ分課ヲ、左ノ通改ム。

庶務課
第一施業課
第二施業課

第二章　事務分掌

第九條中、區劃整理局ノ各課分掌事項、左ノ通改ム。

庶務課
一、局ノ機密ニ關スル事項
一、局長ノ公印及局印ノ管守ニ關スル事項
一、文書ニ關スル事項
一、豫算決算及物品ニ關スル事項
一、土地區劃整理、並之ニ關聯スル街路、及小公園用地ノ收用、買收、交換、並工作物移轉料ニ關スル事項
一、街路價評定ニ關スル事項
一、換地處分ニ伴フ清算金ニ關スル事項
一、土地ノ補償金ニ關スル事項
一、土地區劃整理委員會ニ關スル事項
一、補償審査會ニ關スル事項
一、法定地價配當ニ關スル事項
一、換地處分ニ伴フ土地及建物登記ニ關スル事項
一、其ノ他局ノ庶務ニ關スル事項

第一施業課
一、麹町區ノ一部（第四地區）京橋區芝區赤坂區本所區深川區ニ於ケル土地區劃整理ニ伴フ左ノ事項
イ、土地ノ測量ニ關スル事項
ロ、地籍ノ調査ニ關スル事項
ハ、家屋其他地上物件ノ移轉處分ニ關スル事項
ニ、地下埋設物ノ整理ニ關スル事項
ホ、土地價格ノ評定ニ關スル事項
ヘ、換地ノ設計及處分ニ關スル事項
ト、地番ノ整理ニ關スル事項
チ、其ノ他技術ニ關スル事項

第二施業課
一、麹町區ノ一部（第一地區乃至第三地區）神田區日本橋區下谷區淺草區ニ於ケル土地區劃整理ニ伴フ左ノ事項
イ、土地ノ測量ニ關スル事項
ロ、地籍ノ調査ニ關スル事項
ハ、家屋其ノ他地上物件ノ移轉處分ニ關スル事項
ニ、地下埋設物ノ整理ニ關スル事項
ホ、土地價格ノ評定ニ關スル事項
ヘ、換地ノ設計及處分ニ關スル事項
ト、地番ノ整理ニ關スル事項
チ、其ノ他技術ニ關スル事項

東京市訓令甲第三五號

區劃整理局

區劃整理局現場從事員勤務規程、左ノ通定ム。

大正十三年九月一日
東京市長　永田秀次郎

區劃整理局現場從事員勤務規程

第一條　現場從事員ノ勤務ハ、本規程ニ依ル。

第二條　勤務時間左ノ如シ。

自三月一日至十月末日　自午前七時至午後五時
自十一月一日至二月末日　自午前七時三十分至午後四時三十分

前項ノ時限ハ、事務ノ都合ニ依リ局長之ヲ伸縮スルコトヲ得。

第三條　公休日ハ左ノ如シ。

一、一月一日二日三日、十二月三十日三十一日。
二、一月十二月ハ、前號ニ定ムルモノ、外各一日。
三、二月乃至十一月ハ、大祭日祝日ヲ通シ毎月二日。

前項第二號第三號ノ休日ハ、局長隨時之ヲ定ム。

第一項ノ休暇日ト雖モ、事務ノ都合ニ依リ局長ニ於テ出勤ヲ命スルコトヲ得。

前項ニ依リ休暇日ニ出勤ヲ命ジタルトキハ、其後三十日以內ニ局長ニ於テ事務ニ差支ナキ限リ休暇ヲ與フルコトヲ得。

附　則

第四條　本規程ハ、大正十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス。

東京市訓令甲第四十九號

各局課　各區役所　公廳

市役所處務規程中、左ノ通改正ス

大正十三年十一月八日
東京市長　中村是公

第一章　總則

第一條　第一項中、區劃整理局ノ分課ヲ左ノ如ク改ム。

庶務課
第一施業課
第二施業課
工務課

第二章　事務分掌

第九條第一項中「各局課所」ノ次ニ「場」ヲ加フ。

同　庶務課事務分掌中、左ノ如ク加フ。

七ノ二　數局課ニ共通スル例規ニ關スル事項。

同　學務課事務分掌中、左ノ如ク改ム。

八、學校建設ノ計畫ニ關スル事項。

同　商工課事務分掌中、左ノ如ク改ム。

九、度量衡ノ取締其他度量衡ニ關スル事項。

同　道路局第二道路課事務分掌、左ノ如ク改ム。

一、都市計畫事業ノ街路築造工事ニ關スル事項。
二、都市計畫事業ノ街路工事用材料器具機械ノ出納及保管ニ關スル事項。
三、都市計畫事業ノ街路工事竣功明細書ノ調製ニ關スル事項。

同　道路局橋梁課事務分掌中、左ノ如ク改ム。

二、都市計畫事業ノ橋梁工事ニ關スル事項。
三、橋梁用材料器具機械ノ出納及保管ニ關スル事項。
四、橋梁工事竣功明細書ノ調製ニ關スル事項。

同　臨時建築局事務分掌中、左ノ如ク改ム。

庶務課
六、廳舍ノ管理ニ關スル事項。
七、電燈電話其他電氣並煖房ノ裝置及諸設備ニ關スル事項。
八、建築物ノ評價其他建築諸調査ニ關スル事項。
九、局內他課ニ屬セサル事項。

營繕課
一、廳舍其他建築物ノ營繕ニ關スル事項。
二、削除
三、削除

學校建設課
一、學校建設ノ設計及工事ニ關スル事項。

同　區劃整理局事務分掌、左ノ如ク改ム。

庶務課
一、機密ニ關スル事項。
二、公印管守ニ關スル事項。
三、文書ニ關スル事項。
四、豫算決算及物品ニ關スル事項。
五、街路價評定ニ關スル事項。
六、土地補償金ニ關スル事項。

七、換地處分ニ伴フ清算金ノ徵收交付ニ關スル事項。
八、土地區劃整理地域內ニ於ケル工作物建設願ニ關スル事項。
九、土地區劃整理ニ伴フ工作物移轉命令、並之ニ基ク損害補償金ニ關スル事項。
十、區劃整理ニ伴フ工作物ノ委託移轉工事請負契約ニ關スル事項。
十一、土地區劃整理委員會ニ關スル事項。
十二、補償審査會ニ關スル事項。
十三、法定地價配當ニ關スル事項。
十四、換地處分ニ伴フ土地及建物登記ニ關スル事項。
十五、地籍ノ調査ニ關スル事項。
十六。土地區劃整理施行後ニ於ケル區ノ境界、及區域ノ變更調査ニ關スル事項。
十七、地番ノ整理ニ關スル事項。
十八、局內他課ニ關セサル事項。

第一施業課

一、麴町區ノ一部（第四地區）京橋區赤坂區本所區深川區ニ於ケル土地區劃整理ニ依ル左ノ事項。
イ、土地ノ測量ニ關スル事項。
ロ、土地價格ノ評定ニ關スル事項。
ハ、換地ノ設計及處分ニ關スル事項。
ニ、地下埋設物ノ調査及移轉整理ニ關スル事項。
ホ、其他技術ニ關スル事項。

第二施業課

一、麴町區ノ一部（第一乃至第三地區）神田區日本橋區本鄕區下谷區淺草區ニ於ケル土地區劃整理ニ依ル左ノ事項。
イ、土地ノ測量ニ關スル事項。
ロ、土地ノ評定ニ關スル事項。
ハ、換地ノ設計及處分ニ關スル事項。
ニ、地下埋設物ノ調査及移轉整理ニ關スル事項。
ホ、其他技術ニ關スル事項。

工務課

一、建物其他地上物件ノ調査及移轉ノ設計並監督ニ關スル事項。
二、臨時收容家屋ノ建設管理並配給ニ關スル事項。
三、障害物除却ニ關スル事項。
四、地上物件ノ委託移轉工事施行ニ關スル事項。
五、地上物件ノ移轉ニ因ル損害補償金算出ニ關スル事項。
六、建物其他地上物件ノ技術ニ關スル事項。

以　上

東京市訓令甲第五十一號

各局課場所院

東京市復興總務部處務規定、左ノ通定ム。

大正十三年十一月十四日　東京市長　中村是公

東京市復興總務部處務規程

第一條　復興總務部ハ、左ニ掲クル事務ヲ掌ル。
一、都市計畫ニ關スル事項。
二、都市計畫事業及復興事業ノ連絡統一ニ關スル事項。
三、復興委員會ニ關スル事項。

第二條　復興總務部ニ、左ノ職員ヲ置ク。

部　長
幹　事
主　事
事務員
技　手

部長ハ助役ノ中ヨリ之ヲ命ス。
市長ノ命ヲ承ケ部務ヲ總理シ、部下ノ職員ヲ指揮監督ス。
幹事ハ市職員中ヨリ之ヲ命ス。
部長ノ命ヲ承ケ、部務ヲ掌理ス。
主事ハ、上司ノ命ヲ承ケ、部務ヲ掌ル。
技師ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル。
事務員ハ、上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス。
技手ハ、上司ノ指揮ヲ受ケ技術ニ從事ス。

第三條　復興總務部長ハ、部務ニ關シ、關係局課ノ職員ヲ招集シテ會議ヲ開クコトヲ得。
復興總務部長ハ、前項ノ外都市計畫事業及復興事業ノ連絡統一ニ關シ、關係局課長ト商議ヲ遂ケ、其ノ促進上必要ナル措置ヲ講スヘシ。

第四條　庶務課長都市計畫事業及復興事業ニ關シ重要ナル文書ヲ受付ケタルトキハ、直ニ復興總務部長ニ其ノ要領ヲ通報スヘシ。

第五條　都市計畫事業及復興事業ニ關スル事件ニシテ數箇ノ局課ニ關聯スルモノハ、復興總務部ノ主管ト爲スコトヲ得。

第六條　都市計畫事業及復興事業ニ關スル事業ハ、復興總務部ニ合議スヘシ。但シ其ノ輕易ナルモノハ合議ヲ省略スルコトヲ得。

第七條　本規程ニ定ムルモノ、外東京市役所處務規程ヲ準用ス、但シ其ノ準用ニ付テハ、復興總務部々長幹事ハ之ヲ局々長課長ト見做ス。

第二　事業

一　計畫

東京の復興は實に帝都の復興にして、國家自ら之を經營し、市は單に國家の計畫に從ひ、事業の一半を分擔するに止まるが如きも、一面より見れば、言ふまでもなく帝都の復興は東京の復興也。東京市民の國家に委して傍觀すべきものに非ず、東京市會は大正十二年十月六日災後第一の開會を見るや、永田市長、左の挨拶あり。

茲ニ震災後初メテノ市會ニ臨ミマシテ、諸君ト一堂ノ下ニ相見ユルニ際シマシテ、私ハ市長トシテ洵ニ感慨無量ノ思ニ堪ヘナイノデアリマス、御承知ノ通リ九月一日二日ニ亙ル震災並ニ之ニ引續イタル大災ノ爲ニ、我東京市ハ四十萬戸ヲ燒失シ、百五十萬ノ罹災市民ヲ出シ、十數萬ノ死傷者ヲ生ジタト云フコトハ、洵ニ痛嘆ニ堪ヘナイ所デアリマシテ、諸君ニ於カセラレマシテモ大多數此災厄ニ罹ラレタト云フコトハ何トモ申上ゲヤウモナイ御氣ノ毒ノ次第ニ存ズルノデアリマス、併ナガラ此ハ十餘名ノ議員諸君ガ總ベテ皆御健康デサウシテ本日御目ニ掛ラレルト云フコトハ、誠ニ私トシテ慶賀ニ堪ヘヌ所デアリマスルノミナラズ、我東京市ト致シマシテモ、議政機關ノ諸君ガ總ベテ皆御無事デ在ラレルト云フコトハ誠ニ喜バシイコト、存スルノデアリマス、此際第一ニ御禮ヲ申上ゲテ置カナケレバナリマセヌノハ、九月四日ノ協議會ノ席ニ於キマシテ諸君ノ御集リノ際ニテ應急ノ處置ニ付イテハ萬事理事者ニ一任ヲスルト云フ御言葉デアリマシテ、之ガ爲其後臨機ノ處置ヲ御一任下サレマシタ爲ニ、非常ニ便宜ヲ得タコトハ私ト致シマシテ深ク諸君ノ御信任ニ對シ感謝ヲ表スル次第デアリマス、又第二ニハ諸君ニ對シテ御迷惑トハ御察シ申シマシタガ、災害救濟委員トシテ御囑託申上ゲマシテ、爾來諸君ハ日夜東西ニ奔走サレ市民ノ爲ニ拮据盡瘁サレマシタ御努力ニ付キマシテハ、私ハ市民ト共ニ諸君ノ勞苦ニ對シテ深ク感謝ノ意ヲ表スル所デアリマス、今回ノ災害ニ付キマシテハ之ヲ局部的ニ見マスレハ幾多遺憾ノ點アルト思ヒマスケレドモ、大局ニ考ヘテ見

マスルト云フト、我東京市民ヘ、此未曾有ノ大災厄ニ際シ、沈着ニ事ヲ處シ、又秩序ヲ守リ、衞生ヲ重ンジテ、互ニ自制ノ精神ヲ發揮シテ、靜ニ今日ニ至ル迄此災害ニ對シテ凌ギ來ツタト云フコトハ、私ハ誠ニ喜ブベク考ヘルノデアリマス、又官民公私一致ノ態度ニ依リマシテ、相倚リ相扶ケテ、サウシテ此善後策ヲ講ジマシテ、各種ノ名譽職府會議員諸君其他方面委員青年團在鄕軍人團等アラユル機關ガ努力致シマシテ、共々ニ此自治ノ精神ヲ發揮シテ事ニ當ラレタト云フコトハ非常ニ美ハシキコトデアルト信ズルノデアリマス、之ハ大局ヨリ見テ確カニ我々ハ大體ニ於テ大ニ滿足スベキ狀況デアツタト信ジマス、此際特ニ御報告申上ゲテ置キタイト思ヒマスルコトハ去ル十三日ニ　皇后陛下ヨリ特ニ市役所ニ御使ヲ賜ヘリマシテ御慰問ヲ恭ウ致シマシタコトデアリマス、ソレカラ十五日十八日ノ兩日　攝政宮殿下ガ親シク實地ヲ御視察ニナリマシテ、且ツ有難キ御下問ニ與ツタコトデアリマス。其後二十九日三十日ノ兩日ハ　皇后陛下ガ上野及青山學院內ノ東京市施設ノ療養所ニ行啓ニナリマシテサウシテ病傷者ニ對シテ特ニ慈愛ニ溢レタル御言葉ヲ賜ヘリマシテ御先導申上ゲ且ツ御說明ヲ申上ゲテ居リマシタ。我々共ニ取リマシテハ實ニ其光景ニ對シテ恐懼感泣ノ外ナカツタノデアリマス。其他各宮殿下並妃殿下ノ御慰問又御下賜品御下賜金等ガアリマシテ、我我ハ諸君ト共ニ此災害ニ對シテ我　皇室ヨリ特ニ御厚情ヲ寄セラレタト云フコトニ對シマシテ、深ク感激ニ堪ヘヌ次第デゴザイマス。震災後陸海軍ヲ首メト致シマシテ各都市並ニ府縣ヨリ深厚ナル同情又後援ヲ得マシタノデアリマシテ、御承知ノ通リ陸軍デハ治安ノ維持又陸海軍共同シテ物資ノ陸揚並ニ配給等ノ事ニ付イテ盡力ヲシテ與レラレタノデアリマス、各都市ノ中ニモ別シテ大阪市ハ各種ノ事柄ニ付イテ特別ノ援助ヲ與ヘラレタト云フコトヲ、玆ニ特ニ諸君ニ御報告ヲ致シマス、又各都市ニ於キマシテハ、特ニ市會ヲ開キ或ハ其他ノ正式ノ手續ヲ經マシテ我東京市ニ對シテ慰問ヲサレ、或ハ金品其他ノ物ヲ寄贈サレタコトデアリマシテ、之等ノ同情ニ對シマシテハ、我々ハ諸君ト共ニ深ク其好意ヲ感謝スル所デアリマス、震災後糧食ノ配給ニ付キマシテハ、各區ヲ通シテ配給シマシタ、米ハ約十五萬俵ニ上リマシテ、目下尙一日三千俵內外ヲ配給致シテ居リマス、又木材ハ震災事務局ヨリ交付ヲ受ケマシテ、十七日ヨリ始メテ十五萬石內今日迄約九萬石ヲ配給致シタ次第デアリマス、衣類ノ方ハ寄贈品ノ配付ヲ致シマシテ、又政府ニ於テ交付ヲ受クル所ノ各種ノ衣類ニ付キマシテ、之ヲ配給スル爲ニ特ニ市役所內ノ災害規程ノ中ニ配給部ト云フモノヲ置キマシテ、サウシテ是ノ配給ヲ圓滑ナラシムルコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、又各區ニハ六十九ケ所ノ「バラック」ヲ作リマシテ之ハ既ニ御承知ノ通リニ幾多ノ人ヲ收容シテ居リ、且ツ此「バラック」ノ未完成ノ分モ一番遲イ所デ此十日ニハ全部完成致スヤウニナツテ居リマス、學校ノ燒失シタモノニ對シマシテ此燒失小學校總數ガ百十八校ゴザイマスルガ、之等ニ對シマシテ取敢ヘズ三教室ノ程度ノモノヲ作リサウシテ二部教授ヲ致スト云フ覺悟ヲ以テ目下第一期ノ處置ヲ致シテ居ル所デゴザイマス、次ニ燒土ノ處分ニ付キマシテハ取敢ヘズ七萬五千立坪丈ケヲ處分ヲ致ス爲ニ、百萬圓程ノ豫算ヲ持チマシテ目下進行中デゴザイマスルガ、此成績ガ我々ノ眼ニモ誠ニ遲緩ノ感ガアリマスルノデ、昨今更ニ之ヲ促進スル所ノ方策ヲ樹テ如何ニモシテ本年中ニ殆ド總ベテノ處置ヲ付ケル所ノ方策ヲ是非共遂行シタイト云フコトヲ期シテ居ル所デアリマス、今回ノ震災ノ爲ニ我東京市ノ豫算ニ於キマシテ非常ナル變動ヲ來シマシタノデアリマスルガ、其收入ノ缺損ハ大凡二千萬圓ニ近イモノデアリマス、サウシテ又臨時應急ノ施設トシテ要スル所ノ費用モ約二千萬圓ニ上ルノデアリマシテ、其缺陷ヲ如何ニシテ補フカト云フコトハ非常ニ重大ナル問題デアリマスルガ、先ツ第一ニ各種ノ節約ヲ行ヒ又事業ノ打切ヲ致シマシテサウイフヤウナ點カラ二千萬圓程ノ餘裕ヲ見付ケマシタノデアリマスルカラ、此年度末ニ至リマシテハ差引約二千萬圓ノ缺損ヲ來タスト云フコトニナツテ居リマス。之ハ如何ニシテ處理スベキカト云フコトニ付キマシテハ政府ノ相當ノ諒解ヲ得テ我々ノ出來得ル限リノ處置ヲ諸君ト共ニ講ジタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス。從ツテ本年度ノ豫算ト致シマシテハ目下豫算ノ執行ヲ打切ツテ居リマシテ、各繼續事業ニ付イテモ新ラシイ事業ハ之ヲ止メサウシテ繼續中ノモノハ之ヲ打切リ、玆ニ遠カラズ更正豫算ヲ提出シ、本年度ノ所謂實行豫算ナルモノヲ作リマシテ、諸君ノ御協贊ヲ得タイト考ヘテ居ル次第デアリマス。今日ニ於キマシテハ震災後只應急ノ策ニ追ヘレテ來タノデアリマスルガ之カラ後ハ帝都ノ復興ト云フコトニ付イテ十分御互ニ思ヲ致サナケレバナラヌ時期ニナツテ來テ居ルノデアリマス、申ス迄モゴザイマセヌガ、去ル十二日ニ有難キ　御詔勅ガ出マシテ、其中ニモ帝都復興ニ付イテハ其善後策ハ獨リ舊態ヲ恢復スルニ止ラズ、進ンデ將來ノ發展ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ御言葉ガアツタノデアリマス、此聖旨ニ基キマシテ政府ニ於テモ復興院ヲ作ツテ國ノ力ヲ以テ帝都ノ復興ヲ畫スルト云フコトニナツテ居リマス。我々ハ帝都ノ市民ト致シマシテ此高遠ナル聖旨ニ對シ、深ク喚起シ且ツ感激スル所デアリマス、政府ガ復興院ヲ設ケテサウシテ帝都ノ復興ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテハ、之ハ實ニ我々ガ本來主張シ來ツタコトデアリマシテ、我東京市ノ問題ヲ地方問題ト考ヘズシテ之ヲ國家問題トシテ處置シテ貰ヒタイト云フコトハ常ニ當局ニ對シテ之ヲ要求シテ居リマシタ所デアリマスルガ、幸ニモ今回政府ガ復興院ナルモノヲ興シテサウシテ國費ヲ以テ帝都ノ復興ヲ圖ルト云フコトニナリマシタノハ實ニ我々ノ年來ノ主張ガ貫徹シタモノデアリマシテ衷心ヨリ深ク欣快ニ堪ヘナイ所デアリマス、就キマシテハ此際我々ハ末節ニ拘泥セズシテ大局ノ利害ヨリ打算シ、一日モ早ク此復興院ノ活動ヲ希望シテ且ツ復興院ノ活動ト相呼應シテサウシテソレト對應スル所ノ施設ヲ致シマシテ、一日モ早ク此帝都ヲ復舊スルノミナラズ、將來ノ發展ヲ期スルコトヲ努メタイト考ヘル次第デアリマス、斯カル未曾有ノ時期ニ際シマシテハ實ニ我々ハ非常ノ努力ヲ要スルト考ヘマス、又特別ニ一致協力スルコトガ大切デアルト思フノデアリマス。從ツテ斯カル歷史的ニ最モ特筆スベキ時代ニ於テ此困難ナル時局ニ當リ諸君ト共ニ此重大ナル責任ヲ果サムト致シマスルコトハ、之ハ又一面ヨリ見テ我々ノ一代ノ光榮ト感ゼザルヲ得ヌノデアリマス。願ハクハ今後諸君ト共ニ協心戮力致シマシテ此大災害ノ秋ニ處シテ、我々東京市民ヲ代表致ス諸君並ニ東京市政ノ局ニ當ル我々ガ如何ナル行動ヲ爲シタカト云フコトニ付イテ、我々ハ後世子孫ヲシテ我々ニ對シテ遺憾ヲ懷カシムルヤウナコトノ無イヤウニ、共々ニ十分相扶ケ相倚ツテ力ヲ致シタイト思フノデアリマス。玆ニ本日ノ開會ニ當リマシテ現狀ノ大要ヲ述ベ且ツ希望ヲ陳述致ス次第デアリマス。

議員瀧澤七郎は、小栗富五郎外十二名の贊成を得て、江東兩區地盤に關する質問書を提出し、燒土を以て江東兩區の地上げを爲すことに市會協議會に於て滿場一致を以て之を可決し、內務大臣へも再度上言する所あり、然るに今未だ着手せざるは、市の方針猶確立せざるに由るかと問ひ、永田市長は、燒土六十萬立坪之を江東に運ぶ考なりしも經費及時日の都合上全部の江東搬送は之を止め、約二十萬立坪を處分する方法を立て、差當り七萬五千立坪を處分することとして、更に豫

算を要求し、少くも五萬立坪以上は之を江東に運ぶの設計を爲しつゝありと答へ、議員寺田彌一郎は山口德二外四名の賛成者と共に、帝都復興に關し市長の畫策しつゝある程度如何を質問し、政府が復興院其他の機關を設けて帝都の復興に努力するは、市の自治的精神を培養し之に對して助力せんと欲するの計畫に出づ、東京市たるもの市自體の復興再建案を立て、以て政府の助力を仰がざるべからず、知らず市長は何等の成案を有するやと問ひ、市長は必ずしも成案を有せざるに非ず、而も政府方に復興院を設けて施設する所あらんとするに依り、內部に於て種々なる材料を提供し、市の意見を參酌して、速に計畫を確定せられんことを望み、政府の施設定まるを待ちて、乃ち之に順應し相扶けて協同事に當らんと欲すと答ふ。

是日戸倉嘉市外七十五名より都市計畫事業及特別市制施行に關する意見書提出の建議を爲す。

都市計畫事業及特別市制施行ニ關スル意見書提出ノ建議。

右提出候也。

大正十二年十月六日
提出者　戸倉嘉市　島田藤吉
中田敬義　大崎清作　三枝米太郎
垣見八郎右衛門　小島左馬太郎　松崎英太郎
吉川忠志　小島七郎　橋本直一
吉田勘右衛門　鈴木一朗　宮島清次郎
笠原文太郎　井上萬吉　託摩武彦
五木田次郎吉　尾後貫朝吾郎　山口德二
本田義成　片山久藏　三木武吉
田中康三　佐藤長祐　尾中勝也
若林成昭　福田又一　近藤達兒
中村舜二　安東正臣　秋山朗
鎌田芳太郎　天利庄次郎　金子東一
鈴木彌吉　西村吉兵衛　渡邊繁太郎
中村富三郎　村松恒一郎　河井榮三郎
小久江美代吉　寺田彌一郎　小坂梅吉
大野敬吉　大岩豐吉　久保三友
小森七兵衛　大石熊吉　有竹雅己
倉田金三郎　松永東　竹下延保
大野伴睦　村山賢作　宇都宮政市
早川庄太郎　松尾要　原伊三郎
小俣政一　長谷川吉次　中村萬吉
小栗富五郎　鈴木隆　木下常松
本宮辰次郎　磯部侗　森原嘉逸
小瀧辰雄　柳田諒三　瀧澤七郎
中南定太郎　角野庄太郎　廣橋嘉七郎

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

都市計畫事業及特別市制施行ニ關スル意見書
提出ノ建議

本市這次ノ大災害ハ、振古未曾有ノ凶變ニシテ、帝都ノ要區忽チニシテ焦土ノ曠野ト化シ、其ノ慘狀眞ニ言語ニ絕スルモノアリ。此ノ艱難ノ秋ニ方リ、市民ハ政府援助ノ下ニ、克ク不屈不撓ノ精神ヲ以テ善處シ、今ヤ帝都ノ復興ニ關シ熱烈ナル意氣ノ鬱勃タルモノアルハ、詢ニ本市ノ爲メニ意ヲ強カラシムルモノアリ、然ルニ復興ノ根幹タルベキ都市計畫ノ方針未ダ不明ナルガ爲メ、市民ハ其ノ適從スルトコロヲ知ラズ、延イテ復興ノ氣運尠カラズ停頓ノ實狀ニアルハ寔ニ遺憾ノ事ニ屬ス、冀クハ閣下深ク此ノ點ニ明鑑ヲ垂レラレ、速カニ計畫ヲ發表シ、以テ市民ヲシテ其據ルトコロヲ知ラシメラレンコトヲ、尙此機會ニ於テ本市ノ多年翹望シテ止マザル特別市制ヲ施行セラレ、帝都ノ復興ト自治ノ完美トニツナガラ速カナラシメラレムコトヲ切望ノ至ニ堪ヘズ。

右市制第四十六條ニ據リ、意見書提出候也。

年　月　日　　議　　長

內閣總理大臣
內　務　大　臣
帝都復興院總裁　宛

異議なく可決し、十一月十三日の市會には、帝都復興事業費に關する意見書提出の建議出づ。

帝都復興事業費ニ關スル意見書提出ノ建議。

右提出候也。

大正十二年十一月十三日
提出者　戸倉嘉市　島田藤吉
瀨川光行　中田敬義　大崎清作
垣見八郎右衛門　松崎英太郎　吉川忠志
小島七郎　橋本直一　吉田勘右衛門
笠原文太郎　五木田治郎吉　山口德二
本田義成　片山久藏　田中康三
佐藤長祐　尾中勝也　若林成昭
坪野房治　入山祐治郎　山本茂三郎
近藤達兒　中村舜二　安東正臣
秋山朗　鎌田芳太郎　天利庄次郎
金子東一　鈴木彌吉　西村吉兵衛
渡邊繁太郎　河井榮三郎　小久江美代吉
寺田彌一郎　小坂梅吉　大野敬吉
大山豐吉　久保三友　小森七兵衛
大石熊吉　長町康夫　有竹雅巳
倉田金三郎　松永東　竹下延保
大野伴睦　村山賢作　早川庄太郎
松尾要　國枝捨次郎　小俣政一
長谷川吉次　中村萬吉　小栗富五郎
木下常松　本宮辰次郎　磯部侗
森原嘉逸　小瀧辰雄　瀧澤七郎
中南定太郎　角野庄太郎　廣橋嘉七郎
高橋俊太

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

帝都復興事業費ニ關スル意見書

東京市ノ復興ハ、其帝都タルノ性質上一般都市ト全ク其地位ヲ異ニスルヲ以テ、其基幹トナルヘキ事業ハ、國ニ於テ之ヲ執行セラレ、其他ノ施設ハ凡テ本市自ラ之カ執行ノ衝ニ當ルベキハ、自治ノ本義ニ照ラシ固ヨリ當然ノコトニ屬ス。

而シテ其費用ノ負擔ニ關シテハ、國ニ於テ執行スル事業ニ就テモ法令ノ規定又ハ事業ノ性質上自治體ノ義務ニ歸セシムルヲ當然トスルノ費額ニ對シテハ、本市ニ於テ相當ノ負擔ヲナスベキハ勿論、本市自ラ執行スル事業ニ關シテモ、亦適當ナル國庫補助ノ下ニ、市財政ノ許ス限リ之カ經費支辨ノ途ヲ講ズルニ努メムトス。然レドモ災後甚大ノ打擊ヲ蒙リ、資源涸渇ニ陷リタル本市財政ノ現狀ヲ以テシテハ、何レノ支出ニ對シテモ向後之ガ調辨極メテ至難ニシテ、復興ノ前途轉タ寒心ニ堪ヘザルモノアリ。

故ニ此時艱ヲ濟フニハ、本市負擔ニ屬スル復興事業費ノ內起債ニ俟ツベキ費額ハ、全部國庫ヨリ無利子ノ貸付ヲ受ケ、之ガ償還ハ尠ク

トモ五年据置、二十年乃至三十年ノ年賦ヲ以テ完了スル計畫ノ下ニ本市財政ノ大本ヲ確立シ、政府ノ施設ト相俟テ帝都復興ノ完美ヲ計ルヨリ他ニ方途ナシ、冀クハ閣下深ク此點ニ明鑑ヲ垂レラレムコトヲ、

右市制第四十六條ニ據リ、意見書提出候也。

年　月　日　　議　　長

内閣總理大臣
内　務　大　臣
大　藏　大　臣
帝都復興院總裁　宛

亦異議なく即決す。

十二月三日帝都復興に關する意見書提出の建議を可決す。

帝都復興ニ關スル意見書提出ノ建議

及提出候也。

大正十二年十二月三日

提出者

戸倉嘉市　島田藤吉
瀨川光行　大崎清作　三枝米太郎
垣見八郎右衞門　小島左馬太郎　松崎英太郎
吉川忠志　小島七郎　橋本直一
吉田勘右衞門　笠原文太郎　井上萬吉
詫摩武彥　五木田治郎吉　尾後貫朝吾郎
山口德二　本田義成　片山久藏
田中康三　佐藤長祐　尾中勝也
若林成昭　坪野房吉　入山祐次郎
福田又一　山本茂三郎　近藤達兒
中村舜二　安東正臣　鎌田芳太郎
天利庄次郎　金子東一　鈴木彌吉
西村吉兵衞　渡邊繁太郎　中村富三郎
村松恒一郎　河井榮三郎　小久江美代吉
寺田彌一郎　小坂梅吉　大野敬吉
大岩豐吉　久保三友　小森七兵衞
大石熊吉　長町康夫　有竹雅巳
倉田金三郎　松永東　竹下延保
大野伴睦　森脇源三郎　村山賢作
宇都宮政市　松尾要　國枝捨次郎
原伊三郎　小俣政一　長谷川吉次
中村萬吉　小栗富五郎　鳩山一郎
木下常松　本宮辰次郎　磯部尚
森原嘉逸　小瀧辰雄　瀧澤七郎
中南定太郎　角野庄太郎　廣橋嘉七郎
高橋俊太

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

帝都復興ニ關スル意見書

東京市ハ輦轂ノ下ニアル帝國ノ首都ニシテ、其盛衰隆降ハ倶ニ國運ノ消長ニ關ス、隨テ之ガ復興建設ニ方リテハ、須ラク百年ノ長計大策ヲ案ジ、諸般ノ施設ニ萬遺算ナキヲ期セザルベカラズ、然ルニ政府ガ曩ニ復興院評議會ニ提示セラレタル案ハ、其規模狹小ニ過グルモノアルヲ以テ、本市會ハ、當時非公式ニ不滿ノ意ヲ表明シテ之ガ反省ヲ求メタルニモ拘ラズ、其後審議會ニ於ケル審議ハ益々本市ノ要望ニ遠ザカルニ至レリ、如此ハ獨リ本市ノ期待ニ背クコト甚シキモノアルノミナラズ、永ク禍ヲ後昆ニ貽スモノト謂ハザルベカラズ。冀クハ閣下深ク此點ニ明鑑ヲ垂レラレ、別冊本市會帝都復興計畫要旨、及本年十一月二十一日帝都復興院評議員會ニ於テ議決セラレタル希望條項ヲ容レラレ、以テ帝都タル本市ノ萬古不易ヲ企圖セラレムコトヲ切望ノ至リニ堪ヘズ。

右市制第四十六條ニ據リ、意見書提出候也。

年　月　日　　議　　長

内閣總理大臣
内　務　大　臣
大　藏　大　臣
帝都復興院總裁　各宛

（別　冊）

帝都復興計畫要旨

(甲)燒失區域內分

一、修築街路一覽表

番號	路線名	幅員	延長
一	品川八ツ山橋ヨリ、芝口、和泉橋、車坂ヲ經テ千住大橋北詰ニ至ル	一八間乃至二四間	八、四三〇間
	八ツ山橋ヨリ本芝一丁目ニ至ル	一八	
	本芝一丁目ヨリ芝口一丁目ニ至ル	二〇	
	芝口一丁目ヨリ車坂町ニ至ル	二四	
	車坂町ヨリ千住大橋ニ至ル	一八	
二	麹町九丁目ヨリ竹橋、兩國橋ヲ經テ龜戸町環狀線ニ至ル	一五乃至二四	四、九八〇
	麹町九丁目ヨリ竹橋外ニ至ル	一五	
	竹橋外ヨリ兩國橋西詰ニ至ル	二四	
	兩國橋西詰ヨリ龜戸町ニ至ル	一五	
三	有樂町一丁目ヨリ三原橋ヲ經テ月島二號地ニ至ル（荒川架橋ヲ除ク）	一五乃至二〇	
	有樂町一丁目ヨリ築地三丁目ニ至ル	一五	
	築地三丁目ヨリ荒川河岸ニ至ル	一五	
	月島二號地	二〇	
四	呉服橋外ヨリ永代橋、豐住町ヲ經テ砂町環狀線ニ至ル	二〇	三、一五〇
五	三越呉服店前ヨリ富澤町ヲ經テ矢ノ倉町ニ至ル	一二乃至二〇	八四〇
	三越呉服店前ヨリ伊勢町ニ至ル	一二	
	伊勢町ヨリ橘町二丁目ニ至ル	二〇	
	橘町二丁目ヨリ矢ノ倉町ニ至ル	一二	
六	車坂町ヨリ駒形町、柳島町ヲ經テ龜戸町環狀線ニ至ル	一二乃至二〇	二、五五〇
	車坂町ヨリ駒形町ヲ經テ京成橋際ニ至ル	二〇	
	京成橋ヨリ龜戸町環狀綿ニ至ル	一二	
七	大手町一丁目ヨリ中央氣象臺前ニ至ル	二〇	一、四五〇
八	相生橋南詰ヨリ門前仲町ヲ經テ豐岸町ニ至ル	一二乃至二〇	一、一一〇
	相生橋南詰ヨリ和倉町ニ至ル	二〇	
	和倉町ヨリ豐岸町ニ至ル	一二	
九	上野驛前	二〇	九〇
一〇	東京驛東口ヨリ龜島橋ヲ經テ永代橋西詰ニ至ル	一八乃至二八	九五〇
	東京驛東口ヨリ水谷町ニ至ル	二八	
	水谷町ヨリ永代橋西詰ニ至ル	一八	
一一	永樂町一丁目濠端ヨリ元千代田町ニ至ル	四〇	一一〇
一二	櫻田門外ヨリ新議事堂前ニ至ル	三〇	三五〇
一三	築地四丁目ヨリ龜島町、新大橋ヲ經テ大島町環狀線ニ至ル	一二乃至一八	三、七五〇
	築地四丁目ヨリ濱町三丁目ニ至ル	一八	
	濱町三丁目ヨリ大島町環狀線ニ至ル	一二	
一四	鍛冶橋外ヨリ彈正橋ヲ經テ船松町ニ至ル	一二乃至一八	八七〇

	鍛冶橋外ヨリ本八丁堀二丁目ニ至ル	一八	
	本八丁堀二丁目ヨリ船松町ニ至ル	一二	
一五	東京驛北口鐵瓶町ヨリ新常盤橋、淺草橋、今戸橋ヲ經テ白鬚橋際ニ至ル	一二乃至一八	三、七〇〇
	東京驛北口鐵瓶町ヨリ淺草橋際ニ至ル	一五	
	淺草橋際ヨリ御藏前片町ニ至ル	一八	
	御藏前片町ヨリ山ノ宿町ニ至ル	一五	
	山ノ宿町ヨリ今戸町ヲ經テ白鬚橋際ニ至ル	一二	
一六	淺草橋際ヨリ橋町ニ至ル	一八	三〇〇
一七	小網町四丁目ヨリ富澤町ニ至ル	一八	四三〇
一八	御藏前片町ヨリ田原町ヲ經テ南千住町常磐線踏切ヲ經テ南千住町南二四番地ニ至ル	一八	二、三四〇
一九	櫻田本郷町ヨリ芝公園ニ至ル	一八	六九〇
二〇	本所區中ノ郷竹橋ヨリ三ノ橋ヲ經テ木場町ニ至ル	一五	二、六一〇
二一	山ノ宿町ヨリ吉野橋ヲ經テ南千住町常磐線踏切ニ至ル	一五	一、〇五〇
二二	本郷眞砂町ヨリ本郷一丁目御藏前片町法恩寺橋ヲ經テ龜戸町環狀線ニ至ル	一二乃至一五	三、七二〇
	本郷眞砂町ヨリ御藏前片町ニ至ル	一五	
	御藏前片町ヨリ龜戸町環狀線ニ至ル	一二	
二三	道三町ヨリ小川町、御茶ノ水ヲ經テ本郷三丁目ニ至ル	一五	一、五〇〇
二四	一ツ橋外ヨリ鎌倉河岸、一石橋、土橋ヲ經テ宇田川町ニ至ル	一五	二、五八〇
二五	一ツ橋外ヨリ春日町ニ至ル	一五	一、一四〇
二六	竹橋外ヨリ九段下ヲ經テ飯田町ニ至ル	一五	一、〇一〇
二七	九段坂下富士見町一丁目英國大使館前ヲ經テ新議事堂前ニ至ル	一五	一、五〇〇
二八	虎ノ門外ヨリ溜池町ニ至ル	一五	八五〇
二九	虎ノ門外ヨリ飯倉三丁目ニ至ル	一五	七八〇
三〇	木挽町七丁目蓬萊橋際ヨリ芝離宮裏ヲ經テ芝浦埋立地ニ至ル	一五	一、六五〇
三一	須田町ヨリ昌平橋ニ至ル	一五	一二〇
三二	芝濱松町ヨリ將監橋ニ至ル	一五	二五〇
三三	永代橋東詰ヨリ汐見橋ヲ經テ砂町環狀線ニ至ル	一二	二、一〇〇
三四	龜島橋際ヨリ稻荷町ヲ經テ荒川ニ沿ヒ新魚市場ニ至ル	一二	一、〇二〇
三五	南新堀二丁目ヨリ中洲ヲ經テ荒川ニ沿ヒ兩國橋西詰ニ至ル	一二	一、二三〇
三六	深川區海邊町ヨリ靈岸町、中洲、美倉橋ヲ經テ入谷町ニ至ル	一二	四、二〇〇
三七	新常盤橋際ヨリ神田鍛冶町神田驛前ニ至ル	一二	三六〇
三八	小川町ヨリ昌平橋、天神町ヲ經テ池ノ端仲町ニ至ル	一二	一、〇二〇
三九	入谷町ヨリ山ノ宿、向島新小梅町ヲ經テ業平橋際ニ至ル	一二	一、五七〇
四〇	本所押上町ヨリ四ノ橋、小名木川橋ヲ經テ東平井町ニ至ル	一二	二、四九〇
四一	深川區越中島町ヨリ永代橋際ヲ經テ荒川ニ沿ヒ向島土堤ヲ寺島町環狀線ニ至ル	一二	四、八九〇
四二	魚河岸ヨリ思案橋ヲ經テ小網町三丁目ニ至ル	一二	三三〇
四三	築地小田原町新魚市場附近	一二	六五

二、修築運河一覽表

（イ）新鑿運河

番號	線路名	幅員	延長
一	横十間川ヲ洲崎川延長新鑿運河ニ連絡スルモノ	二二間	三五〇間
二	洲崎川ヲ横十間川延長新鑿運河ニ連絡スルモノ	二二	三五〇
三	大島川ノ曲線ヲ直鑿スルモノ	二二	四五〇
四	築地川ト楓川ヲ連絡スルモノ	一八	一六〇
五	西堀留川ト神田川ヲ連絡スルモノ	一八	五七〇

（ロ）改修運河

番號	線路名	幅員	延長
一	大川出口ヨリ横十間川ニ至ル小名木川	三〇間	一、三四〇間
二	大川出口ヨリ汐先橋ニ至ル築地川	二六	三四〇
三	大川出口ヨリ秋葉原驛ニ至ル神田川	二六	八七〇
四	大川出口ヨリ箱崎川ニ至ル日本橋川	二六	二六〇
五	北十間川ヨリ十間川ニ至ル横十間川	二二	二、〇〇〇
六	大川出口ヨリ越中島橋ニ至ル大島川	二二	二五〇
七	平久川ヨリ大横川ニ至ル大島川	二二	三三〇
八	横大川ヨリ新鑿運河ニ至ル洲崎川	二二	二七〇
九	大川出口ヨリ北十間川ニ至ル源森川	二二	三四〇
一〇	源森川ヨリ横十間川ニ至ル北十間川	二二	五三〇
一一	大島川ヨリ鹽濱川ヨリ平久川	二二	二三〇
一二	大川出口ヨリ横十間川ニ至ル竪川	二〇	一、五〇〇
一三	源森川ヨリ海面出口ニ至ル大横川	二〇	二、七二〇
一四	築地川ヨリ外濠川ニ至ル汐留川	一八	四二〇
一五	汐留川ヨリ神田川ニ至ル外濠川	一八	二八四〇
一六	大川出口ヨリ二十間川ニ至ル仙臺堀川	一八	一、〇六〇
一七	仙臺堀川ヨリ横十間川ニ至ル二十間川	一八	四八〇
一八	濱離宮際ヨリ合引橋ニ至ル築地川	一八	六〇〇
一九	櫻川ヨリ日本橋川ニ至ル楓川	一八	六六〇
二〇	外濠川ヨリ櫻川ニ至ル京橋川	一八	三四〇
二一	京橋川ヨリ龜島川ニ至ル櫻川	一八	四二〇
二二	日本橋川ヨリ新鑿運河ニ至ル西堀留川	一八	二〇〇
二三	秋葉原驛ヨリ牛込見附ニ至ル神田川	一五	一、五六〇

三、新設擴張公園一覽表

番號	公園名	箇所	面積
一	小石川公園	砲兵工廠跡	一三七、〇〇〇坪
二	錦絲堀公園	糧秣廠跡	一七、八〇〇
三	藏前公園	藏前高工及專賣局跡	三三、〇〇〇
四	向島公園	向島大川岸	一四三、〇〇〇
五	日本橋公園	日本橋區濱町	一〇、〇〇〇
六	駿河臺公園	神田駿河臺	一二〇、〇〇〇
七	江東公園	深川區本村町	五五、七〇〇
八	坂本公園擴張		二二、〇〇〇
九	淺草公園擴張		二一、四〇〇

（乙）燒失區域外分

一、修築街路一覽表

番號	線路名	幅員	延長
四四	池ノ端仲町ヨリ池ノ端七軒町ヲ經テ根津須賀町ニ至ル	一二間	八七〇間
四五	本郷三丁目ヨリ東片町、駕籠町ヲ經テ巢鴨橋ニ至ル	一五	二、〇一〇
四六	本郷眞砂町ヨリ傳通院前、竹早町、大塚辻町ヲ經テ池袋環狀線ニ至ル	一二乃至一五	二、七五〇
	本郷眞砂町ヨリ大塚辻町ニ至ル	一五	
	大塚辻町ヨリ池袋環狀線ニ至ル	一二	
四七	飯田橋ヨリ赤坂元町、江戸川橋、高田老松町ヲ經テ目白驛ニ至ル	一五	二、五五〇
四八	麴町九丁目ヨリ四谷見附、四谷鹽町ヲ經テ淀橋角筈ニ至ル	一五	一、七九〇
四九	麴町永田町一丁目ヨリ赤坂見附、青山四丁目ヲ經テ道玄坂下環狀線ニ至ル	一五	二、七九〇
五〇	赤坂福吉町ヨリ六本木町、廣尾橋ヲ經テ惠比須驛ニ至ル	一五	二、二八〇
五一	將監橋ヨリ聖坂、二本榎ヲ經テ五反田驛前ニ至ル	一五	二、三一〇
五二	芝園橋際ヨリ赤羽橋、飯倉三丁目、六本木、四谷鹽町ヲ經テ早稻田鶴卷町ニ至ル	一二乃至一五	四、三八〇

	芝園橋際ヨリ赤羽橋際ニ至ル	一二	
	赤羽橋南詰ヨリ飯倉三丁目ニ至ル	一五	
	飯倉三丁目ヨリ早稲田鶴巻町ニ至ル	一二	
五三	音羽町九丁目ヨリ小日向臺町、久堅町ヲ經テ東片町ニ至ル	一二	一、八〇〇
五四	第一高等學校西南角ヨリ茅町二丁目ニ至ル	一二	五一〇

二、修築運河一覽表

（ロ）修築運河

番號	線路名	幅員	延長
二四	海面出口ヨリ四ノ橋ニ至ル古川	一二間	一、九五〇間

三、新設擴張公園一覽表

番號	公園名	箇所	面積
一〇	市ケ谷公園	陸軍士官學校跡	九八、六〇〇
一一	大塚公園	大塚兵器支廠跡	七〇、六〇〇
一二	芝浦公園	芝區汐留町	七六、〇〇〇
一三	天現寺公園	麻布區廣尾町	一二九、〇〇〇
一四	戸塚公園	戸塚町	二二一、五〇〇

帝都復興計畫說明

一、本案ハ街路網ノ骨幹ニ於テ理想的高速度鐵道網ノ敷設ニ便利ナル樣考慮シタリ、高速度ノ鐵道ノ系統凡ソ左ノ如シ。

1、芝浦埋立地ヨリ銀座東仲通淺草橋ヲ經テ鐘ケ淵ニ至ル。

2、五反田ヨリ東京驛東口附近ヲ經テ千住大橋ニ至ル。

3、惠比須ヨリ日比谷小川町ヲ經テ巣鴨ニ至ル。

4、澁谷ヨリ馬場先ヲ經テ月島ニ至ル。

5、新宿ヨリ半藏門東京驛ヲ經テ砂町ニ至ル。

6、池袋ヨリ大手町坂本町ヲ經テ龜戸ニ至ル。

二、本案ハ運河ノ新鑿改修ニ意ヲ用キタリ、帝都復興院ノ案ニ比シ追加シタル主ナルモノ左ノ如シ。

1、大横川改修

2、仙臺堀改修

3、竪川改修

4、西堀留川延長新鑿

5、神田川萬世橋牛込見附間改修

6、外濠川改修

7、古川改修

三、本案ハ燒失區域外ニ於テ芝區芝園橋附近ヲ起點トシ、上野山下ニ達スル環狀道路ヲ計畫セリ。

四、新宿ヨリ龜戸ニ至ル所謂東西幹線ヲ本案ハ、九段坂ヲ避ケテ竹橋ヲ通過スルコトトセリ。

五、本案ハ各方面ヨリ中央市場ニ到達スルノ便宜ヲ特ニ考慮セリ。

六、本案ハ芝浦ニ通スル幹線ヲ計畫セリ。

七、本案ハ既定計畫タル所謂横町線ヲ尤モ有意義ニ考慮セリ。

八、本案ハ隅田川ニ沿フ直通道路ヲ計畫セリ。

復興計畫規模對照表

（甲）燒失區域內分

種別		東京市案	復興院案	復興院案ニ比シ増
街路橋梁	延長	一六三、二七五間	一三六、六二七間	二六、六四八間
	面積	一、七七七、一一〇坪	一、四七四、四七九坪	三〇二、六三一坪
	經費	四七〇、七九九、〇〇〇圓	三二一、八二三、〇〇〇圓	一四八、九七六、〇〇〇圓
運河	延長	二一、四四〇間	一一、七二〇間	九、七二〇間
	面積	四三七、九三〇坪	二五八、三〇〇坪	一七九、六三〇坪
	經費	七五、四九一、〇〇〇圓	二八、五七〇、〇〇〇圓	四六、九二一、〇〇〇圓
公園	箇所數	九ケ所	三ケ所	六ケ所
	面積	五六〇、七〇〇坪	九〇、〇〇〇坪	四七〇、七〇〇坪
	經費	八七、八七四、〇〇〇圓	一一、九〇〇、〇〇〇圓	七五、九七四、〇〇〇圓

（乙）燒失區域外分

種別		東京市案	復興院案	復興院案ニ比シ増
街路橋梁	延長	二四、〇四〇間	一七、三三五間	六、七〇五間
	面積	三三六、四八〇坪	二五二、一五〇坪	八四、三三〇坪
運河	延長	一、九五〇間	―	一、九五〇間
	面積	二三、四〇〇坪	―	二三、四〇〇坪
公園	箇所數	五ケ所	―	五ケ所
	面積	五九五、七〇〇坪	―	五九五、七〇〇坪

帝都復興計畫經費一覽表

種別	總費額	內譯 燒失區域內分	內譯 燒失區域外及其他ノ分
街路橋梁費	五六八、〇三九、〇〇〇円	四七〇、七九九、〇〇〇円	九七、二四〇、〇〇〇円
運河費	八四、九七九、〇〇〇	七五、四九一、〇〇〇	九、四八八、〇〇〇
公園費	一五四、七六八、〇〇〇	八七、八七四、〇〇〇	六六、八九四、〇〇〇
地下鐵道費	二一〇、八〇〇、〇〇〇	―	二一〇、八〇〇、〇〇〇
土地區劃整理費	四〇、五〇〇、〇〇〇	四〇、五〇〇、〇〇〇	―
港灣費	三五、〇〇〇、〇〇〇	―	三五、〇〇〇、〇〇〇
事務費	五四、七〇四、〇〇〇	三三、七三三、〇〇〇	二〇、九七一、〇〇〇
計	一、一四八、六八八、〇〇〇	七〇八、三九七、〇〇〇	四四〇、二九一、〇〇〇

（參照）

帝都復興計畫經費一覽表

種別	金額
街路橋梁費	三二一、八二三、〇〇〇円
運河費	二八、五七〇、〇〇〇
公園費	一一、九〇〇、〇〇〇
地下鐵道費	―
土地區劃整理費	四〇、五〇〇、〇〇〇
港灣費	―
事務費（東京復興費以外ノ分ヲ含ム）	二二、九三一、〇〇〇
計	四二五、七二四、〇〇〇

同時に議員小森七兵衛の發議に基き、東京市復興委員たる市會議員三十名名譽職參事會員五名に實行を附託す、然るに第四十七臨時議會は政府案に大削減を加へたり、是に於て十二月二十五日の市會に、永田市長は左の如く陳述す。

帝都復興ニ關スル臨時議會ハ召集セラレ、復興豫算ハ約一億圓ノ削減ヲ以テ兩院ヲ通過シタリ。帝都百年ノ長計ヲ案シテ計畫シタル意見ヲ各方面ニ陳述シタルニ拘ラス、兩院ヲ通過シタル復興豫算ハ我々ノ希望ヲ滿足スルニ足ラス、而モ不十分ナカラ復興豫算ノ確定セルハ喜ブ可シ、唯此上ハ復興豫算ノ不滿足ナル點ヲ補正スル途ヲ執ルニ在ルノミ、幸ニ貴族院ハ、政府ニ對シテ、慮ヲ遠キニ致シ、補正以テ大成ヲ期スルノ希望ヲ決議シ、首相亦適當ノ機會ニ補正ノ

途ヲ講スヘキコトヲ明言セリ、臨時議會ニ決定シタル政府執行ノ復興事業ハ、街路、運河、公園、土地整理ノ四ニシテ、內東京ニ對スル分三億六百六十七萬八千餘圓也、之ニ對スル市ノ分擔額一億三千二十一萬圓餘、是レ政府ノ直接ニ執行スル者ニ係リ、市ノ執行事業、道路橋梁、下水道、上水道、公園、塵芥處分、中央市場、教育施設、衞生施設、社會事業、電氣事業ヲ合シテ一億八千二百六十四萬餘圓國庫補助金五千五萬圓餘ヲ差引キ一億三千二百四十八萬圓餘ハ市ノ負擔スヘキ費額ニ屬ス、外ニ議會カ市ニ移ス目的ヲ以テ削除シタル十二間未滿ノ街路擴築費半額ヲ國庫ノ補助ヲ得ルト假定シテ市ノ負擔三千三百十八萬圓餘有リ、去レハ大正十二年度ヨリ十七度ニ至ル間ニ市ノ負擔スヘキ金額大約三億圓ニシテ、五箇年間無利息ヲ以テ政府ヨリ借入レ、其後三十箇年ニ之ヲ償還スル筈ナリ、市ハ此ノ負擔三億圓ノ外、區役所再築、小學校設備復舊、其他復舊費概算三千二百十萬圓、更ニ區劃整理ヲ市ニ於テ行ハンカ、同費四千五十萬圓中削減セラレタル三千二百萬圓ヲ市ノ負擔ニ加ヘサル可カラス、政府カ執行セントシテ議會ノ理解ヲ得サル爲メ執行スル能ハサルニ至リタル事業ニ對シテハ、政府モ十分ニ援助ヲ與フルコトト信スルモ、我々ニ在リテモ之ヲ要求スルニ努力セサレハ不可ナリ。事玆ニ至リタルハ全ク諸君ノ努力ニ依ルト共ニ、今後亦同シク市民ノ理解諸君ノ協力ノ上ニ復興ノ大事業ヲ遂行セサレハ能ハサル也。

斯くて市會に緊急動議出で、帝都復興に關する意見書提出の建議、議員村松恒一郎說明して謂へらく、嚮に市會は帝都復興に關する意見書を提出し、實行委員を設けて種々運動する所ありしも、其結果は諸君の知る所の如く、僅に貴族院に於て希望決議を見たるに過ぎず、政府案已に不滿足なりしに議會の削減に逢へるは遺憾の至りと謂ふべし、此場合市會は意思の在る所を政府に表明せざるべからず、是れ本意見書を提出せんとする所以なりと。

帝都復興ニ關スル意見書

本市會ハ、本市カ帝都タルノ地位ニ鑑ミ、其復興建設ヲ按スルニ方リテハ、須ラク百年ノ長計大策ヲ樹テ、以テ諸般ニ施設ニ萬遺算ナカラシムヘキコトヲ希ヒ、曩ニ其計畫要旨ヲ具シ稟請スル所アリシモ、事豫期ニ反シ、政府ノ提案已ニ規模狹小ナルニ議會ハ更ニ多大ノ修正ヲ加ヘ、本市ノ要望ト愈遠サカルニ至リシハ遺憾措ク能ハサル所タリ、然レトモ貴族院ハ別ニ見ル所アリ、帝都ノ復興ニ關シテハ克ク慮ヲ遠キニ致シ、補正以テ其ノ大成ノ期スヘキモノナリト決議セラレタルハ、本市ノ爲メ頗ル意ヲ强カラシムルモノアリ、惟フニ政府亦必スヤ此決議ノ趣旨ヲ尊重シテ考慮セラルヽ所アルヲ疑ハスト雖、冀クハ閣下深ク思ヲ帝都ノ將來ニ致シ、更ニ完全ナル復興補足ノ計畫ヲ確立セラルルト共ニ、之カ實行ニ關シテハ、財源ヲ按シ緩急ヲ圖リ、以テ其宜シキヲ制セラルルハ論ヲ俟タスト雖、重キヲ本市會決定ノ計畫要旨ニ置キ、築港運河公園ハ勿論、殘存區域ニ於ケル既定都市計畫ノ遂行ヲ期シ、尙燒失區域ノ區劃整理ハ帝都ノ復興ニ深甚ノ影響アルカ故ニ、之カ實施ニ關シ最善ノ方法ヲ講シ、以テ來ル通常議會ニ提案セラレムコトヲ切望ス。

右市制第四十六條ニ據リ、意見書提出候也。

年　月　日　　議　　長

總理大臣
內務大臣　宛
大藏大臣

異議なく之を可決し了る。

一　計畫決議

帝都復興事業として東京市の執行すべきは、街路の復舊及新設なり、土地の區劃整理なり、上水道の復舊及擴張、下水道の復舊及速成、公園の增設、塵芥處分設備、中央市場の建設、衞生施設、教育施設・社會事業、電氣事業なり、市は大正十三年二月六日の市會に、

帝都復興費繼續年期及支出方法
帝都復興費大正十二年度豫算
水道復興費繼續年期及支出方法
水道復興費大正十二年度豫算
街路修築並土地區劃整理施行ノ件

を附議し三月十二日、

街路修築並土地整理費繼續年期及支出方法
街路修築並土地整理費大正十二年度豫算
街路修築並土地整理事業費起債ニ關スル件
中央卸賣市場分場建設費繼續年期及支出方法
中央卸賣市場分場建設費大正十二年度豫算

十七日、

東京市電軌道事業復興費繼續年期及支出方法
東京市電氣供給事業復興費繼續年期及支出方法
大正十三年度東京市電氣軌道事業費歲入出追加豫算
大正十三年度東京市電氣供給事業歲入出追加豫算

を附議す。

(1) 帝都復興事業　計畫左の如し。

第二號

（自大正十二年度至大正十七年度）東京市帝都復興費繼續年期及支出方法

帝　都　復　興　費

一金一億三千二百六十四萬百圓

內　譯

金三百五萬圓	大正十二年度支出額
金二千九百十五萬圓	大正十三年度支出額
金二千八百八十二萬五千圓	大正十四年度支出額
金二千八百六十萬圓	大正十五年度支出額
金二千百七十萬圓	大正十六年度支出額
金二千三十一萬五千百圓	大正十七年度支出額

帝都復興事業トシテ本市ノ執行スヘキ所要經費ヲ六箇年繼續費トシテ計上シタリ。

東京市繼續帝都復興費支出計算表

科目		大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	計
款	項							
一帝都復興費		三、〇五〇、〇〇〇円	二九、一五〇、〇〇〇円	二八、八二五、〇〇〇円	二八、六〇〇、〇〇〇円	二一、七〇〇、〇〇〇円	二〇、三一五、一〇〇円	一三二、六四〇、一〇〇円
	一道路橋梁改築費	六〇〇、〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	二、九五五、一〇〇	一六、〇五五、一〇〇
	二下水道改良費	一、五〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	四三、五〇〇、〇〇〇
	三公園費	九五〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇	一、四五〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇

四 塵芥處分設備費	—	六〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	六五〇、〇〇〇	—	—	一、八五〇、〇〇〇
五 中央卸賣市場建設費	—	四、五〇〇、〇〇〇	五、二五〇、〇〇〇	五、二五〇、〇〇〇	—	—	一五、〇〇〇、〇〇〇
六 小學校建設費	—	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	六、六二〇、〇〇〇	三八、六二〇、〇〇〇
七 施療病院新設備	—	三五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	—	—	—	六〇〇、〇〇〇
八 實費診療所新設費	—	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	—	二、五〇〇、〇〇〇
九 社會事業施設費	—	九〇〇、〇〇〇	九三五、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	四、五三五、〇〇〇

東京市繼續帝都復興費支出計算表說明

科目		支出額	種目	金額				
款	項		種目	金額				
一、帝都復興費		一三二、六四〇、一〇〇円						
	一 道路橋梁改築費	一六、〇五五、一〇〇						
			一 道路修築	二八〇、〇〇〇円		鋪木道	五、五〇〇坪	一五四、〇〇〇円
						鋪石道	一、〇〇〇坪	三四、〇〇〇
						瀝青混凝土道	一、五〇〇坪	一八、〇〇〇
						瀝青マカダム道	二、九〇〇坪	二九、〇〇〇
						混凝土道	四、五〇〇坪	三六、〇〇〇
						緣石	一、〇〇〇間	九、〇〇〇
			二 橋梁復舊	一、九七二、〇二〇			二〇九橋	
			三 橋梁改築	一二、八五〇、八四六			一三六橋	
			四 橋梁費補助	二一二、二三四		復舊補助	四五橋	六二、三八〇
						改築補助	一六橋	一四九、八五四
			五 設計竝監督費	七四〇、〇〇〇				
			一 事務費	二、三六一、〇〇〇				
			二 災害復舊費	三七四、〇〇〇		三河島汚水處分場工作物諸機械		一〇二、〇〇〇
					淺草喞筒場	工作物諸機械		一一八、九〇〇
						建物		六三、五〇〇
						其他建物		三二、七〇〇
						管渠其他		五六、九〇〇
	二 下水道改良費	四三、五〇〇、〇〇〇						
			三 第一期工事完成費	二二〇、〇〇〇	線路	枝線管渠	四、七二五尺	一四、五三七
						人孔	四二箇	九、六六一
						洗滌扉	一箇所	二一九
						雨水桝	五一箇	五、四八七
						汚水桝	一六六箇	六、六九五
						取付	一、九九五尺	三、五五二
						土工		一四、九五八
						管運搬竝製管型枠		三、四四四
						障害物除却道路復舊其他		一六、〇三七
					三河島汚水處分場	事務所 鐵筋混凝土造二階建	延 一二〇坪	三七、〇〇〇
						附屬家 木造瓦葺平家建	四七坪二	八、六〇〇
						門衞所 煉瓦造スレート葺	延 七坪	二、七五〇
						正門	一箇所	二、〇〇〇
						一、二等公舍 外壁鐵筋混凝土造平家建	延 四六坪	一三、七〇〇
						三等公舍 外壁鐵筋混凝土造二階建	延 七六坪八五四	二一、六九〇
						四等公舍 外壁鐵筋混凝土造二階建	延 八九坪	二一、八四〇
						附帶設備		一三、三三〇
						場內植樹竝庭園設備		二〇、〇〇〇
						機械器具		三、〇〇〇
						雜費		一、五〇〇

四　第二期工事費　一五、一一〇、〇〇〇

線路	自水天宮前至海運橋幹線	二、五五七尺	一二九、一九四
	自新富橋至合引橋海運橋幹線	五、七二四尺	一九六、二三七
	自海運橋至錢瓶町喞筒場幹線	二、五〇五尺	二五九、五七四
	自數寄屋橋至吳服橋幹線	三、三五〇尺	九一、九五六
	自八重洲町至錢瓶町喞筒場幹線	四、〇四六尺	一一八、三二七
	自新錢座町至芝閘橋	四、三〇二尺	一一七、九〇四
	自錢瓶町喞筒場至大手町	一、七三〇尺	一二〇、五〇〇
	自大手町至芝浦喞筒場	一七、五一〇坪	二、四九〇、七〇八
	枝線管渠竝附帶工事	四九八、八六〇尺	八、四九五、六〇〇
錢瓶町喞筒場	喞筒竝諸機械		四〇一、二六〇
	諸建物		四三八、八〇〇
	沈砂地		一六八、〇〇〇
	土工		一六〇、二〇〇
	雜工事		一八八、三九〇
	雜費		三三、三五〇
芝浦喞筒場	喞筒竝諸機械		三六二、五七四
	諸建物		四三九、四六〇
	沈砂地		一三五、五八六
	敷地地均竝土工		三六四、四二五
	雜工事		三五七、〇一三
	雜費		四〇、九四二

五、第三期第一區工事費　四、四九九、〇〇〇

高線段路	自五番町至虎ノ門及土橋	一二、四五五尺	七二〇、三六〇
	自虎ノ門至赤羽橋	六、四八一尺	三八六、六四〇
	自赤羽橋至芝浦	六、九〇六尺	五四一、〇〇〇
中線段路	自飯田町橋至大手門	八、二六〇尺	一三三、五五七
	自昌平橋至大手門竝自水道橋至神田橋	一一、八七二尺	九〇一、二一七
	枝線管竝渠附帶工事	二一、一二〇尺	二五三、二二六
低線段路	自小石川橋經錦町河岸至日本銀行前	一〇、一八七尺	三七七、一八五
	枝線管渠竝附帶工事	七〇、六三九尺	一、〇〇七、八一五

線路	自業平橋至吉田町	三、六六〇尺	一三三、九二八
	自吉田町至富川町	六、三二七尺	六八七、七八四
	自富川町及越中島至木場喞筒場	一〇、〇六〇尺	一、四七〇、一五三
	自木場喞筒場至砂町處分場	一五、二五五尺	一、三八六、四五九
	枝線管渠竝附帶工事		六、六〇四、六七六
業平橋喞筒場	喞筒竝諸機械		三四七、一九八
	諸建物		三七三、七三〇
	沈砂地竝附帶工事		二八七、五八〇
	敷地地均竝土工		三五六、二〇〇
	雜費		三五、二九二
	喞筒竝諸機械		四八八、八四九
	諸建物		四四五、三八〇

		六、第三期第三區工事費	一八、四七三、〇〇〇	三橋喞筒場	沈砂地竝附帶工事	三四六、六九〇
					敷地地均竝土工	二七六、四〇〇
					雜費	三七、六八一
				木場喞筒場	喞筒竝諸機械	一、二六七、二八四
					諸建物	五〇三、七五〇
					沈砂地竝附帶工事	四〇一、七三〇
					敷地地均竝土工	三一五、四〇〇
					雜費	五一、八三六
				砂町處分場	敷地竝護岸	六〇一、六九二
					沈砂地竝附帶工事	一九三、四七八
					沈澱池竝附帶工事	四七〇、八三四
					滓渣槽竝附帶工事	四七、二四三
					喞筒竝諸機械	八二六、三六四
					諸建物	三九三、一五〇
					雜工事	一二二、二三九
		七　機械器具費	一、二五〇、〇〇〇			
		八　雜工事費	七〇〇、〇〇〇			
		九　豫備費	五一三、〇〇〇			
三　公園費	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一　用地費	九、〇〇〇、〇〇〇			
		二　植物費	二一二、二五〇			
		三　土木費	二三一、五〇〇			
		四　營繕費	三七六、二五〇			
		五　設計竝監督費	一八〇、〇〇〇			
		一　用地費	三六〇、〇〇〇			

四　塵芥處分設備費	一、八五〇、〇〇〇	二　建築費	六七二、九〇〇	
		三　設備費	七五三、一八〇	
		四　設備竝監督費	六三、九二〇	
五　中央卸賣市場建設費	一五、〇〇〇、〇〇〇	一　用地費	六、五四七、五〇〇	
		二　建築費	四、二九九、四〇〇	
		三　設備費	三、六五一、一四三	
		四　設計竝監督費	五〇一、九五七	
六　小學校建設費	三八、六一〇、〇〇〇	一　小學校建設費補助	三五、一九二、三六六	一〇九校
		二　直營小學校建設費	二、五八二、九二四	校舍　鐵筋混凝土造三階建　延八、八〇〇坪
		三　設計竝監督費	八三四、七一〇	
七　施療病院新設費	六〇〇、〇〇〇	一　用地費	二二〇、〇〇〇	
		二　建築費	三一八、八〇〇	
		三　設備費	四九、五〇〇	
		四　設計竝監督費	一一、七〇〇	
八　實費診療所新設費	二、五〇〇、〇〇〇	一　用地費	一、二〇〇、〇〇〇	
		二　建築費	一、〇八一、五〇〇	
		三　設備費	一六九、九五〇	
		四　雜工事費	一二、五〇〇	
		五　設計竝監督費	三六、〇五〇	
		一　職業紹介所新設費	四三四、二五〇	
		二　託兒竝兒童健康相談所新設費	七七五、五〇〇	

九 社會事業施設費	四、五二五、〇〇〇	三 婦人授產場費	四八七、〇〇〇
		四 公衆食堂新設費	四八三、四〇〇
		五 簡易宿泊所新設費	一、四四八、四〇〇
		六 貸屋新設費	一七〇、三五〇
		七 浴場新設費	五八三、九〇〇
		八 設計竝監督費	一四二、二〇〇

市參事會審査意見

大正十三年一月三十日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

第四號

大正十三年二月一日提出　東京市長　永田秀次郎

大正十二年度東京市震災善後費歲入出追加豫算

歲　入

一金三百五萬圓　歲入豫算高

歲　出

一金三百五萬圓　歲出豫算高

大正十二年度東京市震災善後費歲入出追加豫算

歲　入

豫算			豫算説明	
科目		豫算額	種目	豫算額
款	項			
三 市債		一、七三三、三三三円		
	二 市債	一、七三三、三三三	一 公債募集金	一、七三三、三三三円
八 國庫補助金		一、三一六、六六七		
	一 帝都復興費補助	一、三一六、六六七	一 復興費補助	一、三一六、六六七
歲入合計		三、〇五〇、〇〇〇		

歲　出

豫算			豫算説明				
科目		豫算額	種目	豫算額			
款	項						
五 繼續帝都復興費		三、〇五〇、〇〇〇円		円			
	一 道路橋梁改築費	六〇〇、〇〇〇	一 道路修築	二〇〇、〇〇〇			
			二 橋梁復舊	三二〇、〇〇〇			
			三 橋梁改築	六八、〇〇〇			
			四 設計竝監督費	一二、〇〇〇			
	二 下水道改良費	一、五〇〇、〇〇〇	一 事務費	七二、〇〇〇			
			二 災害復舊費	三〇二、〇〇〇			
					三河島汚水處分場工作物諸機械		一〇二、〇〇〇円
					淺草喞筒場		
					工作物諸機械		一一八、九〇〇
					建物		三六、三〇〇
					其他建物		一六、三五〇
					管渠其他		二八、四五〇
			三 第一期工事完成費	二二〇、〇〇〇			
					線路		
					枝線管渠	四、七二五尺	一四、五三七
					人孔	四二個所	九、六六一
					洗滌扉	一個所	二一九
					雨水桝	五一個	五、四八七
					汚水桝	一六六個	六、六九五
					取付費	一、九九五尺	三、五五二
					土工		一四、九五八
					管運搬竝製管型枠		三、四四四
					障害物除却道路復舊其他		一六、〇三七
					事務所鐵筋混凝土造二階建	延一二〇坪	三七、〇〇〇
					附屬家木造瓦葺平家建	延四七坪二	八、六〇〇
					門衞所煉瓦造スレート葺	延七坪	二、七五〇
					正門	一個所	二、〇〇〇
					一、二等公舍 外壁鐵筋混凝土造平家建	延四六坪	一三、七〇〇
					三等公舍 外壁鐵筋混凝土造二階建	延七六坪八五四	二一、六九〇

四等公舍外壁鐵筋混凝土造二階建		延八九坪	二一、八四〇
附帶設備			一三、三三〇
場内植樹竝庭園設備			二〇、〇〇〇
機械器具			三、〇〇〇
雜費			一、五〇〇
四 第二期工事費	八九三、〇〇〇		
線路 自錢瓶町喞筒場 至大手町		一、七三〇尺	一二〇、五〇〇
線路 自大手町 至芝浦喞筒場		五、四三一尺	七七二、五〇〇
五 豫備費	一三、〇〇〇		
一 用地費	九三二、〇〇〇		
二 設計竝監督費	一八、〇〇〇		
三 公園費	九五〇、〇〇〇		

説明　第二號議案ニ伴ヒ、本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十三年一月三十日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年二月一日提出　　東京市長　永田秀次郎

議員小森七兵衛、案に歳出ありて歳入の計畫なきを訝り、各事業計畫に對する理事者の詳細なる説明を求め、番外二番馬渡俊雄、收入の精細なるは各年期實行豫算提出の際に詮議を乞ふ事とし、收入内容及事業大體の説明は、印刷中なるを以て、之を配付する日に讓るべしと答へ、本田義成の發議に基き、調査委員十五名の審査に付す、議長乃ち左の委員を指名す。

第二號第四號二議案調査委員

一番 戸倉嘉市　二番 島田藤吉
八番 小島左馬太郎　十一番 遠藤憲治
十九番 託摩武彦　二十二番 山口德二
三十番 伊藤仁太郎　三十一番 坪野房治
四十四番 西村吉兵衛　五十九番 長町康夫
六十二番 松永東　七十番 國枝捨次郎
八十五番 小瀧辰雄　八十四番 瀧澤七郎
八十七番 廣橋嘉七郎

三月十二日の市會に調査委員の報告あり。

第二號議案調査委員意見報告

委員ハ實地ヲ踏査シ、屢〻集會審議ノ末、左記希望ヲ附シ、原案ヲ可決スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年三月七日　委員長 三十番 伊藤仁太郎
理事 一番 戸倉嘉市　十一番 遠藤憲治
八十四番 瀧澤七郎　八番 小島左馬太郎
委員 二番 島田藤吉　二十一番 山口德二
十九番 託摩武彦　四十四番 西村吉兵衛
三十一番 坪野房治　六十二番 松永東
五十九番 長町康夫　八十二番 小瀧辰雄
七十番 國枝捨次郎
八十七番 廣橋嘉七郎

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

希望

一、第三項公園費ハ、燒失區域内小學校百十七校中、五十校ノミニ對シ公園ヲ附置スルノ計畫ナルモ、殘餘ノ六十七校ニ對シテモ、亦更ニ相當ノ方法ヲ講シ、以テ各校ニ九百坪以上ノ公園ヲ附設セラレムコトヲ望ム。

一、前項公園ニ對シテハ、鑿井ヲ施工シ、平時ハ撒水用其他ニ、有事ノ際ハ應急ノ備ニ充テシメラレムコトヲ望ム。

一、第五項中央卸賣市場建設費中、從來ノ當業者ニシテ、權利喪失者ニ對シ、何等補償ノ手續アルヲ見ス、故ニ之カ實施ニ方リ、其實情ニ鑑ミ、之等權利喪失ニ相當スル補償ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム。

一、第九項社會事業施設費ニ關シテハ、其ノ實施ニ方リ社會ノ實情ニ鑑ミ、緩急其宜シキヲ得ムコトヲ望ム。

久保三友發議して、希望條件第三の權利喪失者に對する補償の一項を削り、委員長報告通り可決せんことを望み、坪野房治、動議に反對して、中央市場法に據れば、第七條に市場の權利は賠償すると明記しあるに拘らず、本豫算中補償の途を講じたるものなし、三百年間の努力を以て築き上げたる權利の喪失に對し、何等の補償をも爲さざる如き、實に由々しき社會問題なりと論ず、採決の結果久保議員の動議贊成者多數にして、希望條件第三項を削り、次で委員長報告案を可決す。

第四號議案調査委員意見報告

委員ハ實地ヲ踏査シ、屢集會審議ノ末、左記希望ヲ附シ、原案ヲ可決スルコトヲ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年三月七日　委員長 三十番 伊藤仁太郎
理事　委員略

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

希望

一、第三項公園費ハ、燒失區域内小學校百十七校中五十校ノミニ對シ公園ヲ附置スルノ計畫ナルモ、殘餘ノ六十七校ニ對シテモ、亦更ニ相當ノ方法ヲ講シ、以テ各校ニ九百坪以上ノ公園ヲ附置セラレムコトヲ望ム。

一、前項公園ニ對シテハ、鑿井ヲ施工シ、平時ハ撒水用其他ニ、有事ノ際ハ應急ノ備ニ充テシメラレムコトヲ望ム。

異議なく、委員長報告通り可決す。

大正十三年度分は、大正十三年第三十四號議案大正十三年東京市震災善後費歳入出豫算中に於て市會の議に附したり、所謂大正十三年度震災善後費豫算は、

第三十四號

大正十三年度東京市震災善後費歳入出豫算

歳入

一金四千六百六拾六萬四千貳百貳拾六圓　歳入豫算高

歲出

一金四千六百六拾六萬四千貳百貳拾六圓　歲出豫算高

大正十三年度東京市震災善後費歲入出豫算

歲入

豫算 科目 款	豫算 科目 項	豫算 豫算額	豫算說明摘抄 種目	豫算說明摘抄 豫算額
一使用料		七九、三七二円		
	一精米所使用料	一三、三八〇	一精米所	一三、三八〇円
	二宿泊所使用料	六五、九九二	一宿泊所	六五、九九二
二國庫補助金		一〇、八六一、七二八		
	一復興事業費補助	一〇、一五一、六六六	一復興事業費補助	一〇、一五一、六六六
	二職業紹介所費補助	一一、三〇六	一職業紹介所費補助	一一、三〇六
	三療養所費補助	五三、六四〇	一療養所費補助	五三、六四〇
	四市債利子補給	六四五、一一六	一市債利子補給	六四五、一一六
三府補助金		一三二、五三四		
	一傳染病豫防費補助	一三二、五三四	一傳染病豫防費補助	一三二、五三四
四財產賣拂代		一、六〇〇、〇〇〇		
	一土地賣拂代	一、六〇〇、〇〇〇	一土地賣拂代	一、六〇〇、〇〇〇
五繰越金		一、三三七、〇九七		
	一前年度繰越金	一、三三七、〇九七	一前年度繰越金	一、三三七、〇九七
六雜收入		五、四九六、一四二		
	一物資賣上代	五、三〇〇、〇〇〇	一物資賣上代	五、三〇〇、〇〇〇
	二貸屋收入	一七一、一四二	一貸付金償還	一五八、四一七
			二貸付金利子	一三、六七四
			三預金利子	五〇
	三雜入	二五、〇〇〇	一雜入	二五、〇〇〇
七市債		二七、一五八、三三四		
	一市債	二七、一五八、三三四	一公債募集金	一八、九九八、三三四
			二借入金	八、一六〇、〇〇〇
歲入合計	四六、六六四、二二六			

歲出

豫算 科目 款	豫算 科目 項	豫算 豫算額	豫算說明摘抄 種目	豫算說明摘抄 豫算額
一市役所費		四四八、六七四円		
	一雜給	六、四八〇	一費用辨償	六、四八〇円
	二自動車運轉費	六四、七九八	一運轉手竝助手給	二〇、一〇〇
			二手當	九、一〇九
			三備品	一三、九三〇
			四消耗品	一三、六〇〇
			五賄費	一八三
			六被服費	一、六三五
			七修繕費	六、八〇〇
			八雜費	四一二
	三營繕費	三七七、三九六	一セメント倉庫改築費	二八〇、〇〇〇
			二自動車庫建築費	四七、五八〇
			三製管工場建設費	三九、八一六
			四假倉庫建設費	一〇、〇〇〇
二圖書館費		六六、七四四		
	一設備費	六六、七四四	一備品	九、一四四
			二圖書費	五七、六〇〇
三道路費		七七三、〇〇〇		
	一工事費	五六五、六〇〇	一工事費	五三七、六〇〇
			二設計竝監督費	二八、〇〇〇
	二設備費	二〇七、四〇〇	一諸設備	二〇七、四〇〇
四汚物掃除費		一二八、〇〇〇		
	一塵芥運搬船建造費	五〇、〇〇〇	一傳馬船	五〇、〇〇〇
	一屎尿處分設備費	七八、〇〇〇	一屎尿船	四六、〇〇〇
			二擁壁	二四、〇〇〇
			三諸設備	六、〇〇〇
			四雜工事	二、〇〇〇
五消毒費		四三、七六〇		
	一消毒所營繕費	三〇、七六〇	一營繕費	三〇、七六〇
	二特許消毒所竝設備借受料	一三、〇〇〇	一特許消毒所竝設備借受料	一三、〇〇〇
六傳染病院費		三四、七三〇		
	一本所病院營繕費	三四、七三〇	一營繕費	三二、〇〇〇
			二設計竝監督費	二、七三〇
七療養所費		三五、四〇〇		
	一營繕費	三五、四〇〇	一各所造修	三五、四〇〇
八精米所費		一三、一一七		
	一雜給	二、六〇五	一報酬	八四〇
			二手當	四六九
			三小使給	一、〇九五
			四傭人料	一七五
			五舟車馬賃	二六
	二需用費	九、〇九二	一備品	八〇〇
			二消耗品	八〇〇
			三印刷	一〇〇
			四通信費	五〇
			五賄費	二三九
			六被服費	一〇三
			七電氣料	七、〇〇〇

		三諸費	九二〇	一物件借受料	七二〇
				二雜費	二〇〇
		四營繕費	五〇〇	一各所造修	五〇〇
九物資供給費	五、三〇〇、〇〇〇	一給料	三八、三七六	一主事技師給	四、八〇〇
				二事務員技手給	二〇、九七六
				三雇員給	一二、六〇〇
		二雜給	三三四、一九五	一報酬	二二、八六〇
				二手當	四一、六三〇
				三旅費	六七九
				四給仕給	七八九
				五傭人料	二六六、七四二
				六舟車馬賃	一、四九五
		三需用費	四二、七〇五	一備品	二、七二五
				二消耗品	四、九三〇
				三印刷	三、五〇〇
				四賄費	三三九
				五通信運搬費	三一、五四六
				六被服費	一一五
				七電氣料	五四〇
		四諸費	二〇、一二五	一宣傳費	二、七〇〇
				二物件借受料	一三、八〇〇
				三雜費	三、六二五
		五營繕費	四、〇〇〇	一各所造修	四、〇〇〇
		六物資仕入費	四、八六九、五六九	一物件仕入費	四、八六九、五六九
十社會事業費	六四六、五七五	一臨時簡易宿泊所費	八三、四一二	一事務員給	一二、八八〇
				二雇員給	六、六〇〇
				三報酬	五、四〇〇
				四手當	一一、二七五
				五小使給	七、〇〇八
				六傭人料	一七、六九五
				七舟車馬賃	五五九
				八備品	二、六六八
				九消耗品	九、七四九
				十印刷	三一
				十一通信費	二一五
				十二賄費	三、四六八
				十三被服費	九八
				十四電氣料	二、三四八
				十五雜費	三、八九〇
				十六各所造修	五三〇

		二貸屋費	二六三、四九一	一事務員給	五、四〇〇
				二雇員給	三、〇〇〇
				三手當	二、四九一
				四舟車馬賃	六九
				五備品	二六〇
				六消耗品	五三〇
				七印刷	一三五
				八通信費	六〇
				九電氣料	一九五
				十火災共濟金積立	二一〇
				十一雜費	一四〇
				十二各所造修	二五〇
				十三貸付金	二五〇、七六七
		三職業紹介所費	六七、八三六	一事務員給	一五、三〇〇
				二雇員給	一七、四〇〇
				三手當	一一、二二八
				四旅費	二四八
				五給仕小使給	四、七〇九
				六船車馬賃	五四八
				七備品	一、一二〇
				八消耗品	七、四三六
				九印刷	五二五
				十通信費	一、〇九九
				十一賄費	二、九五七
				十二被服費	一四五
				十三瓦斯電氣料	一、〇八〇
				十四土地物件借受料	一、二九六
				十五雜費	九五八
				十六各所造修	一、七六〇
		四幼少年保護所營繕費	五四、七一〇	一營繕費	五四、七一〇
		五產院營繕費	四五、二六〇	一營繕費	四五、二六〇
		六兒童遊園復舊費	一〇、〇〇〇	一復舊費	一〇、〇〇〇
		七施療病院營繕費	一二一、八六六	一營繕費	七〇、八六七
				二初度調辨費	五〇、九九九
十一財產費	一六七、八四三	一市有地費	一一七、四〇〇	一護岸改築	一〇六、七〇〇
				二護岸修繕	一〇、七〇〇
		二河岸地費	五〇、四四三	一護岸改築	二五、七〇〇
				二護岸修繕	二四、七四三
十二補助費	九三三、一二六	一小學校費補助	一、九二二、〇〇〇	一燒失小學校費補助	一、七二二、〇〇〇
				二殘存小學校費補助	一〇〇、〇〇〇

十三 市債費		九二三、一一六		
	一 利子	九二三、一一六	一 借入金利子	九二三、一一六
十四 豫備費		三〇〇、〇〇〇		
	一 豫備費	三〇〇、〇〇〇	一 豫備費	三〇〇、〇〇〇
十五 繼續震災復舊費本年度支出額		四、四四九、五七五		
	一 小學校設備費	一、二七八、九七五	一 小學校建設費補助	一、一七三、三七五
			二 直營小學校建設費	一〇五、六〇〇
	二 圖書館建設費	六八、〇〇〇	一 用地費	六八、〇〇〇
	三 本所病院隔離所竝消毒所建設費	一、五〇〇、〇〇〇	一 用地費	一、五〇〇、〇〇〇
	四 街頭便所新設費	一二四、二〇〇	一 工事費	一二一、〇〇〇
			二 設計竝監督費	三、二〇〇
	三 公園施設費	四三五、九六三	一 用地費	一〇四、七八二
			二 植物費	七〇、三七〇
			三 土木費	八八、九〇九
			四 營繕費	一二一、四五七
			五 掃除費	二、六〇〇
			六 雜費	五、三三九
			七 設計竝監督費	四二、五〇六
	四 街燈設備費	七三、四三七	一 街燈費	六八、五〇〇
			二 設計竝監督費	四、九三七
	五 河川造修費	五四二、〇〇〇	一 用地費	一八二、八六七
			二 工事費	三三四、四二三
			三 設計竝監督費	二四、七一〇
	六 施療病院建設費	四二七、〇〇〇	一 建築費	三〇六、九〇〇
			二 設備費	九九、一〇〇
			三 設計竝監督費	二一、〇〇〇
十六 繼續帝都復興費本年度支出額		二九、一五〇、〇〇〇		
	一 道路橋梁改築費	三、五〇〇、〇〇〇	一 道路修築	八〇、〇〇〇
			二 橋梁復舊	一、六三三、〇一〇
			三 橋梁改築	一、五七七、六〇〇
			四 橋梁費補助	六一、三九〇
			五 設計竝監督費	一四八、〇〇〇
	一 下水道改良費	八、四〇〇、〇〇〇	一 事務費	四五七、八〇〇
			二 災害復舊費	七二、〇〇〇
			三 第二期工事費	三、三五九、〇〇〇
			四 第三期第一區工事費	九〇〇、〇〇〇
			五 第三期第三區工事費	二、六七一、二〇〇
			六 機械器具費	五八〇、〇〇〇
			七 雜工事費	二六〇、〇〇〇
			八 豫備費	一〇〇、〇〇〇
	三 公園費	一、九〇〇、〇〇〇	一 用地費	一、七〇一、〇〇〇
			二 植物費	四二、四五〇
			三 土木費	四六、三〇〇
			四 營繕費	七五、二五〇
			五 設計竝監督費	三五、〇〇〇
	四 塵芥處分設備費	六〇〇、〇〇〇	一 用地費	二〇〇、〇〇〇
			二 建築費	一八七、六〇〇
			三 設備費	一八五、七六〇
			四 設計竝監督費	二六、六四〇
	五 中央卸賣市場建設費	四、五〇〇、〇〇〇	一 用地費	四、三〇四、四七二
			二 設計竝監督費	一九五、五二八
	六 小學校建設費	八、〇〇〇、〇〇〇	一 小學校建設費補助	七、一七五、二四三
			二 直營小學校建設費	六四五、七三一
			三 設計並監督費	一七九、〇二六
	七 施療病院新設費	三五〇、〇〇〇	一 用地費	二二〇、〇〇〇
			二 建築費	一二一、八七二
			三 設計竝監督費	八、一二八
	八 實費診療所設費	一、〇〇〇、〇〇〇	一 用地費	六〇〇、〇〇〇
			二 建築費	三二四、〇〇〇
			三 設備費	六二、一一五
			四 雜工事費	三、一二五
			五 設計竝監督費	一〇、七六〇
	九 社會事業施設費	九〇〇、〇〇〇	一 職業紹介所新設費	一〇二、六五〇
			二 託兒竝兒童健康相談所新設費	一四五、四四〇
			三 婦人授產場新設費	八七、一一〇
			四 公衆食堂新設費	一二七、八〇〇
			五 簡易宿泊所新設費	二二三、二〇〇
			六 質屋新設費	四八、七〇〇
			七 浴場新設費	一二五、五〇〇
			八 設計竝監督費	三九、六〇〇
十七 繼續中央卸賣市場分場建設費本年度支出額		二、〇〇〇、〇〇〇		
	一 建築費	一、五六一、二一八	一 荷造荷扱費	三一、〇〇〇
			二 競賣費	六八、〇〇〇
			三 賣場	八四〇、〇〇〇
			四 倉庫	八四、〇〇〇
			五 事務所	四四、八〇〇
			六 銀行郵便局竝營業人事務所	六一、六〇〇
			七 食堂	八四、〇〇〇
			八 附屬商賣場	五六、〇〇〇
			九 待合所	八四、〇〇〇
			十 雜工事	二〇七、八一八
	二 設備費	四三八、七八二	一 鐵道引込工事	四三八、七八二

繼續工事請負物品供給大契約補給費本年度支出額		一九三、六七三		
	一補給費	一九三、六七三	一補給費	一九三、六七三
歳出合計		四四八、六六四、三三六		

市參事會審査意見

大正十三年三月十五日市參事會ハ、本議案ニ對シ、左記ノ通修正スルヲ相當ト認メタリ。

記

歳入出豫算中左ノ金額ヲ減スルモノトス。

歳入

款	項	種目	金額	摘要
一使用料	一精米所使用料	一精米所	三、一六九円	

歳出

款	項	種目	金額	摘要
八精米所費	一雜給	二手當	九一円	慰勞ノ手當減
		三小使給	五四七	日給一人減
		四傭人料	三七	人夫延二五人減
		五舟車馬賃	六三	
	二需用費	一備品	四〇〇	
		二消耗品	四〇〇	
		三印刷	五〇	
		四通信費	二五	
		五賄費	一四六	小使宿直削減
		六被服費	六	小使一人減
		七電氣料		
	三諸費	一物件借受料	七二〇	削減
		二雜費	一三八	
歳出合計			三、一六九	

大正十三年三月十七日提出　東京市長　永田秀次郎

にして、繼續帝都復興費本年度支出額二九、一五〇、〇〇〇圓是なり、大正十三年三月十七日に於ける市會の議事日程に上り永田市長の說明あり、言ふ、別經濟に屬する震災善後費は、嚮に議定したる帝都復興費の年度割額二千九百十五萬圓、中央分場二百萬圓、新に復舊經費として計上したる二千三百十二萬餘圓の年度割額及、區財政の現狀に鑑み、燒失小學校經費に百七十一萬餘圓、殘存小學校修繕費共他に二十萬圓を補助するもの是なりと、瀧澤議員（七郎）の質問、永田市長の答辯後、調査委員の調査に附し、三月二十二日報告あり。

第三十四號議案調査委員意見報告

委員ハ、實地ヲ踏査シ、屢ミ集會審議ノ末、左記希望ヲ附シ、原案ヲ可決スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十五年三月二十二日

委員長　六十一番　倉田金三郎
理事　十番　吉川忠志　八十四番　瀧澤七郎
委員　三番　瀨川光行　六番　三枝米太郎
十三番　橋本直一　十七番　笠原文太郎
二十三番　本田義成　三十番　伊藤仁太郎
三十一番　坪野房治　四十四番　西村吉兵衞
四十五番　渡邊繁太郎　四十六番　中村富三郎
五十七番　大石熊吉　七十番　國枝捨次郎
七十八番　木下常松　七十九番　本宮辰次郎

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

希望

一、本所病院擴張ニ對スル部分ハ、他ニ適當ノ土地ヲ求メ、之ニ關スル豫算ハ、適宜更正ノ上、提案アランコトヲ望ム。

三月二十九日の市會に報告し、異議なく委員の報告通り可決す。

是に於て乎、市執行の帝都復舊事業中、道路橋梁改築、下水道改良、公園、塵芥處分設備、中央市場建築、小學校建設、施療病院新設、實費診療所新設、社會事業施設は、左の計畫を以て執行する事となりたるを見る。

一、道路橋梁改築（六ヶ年繼續）　工費豫算一千六百五萬五千百圓

1.道路修築　震災に燒損したる鋪裝路面一萬五千四百坪の復舊なり、豫算額二十八萬圓。

2.橋梁復舊　震災燒損橋梁の尙使用し得べき二百九橋の修理なり、豫算額百九十七萬三千二十圓。

3.橋梁改築　震災橋梁の改架せざるべからざる百三十六橋の改架なり、豫算額一千二百八十五萬八百四十六圓。

4.橋梁費補助　震害を被りたる私設橋梁中修理使用し得べきもの四十五橋に對し、六萬二千二百八十圓を補助し、改架を要するもの十六橋に對し十四萬九千八百五十四圓を補助す。

二、下水道改良（六箇年繼續）　工費豫算四千三百五十萬圓

1.災害復舊　第一期第二區既成工事中震害を被りたるものに對する復舊なり、豫算額三十七萬四千圓。

2.第一期殘工事　第一期第二區工事の殘業完成を期するもの、豫算額二十二萬圓。

3.第二期工事　第二期第一區工事の殘業を復興事業に移したるもの、豫算額千五百十一萬圓。

4.第三期第一區工事　第三期第一區中燒失區域に施工するもの、豫算額四百四十九萬九千圓。

5.第三期第三區工事　第三期第三區に屬する本所深川兩區の施工なり、豫算額一千八百七十三萬圓。

三、公園（六箇年繼續）　工費豫算一千萬圓

小學校附設小公園五十二園を設置するものに係る。

四、塵芥處分設備（三箇年繼續）　工費豫算百八十五萬圓

塵芥取扱場二十七箇所、塵芥處理工場三箇所の新設を爲すものとす。

五、中央卸賣市場建設（三箇年繼續）　工費豫算一千五百萬圓

京橋區築地四丁目及南小田原町一丁目の內九萬八千坪の地に建設す。

六、小學校建設（五箇年繼續）　工費豫算三千五百十九萬二千三百六十七圓

震災に燒失したる小學校二十七校を復舊するものにして、內直營八校、豫算額二百五十八萬二千九百二十四圓、區營百九校補助三千五百十九萬二千三百六十六圓也。

七、施療病院新設（四箇年繼續）　工費豫算六百萬圓

施療病院一箇所を新設す。

八、實費診療所新設（四箇年繼續）　工費豫算二百五十萬圓

實費診療所四箇所を新設す。

九、社會事業施設（五箇年繼續）　工費豫算四百五十二萬五千圓

職業紹介所新設十五箇所、託兒並兒童健康相談所新設十箇所、婦人授産場新設五箇所、公衆食堂新設十箇所、簡易宿泊所新設九箇所及修理一箇所、質屋新設七箇所、浴場新設十箇所を爲す。

内區營小學校建設補助に關し、大正十三年五月三十日の市會に左の規定を決議せり。

第八十一號

東京市立小學校復興建設費補給規程設定ノ件

東京市立小學校復興建設費補給規程左ノ通設定スルモノトス。

東京市立小學校復興建設費補給規程

第一條　大正十二年九月ノ震災ニ因リ燒失シタル小學校復興ニ要スル建設費ハ本規定ノ定ムル所ニ依リ之ヲ區ニ補助ス。

第二條　補給スヘキ建設費ハ種別及補給標準額左ノ如シ。

一、校舍及附屬設備　市長ノ定ムル規模標準設計額以内

二、校　　具　一學級五百圓以内

三、監　督　費　設計額ノ千分ノ十二以内

第三條　補給金ハ決算額ニ依リ之ヲ支給ス、但シ工事出來形ニ應シ前條ノ標準額ニ依リ百分ノ九十五以内ノ概算拂ヲ爲スコトヲ得。

概算拂額ニ過渡アルトキハ之ヲ返還セシム。

第四條　建設ニ關スル設計ハ市長之ヲ爲ス。

區ノ申出ニ依リ市長ノ定ムル規模標準設計ヲ變更スル場合ニ於テ工費ニ增額ヲ生スルトキハ區ノ負擔トス。

第五條　本規程ニ別段ノ定アルモノノ外東京市立小學校建設費補給規程ヲ準用ス。

附　則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

說　明　大正十二年九月ノ震災ニ因リ燒失シタル各區市立小學校ノ復興ニ要スル建設費ノ補給ニ付テハ市立小學校建設費補給規程ヲ適用シ難キ點アルヲ以テ本案ヲ提出ス。

（參　照）

市立小學校建設費補給規程

第一條　本市ハ區ニ於ケル市立小學校ノ設置ニ關スル經費中新設增築改築及體操場擴張ノ費用ヲ本規程及施行細則ノ定ムル所ニ依リ補給ス。

第二條　新設學校建設費ニ對シ補給スヘキ概目竝標準額左ノ如シ。

一、校　　地　最近ノ市區改正及附近賣買價格ニ準シタル額

二、校　　舍
鐵筋混凝土造　平均一坪二百四十圓以内
木　　造　平均一坪百八十圓以内

三、屋内體操場
鐵筋混凝土造　平均一坪二百四十圓以内
木　　造　平均一坪百五十圓以内

四、校　　具　一學級五百圓以内

第三條　增築改築及體操場擴張ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス、但シ校具ニ關シテハ其增加シタル學級數ニ對シテノミ補給ス。

第三條ノ二　土地ヲ貸借シ又ハ地上權ヲ設定シテ校地ニ使用セントスルトキハ其校地ノ整理ニ要スル費用ヲ補給シ尚其貸借料又ハ地代ヲ補給ス。

第四條　本規定ノ適用ヲ受クル學校ハ東京市火災共濟基金ノ積立ヲ爲シ若クハ火災保險ニ付スルヲ要ス。

從前ヨリ貸借セル校地ニ關シテモ亦其貸借料ヲ補給ス。

第五條　東京市火災共濟基金塡補金火災保險收得金又ハ校地ノ收得及校舍建築ニ關聯スル收得金ハ補給スヘキ建設費中ヨリ之ヲ控除ス。

第六條　補給金ハ決算額ニ依リ之ヲ支給ス但シ一學校ノ建設次年度ニ亘ルトキハ各年度支出額ニ應シ分割支給スルコトヲ得。

前項ノ補給金ハ豫算額ニ依リ概算拂ヲナスコトヲ得、此場合ニ於テハ土地購買費ハ全部其他ノ費用ハ十分ノ九以内トス。

第七條　補給金ハ本市豫算ノ都合ニ依リ翌年度ニ於テ之ヲ支給スルコトアルヘシ。

第八條　建設費豫算ハ市長ノ認可ヲ受クヘシ。

第九條　建設工事ニ關シテハ區ハ左ノ手續ヲ爲スヘシ。

一、執行前設計書及仕樣書ノ檢閲ヲ經ルコト。

一、工程ヲ報告スルコト。

第十條　補給金ノ概算拂ヲ受ケタル學校ノ建設其年度内ニ完成セサルトキハ事由ヲ具シ承認ヲ受クヘシ。

第十一條　本規程ノ適用ヲ受クル學校ハ幼稚園ニ使用スルコトヲ得ス。

第十二條　校地校舍ヲ廢止シタルトキハ其土地建物ハ無償ニテ本市ノ所有ニ歸屬ス一部ノ廢止ニ係ルトキハ其部分ニ關シ亦同シ。

第十三條　校地校舍ノ全部又ハ一部ヲ變更シタルトキハ其土地建物處分ニ依ル收得金ハ新ニ收得スル校地校舍ノ建設費ニ充當スヘシ。

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ情狀ニ依リ補給金ヲ削減シ又ハ一時之ヲ返還セシム。

一、第九條ノ手續ヲ懈リ又ハ檢閲ヲ經タル設計及仕樣ニ違背シ工事ヲ執行シタルトキ。

二、第十條ノ規定ニ違背シタルトキ。

前項第一號ノ工事ニ重要ナル瑕疵アルトキハ一時工事ヲ中止セシメ修補ヲ命スルコトアルヘシ

附　則

第十五條　本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十五年三月二十八日以後内議ヲ經タルモノニモ亦之ヲ適用ス

第十六條　從前ノ規定ニ依リ補給ヲ受ケタル校地校舍ノ全部又ハ一部廢止ノ場合ニ於テハ補給ヲ受ケタル割合ニ應シ收得金ヲ納入セシム。

校地校舍ノ全部又ハ一部變更ノ場合ニ於テハ第十三條ノ規定ニ依ル全ク補給ヲ受ケサルモノニアリテモ亦同シ。

第十七條　本規程施行ニ關スル細則ハ市參事會ノ決議ヲ經之ヲ定ム。

市參事會審査意見

大正十三年四月十六日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年四月二十三日提出

東京市長　永田秀次郎

(2) 上水道復興　復興事業中上水道に關する計畫左の如し。

第三號

（自大正十二年度至大正十五年度）東京市水道復興費繼續年期及支出方法

一、金千萬圓　　水道復興費

内　譯

金参百萬圓	大正十二年度支出額
金参百萬圓	大正十三年度支出額
金参百萬圓	大正十四年度支出額
金百萬圓	大正十五年度支出額

大正十二年九月一日の震災に因る水道設備復舊及上水道擴張工事速成の爲、四箇年繼續事業として本費を計上したり。

東京市繼續水道復興費支出計算表

科目	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	計
（款）一　水道復興費	三,000,000円	三,000,000円	三,000,000円	1,000,000円	10,000,000円
（項）一　水道設備復舊費	三,000,000	1,000,五七四	1,0八三,六二四	二一二,八〇二	五,三00,000
二　水道擴張工事速成費	—	1,九九六,四二六	1,九一六,三七六	七八七,一九八	四,七00,000

東京市繼續水道復興支出計算說明（摘抄）

科目		支出額	種目	金額	附記	
款	項				種別及箇數	金額
一 水道復興費		一〇、〇〇〇、〇〇〇円				
	水道設備復舊費	五、三〇〇、〇〇〇				
			一 給料	一五二、二二〇円		
			二 雜給	七九、七七六		
			三 需用費	三一、七四七		
			四 諸費	二〇、二四八		
			五 工事費	四、八五四、一九〇	新水路	六三〇、六九〇
					沈澄池　一面	五五〇、〇〇〇
					喞筒室　二一六坪	一〇八、〇〇〇
					汽罐室竝篩炭機室　四三五坪	一七四、〇〇〇
					喞筒室汽罐室竝篩炭機室雜工事	一八、〇〇〇
					濾過池　一〇面	六〇〇、〇〇〇
					八面	二一〇、〇〇〇
					電動喞筒竝溜井新設　電動喞筒機竝附屬品一式	三三〇、〇〇〇
					溜井	三五〇、〇〇〇
					建物二棟　二五〇坪	一二二、〇〇〇
					喞筒基礎連絡管其他附帶工事	一四八、〇〇〇
					淨水池　一面	三九〇、〇〇〇
					淨水渠　七六四間	一三一、一〇〇
					排水渠竝溜井	一八、九〇〇
					鐵管　特別手當	八、五四三
					負傷手當	三八三
					工手職工工夫定人夫日給　三月　五一〇人	一〇九、九二八
					臨時職工人夫延　一九四、九八五人	四九六、四六三
					被服費	一四、六七一
					器具	一五、〇〇〇
					材料	八六、八七九
					道路修繕其他	一八一、五〇〇
					運搬	三〇、〇〇〇
					橋梁添加設備	一二五、〇〇〇
					雜費	五、一一三
			六 豫備費	一六一、八一九		
	二 水道擴張工事速成費	四、七〇〇、〇〇〇				
			一 給料	二二六、五六〇		
			二 雜給	一一六、八一一		
			三 需用費	三五、四九六		
			四 諸費	一二、八一〇		
			五 修繕費	三、〇〇〇		
			六 村山貯水池費	二、三二五、五七六	下貯水池	二、二五四、五六六
					建築費	二二、三五〇
					雜費	四八、六六〇
			七 配水本管費	一、六九一、九五四		
			八 測量調査竝試驗費	七三、一七〇		
			九 用地費	六〇、三〇〇		
			十 豫備費	一五四、三二三		

市參事會審査意見

大正十三年一月三十日市參事會ハ、本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

第五號

大正十三年二月一日提出　東京市長　永田秀次郎

大正十二年度東京市水道歳入出追加豫算

歳入

一金参百萬圓　歳入豫算高

歳出

一金参百萬圓　臨時部豫算高

大正十二年度水道歳入出追加豫算（摘抄）

歳入

豫算			豫算	
科目 款	科目 項	豫算額	種目	豫算額
六 市債		二、二五〇、〇〇〇		
	一 市債	二、二五〇、〇〇〇	一 公債募集金	二、二五〇、〇〇〇
九 國庫補助金		七五〇、〇〇〇	一 復興費補助	七五〇、〇〇〇
	一 水道復興費補助	七五〇、〇〇〇		
歳入合計		三、〇〇〇、〇〇〇		

歳出

臨時部

豫算			豫算說明	
科目 款	科目 項	豫算額	種目	豫算額
十二 繼續水道復興費本年度支出額		三、〇〇〇、〇〇〇円		
	一 水道設備復舊費	三、〇〇〇、〇〇〇	一 給料	八二、三二〇円
			二 雜給	二七、八一五
			三 需用費	二一、六四一
			四 諸費	五、二一七
			五 工事費	二、八一四、一九〇
			六 豫備費	四八、八一七

說明　第三號議案ニ伴ヒ本案ヲ提出ス

市參事會審査意見

大正十三年一月三十日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年二月一日提出　東京市長　永田秀次郎

是亦大正十三年二月二十六日兩案を一括して付議し、小森議員より擴張費と復舊費とに依り、國庫補助の有無ある所以を質問し番外三番田島勝太郎之に答へ、復興豫算決定の際政府に於て水道擴張工事に使用するの議を決したるに從ふものなるを述ぶ、本田議員の發議に基き議長指名の委員十五名に付託す。

第三號第五號二議案調査委員

三番　瀬川光行、五番　大崎清作、十番　吉川忠志、十四番　吉田勘右衛門、十七番　笠原文太郎、二十三番　本田義成、二十七番　佐藤長祐、四十番　鎌田芳太郎、四十二番　金子東一、四十三番　鈴木彌吉、四十五番　渡邊繁太郎、四十八番　河井榮三郎、六十七番　宇都宮政市、七十八番　木下常松、八十五番　中南定太郎。

五番大野議員委員を辭し、八十六番角野庄太郎之に代る、三月十二日委員の報告を議し、異議なく報告通り可決す。

第三號議案調査委員意見報告

委員は、實地を踏査し、屢集會審議の末左記希望を附し、原案を可決することに議決せり。

右報告候也。

大正十三年三月七日

委員長　四十番　鎌田芳太郎

委員　三番　瀬川光行　十番　吉川忠志

十四番　吉田勘右衛門　十七番　笠原文太郎

二十三番　本田義成　二十七番　佐藤長祐

四十二番　金子東一　四十三番　鈴木彌吉

四十五番　渡邊繁太郎　四十八番　河井榮三郎

六十七番　宇都宮政市　七十八番　木下常松

八十五番　中南定太郎　八十一番　角野庄太郎

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

希望

一、該淨水場ヨリ和田堀ノ内新水路ニ通スヘキ送水暗渠ニシテ未タ完成セサルモノアリ、本工事ハ市民ノ利害ニ甚大ノ關係アルヲ以テ前地急速ニ之カ完成ノ途ヲ講セラルルコト。

一、和田堀ノ内ヨリ淀橋淨水場ニ至ル新水路ハ不完全ナリト認ムルニヨリ將來耐久的設備ニ改築セラルルコト。

一、過般ノ震火災ニ鑑ミ、市内適當ノ場所ニ鑿井貯水場ヲ設備セラルルコト。

第五號議案調査報告亦之に同じ、何れも異議なく之を可決す、十三年度分は、歳入總額一千百六十八萬三千九十七圓中、水道復興費補助七十五萬圓、市債五百四十四萬六千二百七十一圓、歳出總額一千百六十八萬三千九十七圓中、繼續水道復興費十三年度支出額三百萬圓、内水道設備復興費四百萬三千五百七十四圓、水道擴張工事速成費一百九十九萬六千四百二十六圓、第四十六號議案中に於て、大正十三年三月十七日市會の議に付し、調査委員に審査を託し、二十四日委員より左の報告あり。

第四十六號議案調査委員意見報告

委員ハ屢〻集會審議ノ末別紙朱書ノ通修正スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年三月二十四日

委員長　六十一番　倉田金三郎

委員　十番　吉川忠志　十四番　瀧澤七郎

三番　瀬川光行　十番　三枝米太郎

十三番　橋本直一　十七番　笠原文太郎

二十三番　本田義成　三十番　伊藤仁太郎

三十一番　坪野房治　四十四番　西村吉兵衛

四十五番　渡邊繁太郎　四十六番　中村富三郎

五十七番　大石熊吉　七十番　國枝捨次郎

七十八番　木下常松　七十九番　本宮辰次郎

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

（別紙略、復興費には修正無し）

二十四日の市會に於て異議なく可決す。

此くの如くにして、上水道復興事業は復舊工事五百三十一萬圓、擴張工事速成四百七十萬圓、計一千萬圓を以て、繼續四箇年間に之を執行する事と爲る。

(3)　街路修築土地整理　復興事業中、街路修築並に土地區劃整理に關する計畫は左の如し。

第六號　街路修築竝土地區劃整理施行ノ件

今回帝都復興計畫トシテ政府ニ於テ決定セラレタル幅員十二間以上ノ街路修築及之ニ伴フ土地區劃整理ト連繫シテ、此際幅員十二間未滿ノ街路修築及政府ニ於テ施行セサル部分ノ土地區劃整理ヲ急速施行スルハ、帝都復興上必須ノコトト認ムルヲ以テ、之カ計畫ヲ樹テ國庫補助金ノ交付ヲ受ケ本市ニ於テ右兩事業ノ執行ヲ爲スモノトス。

（參　考）　街路修築竝土地區劃整理事業計畫書　（一三、一、一四調査）

甲　街路修築事業

一、事業計畫　本市燒失區域内ニ於テ、政府ノ施行セラルル幅員十二間以上ノ街路ノ新設擴築ニ對應シテ、幅員十二間未滿ノ街路百十三路線ノ新設擴築ヲ爲スモノトシ、東京都市計畫街路ノ部ニ之カ追加ヲ爲スモノトス。

二、事業執行年度割　大正十二年度ヨリ大正十七年度ニ至ル六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、年度割左ノ通定ムルモノトス。

大正十二年度	約　二分三厘
大正十三年度	約　二割六分四厘
大正十四年度	約　二割四分九厘
大正十五年度	約　一割九分六厘
大正十六年度	約　一割五分七厘
大正十七年度	約　一割一分一厘

三、事業費額

總額	二二、四八九、〇〇〇圓
内譯	
用地補償費	二二、四八九、〇〇〇圓
工事費	二四、一八九、〇二四圓
橋梁費	一二、六六三、九九〇圓
雜工雜費	五、〇二二、五八六圓
事務費	三、二二〇、六六八圓
年割支出費	
大正十二年度	一、五八七、六六五圓
大正十三年度	一七、八〇七、六八九圓
大正十四年度	一六、八〇五、八二六圓
大正十五年度	一三、二四六、八七九圓
大正十六年度	一〇、六一七、三六二圓
大正十七年度	七、五一九、八四七圓

四、經理方法　事業費總額ノ二分ノ一ヲ國庫補助ニ仰キ、共ノ他ハ一時政府ヨリ無利息資金ノ融通ヲ受ケ、事業ニ依ル受益者負擔金及一般市歳入ヲ以テ適宜銷却スルモノトス。各年度ニ於ケル國庫補助金及無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額左ノ如シ。

區分	十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	十七年度	計
事業費支出額	一、五八七、六六五円	一七、八〇七、六八九円	一六、八〇五、八二六円	一三、二四六、八七九円	一〇、六一七、三六二円	七、五一九、八四七円	六七、五八五、二六八円
國庫補助金	七九三、八三三	八、九〇三、八四四	八、四〇二、九一三	六、六二三、四四〇	五、三〇八、六八一	三、七五九、九二三	三三、七九二、六三四
無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額	七九三、八三二	八、九〇三、八四五	八、四〇二、九一三	六、六二三、四三九	五、三〇八、六八一	三、七五九、九二四	三三、七九二、六三四

受益者負擔金ハ、總工費ヨリ橋梁費ヲ控除シタル額ノ四分ノ一ヲ徴收スルモノトスレハ、左ノ如シ。

總工費	橋梁費	差引殘額	受益者負擔金（上記ノ四分ノ一）
六四、三六四、六〇〇円	一二、六六三、九九〇円	五一、七〇〇、六一〇円	一二、九二五、一五三円

即チ以上ノ結果、一般市歳入ノ處辨ニ求ムヘキ金額ハ左ノ如クナル。

無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ總額	受益者負擔金ヲ以テ銷却スヘキ額	差引一般市歳入ヲ以テ銷却スヘキ額
三三、七九二、六三四円	一二、九二五、一五三円	二〇、八六七、四八一円

右一設市歳入ヲ以テ銷却スヘキ額ハ、他ノ帝都復興事業ニ關スル市ノ負擔ト包括シテ、市將來ノ財政狀態ニ應シ、適宜處理スルモノトス。

乙　土地區劃整理事業

一、事業計畫　本市燒失區域内ニ於テ約七百萬坪ノ土地區劃整理ヲ要スル見込ノトコロ、政府ニ於テ幅員十二間以上ノ街路擴張ニ伴ヒ約百六十八萬坪ノ整理ヲ施行セラルル趣ニ付、其ノ他ノ約五百三十二萬坪ノ土地區劃整理ヲ、東京都市計畫トシテ行フモノトス。

二、事業執行年度割　大正十二年度ヨリ大正十六年度ニ至ル五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、年度割左ノ通定ムルモノトス。

大正十二年度	約　二分六厘
大正十三年度	約　三割六分八厘
大正十四年度	約　三割五分五厘
大正十五年度	約　一割二分三厘
大正十六年度	約　一割二分八厘

三、事業費額

總額	三四、九二一、六一一圓
内譯	
補償費	二、九〇〇、〇〇〇圓
雜工雜費	二、七五〇、〇〇〇圓
事務費	三、一七一、六一一圓
年割支出額	
大正十二年度	九〇七、〇三八圓
大正十三年度	一二、八四七、四〇二圓
大正十四年度	一二、三九五、八九八圓
大正十五年度	四、三〇二、九一三圓
大正十六年度	四、四六八、六三〇圓

四、經理方法　事業費總額ヲ國庫補助ニ仰クモノトス。

市參事會審査意見

大正十三年一月三十日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年二月一日提出　東京市長　永田秀次郎

同じく二月六日を以て付議し、異議なく即決す、次で三月十二日に至り、更めて左の案を付議したり。

第五十六號　（自大正十二年度至大正十七年度）　東京市街路修築竝土地整理繼續年期及支出方法

一金壹億參百九拾萬參千七百圓　街路修築竝土地整理費

内譯

金貳百參拾萬九千圓	大正十二年度支出額
金參千九拾六萬七千圓	大正十三年度支出額
金參千壹萬七千圓	大正十四年度支出額
金千七百八拾六萬參千圓	大正十五年度支出額
金千五百萬千四百圓	大正十六年度支出額
金七百九拾壹萬六千參百圓	大正十七年度支出額

帝都復興事業トシテ政府ノ執行スル幹線街路ノ修築及之ニ伴フ土地區劃整理事業ト連繫シテ補助街路ノ修築及燒失地區ノ土地區劃整理ヲ行フコトトシ、大正十二年度ヨリ大正十七年度ニ至ル六箇年繼續事業トシテ、本費ヲ計上セリ。

東京市繼續街路修築竝土地整理費支出計算表

款	項	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	計
一、事務費		一一四,〇〇〇円	二,三一九,〇〇〇円	一,五六〇,〇〇〇円	九二八,〇〇〇円	一,〇六六,四〇〇円	四七二,三〇〇円	六,四五九,七〇〇円
	一、給料	三五,三三六	七三二,六〇〇	七三二,六〇〇	四九〇,九六八	四九〇,九六八	一八五,四〇〇	二,六六七,八七二
	二、雑給	三八,八六五	七一五,六三一	六二五,三四四	三五一,四三八	四九五,六八六	二三九,五五七	二,四八二,五三一
	三、需用費	三〇,〇二九	三三六,九六九	一七七,〇五六	六七,七九六	六七,五九四	三八,三四三	六〇七,七一七
	四、諸費	九,七六〇	一二八,八〇〇	三三,〇〇〇	一三,〇〇〇	九,〇〇〇	四,〇〇〇	一七六,五八〇
	五、營繕費	—	五〇五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五二五,〇〇〇
二、工事費		二,〇二五,〇〇〇	二八,六四八,〇〇〇	二八,四五七,〇〇〇	一六,九三五,〇〇〇	一三,九三五,〇〇〇	七,四四四,〇〇〇	九七,四四四,〇〇〇
	一、街路費	一,二五〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	七,四四四,〇〇〇	六五,六九四,〇〇〇
	二、土地區劃整理費	七七五,〇〇〇	一一,六四八,〇〇〇	一一,四五七,〇〇〇	三,九三五,〇〇〇	三,九三五,〇〇〇	—	三一,七五〇,〇〇〇
計		二,一三九,〇〇〇	三〇,九六七,〇〇〇	三〇,〇一七,〇〇〇	一七,八六三,〇〇〇	一五,〇〇一,四〇〇	七,九一六,三〇〇	一〇三,九〇三,七〇〇

科目 款	科目 項	支出額	説明 種目	説明 金額
一事務費		六,四五九,七〇〇		
	一給料	二,六六七,八七二	一主事技師給	四三七,七五〇
			二事務員技手給	一,六〇四,五七二
			三雇員給	六二〇,五五〇
			四休職給	五,〇〇〇
	二雑給	二,四八二,五三一	一報酬	四八,〇〇〇
			二手當	一,五四二,二九一
			三旅費	四三,三〇〇
			四傭人料	七四三,〇四四
			五給仕小使給	七五,八九六
			六舟車馬賃	一五,〇〇〇
			七退職竝死亡給與金	一五,〇〇〇
	三需用品	六〇七,七一七	一備品	三〇八,八二〇
			二消耗品	一五八,五九四
			三印刷	八七,〇〇〇
			四通信費	二九,〇〇〇
			五賄費	四,六八三
			六被服費	七,四二一
			七瓦斯電氣料	一三,二〇〇
	四諸費	一七六,五八〇	一物件借受料	六九,五八〇
			二廣告費	一五,五〇〇
			三雑費	九一,五〇〇
	五營繕費	五二五,〇〇〇	一新營費	五〇〇,〇〇〇
			二修繕費	二五,〇〇〇
二工事費		九七,四四四,〇〇〇		
	一街路費	六五,六九四,〇〇〇	一用地費	二四,三三六,六〇〇
			二街路築造費	二七,九六五,四〇〇
			三橋梁費	一三,三九二,〇〇〇
	二土地區劃整理費	三一,七五〇,〇〇〇	一整理費	三一,七五〇,〇〇〇
計		一〇三,九〇三,七〇〇		

第五十六號議案（街路修築竝土地整理費繼續年期及支出方法）

參考説明書

本案ハ本年二月第六號市會議決ニ基ク提案ナルモ、時日ノ經過ニ伴ヒ、當時ノ計畫ニ多少異動ヲ來シタルモノアリ、即チ左ノ如シ。

甲 街路修築事業

一、事業計畫 當初ハ、本市燒失區域内ニ於テ、政府ノ執行スヘキ幅員十二間以上ノ街路ノ新設擴築ニ對應シテ、幅員十二間未滿ノ街路百十三路線ノ新擴築ヲ行フ見込ナリシトコロ、東京都市計畫トシテ内務大臣カ特別都市計畫トシテ内務大臣カ特別都市計畫委員會ノ決定ヲ經タル補助街路ハ共數百二十二路線ニ及ヒ、電氣軌道敷設計畫等ノ爲幅員必スシモ十二間未滿ニ止マラサルモノヲ見ルニ至リタリ。（本件都市計畫決定ハ、不日決定セラルル筈）

二、事業執行年度割 大正十二年度ヨリ大正十七年度ニ至ル六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、各年度執行割合凡ソ左ノ如シ。

年度	執行歩合	費額（事務費ヲ含ム）
大正十二年度	一・九％	一、二九〇、〇〇〇
大正十三年度	二六・一％	一八、〇二九、〇〇〇
大正十四年度	二五・七％	一七、七五一、〇〇〇
大正十五年度	一九・五％	一三、四五三、〇〇〇
大正十六年度	一五・三％	一〇、五三九、四〇〇
大正十七年度	一一・五％	七、九一六、三〇〇
計	一〇〇・〇％	六八、九七八、七〇〇

三、經理方法 事業費總額中、電氣軌道事業ニ屬スルモノハ當該事業收益ニ俟チ、其ノ他ノ二分ノ一ヲ國庫補助ニ仰キ、其ノ他ハ一時政府ヨリ營利息資金ノ融通ヲ受ケ、事業ニヨル受益者負擔金及一般市歳入ヲ以テ適宜銷却スルモノトス。

四、各年度ニ於ケル國庫補助金及無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額、左ノ如シ。

區分	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	計
事業費支出額	一,二九〇,〇〇〇円	一八,〇二九,〇〇〇円	一七,七五一,〇〇〇円	一三,四五三,〇〇〇円	一〇,五三九,四〇〇円	七,九一六,三〇〇円	六八,九七八,七〇〇円
電氣軌道事業收益歳辨	—	一,三五三,九六五	一,三五三,九六五	一,三五三,九六五	一,三五三,九六五	一,三五三,九六五	六,七六九,八二五
國庫補助金	六四五,〇〇〇	八,三三七,五一八	八,一九八,五一八	六,〇四九,五一八	四,五九二,七一七	三,二八一,一六七	三一,一〇四,四三八

無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額	六四五、〇〇〇	八、三四六、五二八	八、二〇七、五二七	六、〇五八、五二八	四、六〇一、七一七	三、二九〇、一六八	三一、一四九、四二八

受益者負擔金ハ、總工費ヨリ橋梁費ヲ控除シタル額ノ四分ノ一ヲ徴收スルモノトスレハ、左ノ如シ。

總工費	橋梁費	差引殘額	受益者負擔金（上記ノ四分ノ一）
六五、六九四、〇〇〇円	一三、三五二、〇〇〇円	五二、三四二、〇〇〇円	一三、〇八五、五〇〇円

即チ以上ノ結果、一般市歳入ノ處辨ニ求ムヘキ金額ハ左ノ如クナル。

無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ總額	受益者負擔金ヲ以テ銷却スヘキ額	差引一般市歳入ヲ以テ銷却スヘキ額
三一、一四九、四二八円	一三、〇八五、五〇〇円	一八、〇六三、九二八円

右一般市歳入ヲ以テ銷却スヘキ額ハ、他ノ帝都復興事業ニ關スル市ノ負擔ト包括シテ、市將來ノ財政狀態ニ應シ適宜處理スルモノトス。

乙　土地區劃整理事業

一、事業計畫　當初計畫ノ通リ。

二、事業執行年度割　大正十二年度より大正十六年度ニ至ル五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、各年度執行割合凡ソ左ノ如シ。

年度	執行步合	費額（事務費ヲ含ム）
大正十二年度	二・五％	八四九、〇〇〇円
大正十三年度	三七・〇％	一二、九三八、〇〇〇
大正十四年度	三五・一％	一二、二六六、〇〇〇
大正十五年度	一二・六％	四、四一〇、〇〇〇
大正十六年度	一二・八％	四、四六二、〇〇〇
計	一〇〇・〇％	三四、九二五、〇〇〇

三、經理方法　當初事業費總額ヲ國庫補助ニ仰ク見込ノトコロ、政府ハ其ノ三分ノ二ヲ國庫補助金トシテ交付セラルル趣ニ付、其ノ他ハ一般市歳入ノ處辨ニ求ムルモノトス、但シ事業年期間無利息資金ノ融通ヲ仰ク見込ナリ。

四、各年度ニ於ケル國庫補助金及無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額左ノ如シ。

區分	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	計
事業費支出額	八四九、〇〇〇円	一二、九三八、〇〇〇円	一二、二六六、〇〇〇円	四、四一〇、〇〇〇円	四、四六二、〇〇〇円	三四、九二五、〇〇〇円
國庫補助金	五六六、〇〇〇	八、六二五、三三三	八、一七七、三三三	二、九四〇、〇〇〇	二、九七四、六六七	二三、二八三、三三三
無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額	二八三、〇〇〇	四、三一二、六六七	四、〇八八、六六七	一、四七〇、〇〇〇	一、四八七、三三三	一一、六四一、六六七

市参事會審査意見

大正十三年三月五日、市参事會ハ本案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月八日提出　東京市長　永田秀次郎

第五十七號

大正十二年度東京市震災善後費歳入出追加豫算

歳入

一金貳百拾參萬九千圓　歳入豫算高

歳出

一金貳百拾參萬九千圓　歳出豫算高

大正十二年度東京市震災善後費歳入出追加豫算

歳入

豫算			豫算說明	
科目 款	項	豫算額	種目	豫算額
三市債		九二八、〇〇〇円		円
	一市債	九二八、〇〇〇	一借入金	九二八、〇〇〇円
八國庫補助金		一、二一一、〇〇〇		
	二街路修築費補助	六四五、〇〇〇	一街路修築費補助	六四五、〇〇〇
	三土地區劃整理費補助	五六六、〇〇〇	一土地區劃整理費補助	五六六、〇〇〇
歳入合計		二、一三九、〇〇〇		

歳出

豫算			豫算說明	
科目 款	項	豫算額	種目	豫算額
一街路修築竝土地區劃整理費本年度支出額		二、一三九、〇〇〇		
	一給料	三五、三三六	一主事技師給	五、七五〇
			二事務員技手給	二一、四三六
			三雇員給	八、一五〇
	二雜給	三八、二八五	一報酬	一、〇〇〇
			二手當	二六、〇〇〇
			三旅費	五〇〇
			四傭人料	九、七八〇
			五給仕小使給	八〇五
			六舟車馬賃	二〇〇
	三需用費	三〇、〇一九	一備品	二〇、九五〇
			二消耗品	四、七五一
			三印刷費	三、〇〇〇
			四通信費	五〇〇
			五賄費	八一
			六被服費	五三七
			七瓦斯電氣料	二〇〇
	四諸費	九、七八〇	一物件借受料	四、七八〇
			二廣告費	五〇〇
			三雜費	四、五〇〇
	五街路費	一、二五〇、〇〇〇	一街路築造費	一、二五〇、〇〇〇
	六土地區劃整理費	七七五、〇〇〇	一整理費	七七五、〇〇〇

說明　第五十六號議案ニ伴フ年割額計上ノ爲本案ヲ提出ス。

市参事會審査意見

大正十三年三月五日、市参事會ハ本案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月八日　東京市長　永田秀次郎

第五十八號

街路修築竝土地整理事業費起債ニ關スル件

一、起債金額　九拾貳萬八千圓。

二、起債ノ目的　街路修築竝土地整理事業費本年度所要資金ニ充當ノ爲。

三、借入金利率　年五分但シ大正十七年度ハ無利息。

四、借入ノ方法　國庫ヨリ借入。

五、借入時期　大正十三年度。

六、償還ノ期間及方法　大正十七年度迄据置、大正十八年度ヨリ三十箇年間、但シ市財政ノ都合ニヨリ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮スルコトヲ得。

七、元利支拂資源　普通市費。

八、借入ノ爲ニ發行スル債券　借入ノ爲ニ證券交付ノ要アルトキハ適宜券面額ヲ定メ、一種若ハ數種ノ市債券ヲ發行スルモノトス。

説明　第五十七號議案ニ伴ヒ、所要資金調達ノ爲本案ヲ提出ス。

市参事會審査意見

大正十三年三月、市参事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月八日　東京市長　永田秀次郎

何れも三月十二日の市會に付議し、異議なく可決したり、十二月二十四日に至り既定豫算額之に關する政府の豫定額との間に相違あるを以て、政府の豫定額に一致せしむるため、之が更正豫算を市會に付議し異議なく之を可決す。

第八十八號

大正十三年度東京震災善後費歳入出追加豫算

歳入

一、金参千九百六萬七千圓　歳入豫算高

歳出

一、金参千九拾六萬七千圓　歳出豫算高

大正十三年度東京市震災費善後歳出追加豫算

歳入豫算

科目 款	科目 項	豫算額
二、國庫補助金		一六、九七一、八五一円
	五、街路修築費補助	八、三四六、五一八
	六、土地區劃整理費補助	八、六二五、三三三
七、市債		一二、六五九、一八四
	一、市債	一二、六五九、一八八
八、繰入金		一、三三五、九六五
	一、電氣軌道事業費經濟ヨリ繰入	
歳入合計		三〇、九六七、〇〇〇

歳出豫算

科目 款	科目 項	豫算額
十九、繼續街路修築竝土地區劃整理本年度支出額		三〇、九六七、〇〇〇円
	一、給料	七三二、六〇〇
	二、雜給	七三五、六三一
	三、需用費	二二六、九六九
	四、諸費	一一八、八〇〇
	五、營繕費	五〇五、〇〇〇
	六、街路費	一七、〇〇〇、〇〇〇
	七、土地區劃整理費	一一、六四八、〇〇〇

説明　第五十六號市會決議ニ伴フ年割額計上ノ爲本案ヲ提出ス。

市参事會審査委員

大正十三年三月二十八日、市参事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月二十九日提出　東京市長　永田秀次郎

三月二十九日に於ける市會の議に上り、安東議員（正臣）建物移轉料に關して質問し、補償額の過少を疑ふ、番外四番吉田茂之に答へて、區劃整理の建物移轉料は、平均單價二十七圓五十錢なるも、實地の場合は五十圓三十圓乃至二十七圓五十錢以下もあるべく、政府が豫算を組む時適當の額と認めたるものなれども、若し少額なる場合は、自ら之に處する方法あるべしと述べ、安東議員は過少に失すと論ぜしも、異議なく原案を可決す。

第百六十二號

（自大正十二年度至大正十七年度）東京市街路修築竝土地整理費更正繼續年期及支出方法

一、金壹億参百九拾萬参千七百圓　既定街路修築竝土地整理費

一、金壹億百四拾八萬貳千八百貳拾四圓　更正街路修築竝土地整理費

内譯

金貳百拾参萬九千圓　大正十二年度既定支出額

金参千九拾六萬七千圓　大正十三年度既定支出額

金千九百五拾五萬五千九百六拾五圓　同　年度更正支出額

金参千壹萬七千圓　大正十四年度既定支出額

金貳千七百九拾八萬九千九百六拾四圓　同　年度更正支出額

金千七百八十六萬参千圓　大正十五年度既定支出額

金貳千六百九拾五萬貳千九百六拾五圓　同　年度更正支出額

金千五百萬千四百圓　大正十六年度既定支出額

金千五百五拾八萬貳千九百六拾五圓　同　年度更正支出額

金七百九拾壹萬六千参百圓　大正十七年度既定支出額

金九百貳拾五萬千九百六拾四圓　同　年度更正支出額

帝都復興事業トシテ政府ノ執行スル幹線街路修築及土地區劃整理事業ト連繫シテ、補助街路ノ修築及燒失地區ノ土地區劃整理ヲ行フモノトシ、大正十二年度ヨリ大正十七年度ニ至ル六箇年繼續事業トシテ施行中ノトコロ、本市既定豫定額ト之ニ關スル政府豫定額トノ間ニ相違アルヲ以テ、政府ノ豫定額ニ一致セシムル爲之カ費額ヲ更正セントス。

東京市繼續街路修築竝土地整理費更正支出計算表

科目 款	科目 項	種目區分	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	計
一 街路修築竝土地整理費		既定支出額	二、一三九、〇〇〇円	三〇、九六七、〇〇〇円	三〇、〇一七、〇〇〇円	一七、八六三、〇〇〇円	一五、〇〇一、四〇〇円	七、九一六、三〇〇円	一〇三、九〇三、七〇〇円
		更正支出額	二、一三九、〇〇〇	一九、五五五、九六五	二七、九八九、九六四	二六、九五二、九六五	一五、五八二、九六五	九、二五一、九六四	一〇一、四八二、八二四
	一 街路修築費	既定支出額	一、二八六、三〇〇	一八、一三四、二〇〇	一七、四二四、三〇〇	一三、五三四、三〇〇	一〇、六九二、九〇〇	七、九一六、三〇〇	六八、九七八、七〇〇

	更正支出額	一、二九〇、〇〇〇	一一、二三七、九六五	一五、七三七、九六五	一八、六〇九、九六五	一一、四〇三、九六五	九、二五一、九六四	六七、五三一、八二四
一事務費	既定支出額	三六、三〇〇	一、一五四、三〇〇	四二四、三〇〇	五三四、三〇〇	六三二、五〇〇	六七二、三〇〇	三、四五四、〇〇〇
	更正支出額	五〇、八〇六	四六七、三三六	五三一、一〇四	六六二、二〇三	五八八、二〇二	四三九、〇一七	二、七三八、六六八
二工事費	既定支出額	一、二五〇、〇〇〇	一七、〇〇〇、〇〇〇	一七、〇〇〇、〇〇〇	一三、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	七、四四四、〇〇〇	六五、六九四、〇〇〇
	更正支出額	一、二三九、一九四	一〇、七七〇、六二九	一五、二〇六、八六一	一七、九四七、七六二	一〇、八一五、七六三	八、八一二、九四七	六四、七九三、一五六
二土地整理費	既定支出額	八二、五〇〇	三、八一二、八〇〇	一三、六〇三、七〇〇	四、三三八、五〇〇	四、三三八、五〇〇	—	三四、九三五、〇〇〇
	更正支出額	八四九、〇〇〇	八、三三八、〇〇〇	一二、二四〇、〇〇〇	八、三四五、〇〇〇	四、一七九、〇〇〇	—	三三、九五一、〇〇〇
一事務費	既定支出額	七、五〇〇	一、一六四、八〇〇	一、一四五、七〇〇	三九三、五〇〇	三九三、五〇〇	—	三、一七五、〇〇〇
	更正支出額	五二、五六五	九一三、〇八四	九三二、四一〇	一四九、五〇二	五四、四七一	—	二、一〇二、〇三二
二工事費	既定支出額	七五、〇〇〇	二、六四八、〇〇〇	一二、四五八、〇〇〇	三、九四五、〇〇〇	三、九四五、〇〇〇	—	三一、七六〇、〇〇〇
	更正支出額	七九六、四三五	七、四二四、九一六	一一、三〇七、五九〇	八、一九五、四九八	四、一二四、五二九	—	三一、八四八、九六八

東京市繼續街路修築並土地整理費更正支出計算摘要

科目 款	科目 項	支出額	説明 種目	説明 金額		
一街路修築並土地整理費		一〇一、四八二、八二四円				
	一街路修築費	六七、五三一、八二四	一事務費	二、七三八、六六八円		
			二工事費	六四、七九三、一五六	用地補償費	二四、四八七、三九四円
					橋梁費	一五、六五一、九六〇
					地均費	二一、七〇〇、三五一
					雜工雜費	二、九五三、四五一
	二土地整理費	三三、九五一、〇〇〇	一事務費	二、一〇二、〇三二		
			二工事費	三一、八四八、九六八	建物移轉料	二五、〇〇〇、〇〇〇円
					地下埋設物整理費	四、〇九八、九六八
					雜工雜費	二、七五〇、〇〇〇

本案ハ本年三月第五十六號市會議決ニ基ク提案ナルモ、本市既定費額ト之ニ關スル政府豫定額トノ間ニ相違アルヲ以テ、政府ノ豫定額ニ一致セシメムトス、即チ左ノ如シ。

（參考）

街路修築並土地整理費繼續年期及支出法説明書

甲　街路修築事業

一、事業計畫　原計畫ノ通

二、事業執行年度割　大正十二年度ヨリ大正十七年度ニ至ル六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、各年度執行割合凡ソ左ノ如シ。

年度	執行歩合	費額（事務費ヲ含ム）
大正十二年度	一・九%	一、二九〇、〇〇〇円
大正十三年度	一・九%	一、二九〇、〇〇〇
大正十四年度	二三・三%	一五、七三七、九六五円
大正十五年度	二七・六%	一八、六〇九、九六五
大正十六年度	一六・九%	一一、四〇三、九六五
大正十七年度	一三・七%	九、二五一、九六四
計	一〇〇・〇%	六七、五三一、八二四

三、經理方法　原計畫ノ通。

四、各年度ニ於ケル國庫補助金及無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額左ノ如シ。

區分	大正十二年度	大正十三年度
事業費支出額	一、二九〇、〇〇〇円	一一、二三七、九六五円
電氣軌道事業收益歳辨	—	一、四二一、九六五
國庫補助金	六四五、〇〇〇	四、九〇八、〇〇〇
無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額	六四五、〇〇〇	四、九〇八、〇〇〇

區分	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	計
事業費支出額	一五、七三七、九六五円	一八、六〇九、九六五円	一一、四〇三、九六五円	九、二五一、九六四円	六七、五三一、八二四円
電氣軌道事業收益歳辨	一、三三五、九六五	一、三三五、九六五	一、三三五、九六五	一、三三五、九六四	六、七六五、八二四
國庫補助金	七、二〇一、〇〇〇	八、六三七、〇〇〇	五、〇三四、〇〇〇	三、九五八、〇〇〇	三〇、三八三、〇〇〇
無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額	七、二〇一、〇〇〇	八、六三七、〇〇〇	五、〇三四、〇〇〇	三、九五八、〇〇〇	三〇、三八三、〇〇〇

受益者負擔金ハ、總工費ヨリ橋梁費ヲ控除シタル額ノ四分ノ一ヲ徴收スルモノトスレハ左ノ如シ。

總工費	橋梁費	差引殘額	受益者負擔金（上記ノ四分ノ一）
六四、七九三、一五六円	一五、六五一、九六〇円	四九、一四一、一九六円	一二、二八五、二九九円

即チ以上ノ結果一般市歳入ノ處辨ニ求ムヘキ金額ハ左ノ如クナル。

無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ總額	受益者負擔金ヲ以テ銷却スヘキ額	差引一般市歳入ヲ以テ銷却スヘキ額
三〇、三八三、〇〇〇円	一二、二八五、二九九円	一八、〇九七、七〇一円

右一般市歳入ヲ以テ消却スヘキ額ハ、他ノ帝都復興事業ニ關スル市ノ負擔ト包括シテ、市將來ノ財政狀態ニ應シ適宜處理スルモノトス。

乙　土地區劃整理事業

一、事業計畫　原計畫ノ通。

二、事業執行年度割　大正十二年度ヨリ大正十六年度ニ至ル五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、各年度執行割合凡ソ左ノ如シ。

年度	執行歩合	費額（事務費ヲ含ム）
大正十二年度	二・五%	八四九、〇〇〇円
大正十三年度	二四・五%	八、三三八、〇〇〇
大正十四年度	三六・一%	一二、二四〇、〇〇〇
大正十五年度	二四・六%	八、三四五、〇〇〇
大正十六年度	一二・三%	四、一七九、〇〇〇
計	一〇〇・〇%	三三、九五一、〇〇〇

三、經理方法　原計畫ノ通。

四、各年度ニ於ケル國庫補助金及無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額左ノ如シ。

區分	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	計
事業費支出額	八四九、〇〇〇円	八、三三八、〇〇〇円	一二、二四〇、〇〇〇円	八、三四五、〇〇〇円	四、一七九、〇〇〇円	三三、九五一、〇〇〇円

國庫補助金	三六八,000	三,三三二,000	八,一六八,000	三,三六二,000	二,九六八,000	三,六三四,000
無利息資金ノ融通ヲ受クヘキ額	二六三,000	二,七七八,000	四,〇八四,000	二,六八一,000	一,三九三,000	一,三二七,000

本市執行ノ繼續街路修築竝土地整理費ニ對スル政府補助金及貸付金左ノ如シ。

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

（大正十三年七月二十二日官報號外揭載）

一般會計

内務省所管

地方復興事業費貸付金

東京市及横濱市ニ對シ、復興事業ノ資金ニ充ツル爲、左ノ條件ニ依リ、東京市ニハ總額四千八十一萬五千圓、横濱市ニハ總額四百三十萬七千圓ヲ限リ貸付スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

一、貸付金額ハ左ノ年割ノ範圍內トス、但シ各年度ニ屬スル全額ハ之ヲ後年度ニ繰下クルヲ妨ケサルコト。

東京市復興事業費貸付金

大正十三年度	七、七二七、〇〇〇圓
大正十四年度	一一、二八五、〇〇〇圓
大正十五年度	一一、四一八、〇〇〇圓
大正十六年度	六、四二七、〇〇〇圓
大正十七年度	三、九五八、〇〇〇圓
計	四〇、八一五、〇〇〇圓

備考

本表外ニ、政府責任支出ニ依リ、大正十二年度分九二八、〇〇〇圓ノ貸付ヲ受ケタリ。

東京市復興事業費補助

東京市復興事業費補助トシテ、總額五千百八十四萬九千圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	一〇、五〇三、〇〇〇圓
大正十四年度	一五、三六九、〇〇〇圓
大正十五年度	一四、一九九、〇〇〇圓
大正十六年度	七、八二〇、〇〇〇圓
大正十七年度	三、九五八、〇〇〇圓
計	五一、八四九、〇〇〇圓

備考

本表外ニ、政府責任支出ニ依リ、大正十二年度分一、二一一、〇〇〇圓ノ補助ヲ受ケタリ。

第百六十三號

大正十三年度東京市震災善後費歳入出更正豫算

歳　入

一、金八千六拾參萬七千參百六拾貳圓　　既定歳入豫算高

一、金六千九百貳拾參萬六千參百拾七圓　　更正歳入豫算高

歳　出

一、金八千六拾參萬七千參百六拾貳圓　　既定歳入豫算高

一、金六千九百貳拾參萬六千參百貳拾七圓　　更正歳出豫算高

大正十三年度東京市震災善後歳入出更正豫算

歳入豫算

科目 款	項	既定豫算額	更正豫算額
二、國庫補助金		二七、八三三、三七九円	二一、三六四、七二八円
	五、街路修築費補助	八、三四六、三二八	四、六五一、〇〇〇
	六、土地區劃整理費補助	八、六二五、三三三	三、三三二、〇〇〇
七、市債		四〇、七八一、〇二六	三五、八四八、八四三
	一、市債	三、六五九、一八四	七、七二七、〇〇〇
歳入合計		八〇、六三七、三六二	六九、二三六、三二七

歳出豫算

科目 款	項	既定豫算額	更正豫算額
十九、繼續街路修築並土地整理費本年度支出額		一八、九六七、〇〇〇円	一九、五六五、九六五円
	一、街路修築費	三〇、一五四、二〇〇	一一、二三七、九六五
	二、土地整理費	一三、八一三、八〇〇	八、三二八、〇〇〇
歳出合計		八〇、六三七、三六二	六九、二三六、三二七

說　明　第百六十二號議案ニ伴ヒ、豫算更正ノ爲本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十三年十二月十九日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年十二月二十日提出　　東京市長　中村是公

第百二十二號

街路修築並土地整理事業費起債ニ關スル件

一、起債ノ時期及金額　大正十三年度七百七十二萬七千圓、大正十四年度千百二十八萬五千圓、大正十五年度千百四十一萬八千圓、大正十六年度六百四十二萬七千圓、大正十七年度三百九十五萬八千圓合計四千八十一萬五千圓。

二、起債ノ目的　街路修築並土地整理事業費ニ充當。

三、借入金利子　年五分、但据置期間ハ無利子トス。

四、借入ノ方法　國庫ヨリ借入。

五、償還ノ期間及方法　別紙略償還年次表ノ如ク大正十七年度迄据置、大正十八年度以降三十年間ニ償還但市財政ノ都合ニ依リ、繰上償還年限ヲ短縮シ、又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得。

六、元利支拂資源　普通市費ヲ以テ充當。

七、借入ノ爲ニ發行スル債券　借入ノ爲ニ證券交付ノ要アルトキハ、適宜券面額ヲ定メ、一種若ハ數種ノ債券ヲ發行スルモノトス。

說　明　街路修築並土地劃整理事業費ニ對シ、政府ヨリ低利資金ノ融通ヲ受クルモノトシ、本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十五年七月二十一日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年七月二十二日提出　　東京市長　永田秀次郎

大正十三年七月二十六日の市會に於て異議なく可決す。

要するに市執行の帝都復興事業中、街路修築及土地區劃整理は實に左の如き計畫に出でたるものたり。

一、街路修築（六箇年繼續）路面舗裝橋梁修繕及改築を爲すの外、補助線街路築造及同街路の橋梁架設亦市執行事業に加へられ、工費豫算六千七百五十三萬一千八百二十四圓を以て、大正十二年度より十七年度に至る間に之を執行する事と爲る。

1. 街路築造　補助街路百二十三線、延長約十三萬八千三百三十一米幅員八米乃至二十二米。

2. 橋梁架設　百四十三橋。

二、土地整理（六箇年繼續）　五十一地區の整理を爲すものにして、總工費三千三百九十五萬一千圓。

(4)　中央卸賣市場分場建設　計畫左の如し。

第五十九號

（自大正十二年度至大正十四年度）東京市中央卸賣市場建設費繼續年期及支出方法

一、金七百萬圓　中央卸賣市場分場建設費

内　譯

金参百五拾萬圓　大正十二年度支出額

金貳百萬圓　大正十三年度支出額

金百五拾萬圓　大正十四年度支出額

中央卸賣市場神田分場及江東分場建設ノ爲、政府ヨリ低利資金融通ノ内達アリタルヲ以テ、三箇年繼續事業トシテ、本費ヲ計上セリ。

東京市繼續中央卸賣市場建設費支出計算表

科目 款	科目 項	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	計
一 中央大市場分場建設費		三、五〇〇、〇〇〇円	二、〇〇〇、〇〇〇円	一、五〇〇、〇〇〇円	七、〇〇〇、〇〇〇円
	一 用地費	三、〇二五、七五〇	—	—	三、〇二五、七五〇
	二 建築費	—	一、五六一、二三八	二三八、七六二	一、八〇〇、〇〇〇
	三 設備費	四七四、二五〇	四三八、七六二	一、二六一、二三八	二、一七四、二五〇

市參事會審査意見

大正十三年三月五日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年六月八日提出　　東京市長　永田秀次郎

第六十號

大正十二年度東京市震災善後費歳入出追加豫算

歳　入

一金参百五拾萬圓　歳入豫算高

歳　出

一金参百五拾萬圓　歳出豫算高

大正十二年度東京市震災善後費歳入出追加豫算

歳　入

科目 款	科目 項	豫算額	豫算説明（摘抄） 種目	豫算説明（摘抄） 豫算額
三 市債	一 市債	三、五〇〇、〇〇〇円	一 借入金	三、五〇〇、〇〇〇円

歳　出

科目 款	科目 項	豫算額	豫算説明 種目	豫算説明 豫算額	附記 種別及個數
六 繼續中央卸賣市場分場建設費本年度支出額		三、五〇〇、〇〇〇円			
	一 用地費	三、〇二五、七五〇	一 土地買收並整地費	三、〇二五、七五〇円	一三、二五〇坪
	二 設備費	四七四、二五〇	一 鐵道引込工事	四一八、〇〇〇	
			二 護岸工事	三三、五〇〇	
			三 船溜開鑿並浚渫	二、〇〇〇	
			四 雜工事	二〇、七五〇	

理　由　第五十九號議案ニ伴ヒ、年割計上ノ爲本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十三年三月五日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月八日提出　　東京市長　永田秀次郎

第五十九號

中央卸賣市場分場建設費起債ニ關スル件

一、起債ノ時期及金額　大正十二年度參百五十萬圓、大正十三年度二百萬圓大正十四年度百五十萬圓、合計七百萬圓。

二、起債ノ目的　中央卸賣市場分場建設費ニ充當。

三、借入金利率　年四分八厘。

四、借入ノ方法　大藏省預金部ヨリ借入ス。

五、償還ノ期間及方法　別紙償還年次表ノ如ク五箇年据置、爾後十五年間ニ償還ス、但シ市財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ、又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得。

六、元利支拂資源　事業收入及普通市費。

七、借入ノ爲ニ發行スル債劵　借入ノ爲ニ證劵交付ノ要アルトキハ適宜劵面額ヲ定メ一種若ハ數種ノ市債劵ヲ發行スルモノトス。

説　明　第五十九號議案ニ伴ヒ、事業費金借入ノ爲本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十三年三月五日、市參事會ハ本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月八日　　東京市長　永田秀次郎

何れも三月十二日の市會に付議し、異議なく原案に決す。

（參　考）

財發第四〇六號

本年第六十一號議決中央卸賣市場分場建設起債ニ關スル件

別紙寫ノ通更正許可相成候條報告候也。

大正十三年六月二十三日　　東京市長　永田秀次郎㊞

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

（別　紙）

内務省東地第一一九號　　東京府東京市

大正十三年三月十三日庶發第二五五號稟請起債ノ件、左ノ通更正シ許可ス。

大正十三年六月七日

内務大臣　水野錬太郎

大藏大臣　勝田主計

一、起債ノ時期及金額中「大正十二年度參百五拾萬圓、大正十三年度貳百萬圓」ヲ「大正十三年度五百五拾萬圓」ニ更ム。

即ち中央卸賣市場を築地に建設すると同時に、神田江東兩分場設置を見る事となれるなり。

一、神田分場　神田區松永町、山本町、相生町、花田町、花岡町、下谷區練塀町に位置す、敷地一萬二百三十坪。

二、江東分場　本所區横網町一丁目二丁目に位置す、敷地五千三百六十六坪。

(5)　電氣事業復興　計畫左の如し。

第四十二號

（自大正十三年度至大正十五年度）東京市電氣軌道事業復興費繼續年期及支出方法

一金參千七百九拾八萬圓　電氣軌道事業復興費

内　譯

金千九百五拾八萬圓　大正十三年度支出額

金千參百萬圓　大正十四年度支出額

金五百四拾萬圓　大正十五年度支出額

大正十二年九月一日ノ震災ニ因ル電氣軌道事業設備復興ノ爲、三箇年繼續事業トシテ本費ヲ計上セリ。

東京市繼續電氣軌道事業復興費支出計算表

科目 款	項	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	計
一電氣軌道事業復興費		一九、五八〇、〇〇〇円	一三、〇〇〇、〇〇〇円	五、四〇〇、〇〇〇円	三七、九八〇、〇〇〇円
	一用地費	五〇四、〇八五	二五〇、〇〇〇	二〇一、四一四	九五五、四九九
	二軌道費	二、二二三、四四六	一、六六六、二七七	一、〇六六、八二八	四、九五六、五五一
	三電線路費	二、六二九、九五一	一、一三四、二二二	六八一、六五七	四、四四五、八三〇
	四發電所費	一六一、八〇六	一、二九七、八〇六	—	一、四五九、六一二
	五變電所並開閉所費	四三一、七九八	一六七、七二八	五四、〇二六	六五三、五五二
	六車輛費	八、五三二、〇〇〇	四、三三五、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一三、〇三七、〇〇〇
	七建物費	三、〇六六、四七四	三、一四四、五八四	二、六四三、五六二	八、八六四、四四〇
	八機械器具費	四一〇、二三六	二九七、二四七	一四〇、七〇〇	八四八、一八三
	九事務費	五六六、一六五	二八八、九八五	三九、七二八	八九四、八七八
	十電氣研究所費	一五三、七六八	—	—	一五三、七六八
	十一工事請負並物品供給契約補給費	三五四、九五一	—	—	三五四、九五一
	十二豫備費	六九三、三三〇	四六一、一四一	二〇二、二六五	一、三五六、七三六

東京市繼續電氣軌道事業復興費支出計算表說明（摘抄）

科目 款	項	支出額	說明 種目	金額
一電氣軌道事業復興費		三七、九八〇、〇〇〇円		円
	一用地費	九五五、四九九	一用地費	九五五、四九九
	二軌道費	四、九五六、五五一	一職工工夫給	二六〇、七二二
			二手當	三八、〇三三
			三被服費	六、六九一
			四軌道新設	二三三、六九〇
			五軌道改良	三三三、一八二
			六軌道復舊	四、〇八三、七八二
	三電線路費	四、四四五、八三〇	一職工工夫給	二九一、一五五
			二手當	四一、八七二
			三被服費	七、三五〇
			四電線路新設	二〇六、一七九
			五電線路改良	三四二、三七二
			六電線路復舊	三、五五六、九〇二
	四發電所費	一、四五九、六一二	一職工工夫給	五四、七五〇
			二手當	八、三三八
			三被服費	五二四
			四發電所復舊	一、三九六、〇〇〇
	五變電所並開閉所費	六五三、五五二	一職工工夫給	五二、五〇〇
			二手當	八、三八三
			三被服費	六〇三
			四變電所改良	八四、二〇一
			五變電所並開閉所復舊	五〇七、八六五
	六車輛費	一三、〇三七、〇〇〇	一車輛新造	八三〇、〇〇〇
			二車輛改良	三二〇、〇〇〇
			三車輛復舊	一一、七七〇、〇〇〇
			四自動車	一一七、〇〇〇
	七建物費	八、八六四、四四〇	一建物新設	一、一一〇、四二〇
			二建物改良	八三三、八一〇
			三建物復舊	六、九二〇、二一〇
	八機械器具費	八四八、一八三	一機械器具新設	六二、九四七
			二機械器具改良	五四、〇〇〇
			三機械器具復舊	七三一、二三六
	九事務費	八九四、八七八	一主事技師給	五六、〇〇〇
			二事務員技手給	二五一、七一二
			三雇員給	一三九、六八〇
			四休職給	一、五〇〇
			五報酬	一、二〇〇
			六手當	一八九、〇〇六
			七退職並死亡給與金	三、〇〇〇
			八旅費	四、四〇〇
			九測量工夫並傭夫給	七九、五七〇
			十給仕小使給	五、八〇四
			十一備品	四六、一二三
			十二消耗品	五六、五七二
			十三印刷	一二、五三〇
			十四通信費	五、四四八
			十五被服費	四、〇四九
			十六土地物件借受料	三六〇
			十七共濟組合交附金	一二、一三八
			十八慰安會費	一、一六三
			十九雜費	二四、六二五
	十電氣研究所費	一五三、七六八	一建築費	七〇、〇二二
			二初度調辨並整備費	六一、四九五
			三報酬並手當	二二、二五一
	十一工事請負並物品供給契約補給費	三五四、九五一	一補給費	三五四、九五一
	十二豫備費	一、三五六、七三六	一豫備費	一、三五六、七三六

附屬參考書

一、用地費

一、軌道

年度	箇所	員數	土地 單價	土地 金額	移轉料 單價	移轉料 金額	計
大正十三年度	横網町	一五坪	二三〇円	三、四五〇円	三三三円餘	五、〇〇〇円	八、四五〇円

二、變電所

年度	箇所	員數	土地 單價	土地 金額	移轉料 單價	移轉料 金額	計
大正十三年度	飯田町變電所	一五〇坪	一五〇円	二二、五〇〇円	二五五円	三八、二五〇円	六〇、七五〇円
同	黒江町變電所	八〇	一三五	一〇、八〇〇	三〇〇	二四、〇〇〇	三四、八〇〇
計		二三〇	—	三三、三〇〇	—	六二、二五〇	九五、五五〇

三、護岸及土地整理費

年度	箇所	員數	單價	金額	備考
大正十三年度	芝浦工場	七三六間	一〇〇円	七三、六〇〇円	護岸木柵修築
同	芝浦倉庫	六六	一〇〇	六、六〇〇	同
同	石原倉庫	八〇	九一	七、二八〇	護岸石垣修築
同	芝浦工場	二七、三二八坪	二・五〇円	六八、三二〇	五寸地上盛土 二、二七七立坪
計				一五五、八〇〇	

四、道路築造費分擔

區間	道路延長	道路幅員	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	計	備考
自巣鴨二丁目至板橋町下板橋	一・七四七粁	三間	一五〇、〇〇〇円	一五〇、〇〇〇円	一五七、二八七円	四五七、二八七円	總工費一、八二九、一四七圓ノ四分ノ一
自千住大橋至荒川放水路	一・二七九	三	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	六八、六二七	二二八、六二七	總工費九一四、五〇八圓ノ四分ノ一
計	三・〇二六	—	二三〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇	二二五、九一四	六八五、九一四	

二、軌道費

一、職工工夫給

大正十三年度			大正十四年度			大正十五年度			計		
人員	平均日給	金額	人員	平均日給	金額	人員	平均日給	金額	人員	平均日給	金額
一九八人	二・二〇〇円	一五八、九九四円	八〇人	二・二〇〇円	六四、二四〇円	四六人	二・二〇〇円	三六、九三八円	三二四人	二・二〇〇円	二六〇、一七二円

二、手當

大正十三年度			大正十四年度			大正十五年度			計		
慰勞特別手當	負傷手當	計	慰勞特別手當	負傷手當	計	慰勞特別手當	負傷手當	計	慰勞特別手當	負傷手當	計
二三、九五〇円	三二五円	二四、二七五円	九、三二九円	一二六円	九、四五五円	四、二五二円	七一円	四、三二三円	三七、五三一円	五二二円	三八、〇五三円

三、被服費

大正十三年度			大正十四年度			大正十五年度			計		
人員	平均單價	金額	人員	平均單價	金額	人員	平均單價	金額	人員	平均單價	金額
二三八人	一七・二〇〇円	四、〇九四円	九六人	一七・二〇〇円	一、六五二円	五五人	一七・二〇〇円	九四六円	三八九人	一七・二〇〇円	六、六九二円

四、軌道新設

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	巣鴨車庫引込線	〇・一二五粁	四四、四〇五円
同	青山車庫裏引込線	〇・〇二九	一一、七七六
同	虎ノ門材料置場引込線	〇・〇五〇	一〇、四四四
同	芝新堀河岸置場引込線	〇・〇五〇	九、四四〇
同	札ノ辻連絡線	一箇所	二一、〇〇〇
同	京王電車連絡線	一箇所	二四、二二四
大正十四年度	東京驛前ループ線	〇・四五〇	九八、三五二
同	御成門連絡分岐	一箇所	三、七八一
計			二二三、四二二

五、軌道改良

（イ）軌道

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	有樂橋待避線	〇・〇七〇粁	九、八八四円
大正十三年度	大塚新車庫引込線變更	一箇所	一三、五七一
大正十四年度	日比谷待避線	〇・〇二〇	四、八〇六
同	自信濃町至權田原軌道位置變更	〇・五三六	四八、四二〇
計			七六、六八一

（ロ）橋梁

橋梁名	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	計	備考
廣尾橋補強	二、一七一円	—円	—円	二、一七一円	
虎ノ門大下水橋改築	一、五五〇	—	—	一、五五〇	
信濃橋專用橋	一七、二八〇	—	—	一七、二八〇	
千住大橋改築費分擔	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一三三、五〇〇	二三三、五〇〇	總工費七七八、三三三圓ノ十分ノ三
計	七一、〇〇一	五〇、〇〇〇	一三三、五〇〇	二五四、五〇一	

六、軌道復舊

（イ）直線

年度	區間 自	區間 至	哩數	金額
大正十三年度	森下町	菊川橋	一・〇七八哩	四五、五七五円
同	吉野橋	南千住	一・六三四	一一九、七四六
同	龜澤町	外手町	一・〇九四	六七、七九一
同	業平橋	柳島	〇・九八四	四四、九九九
同	外手町	中ノ郷元町	〇・八四八	三五、五七二
同	小川町	須田町	〇・六〇三	四三、九九四
同	松住町	水道橋	一・四七五	一一五、五三四
同	忍町	信濃町	〇・九九六	七四、四四五
同	大手町	呉服橋	〇・六六七	三一、一八八
同	黒江町	柳島町	七・六九六	二四八、九六八
同	相川町	洲崎	二・三八八	七五、三六九
大正十三年度	安宅町	猿江町	二・三七六	七五、〇一三
同	兩國橋	錦絲町	二・六八〇	八四、六〇七
同	駕籠町	巣鴨	〇・七七〇	三七、三六五
大正十四年度	江戸川分岐	大曲分岐	一・二三六	三九、七七二
同	黒江町	永代橋	〇・五六三	一七、六四三
同	永代橋	永代橋分岐	〇・一七六	八、三七九
同	飯田橋	若松町	二・八〇四	一五〇、四八二
同	愛宕下町	御成門	〇・四〇〇	一八、〇六九
同	新大橋	水天宮	〇・七七〇	三七、五五五
同	吾妻橋	吉野橋	一・二〇九	八九、五三九
同	第一高等學校前	肴町	一・三二一	九一、四五五
同	本郷三丁目	松住町	一・四二五	一〇六、七七三
自大正十三年度至大正十四年度計				一、七二〇、四三九

（ロ）待避線

年度	箇所	員數	金額	年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	綠町五丁目	〇・一〇七哩	三、三七九円	大正十三年度	淺草驛前	〇・二六一哩	八、二四〇円
同	兩國驛前	〇・二六三	八、三〇三	計			一九、九二一

（ハ）分岐線設交叉線

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	本石町分岐線	一箇所	四、九〇八円
同	日比谷　同	一	二八、一一三
同	小川町　同	一	二三、一二一
同	錦町三丁目分岐線	一	一四、八八七
同	上野郵便局前　同	一	六、八四八
同	小傳馬町　同	一	七、九四八
同	雷門分岐線	一	五、〇九一
同	小川町分岐線	一	五、〇九一
同	神保町　同	一	四、九〇七

大正十三年度	六本木同	一	一、九四四
同	新宿車庫前分岐線	一	九、〇七五
同	黒江町同	一	四、七二三
同	尾張町交叉點	一	七、九三〇
大正十四年度	青山車庫前同	一	四、九〇七
同	櫻田門外同	一	五、〇二五
同	青山六丁目同	一	五、〇二五
同	飯倉同	一	三、五三七
計			一五五、〇九九

（二）車庫及工場

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	本所車庫	〇・八七七哩	七、四〇一円
同	新宿同	一・〇六一	一二、九二九
大正十五年度	三田同	〇・三三六	六、八七三
同	青山同	一・六〇七	七〇、四一九
大正十三年度	濱松町車庫	一・三三三	四八、七九七
大正十四年度	三ノ輪同	〇・七四一	七、〇〇三
自大正十三年度至大正十四年度	芝浦工場	三・四三六	八四、四一七
計			二三六、八三九

七、橋梁改築ニ伴フ軌道

大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	計
三九二、二九八円	七八四、五九八円	七八四、五九八円	一、九六一、四九四円

內譯

橋梁名	金額	橋梁名	金額
相生橋	四六、四二四	狙橋	二五、一〇八
北ノ橋	二二、九三六	新彈正橋	二五、九五五
神田橋	五八、九八一	千代田橋	二五、九五五
中ノ橋	二三、三五八	同（御成門附近）	二二、〇二六
小川橋	二三、三五八	同（高輪車町）	二二、一三四
彌勒寺橋	二三、二三六	須賀橋	二三、四六〇
海邊橋	二五、四〇八	新堀橋	二二、六七七
黒船橋	二七、三〇六	伊豫橋	二一、八五四
汐見橋	二六、五〇一	水道橋	二四、二八〇
船木橋	二四、六八八	二ノ橋（本所）	二五、七七九
菊川橋	二六、八七三	有樂橋	三五、七〇六
江東橋	二六、六二三	萬世橋	七〇、七四八
業平橋	四三、七六〇	今川橋	二六、六三六
黒龜橋	二四、六八五	菊屋橋	二二、三五〇
福島橋	二四、一三七	泪橋	二二、〇四七
永代橋	二七、一二三	古川橋	六五、九四五
淺草橋	五八、八九一	市ケ谷橋	二四、九三六
靈岸橋	二七、四〇二	船河原橋	三四、二一九
三原橋	四三、七八二	飯田橋	二八、五一五
數寄屋橋	三二、六五〇	櫻橋	三二、四六三
萬年橋	二六、一八七	築地橋	一九、四八五
金杉橋	四二、二〇六	新橋	二九、四四四
宇田川橋	二二、五一七	赤羽橋	二八、九二四
美倉橋	二七、五五八	芝園橋	二八、五一五
和泉橋	三三、八七八	一ノ橋（麻布）	二六、二六八
比丘尼橋	二五、九五五	富坂橋	二三、九六八
下柳堤橋	二二、一五七	三ノ輪橋	二四、六二六
中柳堤橋	二二、一四四	吾妻橋	二五、七〇五
高橋（深川）	二八、九一八	廐橋	二五、八四四
石橋（御成門附近）	二一、九五三	兩國橋	一四三、〇八九
同（櫻川町）	二一、九五三	新川橋	二六、九〇一
十番橋	二二、七四四		
計	一、九六一、四九四		

三、電線路費

一、職工工夫給

年度	人員	平均日給	金額
大正十三年度	一七八人	二・三六〇円	一五三、三三〇円
大正十四年年	九二人	二・三六〇円	七八、三六八円
大正十五年度	六九人	二・三六〇円	五九、四七三円
計	三三九人	二・三六〇円	二九一、一七一円

二、手當

年度	慰勞並特別手當	負傷手當	計
大正十三年度	二一、一二四円	一、〇八四円	二二、二〇八円
大正十四年度	一〇、八六七円	四五九円	一一、三二六円
大正十五年度	八、一八一円	一五七円	八、三三八円
計	四〇、一七二円	一、七〇〇円	四一、八七二円

三、被服費

年度	人員	平均單價	金額
大正十三年度	二一二人	一八・一〇〇円	三、八三六円
大正十四年度	一〇九人	一八・一〇〇円	一、九七三円
大正十五年度	八七人	一八・一〇〇円	一、五七一円
計	四〇八人	一八・一〇〇円	七、三八〇円

四、電線路新設

（イ）電車線

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	巣鴨車庫引込線	〇・一二三哩	二、六五一円
同	青山車庫裏同	〇・〇一九	七七七
同	京王電車連絡線	一箇所	七、四六一
同	虎ノ門材料置場	〇・〇五〇	三、七一四
同	芝新堀河岸材料置場	〇・〇三〇	一、五三四
大正十四年度	御成門連絡分岐線	一箇所	六、七三四
同	札ノ辻同	一箇所	三、四三七
同	東京驛前ループ線	〇・四七三	三八、一八六
計			六四、四九四

（ロ）電話其他

年度	名稱	員數	金額	備考
大正十三年度	目黒車庫外五箇所火災報知電話	一	八、五九〇円	目黒、駒込、柳島、南千住、錦絲堀、洲崎
同	目黒電車課出張所外十五箇所電話設備	一	三、七六〇	電車課出張所（目黒、駒込、柳島、南千住）發電所（芝浦、洲崎）變電所（三ノ輪、駒込、日本橋、大塚、御成門、三宅坂、牛込、八丁堀、溜池、美倉橋）
同	本局廳舍MM式火災報知機加入建設費	發信機 一〇箇	一、九〇〇	
同	芝崎町倉庫MM式火災報知機加入建設費	發信機 五箇	一、六五〇	
大正十五年度	間隔記録器取付	二三組	六三、九一八	亘長二三哩
自十三年度至十五年度	三田車庫外十四箇所各棟非常開閉器取付	自動遮斷器 三〇箇	六一、八六七	
計			一四一、六八五	

五、電線路改良

（イ）電車線

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	信濃町權田原間位置變更	〇・五五六哩	一〇、二二四円
同	大塚新車庫引込線變更	一箇所	一、五六三
同	有樂橋待避線	〇・〇五〇	二、九一四
大正十四年度	日比谷待避線	〇・〇二〇	一、三九五
計			一六、〇九六

（ロ）地中線

年度	箇所	員數	條數	金額
大正十三年度	信濃町櫛田原間位置變更	〇・五五六哩	五	七九、一三八円
同	南千住三河島間同	一・一〇四	一〇	一六一、七〇六
大正十五年度	新宿一丁目角答間架空線ヲ地中線ニ變更	〇・六八一	一	三六、八六八
計				二七七、七一二

（ハ）電燈線

年度	箇所	金額
大正十三年度	局用電燈配電燈線改良	四八、五六四円
計		四八、五六四

六、電線路復舊

（イ）電車線

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	自黑江町至柳島橋	三・八五六哩	一二二、四二六円
同	自相川町至洲崎	一・一九四	二、九四六
同	自安宅町至猿江町	一・一八八	二、二九八
同	自兩國橋至錦糸堀	一・三四〇	五、〇七一
同	緑町五丁目待避線	〇・〇六三	五二七
同	兩國驛前同	〇・一四〇	五七五
同	淺草驛前同	〇・一四〇	五六五
同	芝浦工場	二・三〇〇	四一、二八二
同	芝浦工場トラバーサー	一・一三六	六、八二〇
同	錦糸堀車庫	〇・五二六	八、三一六
同	新宿同	一・五七四	二四、八八九
同	本所同	一・一五〇	一八、一七五
同	濱松町同	一・三二二	三五、二〇五
大正十四年度	三ノ輪同	一・一一〇	一七、五五一
大正十五年度	三田同	一・六五六	二五、七四四
同	青山同	二・五七〇	四二、九二五
計			二四五、三一五

（ロ）地中線

年度	區間 自	區間 至	種別	員數	條數	金額	備考
大正十三年度	大塚變電所	電車通り	饋電線	〇・〇七三哩	二	六、三四七円	
同	三ノ輪同	同	同	〇・〇七三	二	六、三四七	
同	同	電車通り分岐	同	〇・二六二	一	一一、三六八	
同	御成門同	電車通り	同	〇・二八二	一	一一、三六八	
同	同	電車通り交叉	同	〇・一三三	一	五、七七〇	
同	三宅坂變電所	電車通り	同	〇・〇三一	二	二、六八九	
同	同	電車通り交叉	同	〇・〇六三	三	一〇、三七五	
同	美倉橋同	電車通り	同	〇・一四二	四	二六、〇二七	
同	溜池同	同	同	〇・二〇八	二	一八、三七四	
同	同	虎ノ門交叉	同	〇・五〇〇	二	四四、〇三五	
同	濱松町車庫內		同	—	一	二、八〇三	
同	大塚變電所	駒込變電所	送電線	一・三三五	一	六一、四四一	
同	同	春日町同	同	一・七〇四	一	七三、三六八	
同	小沼開閉所	三ノ輪同	同	一・七〇四	一	七三、三六八	ヒラー一箇所ヲ含ム
同	同	下谷同	同	三・九〇一	一	一八〇、二三三	
同	三ノ輪變電所	淺草同	同	一・七〇四	一	七三、五二六	
同	濱町變電所	一ノ橋開閉塔	同	〇・七五七	一	三四、五九五	ヒラー一箇所ヲ含ム
大正十三年度	濱町變電所	青山變電所	送電線	一・三三五	一	六三、四四一	
同	櫻田本郷町交叉	虎ノ門交叉	同	〇・三五九	一	一五、三三五	
同	青山變電所	赤坂見附交叉	同	〇・七五九	一	三三、五九五	
同	春日町同	飯田橋交叉	同	〇・九六六	一	四六、六一八	
同	下谷同	美倉橋變電所	同	一・一七四	一	五四、二四三	
同	美倉橋同	平永町同	同	〇・六六四	一	三〇、六三〇	
同	御成門同	引込	同	〇・一四七	四	二三、〇二三	
同	三宅坂同	同	同	〇・〇六六	二	六、二三五	
同	溜池同	同	同	〇・一〇四	二	一八、三六三	
同	下谷開閉所附近開閉塔設備		同	—	—	三四、八七八	
大正十四年度	芝浦發電所	芝變電所	同	一・四七〇	四	一九〇、二九九	
同	芝變電所	白金同	同	一・八七〇	一	七一、三六六	
同	同	京橋同	同	一・七四〇	一	六五、二四七	
大正十三年度 十四年度	應急電話		電話線	—	—	四〇八、六九九	
計						一、六〇七、二二一	

（ハ）電話其他

年度	名稱	員數	金額	備考
大正十三年度	本局廳舍電話設備	實裝 二〇〇 局內 一三〇	六七、〇六五円	
同	本所消防署外六箇所出動信號電鈴	一〇	一、四四九	
同	電氣時計	親時計二箇 子時計一八七箇	三四、五二一	インダクター 一 親時計 鐵柱用 二六 子時計ポスト型 六 室內用 五 親時計 二 阿部式鐵柱用 五七 子時計ポスト型 五 室內用 八八
大正十四年度	三宅坂自動轉轍機	一箇所	二、八九六	
同 十三年度 十四年度	應急電話設備		一三七、六九二	
計			二六二、六五三	

（ニ）橋梁改築ニ伴フ電線路

大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	計
一七〇、五一一円	三四一、〇二一円	三四一、〇二〇円	八五二、五五二円

內譯

橋梁名	金額
相生橋	九、二九一円
中ノ橋	三、四八九
神田橋	二三、八九七
祖橋	一〇、〇五五
新彈正橋	六、二二〇
千代田橋	八、五九八
黑船橋	五、一七三
汐見橋	六、〇五七
小川橋	三、四八九
北ノ橋	四、一八五
彌勒寺橋	一四、二四二
海邊橋	八、七八九
高橋（深川）	二四、七六九
伊豫橋	五、一〇九
船木橋	三、二一〇
菊川橋	四、九三一
江東橋	五、一六五
業平橋	一〇、七〇二
黑龜橋	五、一八五
福島橋	七、八〇三

橋梁名	金額
水道橋	一五、〇九五円
靈岸橋	四二、一六五
三原橋	九、六九一
數寄屋橋	六一、五六七
萬年橋	一七、一〇九
金杉橋	二一、五八一
永代橋	八三、九二七
淺草橋	一〇、七二九
和泉橋	九、五〇七
比丘尼橋	五、二四五
下柳堤橋	二、一三九
中柳堤橋	一、八八九
宇田川橋	二、七五三
石橋（御成門附近）	一、三七二
同（櫻川町）	一、三七二
同（御成門附近）	一、四三二
同（高輪車町）	一、六〇五
須賀橋	四、二八二
新堀橋	二、一七九
菊屋橋	二、一三七

泪橋	一、七七三	築地橋	一二、〇四一
二ノ橋（本所）	二一、二五八	新橋	一一、九二五
有樂橋	四、三五二	赤羽橋	四、二八二
萬世橋	三四、九一一	芝園橋	八、一四四
十番橋	二、七〇〇	一ノ橋（麻布）	七、九五八
古川橋	一三、三〇六	三ノ輪橋	二、六一六
市ヶ谷橋	二、七九二	吾妻橋	三一、四一八
船河原橋	一三、三〇三	厩橋	一〇四、六三六
飯田橋	一〇、七三〇	新川橋	五、四三九
富坂橋	四、九〇五	兩國橋	七五、〇一二
今川橋	三、九七八	計	八五二、五五二
櫻橋	六、九三八		

（ホ）變電所本建築ニ伴フ地中線移轉

年度	箇所	送電線 條數	送電線 金額	饋電線 條數	饋電線 金額	計
大正十三年度	三ノ輪變電所	二	四、八七五円	三	九、四〇三円	一四、二七八円
同	下谷同	二五	六二、七〇五	一八	五八、〇四八	一二〇、七五三
同	有樂橋同（特高）	四一七	四八、二七七	一九	六一、一五一	一〇九、四二八
同	平永町同	三	七、三四八	三	九、四四七	一六、七九五
同	濱松町同（特高）	二五	一五、二九〇	九	二八、八〇七	四四、〇九七
同	春日町同	五	三一、四九七	一六	三二、四二二	六三、九一九
同	駒込同	二	四、九〇四	四	一二、六二一	一七、五二五
同	御成門同	四	九、九二一	三	九、五六七	一九、四八八
同	三宅坂同	二	四、九二四	五	一五、八二七	二〇、七五一
同	八丁堀同	三	七、三七九	四	一二、六五四	二〇、〇三三
同	大塚同	二	四、八一九	二	六、二〇一	一一、〇二〇
大正十四年度	黒江町同	一	二、四四一	四	一二、五五二	一四、九九三
同	飯田町同	二	四、九二四	五	一五、八二七	二〇、七五一
大正十四年度	常盤橋同	二	四、八七五	三	九、四〇三	一四、二七八
大正十五年度	青山同	四	九、八六七	四	一二、六八四	二二、五五一
大正十五年度	横網同	五	一六、七六一	一三	四一、七七二	五八、五三三
計			三二一、八二七		三六七、三四四	六八九、一七一

四、發電所費

一、職工工夫給

	人員	平均日給	金額
大正十三年度	二五人	三円	二七、三七五円
大正十四年度	二五人	三円	二七、三七五円
計	五〇人	三円	五四、七五〇円

二、手當

	慰勞並特別手當	負傷手當	計
大正十三年度	四、〇一九円	一五〇円	四、一六九円
大正十四年度	四、〇一九円	一五〇円	四、一六九円
計	八、〇三八円	三〇〇円	八、三三八円

三、被服費

	人員	平均單價	金額
大正十三年度	二五人	八、七五円	二一八円
大正十四年度	二五人	八、七五円	二一八円
計	五〇人	八、七五円	四三七円

四、發電所復舊

種別	員數	單價	大正十三年度	大正十四年度	計	備考
煙突竝煙道	二基	五〇、〇〇〇円	一〇〇、〇〇〇円	—円	一〇〇、〇〇〇円	
給水設備	—	—	三〇、〇〇〇	—	三〇、〇〇〇	
汽罐	八基	六〇、〇〇〇	—	四八〇、〇〇〇	四八〇、〇〇〇	節炭機ヲ含ム
汽機	三、〇〇〇KW 二臺	二五〇、〇〇〇	—	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	
配電盤	一三面	一、六六六餘	—	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	
起重機	一臺	—	—	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	
石炭竝石炭殻處理裝置	—	—	—	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	
附屬諸機械竝電線費	—	—	—	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	
取付竝雜費	—	—	—	四六、〇〇〇	四六、〇〇〇	
計			一三〇、〇〇〇	一、二六六、〇〇〇	一、三九六、〇〇〇	

五、變電所竝開閉所費

一、職工工夫給

	人員	平均日給	金額
大正十三年度	二四人	三円	二六、二八〇円
大正十四年度	二〇人	三円	二一、九〇〇円
大正十五年度	三〇日	三円	四、三二〇円
計	四八人	三円	五二、五〇〇円

二、手當

	慰勞並特別手當	負傷手當	計
大正十三年度	三、八五八円	一〇〇円	三、九五八円
大正十四年度	三、二二五円	二〇〇円	三、四二五円
大正十五年度	九六〇円	五〇円	一、〇一〇円
計	八、〇四三円	三五〇円	八、三九三円

三、被服費

	人員	平均單價	金額
大正十三年度	二九人	九・九六〇円	二八九円
大正十四年度	二五人	一〇・三〇〇円	二五八円
大正十五年度	一三人	一二・〇〇〇円	一五六円
計	六七人	九・〇〇〇円	七〇三円

四、變電所改良

種別	員數	單價	金額
一、〇〇〇A七五〇V單極開閉器	三〇箇	三〇円	九〇〇円
六〇A六〇〇V抵抗器	二〇	五〇〇	一〇、〇〇〇
交流三〇〇A六〇〇V積算電力計	一〇	三〇〇	三、〇〇〇
ブローアーモーター	一〇	一三〇	一、三〇〇
シンクロナイザー	三	三〇〇	九〇〇
自動遮斷器	一〇〇	三五〇	三五、〇〇〇
局用電燈電源改良	—	—	二二、二四〇
受電線切替裝置	—	—	一〇、八六一
計	—	—	八四、二〇一

五、變電所竝開閉所復舊

箇所	設備容量	設置機械	機械費 員數	機械費 單價	機械費 金額	配電盤費 員數	配電盤費 單價	配電盤費 金額	附屬機械竝電線費 一キロ當單價	附屬機械竝電線費 金額	取付費	運搬費	計
十三年度 下谷變電所	二、二五〇K	七五〇KW 三臺	一臺	—円	一五、〇〇〇円	一〇面	二、〇〇〇円	二〇、〇〇〇円	一、七〇〇キロ 七五〇キロ 一八 三円	三一、五〇〇円	一、三二〇円	二、一六〇円	六九、九八〇円
有樂町同	二、二五〇	七五〇 三臺	三	一五、〇〇〇	四五、〇〇〇	一〇	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一八	五〇、四〇〇	一、三二〇	六、四八〇	一二三、二〇〇
美倉橋同	一、〇〇〇	五〇〇 二臺	—	—	—	—	—	—	三	一二、〇〇〇	九一五	二、一六〇	一五、〇七五

溜池變電所	一、〇〇〇	五〇〇	二臺	—	—	—	一〇	二、五〇〇	二五、〇〇〇		一八	一八、〇〇〇	九二五	—	四三、九二五
下谷開閉所	—		—	—	—	—	—	—	—		—	七五、〇〇〇	—	—	七五、〇〇〇
十四年度 春日町變電所	二、五〇〇	七五〇 五〇〇	二臺 二臺	—	—	—	—	—	—		三	三〇、〇〇〇	一、五二五	四、三三〇	三五、八五五
濱松町同	八〇〇	四〇〇	二臺	—	—	—	—	—	—		三	九、六〇〇	九二五	—	一〇、五二五
忍町同	二、二五〇	七五〇	三臺	—	—	—	—	—	—	一、五〇〇キロ 七五〇キロ	一八 三	三一、五〇〇	一、二三〇	八、七五〇	四一、四八〇
常盤橋同	一、〇〇〇	五〇〇	二臺	—	—	—	—	—	—		三	一二、〇〇〇	九二五	四、三三〇	一七、二五五
飯田町同	一、五〇〇	七五〇	二臺	—	—	—	—	—	—		三	一八、〇〇〇	九二五	二、一六〇	二一、〇八五
黑江町同	九〇〇	七五〇 四〇〇	一臺 一臺	—	—	—	—	—	—		三	一〇、八〇〇	九二五	四、三三〇	一六、〇五五
十五年度 横網町同	二、三〇〇	七五〇 四〇〇	二臺 二臺	—	—	—	—	—	—	一、五〇〇キロ 八〇〇キロ	一八 三	三六、六〇〇	一、五二五	—	三八、一二五
青山同	八〇〇	四〇〇	二臺	—	—	—	—	—	—		三	九、六〇〇	九二五	—	一〇、五二五
計	一八、三五〇		—	四	—	六〇、〇〇〇	一〇	—	六五、〇〇〇		—	三三五、一〇〇	一三、一一五	三四、六五〇	三〇七、八六五

六、車輛費

一、車輛新造

（イ）貨物ボギー車

種別	大正十三年度 員數	大正十三年度 單價	大正十三年度 金額	大正十四年度 員數	大正十四年度 單價	大正十四年度 金額	計 員數	計 單價	計 金額	備考
車體	五〇臺	二、七〇〇円	一三五、〇〇〇円	五〇臺	二、七〇〇円	一三五、〇〇〇円	一〇〇臺	二、七〇〇円	二七〇、〇〇〇円	
車臺	五〇	一、二〇〇	六〇、〇〇〇	五〇	一、二〇〇	六〇、〇〇〇	一〇〇	一、二〇〇	一二〇、〇〇〇	燒損品使用
電氣裝置	五〇	四、二〇〇	二一〇、〇〇〇	五〇	四、二〇〇	二一〇、〇〇〇	一〇〇	四、二〇〇	四二〇、〇〇〇	同
車輛備品	五〇	二〇〇	一〇、〇〇〇	五〇	二〇〇	一〇、〇〇〇	一〇〇	二〇〇	二〇、〇〇〇	同
計	五〇	八、三〇〇	四一五、〇〇〇	五〇	八、三〇〇	四一五、〇〇〇	一〇〇	八、三〇〇	八三〇、〇〇〇	

二、車輛改良

（イ）空氣制動機取付

種別	大正十四年度 員數	大正十四年度 單價	大正十四年度 金額	大正十五年度 員數	大正十五年度 單價	大正十五年度 金額	計 員數	計 單價	計 金額
舊ボギー車ニ空氣制動機取付	一〇〇臺	一、六〇〇円	一六〇、〇〇〇円	一〇〇臺	一、六〇〇円	一六〇、〇〇〇円	二〇〇臺	一、六〇〇円	三二〇、〇〇〇円

三、車輛復舊

（イ）ボギー車

種別	大正十三年度 員數	大正十三年度 單價	大正十三年度 金額	大正十四年度 員數	大正十四年度 單價	大正十四年度 金額	計 員數	計 單價	計 金額	備考
車體	二五〇臺 一〇〇	一〇、四〇〇円 九、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇円 九〇〇、〇〇〇	一五〇臺 —	一〇、四〇〇円 —	一、五六〇、〇〇〇円 —	四〇〇臺 一〇〇	一〇、四〇〇円 九、〇〇〇	四、一六〇、〇〇〇円 九〇〇、〇〇〇	
車臺	二五〇 一〇〇	六、八〇〇 一、七〇〇	一、七〇〇、〇〇〇 一七〇、〇〇〇	一五〇 —	六、八〇〇 —	一、〇二〇、〇〇〇 —	四〇〇 一〇〇	六、八〇〇 一、七〇〇	二、七二〇、〇〇〇 一七〇、〇〇〇	燒損品使用
電氣裝置	二五〇 一〇〇	七、五〇〇 五、五〇〇	一、八七五、〇〇〇 五五〇、〇〇〇	一五〇 —	七、五〇〇 —	一、一二五、〇〇〇 —	四〇〇 一〇〇	七、五〇〇 五、五〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇 五五〇、〇〇〇	燒損品使用
車輛備品	二五〇 一〇〇	三〇〇 二〇〇	七五、〇〇〇 二〇、〇〇〇	一五〇 —	三〇〇 —	四五、〇〇〇 —	四〇〇 一〇〇	三〇〇 二〇〇	一二〇、〇〇〇 二〇、〇〇〇	燒損品使用
計	二五〇 一〇〇	二五、〇〇〇 一六、四〇〇	六、二五〇、〇〇〇 一、六四〇、〇〇〇	一五〇 —	二五、〇〇〇 —	三、七五〇、〇〇〇 —	四〇〇 一〇〇	二五、〇〇〇 一六、四〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇 一、六四〇、〇〇〇	

（ロ）空氣制動機取付

種別	大正十三年度 員數	大正十三年度 單價	大正十三年度 金額	備考
舊ボギー車空氣制動機取付	一〇〇臺	一、三〇〇円	一三〇、〇〇〇円	燒損品使用

四、自動車

種別	大正十三年度 員數	大正十三年度 單價	大正十三年度 金額	備考
軌道用貨物	三臺	一〇、〇〇〇円	三〇、〇〇〇円	二噸ダムプボデー
電路用貨物	一	—	八、〇〇〇	二噸
電路用梯付	四	一二、〇〇〇	四八、〇〇〇	
車輛用應急	二	一五、五〇〇	三一、〇〇〇	トロ付
計	一〇	平均一一、七〇〇	一一七、〇〇〇	

七、建物費

一、建物新設

年度	箇所	建築費			給排水電燈設備其他雜費	計	備考
		員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	（円）	（円）	
大正十三年度	濱松町軌道係出張所	八〇	二〇〇	一六、〇〇〇	二、四〇〇	一八、四〇〇	木造石綿盤葺
〃	淺草電路係 同	五〇	二〇〇	一〇、〇〇〇	一、五〇〇	一一、五〇〇	〃
〃	大塚電車課出張所食堂炊事場	八	二〇〇	一、六〇〇	三二〇	一、九二〇	〃
〃	廣尾同 同	七	一五〇	一、〇五〇	二一〇	一、二六〇	木造亞鉛引波形鐵板葺
〃	神明町同 同	六	二〇〇	一、二〇〇	二四〇	一、四四〇	木造石綿盤葺
〃	青山南町同 同	一〇	二〇〇	二、〇〇〇	四〇〇	二、四〇〇	〃
〃	横網軌道係作業所	一六〇	二〇〇	三二、〇〇〇	三、二〇〇	三五、二〇〇	鐵骨造亞鉛引波形鐵板葺
〃	同 事務室及附屬家	一七六	二五〇	四四、〇〇〇	四、四〇〇	四八、四〇〇	鐵筋コンクリート造
〃	同 碎石及砂置場	二〇〇	二〇	四、〇〇〇	四〇〇	四、四〇〇	
〃	芝浦假倉庫	三〇〇	二〇	六、〇〇〇	—	六、〇〇〇	木造亞鉛引波形鐵板葺編設
〃	三ノ輪現業員寄宿舍	一〇〇	二〇〇	二〇、〇〇〇	三、〇〇〇	二三、〇〇〇	木造石綿盤葺
大正十三年度 大正十四年度	現業員宿舍	一、二〇〇	三〇〇	三六〇、〇〇〇	五四、〇〇〇	四一四、〇〇〇	鐵筋コンクリート造
大正十四年度 大正十五年度	病院	一、三五〇	三五〇	四七二、五〇〇	七〇、〇〇〇	五四二、五〇〇	〃
計		三、六四七	—	九七〇、三五〇	一四〇、〇七〇	一、一一〇、四二〇	

二、建物改良

（イ）電車課出張所

年度	箇所	鐵筋コンクリート造			木造石綿盤葺			支障物整理費	給排水電燈煖房設備其他雜費	計
		員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	員數（坪）	單價（円）	金額（円）	（円）	（円）	（円）
大正十四年度	青山	三五〇	三五〇	一二二、五〇〇	一〇	一五〇	一、五〇〇	三、八七〇	一八、六〇〇	一四六、四七〇
〃	三田	三五〇	三五〇	一二二、五〇〇	一〇	一五〇	一、五〇〇	三、八七〇	一八、六〇〇	一四六、四七〇
大正十五年度	巣鴨	三五〇	三五〇	一二二、五〇〇	一〇	一五〇	一、五〇〇	三、八七〇	一八、六〇〇	一四六、四七〇
大正十五年度	早稻田	三五〇	三五〇	一二二、五〇〇	一〇	一五〇	一、五〇〇	三、八七〇	一八、六〇〇	一四六、四七〇
計		一、四〇〇	—	四九〇、〇〇〇	四〇	—	六、〇〇〇	一五、四八〇	七四、四〇〇	五八五、八八〇

（ロ）車庫防火壁（鐵筋ブロック積）

箇所	大正十三年度			大正十四年度			大正十五年度			計
	員數（兩坪）	單價（円）	金額（円）	員數（兩坪）	單價（円）	金額（円）	員數（兩坪）	單價（円）	金額（円）	（円）
巣鴨車庫	三三三	一二〇	三九、九六〇	二七九	一二〇	三三、四八〇	三四六・五	一二〇	四一、五八〇	一一五、〇二〇
同周圍塀	六八間	九〇	六、一二〇	—	—	—	—	—	—	六、一二〇
雜費	—	—	二、三〇〇	—	—	一、六七〇	—	—	二、〇八〇	六、〇五〇
小計	—	—	四八、三八〇	—	—	三五、一五〇	—	—	四三、六六〇	一二七、一九〇
早稻田車庫	三〇三	一二〇	三六、三六〇	二五二	一二〇	三〇、二四〇	二六七	一二〇	三二、〇四〇	九八、六四〇
同周圍塀	一五〇間	九〇	一三、五〇〇	—	—	—	—	—	—	一三、五〇〇
雜費	—	—	二、四九〇	—	—	一、五一〇	—	—	一、六〇〇	五、六〇〇
小計	—	—	五二、三五〇	—	—	三一、七五〇	—	—	三三、六四〇	一一七、七四〇
計	—	—	一〇〇、七三〇	—	—	六六、九〇〇	—	—	七七、三〇〇	二四四、九三〇

（ハ）掘井戸（自動ポンプ附）

年度	箇所	員數	金額
大正十三年度	淺草車庫內	一箇所	一、五〇〇円
大正十三年度	錦絲堀車庫內	一	一、五〇〇
計		二	三、〇〇〇

三、建物復舊

（イ）發電所

年度	箇所	鐵筋コンクリート建			木造石綿盤葺			給排水電燈設備其他雜費	計
		員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	（円）	（円）
大正十三年度 大正十四年度	芝浦發電所	八〇〇	五〇〇	四〇〇、〇〇〇	一五〇	二〇〇	三〇、〇〇〇	四三、〇〇〇	四七三、〇〇〇
計		—	—	四〇〇、〇〇〇	—	—	三〇、〇〇〇	四三、〇〇〇	四七三、〇〇〇

（ロ）變電所

年度	箇所	鐵筋コンクリート建			木造石綿盤葺			在來建物取毀			給排水電燈設備其他雜費	計
		員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	員數（坪）	單價（円）	金額（円）	員數（坪）	單價（円）	金額（円）	（円）	（円）
大正十三年度	下谷變電所	二六〇	四〇〇	一〇四、〇〇〇	—	—	—	二二四	一五	三、三六〇	一五、六〇〇	一二二、九六〇
〃	有樂町〃	三九〇	四〇〇	一五六、〇〇〇	—	—	—	三三九	一五	五、〇八五	二三、四〇〇	一八四、四八五
〃	美倉橋〃	一四六	四〇〇	五八、四〇〇	—	—	—	—	—	—	八、七六〇	六七、一六〇
〃	溜池〃	一四六	四〇〇	五八、四〇〇	—	—	—	—	—	—	八、七六〇	六七、一六〇
〃	假格納庫	—	—	—	一五〇	七〇	一〇、五〇〇	—	—	—	一、〇五〇	一一、五五〇
大正十三年度 大正十四年度	春日町變電所	一八五	四〇〇	七四、〇〇〇	—	—	—	一八五	一五	二、七七五	一一、一〇〇	八七、八七五
〃	濱松町〃	一四八	四〇〇	五九、二〇〇	—	—	—	二〇七	一五	三、一〇五	八、八八〇	七一、一八五
大正十四年度	常盤橋〃	一四六	四〇〇	五八、四〇〇	—	—	—	五八	一五	八七〇	八、七六〇	六八、〇三〇
〃	飯田町〃	一四六	四〇〇	五八、四〇〇	—	—	—	—	—	—	八、七六〇	六七、一六〇
〃	黑江町〃	一四六	四〇〇	五八、四〇〇	—	—	—	—	—	—	八、七六〇	六七、一六〇
〃	忍町〃	一八五	四〇〇	七四、〇〇〇	—	—	—	一四三	一五	二、一四五	一一、一〇〇	八七、二四五
大正十五年度	横網〃	一八五	四〇〇	七四、〇〇〇	—	—	—	一四二	一五	二、一三〇	一一、一〇〇	八七、二三〇
〃	青山〃	一四六	四〇〇	五八、四〇〇	—	—	—	—	—	—	八、七六〇	六七、一六〇

計	二、三三九	—	八六二、六〇〇	一五〇	—	一〇、五〇〇	一、二九八	—	一九、四七〇	一三四、七六〇

（最後の値）一、〇五六、五六〇

（ハ）車庫

年度		大正十三年度					大正十四年度		大正十五年度		計
		新宿車庫	錦絲堀車庫	濱松町車庫	東大久保車庫	早稻田車庫	本所車庫	三ノ輪車庫	三田車庫	青山車庫	
車庫（鐵筋コンクリート建）	員數	八一〇	—	—	—	—	六〇〇	五〇四	九四五	一、一八八	四、〇四七
	單價	二〇〇	—	—	—	—	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	—
	金額	一六二、〇〇〇	—	—	—	—	一二〇、〇〇〇	一〇〇、八〇〇	一八九、〇〇〇	二三七、六〇〇	八〇九、四〇〇
同附屬家（同上）	員數	二五〇	—	—	—	—	二五〇	二五〇	二五〇	三〇〇	一、三〇〇
	單價	三〇〇	—	—	—	—	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	—
	金額	七五、〇〇〇	—	—	—	—	七五、〇〇〇	七五、〇〇〇	七五、〇〇〇	九〇、〇〇〇	三九〇、〇〇〇
同附屬家（木造石綿盤葺）	員數	—	一四〇	—	—	—	—	—	—	—	一四〇
	單價	—	二〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—
	金額	—	二八、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	二八、〇〇〇
車庫附屬家改造費	員數	—	一一二	三六〇	—	—	—	—	—	—	四七二
	單價	—	一五〇	五〇	—	—	—	—	—	—	—
	金額	—	一六、八〇〇	一八、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	三四、八〇〇
修復費	員數	—	六二四	二、八三六	一、三六五	一五九	—	—	—	—	四、九八四
	單價	—	五〇	一五	一〇	五〇	—	—	—	—	—
	金額	—	三一、二〇〇	四二、五四〇	一三、六五〇	七、九五〇	—	—	—	—	九五、三四〇
車庫內ピット	員數	四〇〇	—	二七六	—	一八五	三〇〇	二五〇	四八〇	五九四	二、七四〇
	單價	二八	—	二八	—	一〇〇	二八	二八	二八	二八	—
	金額	一一、二〇〇	—	七、七二八	—	一八、五〇〇	八、四〇〇	七、〇〇〇	一三、四四〇	一六、六三二	九〇、〇四〇
トラバーサーピット	員數	二五〇	—	—	—	—	一三〇	一七〇	二九五	二五〇	一、〇九五
	單價	七〇	—	—	—	—	九〇	九〇	九〇	七〇	—
	金額	一七、五〇〇	—	—	—	—	一一、七〇〇	一五、三〇〇	二六、五五〇	一七、五〇〇	八八、五五〇
土留下水溝法	員數	二五〇	一二〇	三五〇	—	—	三〇〇	二一〇	二五〇	三〇〇	一、七八〇
	單價	七〇	九〇	九〇	—	—	九〇	九〇	九〇	四〇	—
	金額	一七、五〇〇	一〇、八〇〇	三一、五〇〇	—	—	二七、〇〇〇	一八、九〇〇	二二、五〇〇	一二、〇〇〇	一四〇、二〇〇
支障物整理費		一〇、〇〇〇	—	二四、〇〇〇	—	—	七、五〇〇	一三、二五〇	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	七九、七五〇
給排水電燈設備其他雜計		二三、七〇〇	七、六〇〇	三、四〇〇	—	一、一九〇	一八、五〇〇	一七、五六〇	二六、四〇〇	三三、七六〇	一三三、一二〇
計		三一六、九〇〇	九四、四〇〇	一二七、一六八	一三、六五〇	二七、六四〇	二六八、一〇〇	二四七、八一〇	三六二、八九〇	四二二、四九二	一、八八二、〇六〇

（ニ）本局

年度	種別	員數	單價	金額	備考
大正十三年度	書庫	一二〇延坪	三五〇円	四二、〇〇〇円	鐵筋コンクリート造
〃	書棚其他電燈設備	—	—	六、三〇〇	
〃	消火設備	新造　一二箇所 改造　一箇所	一、〇〇〇 五〇〇	一二、五〇〇	
計				六〇、八〇〇	

（ホ）出張所

年度	箇所	鐵筋コンクリート建 員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	木造石綿盤葺 員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	修復費 員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	給排水電燈煖房設備其他雜費（円）	支障物整理費（円）	計（円）
大正十三年度	錦絲堀電車課	—	—	—	—	—	—	二三九	一〇〇	二三、九〇〇	七、〇四〇	—	三〇、九四〇
〃	新宿〃	三七〇	三五〇	一二九、五〇〇	一〇	一五〇	一、五〇〇	—	—	—	一八、六〇〇	八、二五〇	一五七、八五〇
〃	日比谷軌道電路係	—	—	—	二六〇	一〇〇	二六、〇〇〇	—	—	—	三、六〇〇	—	二九、六〇〇
〃	新宿軌道電路係	—	—	—	一七〇	一〇〇	一七、〇〇〇	—	—	—	二、四〇〇	—	一九、四〇〇
〃	本所〃	—	—	—	二六〇	一〇〇	二六、〇〇〇	—	—	—	三、六〇〇	—	二九、六〇〇
大正十四年度	本所電車課	三三〇	三五〇	一一五、五〇〇	一〇	一五〇	一、五〇〇	—	—	—	一八、六〇〇	二一、八七〇	一五七、四七〇
〃	三ノ輪〃	三三〇	三五〇	一一五、五〇〇	一〇	一五〇	一、五〇〇	—	—	—	一八、六〇〇	二一、八七〇	一五七、四七〇
計		一、〇三〇	—	三六〇、五〇〇	七二〇	—	七三、五〇〇	二三九	—	二三、九〇〇	七二、四四〇	五一、九九〇	五八二、三三〇

（ヘ）詰所

年度	箇所	鐵筋コンクリート建 員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	木造石綿盤葺 員數（延坪）	單價（円）	金額（円）	給排水電燈煖房設備其他雜費（円）	計（円）
大正十五年度	日比谷	—	—	—	一〇	二五〇	二、五〇〇	三〇〇	二、八〇〇
〃	三宅坂	—	—	—	一二	二五〇	三、〇〇〇	四五〇	三、四五〇
〃	神田橋、大門、千代田門、御成門、三ノ輪、市ケ谷、	—	—	—	三〇	二五〇	七、五〇〇	一、一二五	八、六二五
大正十五年度	上野三橋	三六	四〇〇	一四、四〇〇	—	—	—	二、一六〇	一六、五六〇
〃	須田町	六三	四〇〇	二五、二〇〇	—	—	—	三、六六〇	二八、八六〇
〃	本町	六〇	四〇〇	二四、〇〇〇	—	—	—	三、六〇〇	二七、六〇〇
〃	兩國	三三	四〇〇	一三、二〇〇	—	—	—	一、五七〇	一四、七七〇
〃	南茅場町	三四	四〇〇	一三、六〇〇	—	—	—	二、〇四〇	一五、六四〇
計		二二六	—	九〇、四〇〇	五二	—	一三、〇〇〇	一四、九〇五	一一八、三〇五

(ト)操車場

年度	箇所	木造石綿盤葺 員數	木造石綿盤葺 單價	木造石綿盤葺 金額	給排水電燈煖房設備其他雜費	計
大正十三年度	御成門 萬世橋二箇所 土橋 市役所前 柳島	三〇 延坪	二五〇 円	七、五〇〇 円	一、一二五 円	八、六二五 円
大正十五年度	月島	六〇	二〇〇	一二、〇〇〇	一、八〇〇	一三、八〇〇
計		九〇	—	一九、五〇〇	二、九二五	二二、四二五

(チ)工場

年度	種別	建築費 員數	建築費 單價	建築費 金額	給排水電燈設備其他雜費	計	備考
自大正十三年度 至大正十五年度	工場	— 延坪	— 円	— 円	— 円	— 円	
〃	起重機付工場	一、二八〇	四〇〇	五一二、〇〇〇	二五、六〇〇	五三七、六〇〇	鐵筋コンクリート造
〃	牛二階付〃	九六〇	三〇〇	二八八、〇〇〇	一四、四〇〇	三〇二、四〇〇	〃
〃	車庫型〃	三、三一〇	二〇〇	六六二、〇〇〇	三三、一〇〇	六九五、一〇〇	〃
〃	床高工場	一五〇	三〇〇	四五、〇〇〇	二、二五〇	四七、二五〇	〃
〃	事務所	二〇〇	二五〇	五〇、〇〇〇	二、五〇〇	五二、五〇〇	木造石綿盤葺
〃	附屬雜建物	一、〇〇〇	二〇〇	二〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二一〇、〇〇〇	鐵骨及木造
〃	工場內ピット	二五〇 間	一二八	三二、〇〇〇	—	三二、〇〇〇	
〃	トラバーサーピット	一、六〇〇 面坪	九〇	一四四、〇〇〇	—	一四四、〇〇〇	
〃	荷揚場築設	九〇〇	三〇	二七、〇〇〇	—	二七、〇〇〇	
〃	在來建物移轉	四七九 坪	五〇	二三、九五〇	—	二三、九五〇	
〃	〃　取毀	四、二五〇	一五	六三、七五〇	—	六三、七五〇	
〃	支障物整理費	—	—	二七、九〇〇	—	二七、九〇〇	
大正十四年度	被服工場	—	—	—	—	—	
大正十四年度	工場建物模樣替	五〇〇	四五	二二、五〇〇	—	—	
〃	附屬家	一五	三五〇	五、二五〇	九、九〇〇	四五、六五〇	鐵筋コンクリート造
〃	荷揚エレベーター設備	—	—	八、〇〇〇	—	—	
計		—	—	二、〇七二、八五〇	九五、八五〇	二、一六七、七〇〇	

(リ)倉庫

年度	箇所	建築費 員數	建築費 單價	建築費 金額	給排水電燈設備其他雜費	計	備考
大正十三年度	石原倉庫及事務所	六〇〇 延坪	二五〇 円	一五〇、〇〇〇 円	一八、〇〇〇 円	一六八、〇〇〇 円	鐵筋コンクリート造
大正十四年度	芝崎町倉庫及事務所	三五〇	二五〇	八七、五〇〇	一〇、五〇〇	九八、〇〇〇	〃
大正十五年度	濱松町倉庫	—	—	—	—	—	
〃	倉庫建物模樣替	五〇〇	二〇	一〇、〇〇〇	—	—	
〃	附屬家	六	三五〇	二、一〇〇	九、二五〇	二九、三五〇	〃
〃	荷揚エレベーター設備	—	—	八、〇〇〇	—	—	
計		一、四五六	—	二五七、六〇〇	三七、七五〇	二九五、三五〇	

八、機械器具費

一、機械器具新設

種別	員數	單價	大正十三年度	大正十四年度	計
ワインローダー	一臺	— 円	四、〇〇〇 円	— 円	四、〇〇〇 円
レコーディングボルトメーター	二箇	八〇〇	一、六〇〇	—	一、六〇〇
レコーディングアムメーター	二	八〇〇	一、六〇〇	—	一、六〇〇
リヤーカー	一本	—	一、八〇〇	—	一、八〇〇
エコノミメーター百アンペアタイアル付	一六五箇	一八〇	—	二九、七〇〇	二九、七〇〇
ポータブルエアコンプレッサー	四	二、一一五	—	八、四六〇	八、四六〇
コンパウンドモーター一六〇〇V五HP	二	八八二	—	一、七六四	一、七六四
ブローアー	二	三六〇	—	七二〇	七二〇
ホッフマン蒸氣仕上機7A型	一臺	—	—	一、八六〇	一、八六〇
〃　BS型	一	—	—	二、七一五	二、七一五
縮絨機械	一	—	—	三、六六〇	三、六六〇
ルウイス捲縫ミシン	一	—	—	一、三五〇	一、三五〇
反延機	一	—	—	九五〇	九五〇
試驗室設備機械一式	—	—	—	二、八五〇	二、八五〇
計	—	—	九、〇〇〇	五三、九四七	六二、九四七

二、機械器具改良

種別	員數	單價	大正十四年度	大正十五年度	計
トラバーサー	四箇	一三、五〇〇 円	二七、〇〇〇 円	二七、〇〇〇 円	五四、〇〇〇 円

三、機械器具復舊

種別	員數	單價	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	計
クラッシングプラント	一臺	— 円	三〇、〇〇〇 円	— 円	— 円	三〇、〇〇〇 円
〃	一	—	一三、〇〇〇	—	—	一三、〇〇〇
エレクトリックドリル	三	五〇〇	一、五〇〇	—	—	一、五〇〇
ニューマチックドリル	一	—	二、〇〇〇	—	—	二、〇〇〇
リヤーカー	一	—	一、八〇〇	—	—	一、八〇〇
碎石運搬輕便軌條（運搬車一〇臺ヲ含ム）	五〇〇間	六・六〇 円	三、三〇〇	—	—	三、三〇〇
鋪裝用機械器具	—	—	二一、八三六	—	—	二一、八三六
オーバーヘッドクレン	八箇	二一、六〇〇	六四、八〇〇	六四、八〇〇	四三、二〇〇	一七二、八〇〇
トラバーサー	五	一三、五〇〇	四〇、五〇〇	一三、五〇〇	一三、五〇〇	六七、五〇〇
壓搾空氣設備	—	—	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	五四、〇〇〇
電力設備	—	—	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	四五、〇〇〇
其他機械器具	—	—	二四、〇〇〇	二四、〇〇〇	二四、〇〇〇	七二、〇〇〇
アスファルト試驗機械	一式	—	五、〇〇〇	—	—	五、〇〇〇
セメント試驗機械	一	—	四、〇〇〇	—	—	四、〇〇〇
アスファルトプラント	一	—	一八、〇二五	—	—	一八、〇二五
青寫眞其他	一臺	—	三、〇〇〇	—	—	三、〇〇〇
高壓電話機用バルブ及トランスフォーマー其他	—	—	一、〇〇〇	—	—	一、〇〇〇
エコノミメーター百アンペアタイアル付	三五箇	一八〇	六、三〇〇	—	—	六、三〇〇
バーキュームクリナー	六	一、八四五	一一、〇七〇	—	—	一一、〇七〇
ポータブルエヤーコンプレッサー	一	—	二、一一五	—	—	二、一一五
トラバーサー	一〇	一三、五〇〇	五四、〇〇〇	八一、〇〇〇	—	一三五、〇〇〇
器具並備品	—	—	七三、〇〇〇	—	—	七三、〇〇〇
計	—	—	四〇一、三三六	二一六、三〇〇	一一三、七〇〇	七三一、三三六

九、事務費

種別	大正十三年度 員數	大正十三年度 金額	大正十四年度 員數	大正十四年度 金額	大正十五年度 員數	大正十五年度 金額	計 員數	計 金額	計 平均
一 主事技手給	八人	二二、四〇〇 円	七人	一九、六〇〇 円	五人	一四、〇〇〇 円	一年一人 二年二人 三年五人	五六、〇〇〇 円	年俸 二、八〇〇 円

二　事務員技手給	九七	一〇七、〇八八	七五	八二、八〇〇	五六	六一、八二四	一年 二年 三年	二二人 一九人 五六人	二五一、七一二	月俸　九二圓
三　雇員給	八一	五八、三二〇	六三	四五、三六〇	五〇	三六、〇〇〇	一年 二年 三年	一八人 一三人 五〇人	一三九、六八〇	月給　六〇圓
四　休職給	—	五〇〇	—	五〇〇	—	五〇〇		—	一、五〇〇	
五　報酬	—	六〇〇	—	六〇〇	—	—		—	一、二〇〇	
六　手當　慰勞並特別手當	—	七九、五四五	—	六一、五四五	—	四七、四二八		—	一八八、五一八	
負傷手當	—	二〇〇	—	二五〇	—	五〇		—	五〇〇	
七　退職並死亡給與金	—	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇		—	三、〇〇〇	
八　旅費	—	二、〇〇〇	—	一、六〇〇	—	七〇〇		—	四、四〇〇	
九　測量工夫給　測量工夫	一〇	七、三〇〇	—	—	—	—	一年 一年	一〇人 九人	七、三〇〇	日給　二圓
傭夫給　傭夫	四三	二八、二五一	三四	二二、三三八	三三	二一、六八一	二年 三年	一人 三三人	七二、二七〇	日給　一圓八〇
十　給仕給　給仕	六	一、三一四	四	八七六	四	八七六	一年 三年	二人 四人	七、三〇〇 七二、二七〇	日給　二圓 日給　一圓八〇
小使給　小使	二	一、〇九五	二	一、〇九五	一	五四八	二年 三年	一人 一人	三、〇六六 二、七三八	日給　六〇 日給　一圓五〇
十一　備品	—	二〇、五四〇	—	一三、六六四	—	一二、一一八		—	四六、三二二	
十二　消耗品	—	二一、七〇六	—	一八、六九六	—	一六、一七〇		—	五六、五七二	
十三　印刷	—	四、九七八	—	四、〇九七	—	三、四五五		—	一二、五三〇	
十四　通信費	—	二、四九九	—	一、五四二	—	一、四〇七		—	五、四四八	
十五　被服費	—	一、八〇六	—	一、二二六	—	一、〇二七		—	四、〇五九	
十六　土地物件借受料	—	三六〇	—	—	—	—		—	三六〇	
十七　共濟組合交付金	—	五、一七四	—	三、七九三	—	三、一七一		—	一二、一三八	
十八　慰安會費	—	四九四	—	三七〇	—	二九八		—	一、一六二	
十九　雜費	—	九、〇九五	—	八、〇五五	—	七、四七五		—	二四、六二五	
計	—	三七六、一六五	—	二八八、九九五	—	二三九、七二八		—	八九四、八七八	

十、電氣研究所費

種別	金額	備考	
一　建築費	七〇、〇三三円	建築工事費 給排水並點燈設備費	四九、一九一円 二〇、八四二
二　初度調辨並整備費	六一、四四五	研究所	
三　報酬並手當	三一、三三一		
計	一六二、八〇九		

十一、工事請負並物品供給契約補給費

種別	金額	備考	
一　補給費	二三四、九五一円	工事請負 物品供給契約	二二三、九五一円 一一、〇〇〇

十二、豫備費

大正十三年度	六九三、三二〇圓
大正十四年度	四六一、一四一圓
大正十五年度	二〇二、二七五圓
計	一、三五六、七三六圓

市參事會審査意見

大正十三年三月十五日市參事會は、本議案を相當なりと認め同意せり。

大正十三年三月十一日

東京市長　永田秀次郎

第四十三號

自大正十三年度至大正十四年度東京市電氣供給事業復興費繼續年期及支出方法

一金貳百五拾貳萬圓　電氣供給事業復興費

內譯

金百五拾壹萬圓　大正十三年度支出額

金百壹萬圓　大正十四年度支出額

大正十二年九月一日ノ震災ニ因ル電氣供給設備復興ノ爲、二箇年繼續事業トシテ本費ヲ計上セリ。

東京市繼續電氣供給事業復興費支出計算表

科目　款	項	大正十三年度	大正十四年度	計
一、繼續電氣供給事業復興費		一、五一〇、〇〇〇円	一、〇一〇、〇〇〇円	二、五二〇、〇〇〇円
	一用地費	二〇、〇〇〇	—	二〇、〇〇〇
	二建物費	二〇四、九〇八	一五四、六八六	三五九、五九四
	三電氣線路	四四一、一五〇	四一七、二五〇	八五八、四〇〇
	四變電所並開閉所電氣工事費	四四六、一七一	一七〇、〇三三	六一六、二〇四
	五需用家電氣工事費	三二八、七七六	一一三、七七六	四四二、五五二
	六事務費	三五、四六五	三三、〇一八	六八、四八三
	七豫備費	一〇〇、八三〇	六六、八八四	一六七、七一四

東京市繼續電氣供給事業復興費支出計算表說明摘抄

科目　款	項	支出額	說明　種目	金額
一繼續電氣供給事業復興費		二、五二〇、〇〇〇円		
	一用地費	二〇、〇〇〇	一用地費	二〇、〇〇〇円

二建物費	五八〇、八五八	一建物新設 二建物復舊	三五、六五〇 五四五、二〇八
三電線路費	八四八、七〇〇	一職工工夫給 二手當 三被服費 四工事費	五九、一三〇 九、〇二二 一、五四八 七七九、〇〇〇
四變電所竝開閉所電氣工事費	六〇五、一九三	一職工工夫給 二手當 三被服費 四工事費	二一、九〇〇 三、四六五 三二八 五七九、五〇〇
五需用家電氣工事費	二四一、二五二	一職工工夫給 二手當 三被服費 四工事費	一八、六一六 二、八四八 八二八 二一八、九六〇
		一事務員技手給 二雇員給 三手當 四備品	二一、〇四〇 一四、四〇〇 一〇、三五八 二一、〇九九
六事務費	七四、五八三	五消耗品 六共濟組合交付金 七慰安會費 八雜費	一、四〇〇 五、七二六 三六〇 二〇〇
七豫備費	一六九、五二四	一豫備費	一六九、五二四

附屬參考表

一、用地費

一、用地費

年度	員數	單價	金額	備考
大正十三年度	四〇〇坪	五〇円	二〇、〇〇〇円	小沼變電所

二、建物費

一、建物新設

年度	箇所	員數	單價	金額	給排水、電燈、煖房設備及雜費	計	備考
大正十三年度	小沼變電所舍宅	延坪 一五〇	二〇〇円	三〇、〇〇〇円	四、五〇〇円	三四、五〇〇円	木造石綿盤葺
同	白金變電所宿直室	四	二五〇	一、〇〇〇	一五〇	一、一五〇	同
計		一五四	—	三一、〇〇〇	四、六五〇	三五、六五〇	

二、建物復舊

年度	箇所	鐵筋混凝土造			在來建物修繕			在來建物取毀			給排水、電燈、煖房設備及雜費	計	備考
		員數	單價	金額	員數	單價	金額	員數	單價	金額			
大正十三年度	小沼變電所	延坪 四四〇	四〇〇円	一七六、〇〇〇円	延坪 —	—円	—円	延坪 —	—円	—円	二六、四〇〇円	二〇二、四〇〇円	
同	下谷同	九〇	四〇〇	三六、〇〇〇	—	—	—	六五・五	一五	九八三	五、四〇〇	四二、三八三	
同	飯田町同	四二	四〇〇	一六、八〇〇	—	—	—	三〇	一五	四五〇	二、五二〇	一九、七七〇	
大正三年十度	澁谷小沼變電所	—	—	—	二六三	二五	六、五七五	—	—	—	三三〇	六、九〇五	
同	小石川同	—	—	—	一六四	五〇	八、二〇〇	—	—	—	四一〇	八、六一〇	
同	京橋出張所	一二〇	四〇〇	四八、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	七、二〇〇	五五、二〇〇	
大正十四年度	芝變電所	九〇	四〇〇	三六、〇〇〇	—	—	—	七六	一五	一、一四〇	五、四〇〇	四二、五四〇	
同	京橋同	九〇	四〇〇	三六、〇〇〇	—	—	—	一二〇	一五	一、八〇〇	五、四〇〇	四三、二〇〇	
同	芝出張所	九〇	四〇〇	三六、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	五、四〇〇	四一、四〇〇	
同	赤坂建設所竝出張所	一八〇	四〇〇	七二、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	一〇、八〇〇	八二、八〇〇	
計		一、一四二	—	四五六、八〇〇	四二七	—	一四、七七五	二九一・五	—	四、三七三	六九、二六〇	五四五、二〇八	

三、電線路費

一、職工工夫給

	人員	平均日給	金額
大正十三年度	三〇	二圓七〇	二九、五六五円
大正十四年度	三〇	二圓七〇	二九、五六五円
計	六〇	二圓七〇	五九、一三〇円

二、手當

	慰勞竝特別手當	負傷手當	計
大正十三年度	四、三六一円	一五〇円	四、五一一円
大正十四年度	四、三六一円	一五〇円	四、五一一円
計	八、七二二円	三〇〇円	九、〇二二円

三、被服費

	人員	平均單價	金額
大正十三年度	三六人	二一圓五〇	七七四円
大正十四年度	三六人	二一圓五〇	七七四円
計	七二人	二一圓五〇	一、五四八円

四、工事費

種別	大正十三年度			大正十四年度			計		
	員數	單價	金額	員數	單價	金額	員數	單價	金額
特別高壓地中線	三、〇〇〇尺	五圓四五	一六、三五〇円	一、〇〇〇尺	五圓四五	五、四五〇円	四、〇〇〇尺	五圓四五	二一、八〇〇円
高壓地中線	四〇、〇〇〇	一圓八〇	七二、〇〇〇	四〇、〇〇〇	一圓八〇	七二、〇〇〇	八〇、〇〇〇	一圓八〇	一四四、〇〇〇
低壓地中線	五〇、〇〇〇	一圓	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一圓	五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一圓	一〇〇、〇〇〇
埋設竝材料費	—	—	[illegible]	—	—	[illegible]	—	—	[illegible]
埋設	[illegible]	一圓〇八	[illegible]	[illegible]	一圓〇八	[illegible]	[illegible]	一圓〇八	[illegible]
配電函	五〇個	五四圓	二、七〇〇	五〇個	五四圓	二、七〇〇	一〇〇個	五四圓	五、四〇〇

變壓機	一七0箇所	一六0圓	二七、二00	一七0箇所	一六0圓	二七、二00	三四0箇所	一六0圓	五四、四00
變壓器設備費	一七0	一一0圓	一八、七00	一七0	一一0圓	一八、七00	三四0	一一0圓	三七、四00
引込線	一0、000	七圓	七0、000	一0、000	七圓	七0、000	二0、000	七圓	一四0、000
雜費	—	—	一00	—	—	一00	—	—	二00
計	—	—	三七八、五00	—	—	三八二、五00	—	—	七七九、000

四、變電所竝開閉所電氣工事費

一、職工工夫給

大正十三年度 人員	平均日給	金額	大正十四年度 人員	平均日給	金額	計 人員	平均日給	金額
一0人	三人	一0、九五0円	一0人	三円	一0、九五0円	二0人	三円	二一、九00円

二、手當

大正十三年度 慰勞並特別手當	負傷手當	計	大正十四年度 慰勞並特別手當	負傷手當	計	計 慰勞並特別手當	負傷手當	計
一、六0七円	二00円	一、八0七円	一、六0八円	一五0円	一、七五八円	三、二一五円	三五0円	三、五六五円

三、被服費

大正十三年度 人員	平均單價	金額	大正十四年度 人員	平均單價	金額	計 人員	平均單價	金額
一二人	九・五0円	一一四円	一二人	九・五0円	一一四円	二四人	九・五0円	二二八円

四、工事費

年度	箇所	設備容量	機械費 種別	機械費 員數	機械費 單價	機械費 金額	配電盤費 員數	配電盤費 單價	配電盤費 金額	附屬機械竝電線費 一キロ當單價	附屬機械竝電線費 金額	取付費	運搬費	計
大正十三年度	小沼變電所	一四、000KW	變壓器	七箇	七、000円	四九、000円	一五	二、五00円	三七、五00円	六・二四円	八七、000円	一、二00円	二五、000円	三三0、二00円
			周波數乗換機	三	四0、000	一二0、000								
			蓄電池	一	—	一、五00								
			電動發電機	一	—	七、五00								
			發電機附屬變壓器	三	五00	一、五00								
	下谷變電所	三、000	變壓器	三	七、000	二一、000	一五	二、五00	三七、五00	五圓	一五、000	六00	—	八三、一00
			電壓調整機	一	—	九、000								
大正十四年度	京橋變電所	三、000	變壓器	三	七、000	二一、000	一五	二、五00	三七、五00	五圓	一五、000	六00	—	八三、一00
			電壓調整機	一	—	九、000								
	芝變電所	三、000	變壓器	三	七、000	二一、000	一五	二、五00	三七、五00	五圓	一五、000	六00	—	八三、一00
			電壓調整機	一	—	九、000								
計		二三、000		—	—	二六九、五00	六0	—	一五0、000	—	一三二、000	三、000	二五、000	五七九、五00

五、需用家電氣工事費

一、職工工夫給

大正十三年度 人員	平均日給	金額	大正十四年度 人員	平均日給	金額	計 人員	平均日給	金額
一0人	三・五三円	九、六五0円	一0人	三・五三円	九、0三八円	二0人	三・五三円	一八、六八八円

二、手當

大正十三年度 慰勞並特別手當	負傷手當	計	大正十四年度 慰勞並特別手當	負傷手當	計	計 慰勞並特別手當	負傷手當	計
一、三四四円	五0円	一、三九四円	一、三四四円	五0円	一、三九四円	二、六八八円	一00円	二、七八八円

三、被服費

大正十三年度 人員	平均單價	金額	大正十四年度 人員	平均單價	金額	計 人員	平均單價	金額
一二人	八・六0円	一0三円	一二人	八・六0円	一0三円	二四人	八・六0円	二0六円

四、工事費

種別	大正十三年度 員數	單價	金額	大正十四年度 員數	單價	金額	計 員數	單價	金額
電燈取付	二五、000箇	三・六0円	九0、000円	二五、000箇	三・六0円	九0、000円	五0、000箇	三・六0円	一八0、000円
積算電力計	七三	一六0	一一、六八0	七三	一六0	一一、六八0	一四六	一六0	二三、三六0
電氣扇	六八臺	三四圓	二、三一二	—	—	—	六八臺	三四圓	二、三一二
雜費	—	—	五0	—	—	五0	—	—	一00
計	—	—	一一七、000	—	—	一0一、六九0	—	—	二一八、六九0

六、事務費

種別	大正十三年度 員數	大正十三年度 金額	大正十四年度 員數	大正十四年度 金額	計 員數	計 金額	平均
事務員技手給	五人	五、五二〇円	五人	五、五二〇円	二年 五人	一一、〇四〇円	九二円
雇員給	一〇	七、二〇〇	一〇	七、二〇〇	二年 一〇	一四、四〇〇	六〇
慰勞並特別手當	—	四、九七九	—	四、九七九	—	九、九五八	—
負傷手當	—	二〇〇	—	二〇〇	—	四〇〇	—
備品	—	一〇、七七三	—	三二六	—	一一、〇九九	—
消耗品	—	七〇〇	—	七〇〇	—	一、四〇〇	—
共濟組合交付金	—	二、八六三	—	二、八六三	—	五、七二六	—
慰安會	六五	一三〇	六五	一三〇	二年 六五	二六〇	二
雜費	—	一〇〇	—	一〇〇	—	二〇〇	—
計	—	三二、四六五	—	二二、〇一八	—	五四、四八三	—

七、豫備費

種別	大正十三年度	大正十四年度	計
豫備費	一〇〇、六三〇円	六八、八九四円	一六九、五一四円

市參事會審査意見

大正十三年三月十五日、市參事會ハ、本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月十七日提出　東京市長　永田秀次郎

第四十四號

大正十三年度東京市電氣軌道事業歲入出追加豫算

一金千九百五拾八萬圓　歲入豫算高

一金貳千貳拾六萬七百五拾七圓　臨時部豫算高

歲入出差引

不足金六拾八萬六千七百五拾七圓

右不足金ハ本年度收支殘金ノ內ヲ以テ充當。

大正十三年度東京市電氣軌道事業費歲入出追加豫算

歲入

豫算 科目 款	豫算 科目 項	豫算 豫算額	豫算說明 種目	豫算說明 豫算額	豫算說明 附記 種別及箇數
六 市債		一九、五八〇、〇〇〇円			
	一 市債	一九、五八〇、〇〇〇	一 公債募集金	一九、五八〇、〇〇〇円	

歲出

臨時部

豫算 科目 款	豫算 科目 項	豫算 豫算額	豫算說明 種目	豫算說明 豫算額	附記 種別及箇數	附記 金額
四 雜支出		六八六、七五七円				
	一 電氣事業減債金經濟繰入	六八六、七五七	一 市債償還資繰入	六六六、〇〇〇円	新公債	
			二 市債取扱費繰入	二〇、七五七	新公債	
六 繼續電氣軌道事業復興費年度支出額		一九、五八〇、〇〇〇				
	一 用地費	五〇四、〇八五	一 用地費	五〇四、〇八五	軌道 一五坪	八、四五〇円
					變電所 二三〇坪	一三、五五〇
					護岸並土地整理費 四箇	一五二、〇八五
					道路築造費分擔 二箇所	三三〇、〇〇〇
	二 軌道費	二、二三五、四四六	一 職工工夫給	一五八、九九四	日給 一九八人	
			二 手當	三三、二六三	慰勞並特別手當	三二、九五〇
					負傷手當	三一三
			三 被服費	四、〇九四	職工工夫 二三八人	
			四 軌道新設	二一、三三七	引込線 四箇所	六八、〇五三
					連絡線 二箇所	四五、二七四
					引込線 一箇所	一五、五七一

款	金額	項	金額	內譯	數量	金額
		五 軌道改良	一四四、八七六	待避線	一箇所	九、八五五
				軌道位置變更	一箇所	四八、四二〇
				橋梁補强其他	三箇所	二一、六〇一
				橋梁費分擔	一箇所	六五、〇〇〇
		六 軌道復舊	一、七八二、八九三	直線	一四箇所	一、一四六、七九八
				分岐線並交叉線	一三箇所	一三七、六〇九
				待避線	三箇所	一九、九二二
				車庫並工場	四箇所	九六、三六六
				橋梁改築ニ伴フ軌道		三八二、一九八
三 電線路費	二、六三九、九五一	一 職工工夫給	一五三、三五〇	日給	一七八人	
		二 手當	二二、〇二八	慰勞並特別手當		二一、一三四
				負傷手當		八九四
		三 被服費	三、八七六	職工工夫	二三一人	
		四 電線路新設	五六、〇九五	引込線	四箇所	八、六七六
				連絡線	二箇所	一〇、九八九
				電話其他		三六、五三一
		五 電線路改良	三〇四、一〇九	引込線	一箇所	一、五五三
				待避線	一箇所	二、九二四
				電車線位置變更	一箇所	一〇、三三四
				地中線	二箇所	二四〇、八四四
				局用電燈配電線改良		四八、五五四
				電車線	一二箇所	一五九、〇九五
				地中線	二八箇所	一、一二五、九五〇

款	金額	項	金額	內譯	數量	金額
		六 電線路復舊	二、一〇〇、五六三	電話其他		一六六、九二一
				橋梁改築ニ伴フ電線路		一九〇、五二一
				變電所本建築ニ伴フ地中線移轉	一一箇所	四五八、〇七六
四 發電所費	一六一、八〇六	一 職工工夫給	二七、三七五	日給	二五人	
		二 手當	四、一六九	慰勞並特別手當		四、〇一九
				負傷手當		一五〇
		三 被服費	二六三	職工工夫	三〇人	
		四 發電所復舊	一三〇、〇〇〇		一箇所	
五 變電所並開閉所費	四三一、七九八	一 職工工夫給	二六、二八〇	日給	二四人	
		二 手當	三、九五八	慰勞並特別手當		三、八五八
				負傷手當		一〇〇
		三 被服費	二六九	職工工夫	二九人	
		四 變電所改良	八四、二〇二	局用電燈電源改良其他		
		五 變電所並開閉所復舊	三一七、〇七〇		五箇所	
		一 車輛新造	四二五、〇〇〇	貨物ボギー車體	五〇臺	一二五、〇〇〇
				車臺	五〇臺	六〇、〇〇〇
				電氣裝置	五〇臺	二一〇、〇〇〇
				車輛備品	五〇臺	一〇、〇〇〇
				ボギー車車體	三五〇臺	三、五〇〇、〇〇〇

費目	金額	細目	金額	內譯	數量	金額
六　車輛費	八、五三二、〇〇〇	二、車輛復舊	八、〇三〇、〇〇〇	車臺	三五〇臺	一、八七〇、〇〇〇
				電氣裝置	三五〇臺	二、四三五、〇〇〇
				車輛備品	三五〇臺	九五、〇〇〇
				空氣制動機取付	一〇〇臺	一三〇、〇〇〇
		三　自動車	一一七、〇〇〇	貨物用	四臺	三八、〇〇〇
				架線用	四臺	四八、〇〇〇
				應急用	二臺	三一、〇〇〇
七　建物費	三、〇七六、四七四	一　建物新設	三六〇、九三〇	出張所	二箇所	二九、九〇〇
				出張所食堂炊事場	四箇所	七、〇三〇
				作業場		八八、〇〇〇
				假倉庫	一箇所	六、〇〇〇
				寄宿舍	一箇所	二三〇、〇〇〇
		二　建物改良	一〇三、七三〇	車庫防火壁	二箇所	一〇〇、七三〇
				掘井戸	二箇所	三、〇〇〇
		三　建物復舊	二、六一二、八一四	發電所	一箇所	二三六、五〇〇
				變電所	七箇所	五三二、八四六
				車庫	五箇所	六九六、七六八
				本局書庫其他	一箇所	六〇、八〇〇
				出張所	五箇所	二七〇、〇六〇
				詰所	八箇所	一四、八七五
				操車場	六箇所	八、六三三
				工場	一箇所	七〇七、五三〇
				倉庫	一箇所	八四、〇〇〇
八　機械器具費	四一〇、二三八	一　機械器具新設	九、〇〇〇			
		二　機械器具復舊	四〇一、二三八			

費目	金額	細目	金額	內譯	人員	金額
九　事務費	三七六、一六五	一　主事技師給	三、四〇〇	年俸	八人	
		二　事務員技手給	一〇七、〇八八	月俸	九七人	
		三　雇員給	三八、三三〇	月給	八一人	
		四　休職給	三〇〇			
		五　報酬	六〇〇			
		六　手當	七九、七四五	慰勞並特別手當		七九、五四五
				負傷手當		二〇〇
		七　退職死亡給與金並	一、〇〇〇			
		八　旅費	二、一〇〇			
		九　測量工夫並傭夫給	三五、五三一	工夫日給	一〇人	七、三〇〇
				傭夫日給	四三人	二八、二三一
		十　給仕小使給	二、四〇九	給仕日給	六人	一、三一四
				小使日給	二人	一、〇九五
		十一　備品	二〇、三四〇			
		十二　消耗品	二一、七〇六			
		十三　印刷	四、九七八			
		十四　通信費	二、四九九	電話		
		十五　被服費	一、八〇六	測量工夫傭夫並給仕小使	一八人	
		十六　土地物件借受料	三六〇			
		十七　共濟組合交付金	五、一七四			
		十八　慰安會費	四九四		二四七人	

			十九 雜費	九、〇九五		
	十 電氣研究所費	一五三、七六八	一 建築費	七〇、〇二二	建築工事費 給排水並電燈設備費其他	四九、一九一 二〇、八三一
			二 初度調辨並整理費	六一、四九五	研究所	
			三 報酬並手當	二二、二五一		
	十一 工事請負並物品供給契約補給費	三五四、九五二	一 補給費	三五四、九五二	工事請負 物品供給契約	二四三、九五二 一一一、〇〇〇
	十二 豫備費	六九三、三三〇	一 豫備費	六九三、三三〇		
臨時部計		二〇、二六八、七五七				

第四十五號

大正十三年度東京市電氣供給事業費歲入出追加豫算

歲入

一金百五十九萬六千六百十八圓　歲入豫算高

歲出

一金百五十九萬六千六百十八圓　歲出豫算高

大正十三年度東京市電氣供給事業費歲入出追加豫算

歲入

豫算 科目 款	豫算 科目 項	豫算 豫算額	豫算說明 種目	豫算說明 豫算額	豫算說明 附記 種別及箇數
五 市債	一 市債	一、五一〇、〇〇〇円 一、五一〇、〇〇〇	一 公債募集金	一、五一〇、〇〇〇円	
六 繰入金	一 電氣供給事業準備積立金繰入	八六、六一八 八六、六一八	一 積立金處分繰入	八六、六一八	
歲入合計		一、五九六、六一八			

歲出

臨時部

豫算 科目 款	豫算 科目 項	豫算 豫算額	豫算說明 種目	豫算說明 豫算額	豫算說明 附記 種別及箇數	豫算說明 附記 金額
三 雜支出		八六、六一八円				
	一 電氣事業減債金經濟繰入	八六、六一八	一 市債償還資繰入	八四、〇〇〇円	新公債	
			二 市債取扱費繰入	二、六一八	新公債	
五 繼續電氣供給事業復興費本年度支出額		一、五一〇、〇〇〇				
	一 用地費	二〇、〇〇〇	一 用地費	二〇、〇〇〇	變電所 一箇所	
	二 建物費	三七〇、九六八	一 建物新設	三五、六五〇	變電所舍宅 一箇所 宿直室 一箇所	三四、五〇〇円 一、一五〇
			二 建物復舊	三三五、三一八	變電所 五箇所 出張所 一箇所	二八〇、〇六八 五五、二〇〇
			一 職工工夫給	二九、五六三	日給 三〇人	

三 電線路費	四三一、三三〇	二 手當	四、五二一	慰勞竝特別手當 負傷手當		四、三六一 一六〇
		三 被服費	七二		三六人	
		四 工事費	三九六、五〇〇	幹線 引込線 雜費		三三六、四〇〇 六〇、〇〇〇 一〇〇
四 變電所竝開閉所電氣工事費	四三六、一七二	一 職工工夫給	一〇、九五〇	日給	一〇人	
		二 手當	一、八〇七	慰勞竝特別手當 負傷手當		一、六〇七 二〇〇
		三 被服費	二四		一二人	
		四 工事費	四二三、三〇〇			
五 需用家電氣工事費	一二八、四七六	一 職工工夫給	九、三〇八	日給	一〇人	
		二 手當	一、四三〇	慰勞竝特別手當 負傷手當		一、三七四 五六
		三 被服費	二四		一二人	
		四 工事費	一一七、三三〇	電燈取付 三五、〇〇〇箇 積算電力計 七二箇 電氣扇 六八 雜費		九〇、〇〇〇 一一、五八〇 一五、七〇〇 五〇

六 事務費	三二、四七五	一 事務員技手給	五、五三〇		五人	—
		二 雇員給	七、二〇〇		一〇人	—
		三 手當	五、一七九	慰勞竝特別手當 負傷手當		四、九七九 二〇〇
		四 備品	一〇、七七三			—
		五 消耗品	七〇〇			—
		六 共濟組合交付金	二、八六三			—
		七 慰安會費	一三〇		六五人	—
		八 雜費	一〇〇			—
七 豫備費	一〇〇、六二〇	一 豫備費	一〇〇、六二〇			—
臨時部計	一、二九六、六一八					

説明　第四十三號議案ニ伴ヒ、本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十三年三月十五日、市參事會ハ本議ヲ相當ナリト認メ、同意セリ。

大正十三年三月十七日提出　東京市長　永田秀次郎

此等四案は、大正十三年三月十七日市會の議に付せられ、戸倉議員の質問あり、十二年度總豫算中に決議したる地下電車を打切りたるは之に代るべき施設あるに由るか、又豫算決議後の事業の進行程度如何及市營自動車を期限後更に繼續せんとするかと問ひ、番外五番電氣局長長尾半平之に答へて、震災に依り復興事業として新に街路計畫定めらるゝを以て地下電車亦計畫を立直さざるを得ず、是れ其一旦打切るの已むべからざる所以なり、將に調査したる所は未だ政府の認可を申請するに至らずして震災に逢へりと雖、其調査は新に定むべき計畫に資せるは勿論にして、新計畫は方々市長の指揮を仰ぎつゝあり、市營

自動車は七月を以て打切る考なるも、一時的のものたらしめたしとの市會の希望ありたることなれば、十分に考慮を加へ、方々之が調査中に屬す、若し之を繼續するとせば、今の一時的のものとは趣を變へざるべからずと、次に吉川議員(忠志)と長尾局長との間に、電氣局に儲けたる金あれば、之を以て施行するとの事なりしが、其金は如何になりしかに就きて問答あり、局長より震災應急設備費並に復舊費に充當したる旨答辯するや、市會の決議を經たるものは市會に諮らず利用するは不都合なるべしとし、局長は其都度市會に諮りたりと答へ、今や之を打切るが爲め、此の協贊を求むるなりと述ぶ、更に二三の問答あり、小森議員(七兵衛)の發議に基き、議長指名の委員十七名に調査を付託す、即ち大正十三年度電氣軌道事業（第三十九號）電氣供給事業(第四號)を合せて調査を付託せられたるもの、左の如し。

第三十九號乃至第四十五號の議案調査委員

二番　島田藤吉、四番　中田敬義、七番　垣見八郎右衞門、十九番　託摩武彦、二十番　柴田次郎吉、二十六番　田中康三、四十番　鎌田芳太郎、四十八番　河井榮三郎、五十番　小久保美代吉、五十四番　大岩豐吉、五十五番　久保三友、五十九番　長町康夫、六十五番　森脇源三郎、六十六番　村山賢作、六十九番　松尾要、七十二番　小俣政一、八十二番　小瀧辰雄。

第四十二號議案調査委員意見報告

委員は審査の結果、三月二十三日を以て左の如く報告したり。

委員ハ、屬集會審議ノ末、左記希望ヲ附シ、原案ヲ可決スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年三月二十四日

委員長　四十番　鎌田芳太郎
理事　四十二番　金子東一　四十八番　河井榮三郎
七十二番　小俣政一
委員
二番　島田藤吉　四番　中田敬義
七番　垣見八郎右衞門　十九番　託摩武彦
二十番　柴田治部吉　五十番　小久保美代吉
五十四番　大岩豐吉　五十五番　久保三友
五十九番　長町康夫　六十五番　森脇源三郎
六十六番　村山賢作　六十九番　松尾要
八十二番　小瀧辰雄

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

希望

本豫算ノ執行ニ方リテハ、事業ノ性質及其緩急ヲ熟慮シ、以テ萬遺算ナカラシムルコトヲ望ム。

三月二十九日の議場に於て異議なく之を可決す。

此に知る、市執行復興事業としての電氣事業は、

一、電氣軌道事業（三箇年繼續）震災破損の軌道及附帶事業施設復舊並に震害に鑑み、軌道及附帶事業施設改良新設を爲す、經費豫算三千七百九十八萬圓。

二、電氣供給事業（二箇年繼續）震災に基く電氣供給設備復舊を爲す、經費豫算二百五十二萬圓。

の兩施設を擧ぐるに在るものなることを。

三　豫算告示

東京市執行に係る復興事業費豫算は、大正十三年三月十二日の市會に於て、大正十二年第四號大正十二年震災善後費追加豫算として決議したるもの三百五萬圓、同第五號大正十二年度追加豫算として決議したるもの三百萬圓、同第五十七號大正十二年度震災善後費追加豫算として決議したるもの二百十三萬九千圓、同月二十九日の市會に大正十三年第三十四號震災善後費豫算として決議したるもの四千六百六十六萬四千二百二十六圓、內復興費二千九百萬圓、同第八十八號震災善後費追加豫算として決議したるもの三千九百六十萬七千圓、同第十六號大正十三年度水道費豫算として決議したるもの千百六十八萬三千九十七圓、內復興費三百萬圓、同第四十四號大正十三年度電氣軌道事業費豫算として決議したるもの二千二十六萬六千七百五十七圓、同第四十五號大正十三年度電氣供給事業費豫算として決議したるもの百五十九萬六千六百十八圓、已に前項に記す所の如し、之が十三年度豫算は同年四月一日市告示第百二十二號中を以て、左の如く告示せらる。

東京市告示第百二十二號

本市會ノ議決ヲ經タル大正十三年度東京市歳入出豫算、同東京市震災善後費歳入出豫算、同東京市電氣軌道事業費歳入出豫算及同費歳入出追加豫算、同東京市電氣供給事業歳入出豫算、及同費歳入出追加豫算、同東京市電氣減債金歳入出豫算、同東京市水道歳入出豫算、同東京市公債還金歳入出豫算、同東京市養育院歳入出豫算、同東京市火災共濟金歳入出豫算ノ要領、左ノ如シ。

大正十三年四月一日

東京市長　永田秀次郎

大正十三年度東京市震災善後費歳入出豫算

歳入
一、金四千六百六拾六萬四千貳百貳拾六圓　歳入豫算高
歳出
一、金四千六百六拾六萬四千貳百貳拾六圓　歳出豫算高

大正十三年度東京震災善後費歳入出豫算

歳入

科目	豫算額
第一款　使用料	七九、三七二円
第一項　精米所使用料	一三、三八〇
第二項　宿泊所使用料	六五、九九二
第二款　國庫補助金	一〇、八六一、七二八
第一項　復興事業費補助	一〇、一五一、六六六
第二項　職業紹介所費補助	一一、三〇六
第三項　療養所費補助	五三、六四〇
第四項　市債利子補給	六四五、一一六
第三款　府補助金	一三一、五五四
第一項　傳染病豫防費補助	一三一、五五四
第四款　財産賣拂代	一、六〇〇、〇〇〇
第一項　土地賣拂代	一、六〇〇、〇〇〇
第五款　繰越金	一、三三七、〇九七
第一項　前年度繰越金	一、三三七、〇九七
第六款　雜收入	五、四九六、一四一
第一項　物資賣上代	五、三〇〇、〇〇〇
第二項　質屋收入	一七一、一四一
第三項　雜入	二五、〇〇〇
第七款　市債	二七、一五八、三三四

第一項　市債	二七、一五八、三三四
歳入合計	四六、六六四、二二六

歳出

科目	豫算額
第一款　市役所費	四四八、六七〇円
第一項　雜給	六、四八〇
第二項　自動車運轉費	六四、七八八
第三項　營繕費	三七七、三九六
第二款　圖書館費	六六、七四四
第一項　設備費	六六、七四四
第三款　道路費	七七五、〇〇〇
第一項　工事費	五六五、六〇〇
第二項　設備費	二〇七、四〇〇
第四款　汚物掃除費	一二八、〇〇〇
第一項　塵芥運搬船建造費	五〇、〇〇〇
第二項　屎尿處分設備費	七八、〇〇〇
第五款　消毒費	四二、七八〇
第一項　消毒所營繕費	三〇、七八〇
第二項　特許消毒所並設備借受料	一二、〇〇〇
第六款　傳染病院費	一二四、七三〇
第一項　本所病院營繕費	一二四、七三〇
第七款　療養所費	二五、四〇〇
第一項　營繕費	二五、四〇〇
第八款　精米所費	一三、一一七
第一項　雜給	二、六〇五
第二項　需用費	九、〇九二
第三項　諸費	九二〇
第四項　營繕費	五〇〇
第九款　物資供給費	五、三〇〇、〇〇〇
第一項　給料	三八、三七六
第二項　雜給	三二四、一九五
第三項　需用費	四三、七〇五
第四項　諸費	二〇、一五五
第五項　營繕費	四、〇〇〇
第六項　物資仕入費	四、八六九、五六九
第十款　社會事業費	六四六、五七五
第一項　臨時簡易宿泊所費	八三、四一二
第二項　貸屋費	二六三、四九一
第三項　職業紹介所費	六七、八三六
第四項　幼少年保護所營繕費	五四、七一〇
第五項　產院營繕費	四五、二六〇
第六項　兒童遊園復舊費	一〇、〇〇〇
第七項　施療病院營繕費	一二一、八六六
第十一款　財產費	一六七、八四三
第一項　市有地費	一一七、四〇〇
第二項　河岸地費	五〇、四四三
第十二款　補助費	一、九一一、〇〇〇
第一項　小學校費補助	一、九一一、〇〇〇
第十三款　市債費	九二三、一一六
第一項　利子	九二三、一一六
第十四款　豫備費	三〇〇、〇〇〇
第一項　豫備費	三〇〇、〇〇〇
第十五款　繼續震災復舊費本年度支出額	四、四四九、五七五
第一項　小學校設備費	一、二七八、九七五
第二項　圖書館建設費	六八、〇〇〇
第三項　本所病院隔離所並消毒所建設費	一、五〇〇、〇〇〇
第四項　街頭便所新設費	一一四、二〇〇
第五項　公園施設費	四二五、九六三
第六項　街燈設備費	七三、四三七
第七項　河川造修費	五六二、〇〇〇
第八項　施療病院建設費	四二七、〇〇〇
第十六款　繼續帝都復興費本年度支出額	二九、一五〇、〇〇〇
第一項　道路橋梁改築費	三、五〇〇、〇〇〇
第二項　下水道改良費	八、四〇〇、〇〇〇
第三項　公園費	一、九〇〇、〇〇〇
第四項　塵芥處分設備費	六〇〇、〇〇〇
第五項　中央卸賣市場建設費	四、五〇〇、〇〇〇
第六項　小學校建設費	八、〇〇〇、〇〇〇
第七項　施療病院建設費	三五〇、〇〇〇
第八項　實費診療所新設費	一、〇〇〇、〇〇〇
第九項　社會事業施設費	九〇〇、〇〇〇
第十七款　繼續中央卸賣市場分場建設費本年度支出額	二、〇〇〇、〇〇〇
第一項　建築費	一、五六一、二一八
第二項　設備費	四三八、七八二
第十八款　繼續工事請負物品供給契約補給費本年度支出額	一九三、六七二
第一項　補給費	一九三、六七二
歳出合計	四六、六六四、二二六

大正十三年度東京市震災善後費歳入出追加豫算

一、金參千九拾六萬七千圓　歳入豫算高

一、金參千九拾六萬七千圓　歳出豫算高

大正十三年度東京市震災善後費歳入出追加豫算

歳入

科目	豫算額
第二款　國庫補助金	一六、九七一、八五一円
第五項　街路修繕費補助	八、三四六、五一八
第六項　土地區畫整理費補助	八、六二五、三三三
第七款　市債	一二、六五九、一八四
第一項　市債	一二、六五九、一八四
第八款　繰入金	一、三三五、八六五
第一項　電氣軌道事業經濟ヨリ繰入	一、三三五、九六五
歳入合計	三〇、九六七、〇〇〇

歳出

科目	豫算額
第十九款　繼續街路修築並土地整理費本年度支出額	三〇、九六七、〇〇〇円
第一項　給料	七三二、六〇〇
第二項　雜給	七三五、六三一
第三項　需用費	二二六、九六九
第四項　諸費	一一八、八〇〇
第五項　營繕費	五〇五、〇〇〇
第六項　街路費	一七、〇〇〇、〇〇〇
第七項　土地區劃整理費	一一、六四八、〇〇〇

大正十三度東京市電氣軌道事業費歳入出追加豫算

歳入

一、金千九百拾六萬千七百五拾七圓　歳入豫算高

歳出

一、金貳千貳拾六萬六千七百五拾七圓　臨時部豫算高

歳入出差引

不足金六拾八萬六千七百五拾七圓

右不足金ハ本年度收支殘金ノ内ヲ以テ充當

大正十三年東京市電氣軌道事業費歳入出追加豫算

科目	豫算額
歳入	
第六款　市債	一九、五八〇、〇〇〇円
第一項　市債	一九、五八〇、〇〇〇

歳出　臨時部

科目	豫算額
第四款　雜支出	六八六、七五七円
第一項　電氣事業減債金經濟繰入	六八六、七五七
第六款　繼續電氣軌道事業復興費本年度支出額	一九、五八〇、〇〇〇
第一項　用地費	五〇四、〇八五
第二項　軌道費	二、二二五、四四六
第三項　電線路費	二、六三九、九五一
第四項　發電所費	一六一、八〇六
第五項　變電所並開閉所費	四三一、七九八
第六項　車輛費	八、五五二、〇〇〇
第七項　建物費	三、〇七六、四七四
第八項　機械器具費	四一〇、二三六
第九項　事務費	三七六、一六五
第十項　電氣研究所費	一五三、七六八
第十一項　工事請負並物品供給契約補給費	三五四、九五一
第十二項　豫備費	六九三、二二〇
臨時部計	二〇、二六六、七五七

大正十三年度東京市電氣供給事業費歳入出追加豫算

歳入

一、金百五拾九萬六千六百拾八圓　歳入豫算高

歳出

一、金百五拾九萬六千六百拾八圓　歳出豫算高

大正十三年度東京市電氣供給事業費歳入出追加豫算

科目	豫算額
歳入	
第五款　市債	一、五一〇、〇〇〇円
第一項　市債	一、五一〇、〇〇〇
第六款　繰入金	八六、六一八
第一項　電氣供給事業準備積立金繰入	八六、六一八
歳入合計	一、五九六、六一八

歳出　臨時部

科目	豫算額
第三款　雜支出	八六、六一八円
第一項　電氣事業減債金經濟繰入	八六、六一八
第五款　繼續電氣供給事業復興費本年度支出額	一、五一〇、〇〇〇
第一項　用地費	二〇、〇〇〇
第二項　建物費	三七〇、九一八
第三項　電線路費	四三一、三五〇
第四項　變電所並開閉所電氣工事費	四二六、一七一
第五項　需用家電氣工事費	一二八、四七六
第六項　事務費	三二、四六五
第七項　豫備費	一〇〇、六二〇
臨時部計	一、五九六、六一八

大正十三年度東京市水道歳入出豫算

歳入

一、金千百六拾八萬參千九拾七圓　歳入豫算高

歳出

一、金四百萬參千八百五拾四圓　經常部豫算高

一、金七百六拾七萬九千貳百四拾參圓　臨時豫算高

合計金千百六拾八萬參千九拾七圓

大正十三年度東京市水道歳入出豫算

中略

歳出臨時部ノ内

第八款　繼續水道費本年度支出額	三、〇〇〇、〇〇〇
第一項　水道設備復舊費	一、〇〇三、五七四
第二項　水道擴張工事速成費	一、九九六、四二六

四　執行

1　事業統一

帝都復興事業の東京市に於て執行すべきもの、區劃整理、街路、橋梁、上水道、下水道、小公園、塵芥處分施設、中央卸賣市場、衞生施設、教育施設、社會事業、電氣事業の各部に分れ、それ〴〵之が實行に當るを以て、之を統一して計畫處理の本部と爲り、復興委員會の事務を執り、一面復興局に、一面各事業執行部に連絡する所なかるべからず、此の衝に當るもの、初調査課に於て都市計畫事務を主管し、大正十三年三月二十七日庶務課に同事務及復興委員會事務を主管し、十一月十四日復興總務部の設置と共に、復興事業の連絡統一事務及都市計畫關係事務を掌理す、共十三年末までに處理したる所左の如し。

一、都市計畫

一、都市計畫ニ關スル陳情書處理。

一、都市計畫境域指定願處理。

一、東京都市計畫土地區劃整理ニ伴フ道路ノ新設擴築受益者負擔ノ件ヲ決定告示ス。

一、東京都市計畫境域内ニ於ケル工作物建設願處理。

一、建築計畫ニ關スル件處理。

一、帝都復興計畫書作製。

一、補助街路及區劃整理事業年度割決定方禀請ノ結果決定告示ヲ得タリ。

一、計畫道路工事費内譯明細書作製。

一、特別都市計畫提要ノ編纂竝追錄作製。

一、都市計畫事業費調査。

一、防火地區建築補助ニ關スル件、各區、局、課長ニ通達。

一、帝都復興事業東京市内舗裝路面及橋梁修築計畫竝之カ事業決定方禀議濟。

一、復興局長官ノ諮問ニ基キ東京都市計畫地域變更ニ關スル件回答ス。

一、復興局長官ノ諮問ニ基キ防火地區變更案ニ關スル件回答ス。

一、東京府内務部長ノ照會ニ基キ都市計畫事業執行年割變更ニ關スル件回答ス

一、郊外軌道鐵道交通量調査。

一、震災避難狀況調査。

一、市内地質調査。

一、復興復舊兩事業所要諸材料調査。
一、復興土地區劃整理ニ關スル調査。
一、家屋調査（繼續調査）。
一、米國旗揭揚方ニ關スル飜譯。
一、都市計畫區域內外陸軍省所管國有地調査。
一、帝都復興事業所要砂利量調査。
一、帝都復興事業概要調査。
一、震災復舊事業概要調査。
一、復興土地區劃整理六百分ノ一圖作製。
一、復興事業二萬分ノ一圖調製印刷。
一、復興事業三千分ノ一圖調製各區役所へ配付。
一、復興事業一萬分ノ一圖調製震災記念復興展覽會へ出品。
一、復興公園一萬分ノ一圖調製震災記念復興展覽會へ出品。
一、復興建築企業計畫。
一、中央卸賣市場計畫。
一、復興街路計畫。
一、復興公園計畫。
一、復興照明計畫（繼續計畫）。
一、復興小學校計畫。
一、復興廣告塔計畫。
一、復興橋梁設計。
一、大正十年內閣認可東京都市計畫事業街路ノ部中一部速成計畫。
一、大正十年內閣認可東京都市計畫事業街路ノ部中更正計畫（繼續計畫）。
一、明治神宮內外苑連絡道路更正第一期事業計畫。
一、復興土地區劃整理豫算編成。
一、大正十年內閣認可東京都市計畫事業街路、運河、河川費更正豫算編成（繼續編成中）。

二、復興委員會

大正十二年十一月十七日市告示第二百六十四號ヲ以テ設置シタル復興委員會ハ同年十二月五日第一回ノ會合ヲ重ヌルコト十四回（內特別委員會四回）、其ノ調査審議シタル事項大凡左ノ如シ。

一、帝都復興費繼續年期及支出方法ニ關スル件。
一、東京市水道復興費繼續年期及支出方法ニ關スル件。
一、大正十二年度東京市震災善後費歲入出追加豫算ニ關スル件。
一、大正十二年度東京市水道歲入出追加豫算ニ關スル件。
一、街路修築竝土地區劃整理施行ノ件。
一、街路修築竝土地區劃整理費起債ニ關スル件。
一、東京市街路修築土地區劃整理繼續年期及支出方法ニ關スル件。
一、東京市中央卸賣市場分場建設費繼續年期及支出方法ニ關スル件。
一、中央卸賣市場分場建設費起債ニ關スル件。
一、復興事業財源トシテ割增附小口公債發行ヲ政府ニ請願スルノ件。
一、小學校附屬小公園設置及之カ敷地ニ關スル件。
一、小學校附屬小公園資金補助ニ關シ政府ニ陳情スルノ件。
一、區劃整理委員選擧ニ關スル件。
一、區劃整理反對運動ニ對シ促進方法ニ關スル件。
一、建築、商工復興資金ニ關スル件。
一、區劃整理ニ依ル補償金ニ關スル件。
一、移轉料問題及移轉先ノ處分方法ニ關スル件。
一、防火地區ニ關スル件。
一、換地設計及同處分ニ關スル件。
一、復興局ノ諮問ニ係ル商業、工業、住居、各種地域變更ニ關スル件。
一、大正十三年度市經濟及震災善後費經濟歲入不足補塡借入ニ關スル件。
一、都市計畫事業ニ伴フ市有地無償供用ニ關スル件。
一、土地區劃整理地區編入ニ關スル件。
一、東京都市計畫事業中一部速成ニ關スル件。

2　土地整理

土地區劃整理施行地域總面積八百八十五萬八千五百餘坪、此の地區六十五區中、政府施行十五地區百八十八萬千四百萬を除き、其餘五十地區六百九十七萬七千餘坪、後一地區九萬五千三百五十坪を加へたる五十一地區七百七萬餘坪は、東京市の手に施行すべきものたり。而して區劃整理の事たる、我邦に於ては殆ど最初の試みに屬し、之が知識の普及せざるものありて、事業の進行上に障碍を來すべきを虞れ、乃ち復興局と協力して宣傳ビラを配布し、各所に講演會を開き、其他機會ある每に趣旨の貫徹に努め、更に活動寫眞を利用する事とし「復興の基礎」と題するフイルムを復興局に於て松竹キネマ株式會社に委囑調製せしめ、市は其二本を購入して、順次各所に映寫したり。

イ、執行概要

子、權利申告　區劃整理地區內に未登記の所有權以外の權利を有する者は、地區告示後十日以內に權利種及其目的たる土地の所在を申告するの要あり、市施行五十一地區の權利者より申告したるもの約十四萬件なり、而して該申告は、借地權の指定及土地補償金交付の資料たるべきを以て、各地區別に分類し、內容を調査し、之が權利の存否を認定したり。

丑、基本計畫事務　區劃整理事業は、從來之が先例なく、各般の調査事務取扱の順序等、根本的研究を遂げ、以て取扱上の基礎を確定せざるべからず、而して此等基礎的事項は、相互に連絡を保ち系統的規程を作製するの要あるより、特に專任者を定め、成案を得るに從ひ復興局と協議す。

寅、路線價調査　土地補償金の算定及換地淸算金計算の必要上、整理前後の土地價格評定の要あり、然して該評價の基礎ともなるべき路線價は、現に調査中に係り、其進步程度左の如し。

（イ）整理前路線價調査

一、調査完了地區	二十八箇地區
一、調査中ニ屬スル地區	十三箇地區
一、未着手地區	十箇地區

（ロ）整理後路線價調査

一、調査完了地區	三箇地區
一、調査中ニ關スル地區	七箇地區
一、未着手地區	四十一箇地區

卯、埋設物調査　在來の上下水道、電車軌道、瓦斯管、電燈線等の移轉工事實施に付ては、復興局と共に研究中に屬する懸案なり、從來道路局に於ては道路專用規程及協定事項に基き、各事業者の工事を管理し來たりたるも、區劃整理に於ては頗る大規模の下に根本的整理を急速斷行するものを以て、此等の工事に經驗ある各所管事業者に委託を施行するを原則とし、各事業者同時に施工し能はざる場合の協定方法竝工事中に於ける道路管理方法、該工事費負擔額協定標準等の基礎的問題の調査研究を爲しつゝあり、而して在來の埋設物調査及現形圖作製等は、復興局に於て完了し居るを以て、九月中旬より該現況圖（六百分の一）謄寫を開始、十一月下旬略ゝ完了し、直に第四地區の實施調査に着手せることとせり。

辰、工作物新設增設處理　耕地整理法第二十九條及都市計畫法施行令第十一條に依り、土地區劃整理地區告示の日以後、土地の形狀を變更し、又は工作物を新築改築增築若は大修繕等を爲す場合は、監督官廳の許可を要し、之が出願を爲したるもの一萬百五十八件あり、內處理

濟のもの一萬百十八件、他は猶審査中に在り。

巳、換地設計　區劃整理の根本目的は、各宅地の利用增進を計る爲、道路公園等の理想的配置の下に、各宅地の不整形を正し、建物建築に便利ならしむると同時に、衞生交通の利益を計るに在るを以て、換地設計に際しては此の原則を規準と爲すは勿論、從前の位置面積位置等を標準として設計するものなりと雖、道路公園等の新設擴築の爲、多大の潰地を生じ、當該地區の減少步率二割以上に上るもの等あり、一方土地所有者並借地權者等は、營業其の他の關係上、從前の場所と大差なき位置に於ける換地交付を希望し、且土地の減步を欲せざるもの多きに因り、復興局は、當該地區内に於て地上權借地權等の設定せられざる土地にして任意買收し得るものは極力之を買收し、之が減步率の緩和を計り、又清算の結果多額の清算金を支出するは何れも苦痛とする處なるに依り、此等各種の事情を參酌し、以て調査設計しつゝあり、而して換地位置の決定したる地區は勿論、換地位置が全部決定に至らざるも、整理委員會に於て特に承認し且整理施行者に於て支障なしと認めたる地域に對しては、本建築を許可する方針を採れり、又換地位置が整理委員會に於て決定したるときは、更に換地豫定地の精密なる實測を行ひ、三百分の一の圖面を作り、各宅地並借地權境に杭打を爲す豫定なり、目下の換地設計進捗狀況左表の如し。

換地設計進捗狀況

地區	方面	面積	土地所有權其ノ他ノ權利關係調			バラック及殘存建物調			換地設計			備考
		円	着手期日	完了若ハ工程	完了見込	着手期日	完了若ハ工程	完了見込	着手期日	完了若ハ工程	完了見込	
一	麴町區上六番町元園町附近	一七五、八七五	五月上旬	七月下旬	—	五月上旬	七月上旬	—	八月下旬	十一月下旬	—	十二月中旬委員會附議見込
二	同飯田町附近	七九、三六七	八月中旬	九月下旬	—	七月上旬	九月下旬	—	十月下旬	工程六分	十二月下旬	
三	同大手町附近	九六、二九〇	九月中旬	九月下旬	—	九月上旬	十月下旬	—	十一月中旬	〃二分	〃	
四	同有樂町附近	五四、三九七	五月下旬	八月中旬	—	六月中旬	八月中旬	—	七月中旬	十月下旬	—	十月下旬委員會附議
五	神田區三崎町猿樂町小川町附近	一三六、三六五	七月上旬	九月下旬	—	七月上旬	九月下旬	—	十月下旬	工程五分	〃	
七	同神保町附近	九三、五二七	八月下旬	十月下旬	—	九月上旬	十月下旬	—	十一月中旬	〃三分	〃	
八	同錦町須田町附近	一二九、二七〇	七月上旬	十一月下旬	—	十月上旬	十月下旬	—	十一月上旬	〃五分	十四年一月下旬	
九	同東龍閑町東紺屋町鍛冶町附近	一二三、九五三	四月下旬	十一月中旬	—	十月上旬	十月下旬	—	十一月上旬	〃五分	十二月下旬	
一一	日本橋區小傳馬町伊勢町本銀町室町附近	一二三、九五三	四月下旬	十一月中旬	—	四月中旬	九月下旬	—	十月下旬	〃九分	〃	
一五	同兜町北島町附近	五三、六八五	四月下旬	七月下旬	—	四月中旬	六月下旬	—	九月中旬	十一月上旬	—	十一月中旬委員會附議
一八	京橋區八丁堀岡崎町附近	七九、五三六	四月上旬	十月下旬	—	四月上旬	八月下旬	—	八月上旬	〃五分	—	
一九	京橋區越前堀靈岸町附近	大略一〇〇、〇〇〇	四月上旬	八月上旬	—	六月中旬	八月中旬	—	九月中旬	工程七分	十二月下旬	
二〇	同銀座木挽町附近	二六三、一三七	六月中旬	七月下旬	—	六月中旬	十一月中旬	—	十月中旬	〃六分	十四年一月下旬	
二一	同新富町入舟町八丁堀新港町附近	九一、四七〇	五月上旬	十一月中旬	—	六月上旬	十一月下旬	—	十一月中旬	〃三分	〃	
二二	同築地南小田原町附近	大略九八、〇〇〇	八月下旬	工程九分	十二月下旬	八月上旬	十一月中旬	—	—	—	〃	
二三	芝區兼房町櫻田伏見町琴平町附近	九〇、七八八	五月上旬	七月中旬	—	五月上旬	五月下旬	—	七月中旬	工程九分五	—	十二月下旬委員會附議見込
二四	同愛宕下烏森芝口附近	八一、五七四	六月下旬	十月下旬	—	六月下旬	十一月下旬	—	—	—	十四年一月下旬	
二五	芝區愛宕町田村町西久保田町附近	大略四八、〇〇〇	七月中旬	十一月中旬	—	七月上旬	十月下旬	—	十一月下旬	工程一分	〃三月下旬	
二六	同新錢座中門前町濱松町附近	〃一一〇、〇〇〇	七月下旬	工程九分五	十二月中旬	八月上旬	九月下旬	—	十一月下旬	〃一分	〃一月下旬	
二七	赤坂區町溜池附近	六三、六六一	七月中旬	九月下旬	—	七月上旬	八月中旬	—	十月下旬	〃三分	〃	
二八	本鄕區弓町春木町元町附近	一一三、〇〇七	五月中旬	七月下旬	—	五月中旬	六月下旬	—	九月下旬	十一月下旬	—	十二月下旬委員會附議見込
二九	同湯島天神町新花町宮本町附近	一三九、二六一	四月中旬	六月下旬	—	五月中旬	六月中旬	—	六月下旬	八月下旬	十二月下旬	
三〇	下谷區練塀町五軒町池ノ端附近	一六八、九六四	五月中旬	八月下旬	—	五月中旬	七月下旬	—	八月下旬	工程九分	〃	十二月下旬附議見込
三二	淺草區小島町向柳原三筋町附近	二〇八、九七五	八月下旬	十月下旬	—	六月上旬	七月中旬	—	十月上旬	〃八分	〃	
三三	同須賀町藏前片町榮久町附近	一三八、五五二	七月中旬	九月上旬	—	十月上旬	十月中旬	—	十一月中旬	〃一分	〃	
三五	同松清町壽町田原町附近	一四四、四五九	七月上旬	九月下旬	—	七月上旬	八月上旬	—	九月下旬	〃七分	〃	
三七	下谷區萬年町新坂本町入谷町附近	九〇、七九九	七月上旬	十一月下旬	—	七月上旬	八月上旬	—	九月中旬	〃五分	〃	
三八	淺草區新谷町淺草公園馬道町附近	一三五、〇七五	八月中旬	十月下旬	—	八月上旬	十月中旬	—	十月上旬	〃六分	〃	十二月下旬附議見込
三九	同千東町下谷區龍泉寺入谷附近	大略一六〇、〇〇〇	七月上旬	十一月下旬	—	七月上旬	十月下旬	—	十月下旬	〃一分	十四年一月下旬	
四〇	同聖天町象潟町附近	一七九、八五〇	八月中旬	十一月下旬	—	八月中旬	九月中旬	—	十一月上旬	〃二分	〃	
四一	同吉野町玉姫町橋場町附近	一六五、七三四	六月上旬	十一月中旬	—	九月中旬	九月下旬	—	十一月下旬	〃一分	〃	
四二	同田中町日本堤附近	一一八、四三一	五月中旬	十月中旬	—	八月下旬	十一月中旬	—	九月下旬	〃九分	十二月下旬	十二月下旬附議見込
四三	下谷區金杉下町龍泉寺町附近	一二一、八三三	八月上旬	十一月中旬	—	八月上旬	八月中旬	—	十一月中旬	〃一分	十四年一月下旬	
四四	本所區中ノ鄕松倉町原庭町番場町附近	二〇六、一六二	五月上旬	十一月下旬	—	五月中旬	十一月中旬	—	九月上旬	〃三分	十二月下旬	
四五	本所區押上町柳島元町附近	大略一三〇、〇〇〇	八月下旬	工程六分	十二月下旬	八月下旬	十一月下旬	—	十一月下旬	〃一分	十四年一月下旬	

四六	本所外手町北二葉町南二葉町附近	一五三、九六三	四月中旬	七月上旬	—	四月下旬	六月中旬	—	七月中旬	七月中旬	—	十月中旬整理委員會ニ付議審理中
四七	同若宮町三笠町横川町附近	一六五、五〇四	六月上旬	九月上旬	—	六月上旬	九月上旬	—	九月上旬	十月中旬	—	十二月下旬附議見込
四八	同太平町柳島町柳島梅森町附近	大略一八〇、〇〇〇	八月中旬	工程七分	十二月下旬	八月下旬	十一月中旬	—	—	—	十四年一月下旬	
五〇	同緑町附近	九七、五八〇	七月上旬	十一月下旬	—	七月上旬	十一月下旬	—	十一月中旬	工程二分	十二月下旬	
五一	同柳原松代町附近	大略二三一、〇〇〇	八月上旬	十一月上旬	—	八月下旬	工程七分	十二月下旬	十一月下旬	〃一分	十四年一月下旬	
五二	同松井町深川區森下町附近	一九五、七五七	六月中旬	八月上旬	—	七月上旬	八月上旬	—	十一月中旬	〃九分	十二月中旬	
五三	同徳右衛門町菊川町林町附近	大略一八五、〇〇〇	八月中旬	工程九分	十二月下旬	七月中旬	工程七分	十二月下旬	—	—	十四年一月下旬	
五四	深川區猿江町本所區茅場町一、二丁目附近	二五七、七二六	六月中旬	九月下旬	—	七月上旬	九月下旬	—	十一月下旬	工程二分	十二月下旬	
五五	同西大工町東西平野町靈岸町附近	一四九、五六八	五月上旬	八月下旬	—	五月上旬	八月中旬	—	九月下旬	〃九分	十二月中旬	
五六	同東大工町元加賀町三好町附近	大略一四九、〇〇〇	九月上旬	工程七分	十二月下旬	九月上旬	十一月中旬	—	—	—	十四年一月下旬	
五七	同東扇橋町千田町石島町附近	〃三二一、〇〇〇	七月下旬	十月下旬	—	八月上旬	十一月中旬	—	十一月中旬	工程一分	十二月下旬	
五九	深川區萬年町冬木町和倉町深川公園附近	一七六、五八九	七月中旬	八月下旬	—	七月上旬	八月下旬	—	十月上旬	〃二分	〃	
六〇	同木場町鶴歩町平久町附近	三二八、七一〇	七月下旬	十月中旬	—	八月中旬	九月上旬	—	十一月下旬	〃三分	〃	
六一	同豊住町東平井町附近	大略三〇四、〇〇〇	九月上旬	十一月下旬	—	九月上旬	工程六分	十二月下旬	—	—	十四年一月下旬	
六二	同古石場町牡丹町平富町附近	九七、〇四七	七月下旬	十月中旬	—	八月上旬	八月下旬	—	十一月上旬	工程五分	十二月下旬	
六六	本所區向島新小梅町向島小梅町向島須崎町附近	大略六五五、三五〇	八月下旬	工程九分	十二月中旬	八月中旬	工程九分五	十二月中旬	十二月下旬	〃一分	十四年一月下旬	

午、工作物再調査　換地設計の結果、建物其他地上工作物の大多數は移轉若くは切取防護等を實行せざるべからざるを以て、一定の方針の下に根本的調査を爲すの必要あり、曩に換地設計上の必要に依り應急調査を爲したる平面圖を參考とし、復興局の應援を得て、調査隊數十を組織し、便宜上全地域を數十區に區劃し、指數を附し、各區に於ける各棟に東南を基點として時計の針の方向に從ひ、順次番號を附し、番號順に各棟の構造を實地に調査し、之に

イ、各棟建物現況平面圖及附帶設備箇數。

ロ、構造主要部ノ概況。

ハ、地區、用途、等級、坪數、階數、方位。

ニ、工作物所在地、建物及土地所有者。

の各事項を記入する事とし、五月下旬着手、十一月下旬大體の完了を見、其後の増設に係るものは、隨時追加調査を爲しつゝあり。

一面移轉工事實施計畫並に移轉料若くは切取防護等に依りて受くべき損害補償金算出に關する一般原則、公式（曳方の場合には、新築費に一定の比率を乘じ、移築の場合は、新築費に一定の比率を乘ずる外、距離の遠近に依る一定の係數を乘ずる等の方式）、單位表（建物の部分的單位表）の作製に關し、復興局と打合せて、着々之が進捗を圖れり。

ロ、土地區劃整理委員

A、委員選擧　市執行五十一地區の土地區劃整理委員選擧は、大正十三年四月十四日市告示第百三十九號、八月二十三日市告示第三百十五號、十二月十八日市告示第四百四十號を以て委員數を定め、四月十四日市告示第百四十號、七月八日市告示第二百五十六號、二十六日市告示第二百八十一號、八月十六日市告示第三百六號、二十三日市告示第三百十六號、十一月五日市告示第四百號を以て選擧期日、投票所、投票時間、選擧人名簿縱覽場所、期日、時間を定め、五月七日第十九區を手始として選擧を執行したり。内十三年内に執行したるもの四十八區、委員八百八十名、補缺員八百四十一名、計一千七百二十一名にして、第二十、二十一、二十二の三地區委員五十八名は地區分合等のため、未だ執行するに至らず。

東京市告示第百三十九號

大正十三年三月東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ニ於テ選擧スヘキ土地區劃整理委員ノ數、左ノ通定ム。

大正十三年四月十四日　東京市長　永田秀次郎

地區名	土地所有者ヨリ選擧スル委員數	借地權者ヨリ選擧スル委員數	計
第一地區	一〇人	一〇人	二〇人
第二地區	九人	九人	一八人
第三地區	二人	二人	四人
第四地區	八人	八人	一六人
第五地區	九人	九人	一八人
第七地區	八人	八人	一六人
第八地區	一一人	一一人	二二人
第九地區	一〇人	一〇人	二〇人
第十一地區	一〇人	一〇人	二〇人
第十五地區	八人	八人	一六人
第十八地區	九人	九人	一八人
第十九地區	九人	九人	一八人
第二十地區	一二人	一二人	二四人
第二十一地區	八人	八人	一六人
第二十二地區	八人	八人	一六人
第二十三地區	九人	九人	一八人
第二十四地區	九人	九人	一八人
第二十五地區	九人	九人	一八人
第二十六地區	九人	九人	一八人
第二十七地區	八人	八人	一六人
第二十八地區	一〇人	一〇人	二〇人
第二十九地區	一〇人	一〇人	二〇人
第三十地區	一〇人	一〇人	二〇人
第三十二地區	一二人	一二人	二四人
第三十三地區	一〇人	一〇人	二〇人
第三十五地區	一〇人	一〇人	二〇人
第三十七地區	一〇人	二〇人	二〇人
第三十八地區	一〇人	一〇人	二〇人
第三十九地區	九人	九人	一八人
第四十地區	九人	九人	一八人
第四十一地區	一〇人	一〇人	二〇人

第四十二地區	九人	九人	一八人
第四十三地區	一〇人	一〇人	二〇人
第四十四地區	一〇人	一〇人	二〇人
第四十五地區	九人	九人	一八人
第四十六地區	九人	九人	一九人
第四十七地區	九人	九人	一八人
第四十八地區	九人	九人	一八人
第五十地區	八人	八人	一六人
第五十一地區	九人	九人	一八人
第五十二地區	一〇人	一〇人	二〇人
第五十三地區	九人	九人	一八人
第五十四地區	一〇人	一〇人	二〇人
第五十五地區	九人	九人	一八人
第五十六地區	九人	九人	一八人
第五十七地區	一〇人	一〇人	二〇人
第五十九地區	九人	九人	一八人
第六十地區	九人	九人	一八人
第六十一地區	一〇人	一〇人	二〇人
第六十二地區	八人	八人	一六人

東京市告示第百四十號

大正十三年三月東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內第十五地區、第十八地區及第十九地區ニ於テ選擧スヘキ土地區劃整理委員ノ選擧期日、投票所、投票時間及選擧人名簿縦覽場所竝縦覽期間、左ノ通定ム。

大正十三年四月十四日

東京市長　永田秀次郎

土地區劃整理地區	選擧期日	投票所	投票時間	選擧人名簿縦覽場所	選擧人名簿縦覽期間	縦覽時間
第十九地區	大正十三年五月七日	京橋區役所	自午前八時 至午後六時	京橋區役所	自大正十三年五月一日 至大正十三年五月三日	自午前九時 至午後五時
第十五地區	大正十三年五月十三日	日本橋區役所	自午前八時 至午後六時	日本橋區役所	自大正十三年五月七日 至大正十三年五月九日	自午前九時 至午後五時
第十八地區	大正十三年五月十三日	京橋區役所	自午前八時 至午後六時	京橋區役所	自大正十三年五月七日 至大正十三年五月九日	自午前九時 至午後五時

東京市告示第二百五十六號

大正十三年三月東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內第三地區、第五地區、第七地區、第十一地區、第二十四地區、第二十六地區、第三十二地區、第三十三地區、第四十七地區、第五十地區、第五十四地區、第五十六地區ニ於テ選擧スヘキ土地區劃整理委員ノ選擧期日、投票所、投票時間、選擧人名簿縦覽場所及縦覽期間竝縦覽時間、左ノ通定ム。

大正十三年七月八日

東京市長　永田秀次郎

記

土地區劃整理地區	選擧期日	投票所	投票時間	選擧人名簿縦覽場所	選擧人名簿縦覽期間	縦覽時間
第三地區	大正十三年七月廿九日	麹町區役所	自午前八時 至午後四時	麹町區役所	自大正十三年七月廿三日 至〃七月廿五日	自午前八時 至午後四時
第五地區	大正十三年七月廿九日	神田區役所	自午前八時 至午後四時	神田區役所	自大正十三年七月廿三日 至〃七月廿五日	自午前八時 至午後四時
第七地區	大正十三年八月五日	神田區役所	自午前八時 至午後四時	神田區役所	自大正十三年七月三十日 至〃八月一日	自年前八時 至午後四時
第十一地區	大正十三年七月廿九日	日本橋區役所	自午前八時 至午後四時	日本橋區役所	自大正十三年七月廿三日 至〃七月廿五日	自午前八時 至午後四時
第二十四地區	大正十三年七月廿九日	芝區役所	自午前八時 至午後四時	芝區役所	自大正十三年七月廿三日 至〃七月廿五日	自午前八時 至午後四時
第二十六地區	大正十三年八月五日	芝區役所	自午前八時 至午後四時	芝區役所	自大正十三年七月三十日 至〃八月一日	自午前八時 至午後四時
第三十二地區	大正十三年七月廿九日	淺草公園傳法院	自午前八時 至午後四時	淺草區役所	自大正十三年七月廿三日 至〃七月廿五日	自午前八時 至午後四時
第三十三地區	大正十三年八月五日	淺草公園傳法院	自午前八時 至午後四時	淺草區役所	自大正十三年七月三十日 至〃八月一日	自午前八時 至午後四時
第四十七地區	大正十三年七月廿九日	本所區役所	自午前八時 至午後四時	本所區役所	自大正十三年七月廿三日 至〃七月廿五日	自午前八時 至午後四時
第五十地區	大正十三年八月五日	本所區役所	自午前八時 至午後四時	本所區役所	自大正十三年七月三十日 至〃八月一日	自午前八時 至午後四時
第五十四地區	大正十三年七月廿九日	深川區役所	自午前八時 至午後四時	深川區役所	自大正十三年七月廿三日 至〃七月廿五日	自午前八時 至午後四時
第五十六地區	大正十三年八月五日	深川區役所	自午前八時 至午後四時	深川區役所	自大正十三年七月三十日 至〃八月一日	自午前八時 至午後四時

東京市告示第二百八十一號

大正十三年三月東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內、第八地區、第九地區、第三十五地區、第三十七地區、第三十八地區、第三十九地區、第四十五地區、第五十三地區、第五十九地區及第六十地區ニ於テ選擧スヘキ土地區劃整理委員ノ選擧期日、投票時間、選擧人名簿縦覽場所及縦覽期間竝縦覽時間、左ノ通定ム。

大正十三年七月二十六日

東京市長　永田秀次郎

記

土地區劃整理地區	選擧期日	投票所	投票時間	選擧人名簿縦覽場所	選擧人名簿縦覽期間	縦覽時間
第八地區	大正十三年八月十九日	神田區役所	自午前八時 至午後四時	神田區役所	自大正十三年八月十三日 至大正十三年八月十五日	自午前八時 至午後四時

第九地區	大正十三年八月廿二日	神田區役所	自午前八時 至午後四時	神田區役所	自大正十三年八月十六日 至大正十三年八月十八日	自午前八時 至午後四時
第三十五地區	大正十三年八月十九日	淺草公園傳法院	自午前八時 至午後四時	淺草區役所	自大正十三年八月十三日 至大正十三年八月十五日	自午前八時 至午後四時
第三十七地區	大正十三年八月十九日	下谷區役所	自午前八時 至午時四時	下谷區役所	自大正十三年八月十三日 至大正十三年八月十五日	自午前八時 至午前四時
第三十八地區	大正十三年八月廿二日	淺草公園傳法院	自午前八時 至午後四時	淺草區役所	自大正十三年八月十六日 至大正十三年八月十八日	自午前八時 至午後四時
第三十九地區	大正十三年八月廿二日	下谷區役所	自午前八時 至午後四時	下谷區役所	自大正十三年八月十六月 至大正十三年八月十八日	自午前八時 自午後四時
第四十五地區	大正十三年八月十九日	本所區役所	自午前八時 至午後四時	本所區役所	自大正十三年八月十三日 至大正十三年八月十五日	自午前八時 至午後四時
第五十三地區	大正十三年八月廿二日	本所區役所	自午前八時 至午後四時	本所區役所	自大正十三年八月十六日 至大正十三年八月十八日	自午前八時 至午後四時
第五十九地區	大正十三年八月十九日	深川區役所	自午前八時 至午後四時	深川區役所	自大正十三年八月十三日 至大正十三年八月十五日	自午前八時 至午後四時
第六十地區	大正十三年八月廿二日	深川區役所	自午前八時 至午後四時	深川區役所	自大正十三年八月十六日 至大正十三年八月十八日	自午前八時 至午後四時

東京市告示第三百六號

大正十三年三月東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內第四十地區、第四十一地區、第四十三地區、第四十八地區、第五十一地區、第五十七地區、第六十一地區及第六十二地區ニ於テ選舉スヘキ土地區劃整理委員ノ選舉期日、投票所、投票時間、選舉人名簿縱覽場所及縱覽期間並縱覽時間、左ノ通定ム。

大正十三年八月十六日　東京市長　永田秀次郎

記

土地區劃整理地區	選舉期日	投票所	投票時間	選舉人名簿縱覽場所	選舉人名簿縱覽期間	縱覽時間
第四十地區	大正十三年九月六日	淺草公園傳法院	自午前八時 至午後四時	淺草區役所	自大正十三年八月卅一日 至大正十三年九月二日	自午前八時 至午後四時
第四十一地區	大正十三年九月九日	淺草公園傳法院	自午前八時 至午後四時	淺草區役所	自大正十三年九月三日 至大正十三年九月五日	自午前八時 至午後四時
第四十三地區	大正十三年九月六日	下谷區役所	自午前八時 至午後四時	下谷區役所	自大正十三年八月卅一日 至大正十三年九月二日	自午前八時 至午後四時
第四十八地區	大正十三年九月六日	本所區役所	自午前八時 至午後四時	本所區役所	自大正十三年八月卅一日 至大正十三年九月二日	自午前八時 至午後四時
第五十一地區	大正十三年九月九日	本所區役所	自午前八時 至午後四時	本所區役所	自大正十三年九月三日 至大正十三年九月五日	自午前八時 至午後四時
第五十七地區	大正十三年九月六日	深川區役所	自午前八時 至午後四時	深川區役所	自大正十三年八月卅一日 至大正十三年九月二日	自午前八時 至午後四時
第六十一地區	大正十三年九月九日	深川區役所	自午前八時 至午後四時	深川區役所	自大正十三年九月三日 至大正十三年九月五日	自午前八時 至午後四時
第六十二地區	大正十三年九月十六日	深川區役所	自午前八時 至午後四時	深川區役所	自大正十三年九月十日 至大正十三年九月十二日	自午前八時 至午後四時

東京市告示第三百十五號

大正十三年七月十二日東京市告示第二百六十三號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ニ於テ選舉スヘキ土地區劃整理委員ノ數、左ノ通定ム。

大正十三年八月二十三日　東京市長　永田秀次郎

地區名	土地所有者ヨリ選舉スル委員數	借地權者ヨリ選舉スル委員數	計
第六十六地區	八人	八人	一六人

東京市告示第三百十六號

大正十三年七月二十六日東京市告示第二八一號ニ依リ本年八月十九日東京都市計畫土地區劃整理第四十五地區ノ土地區劃整理委員ノ選舉ヲ施行シタルニ土地所有者選出ニ係ル委員定數九名ニ對シ八名選舉セラレタルニ付特別都市計畫法施行令第二十條ニ依リ共ノ不足ノ員數一名ノ選舉期日、投票所及投票時間、左ノ通定ム。

大正十三年八月二十三日　東京市長　永田秀次郎

地區名	選舉期日	投票所	投票時間
第四十五地區	大正十三年八月三十日	本所區役所	自午前八時 至午後二時

東京市告示第四百號

大正十三年三月東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內第二地區、第二十七地區及第六十六地區ニ於テ選舉スヘキ土地區劃整理委員ノ選舉期日、投票所、投票時間、選舉人名簿縱覽場所及縱覽期間並縱覽時間、左ノ通リ定ム。

大正十三年十一月五日　東京市長　中村是公

記

土地區劃整理地區	選舉期日	投票所	投票時間	選舉人名簿縱覽場所	選舉人名簿縱覽期間	縱覽時間
第二地區	大正十三年十一月廿八日	麴町區役所	自午前八時 至午後四時	麴町區役所	自大正十三年十一月廿二日 至大正十三年十一月廿四日	自午前八時 至午後四時
第二十七地區	大正十三年十一月廿八日	赤坂區役所	同上	赤坂區役所	同上	同上
第六十六地區	大正十三年十一月廿八日	本所區役所	同上	本所區役所	同上	同上

東京市告示第四百四十號

大正十三年三月二十七日東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區並ニ大正十三年四月十四日東京市告示第百三十九號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ニ於テ選舉スヘキ土地區劃整理

委員數ノ内、左記ノ通變更ス。

大正十三年十二月十八日　東京市長　中村是公

記

告示第百十一號ノ内

第二十地區（京橋區）

「白魚河岸」ヲ「白魚河岸ノ一部」ニ改ム。

采女町　木挽町一丁目　木挽町二丁目
木挽町三丁目　木挽町四丁目　木挽町五丁目
木挽町六丁目　木挽町七丁目　木挽町八丁目
木挽町九丁目　木挽町十丁目　東豐玉河岸
南水谷町　新富町一丁目　新富町二丁目
新富町三丁目ノ一部　新富町五丁目　新富町六丁目ノ一部
金六町　蜊河岸　南櫻河岸ノ一部

南八丁堀一丁目ノ一部ヲ削除ス。

第二十一地區（京橋區）

「入船町六丁目」ヲ「入船町六丁目ノ一部」ニ改ム。

第二十二地區（京橋區）

采女町　木挽町一丁目　木挽町二丁目
木挽町三丁目　木挽町四丁目　木挽町五丁目
木挽町六丁目　木挽町七丁目　木挽町八丁目
木挽町九丁目　木挽町十丁目　東豐玉河岸
金六町　南水谷町　新富町一丁目
新富町二丁目　新富町二丁目ノ一部　新富町五丁目
新富町六丁目　白魚河岸ノ一部　蜊河岸
南櫻河岸ノ一部　南八丁堀一丁目ノ一部ヲ加フ

告示第百三十九號ノ内

第二十地區土地所有者ヨリ選擧スル委員數十二人ヲ十人、借地權者ヨリ選擧スル委員數十二人ヲ十人、計二十四人ヲ二十人ニ、及第二十二地區土地所有者ヨリ選擧スル委員數八人ヲ十一人、借地權者ヨリ選擧スル委員數八人ヲ十一人、計十六人ヲ二十二人ニ改ム。

* * * *

東京市告示第百七十二號

大正十三年四月十四日東京市告示第百四十號ニ依リ第十九地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年五月九日　東京市長　永田秀次郎

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

大村五右衛門　辰澤延次郎
中澤彦吉　下村庫次郎
關仲次郎　堀越孝次郎
三菱合資會社　小島金藏
新倉源太郎

借地權者ヨリ選擧シタル委員

綾部國次郎　榊原倉次郎
三枝二郎　內藤彌之助
伊藤寅之助　坂上島太郎
荻田幸次郎　渡邊武松
大津牛兵衛

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

小林久吉　伊坂市右衛門
平野太郎兵衛　株式會社住友倉庫
原島彦七　竹木金三郎

三橋甚四郎　中坪彌太郎
中西理吉

借地權者ヨリ選擧シタル委員

塚本鐵吉　大森盛重
鷲塚直太郎　野村慶二
串田清三郎　山本市藏
高橋德三　馬場準七
丹羽要助

東京市告示第二百十六號

大正十三年五月十四日東京市告示第百七十六號ニ依リ第一地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年六月十一日　東京市長　永田秀次郎

第一地區

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

牧野泉　三善小兵衛
竹村重兵衛　仁木傳吉
田中武兵衛　垣見八郎右衛門
前田德次郎　高羽惣兵衛
野口新兵衛　若松太吉

借地權者ヨリ選擧シタル委員

江島留吉　中山利平
田中竹次郎　永井玄暢
星野郁太郎　六崎賢明
廣橋嘉七郎　横田藤三郎
岡本嗣治　荻巢慶次郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

仁木政之助　三島廣
福岡勝五郎　吉川慶市
植村俊平　岡田熊吉
中條利吉　磯部太郎兵衛
左右田喜一郎　磯部龜吉

借地權者ヨリ選擧シタル委員

三好鎌藏　北島力藏
仁科富太郎　岡田藤吉
橋本龍吉　石川巳之助
吉田彦四郎　辻本佐兵衛
松本政次郎　太田晉吉

東京市告示第二百十七號

東京都市計畫土地區劃整理第二十三地區及第二十八地區土地區劃整理委員選擧人名簿ニ、左記ノ者ヲ追加登載ス。

大正十三年六月十一日　東京市長　永田秀次郎

記

第二十三地區選擧人名簿ニ追加登載スヘキ者

土地所有者ノ部

芝區高輪南町三十番地　廣瀨龜吉方　小川ハナ
同　上　小川三郎

第二十八地區選擧人名簿ニ追加登載スヘキ者

土地所有者ノ部

本鄕區春木町二丁目二十番地　三枝秀太郎
本鄕區金助町十九番地　佐藤そう

借地權者ノ部

本鄕區本富士町二番地　淺井みい
本鄕區春木町一丁目七番地　小出駒造

東京市告示第二百三十九號

大正十三年五月十四日東京市告示第百七十六條ニ依リ第二十九地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年六月二十一日　整理施行者東京市長　永田秀次郎

記

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

佐久間喜太郎　宇田倘
豐島茂一　朝田朝右衛門
天野龜太郎　山田鐘之助
神田寅三郎　清水廣吉
湯淺圭造　片外元四郎

借地權者ヨリ選擧シタル委員

今村久太郎　落合保太郎
前島榮次郎　小久江美代吉
鎌倉五郎　川上金松
宇田川銀之助　小谷野三造
植村永之助　太田辰巳

土地區劃整理補闕委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

齋藤平兵衛　細海豐吉
石田常吉　田口傳右衛門
加藤彥太郎　師岡昌德
藤原喜太郎　齋藤政吉
篠原平右衛門　岡部仙吉

借地權者ヨリ選擧シタル委員

鵜澤正躬　加藤彥次郎
長澤長太郎　宮下正一
杉浦藏吉　武野元二
石井清　山口由藏
新井芳藏　久保武太郎

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

高山信吉　中島常吉
山口富吉　笠井太左衛門
關谷興助　大場久七
矢野義弓　富田逵三
石丸龍太郎

借地權者ヨリ選擧シタル委員

伊藤銀次郎　白井甚兵衛
吉川忠志　高橋清之助
渡邊八十吉　渡邊種樹
鈴木健次郎　松高元治
山崎塊一

土地區劃整理補闕委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

板坂直清　福田吉太郎
池谷玉穗　今井兼次郎
村田新次　淺野吏郎
高橋錠之助　大塚菊雄
近藤輔宗

借地權者ヨリ選擧シタル委員

豐澄辰五郎　小笠孝太郎
大澤彌三郎　青木金松
松井縫之助　松本浦太
師岡彌七　山中長吉
臼井榮壽

東京市告示第二百四十二號

大正十三年五月十四日東京市告示第百七十六號ニ依リ、第五十五地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年六月二十五日　整理施行者東京市長　永田秀次郎

記

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

三野村合名會社　仲本昇太郎
三菱倉庫株式會社　（常照院住職）大河內義傳
（攝心院住職）岩田舜亮　松永政吉
（本立院住職）石井勝温　藤井七兵衛
岩出惣兵衛

借地權者ヨリ選擧シタル委員

雜波四郎　逸見員一
寺島周作　松崎正次
武市昇太郎　伊原金四郎
長德三郎　荒井甚五郎
鹿取政次郎

土地區劃整理補闕委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

株式會社岡田商店　帝國倉庫運輸（株式會社）
瀧澤兼三郎　臨川寺住職藤田宗滴
雄松院住職高坂秀孝　不動寺住職正木實乘
唱行院住職伊藤勝漸　加藤俊次郎

借地權者ヨリ選擧シタル委員

寺島清太郎　吉田秀久治
中島愛次郎　熊谷多平
山本三代吉　藤田秀三
竹馬三次郎　菊地松五郎
中村利介

東京市告示第二百四十四號

大正十三年五月十四日東京市告示第百七十六號ニ依リ第四十四地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年六月二十五日　整理施行者東京市長　永田秀次郎

記

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

中山興一　青木彌一
石川豐太郎　加藤清次郎
田中友右衛門　秋葉秀吉
天海良三　河野道太郎
日吉圓順　岡本定吉

土地所有者ヨリ選擧シタル補鈌員

田中道三　坂下終四郎
小林粂藏　關本信
毛塚米太郎　小森善七
潮朝之助　三木彌太郎
東條重治　栗原守道

借地權者ヨリ選擧シタル委員

武島常吉　原澤杏香
橋本平七　飯塚專吉
齋藤道　猪子政吉
渡瀨爲次郎　塚原始治
服部專吉　山口三藏

同　補鈌委員

尾内庄吉　前田龜三
渡邊三郎　鶴岡彌太郎
森川巳造　山中恕亮
森昌太郎　加賀谷豐次郎
吉住仁三郎　石井朝

東京市告示第二百五十一號

大正十三年五月十四日東京市告示第百七十六號ニ依リ第四十二地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年七月二日　整理施行者東京市長　永田秀次郎

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

久保和吉　丸山磯市
玉川由太郎　日本護謨株式會社
日本染絨株式會社　古島國太郎
鈴木榮一郎　小林芳太郎
大野吉治

借地權者ヨリ選擧シタル委員

小高兼藏　杉山傳平
野島連平　增田森吉
小林安太郎　安藤清兵衞
小宮山伴次郎　峯岸仁三郎
建部岩一郎

土地區劃整理補闕委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

古久根嘉藏　長谷川由右衞門
柴崎直次郎　渡邊洞水
小浪源太郎　矢部留次
楯田永三郎　秋元松之助
福田金一郎

借地權者ヨリ選擧シタル委員

川崎末作　佐藤善吉
木村甚作　井上四郎
水野喜作　福田金次郎
株式會社小穴製作所　千葉雅太郎
島田丑三郎

東京市告示第二百四十八號

大正十三年五月十四日東京市告示第百七十六號ニ依リ第四十六地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年六月二十八日　整理施行者東京市長　永田秀次郎

土地區劃整理委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

石黑榮一　杉本房一郎
原澤儀雄　小池長次郎
株式會社マルエル工場　若林保全合資會社
星野準三　中川宗七郎

借地權者ヨリ選擧シタル委員

片根卯之吉　堀内福雄
小里梅吉　福島由太郎
太刀川平四郎　中野重秀
前田茂利　中村玉次
渡邊鎌太郎

土地區劃整理補闕委員

土地所有者ヨリ選擧シタル委員

宮崎佐太郎　森倉松
一居融治郎　外山善吉
谷村伊右衞門　山縣六郎

河野定次郎　小森善三郎
江本義數

借地權者ヨリ選擧シタル委員

加藤龜太郎　小島勇一
櫻井延次郎　露崎三四郎
有竹卯之吉　加藤甚四郎
村上孫吉　淺間初太郎
鈴木辨吉

東京市告示第三百號

大正十三年七月八日東京市告示第二百五十六號ニ依リ第五地區、第二十四地區、第十一地區及第三十二地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年八月九日　東京市長　永田秀次郎

第五地區

土地區劃整理委員

土地所有者之部

松見文平　三菱合資會社
原島藤藏　水原漸
上野繁　小仲井石藏
專修大學　濱田端
寺島清司

借地權者ノ部

田島熊太　今村力三郎
角谷晋吉　久松恭次郎
大西橋三　柴田竹三郎
長尾景英　笠原文太郎
川田準一郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

東京商科醫學專門學校　五味三吉
日本大學　石井權藏
林泰次郎　千野良孝
松本龜次郎　齋藤利貞
大河内輝耕

借地權者ノ部

春田滿二　河野義一
五味保　波多野萬吉
吉田竹次郎　小室啓次郎
大野新吉　野村勇七郎
宇田川銀次郎

第二十四地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

野寄磯吉　川口與三郎
澁井德兵衞　久能木孝則
堤德藏　橋本岩吉
都築百次郎　小池彌重郎
前田卯之吉

借地權者ノ部

仲村富次郎　仲澤惣次郎
竹下延保　飯塚伊勢次郎
山田恒雄　壽藤勝太郎
國分常直　杉村金次郎
高木三五郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

宮澤豊七　清水延次郎
加川甚五郎　藤森勝三郎
柴田庄次郎　川崎勝五郎
鈴木磯吉　荒川吉五郎
宮崎治右衛門

借地權者ノ部

森田彦次郎　明木太郎
渡邊久藏　大竹儀三郎
駒場一郎　藤山東次郎
近藤謙治　小林和作
武山與四郎

第十一地區

土地區劃整理委員

土地所有者之部

松下伊兵衛　星野與兵衛
和田直兵衛　山本德次郎
株式會社高津商店　富山榮吉
高岡宣次　株式會社伏見屋
杉浦六右衛門　原忠三郎

借地權者ノ部

佐久間藤吉　淺見清太郎
加島虎吉　飯田清之助
棚橋清三郎　大野角次郎
吉川清信　竹村幸太郎
清水速郎　高木益太郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

窪田惣八　金子貞治

塚本同族合名會社　黒田市之丞
野崎清藏　合資會社熊野屋塗料店
林九兵衛　早川佐七
小西合名會社　藤井同族株式會社

借地權者ノ部

小山岩次郎　島居清志
小林長三郎　角田庄太郎
森峯次郎　太田儀之助
中村謹三　戎野喜太郎
頓宮雄藏　宮崎常三郎

第三十二地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

福田甚吉　尾張屋土地株式會社
富山喜八　髙木富次郎
小西政敬　瀨山濱太郎
相田米吉　藤山捨吉
栗生藤三　渡邊綱吉
海寶龜太郎　山崎乃武郎

借地權者ノ部

本宮辰次郎　津熊健三郎
武田治三郎　酒井清次郎
阿部喜藤治　柴田治
新谷元太郎　山口新之助
山口亥之吉　諸橋彦太郎
吉田桂次郎　伊東鄕之助

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

相場金太郎　小林德太郎
山田惣兵衛　梶原藤三郎
東條吉藏　澤田忠吉
古屋庚次郎　田中鎌太郎
永谷米次郎　池田平吉
安齊幹一　益岡寅藏

借地權者ノ部

松田彌太郎　山田弘毅
青地喜七　小島米三郎
坂倉慶次郎　土屋喜七
渡邊芳太郎　澤田退藏
松浦仲藏　松浦佐介
小塚光三郎　森本直吉

東京市告示第三百一號

大正十三年七月八日東京市告示第二百五十六號ニ依リ第三地區及第五十四地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年八月九日　東京市長　永田秀次郎

第三地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

日清生命保險株式會社　株式會社日本興業銀行

借地權者ノ部

株式會社三越呉服店　三菱倉庫株式會社

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

三菱合資會社　東洋製鐵株式會社

借地權者ノ部

財團法人警察協會

第五十四地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

鈴木セメント株式會社　成瀨文藏
沼田國次郎　矢代銈一
下田嘉平治　大竹久三郎
市野澤太吉　横内近藏
髙橋長次郎　泉養寺

借地權者ノ部

堀江常吉　玉川清
卯木國三郎　髙橋鎌次郎
宇津木忠次郎　田鍋萬治
宮田德次郎　鈴木幸太郎
川上善造　井田清

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

東京瓦斯株式會社　山田條吉
井上儀兵衛　歌代義作
藥師寺久兵衛　峰岸傳次郎
岸甚兵衛　星野源三郎
岡部貞助　廣濟寺

借地權者ノ部

棚橋吉壽　杉浦萬之助
小林藤次郎　吉川金五郎
岩瀨幾之助　實川作次郎
大澤織次郎　贄田信三郎
志村義保　樋郡三治

東京市告示第三百四號

大正十三年七月八日東京市告示第二百五十六號ニ依リ第四十七地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左ノ通當選ス。

大正十三年八月十三日　東京市長　永田秀次郎

第四十七地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

市木芳次郎　松田鐵作
鈴木幸之助　中村金太郎
長谷川竹次郎　川村喜十郎
小野玉吉　上田武左衛門
飯田龜太郎

借地權者ノ部

森彌一郎　濱田清次
島田三平　富岡幸吉
寺尾鐵二　津田岩吉
篠田藤太郎　下村喜作
大橋榮次郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

白石源右衛門　小島幸次郎
澤田惣兵衛　秋葉幸三郎
齋藤鉉太郎　三浦芳次郎
鈴木秀太郎　岡田龜吉
深澤太三郎

借地權者ノ部

小林織信　坂本富士太郎
大場喜太郎　佐藤幸吉
山中仁亮　天野虎藏
飯塚鶴一　大熊仲右衛門
片根卯之吉

東京市告示第三百十號

大正十三年七月八日東京市告示第二五六號ニ依リ第七地區、第二十六地區、第三十三地區、第五十地區及第五十六地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年八月二十日　東京市長　永田秀次郎

第七地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

秦多野太兵衛　塚谷喜一
小林久四郎　小坂喜德
江草重忠　長谷川基
岡本久三郎　田中良三

借地權者ノ部

小坂淺次郎　西川德治
伊東直吉　山崎遜
飯野祐吉　井口吉藏
米田實　柴藤卯之吉

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

松浦定　小林岩次郎
殖栗文造　小泉愛之助
谷八造　宮田儀七
安西久次郎　村松平次郎

借地權者ノ部

出雲寶太郎　坂口長忠
中澤鄕　片桐鷹重
辻井勇造　高池和七
白井幸助　淺井榮太郎

第二十六地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

森安三郎　富田勘次郎
河合金兵衛　小林捨次郎
森庄太郎　池田巳之太郎
太田源四郎　高木又吉
矢崎淺次郎

借地權者ノ部

酒井吉楠　岡田利之助
宗田啓藏　鈴木松五郎
中島金太郎　今野龜藏
辻啓次郎　村田愛助
島井由三郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

增澤東造　鈴木萬之助
北村忠藏　橋川達之助
太田房次郎　中島春吉
荻原惣次郎　吉村興兵衛
須藤利之助

借地權者ノ部

反保定吉　新原元三郎
白井常七　西尾光太郎
今成興兵次　高橋安太郎

鷲塚利右衛門　高橋久太郎
渡邊俊三

第三十三地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

小林甚藏　古谷豐三郎
大谷善八郎　高橋愛三
成田良美　松繩玉吉
滋野齊　加島十兵衛
横山正三　田中六藏

借地權者ノ部

山田縫三郎　牧文次郎
杉浦虎太郎　安藤彌太郎
和歌森利重　兼藤良三郎
藤田長五郎　榊原忠兵衛
飯塚重義　高橋雋

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

土橋悅次　鶴岡亘
早川祥松　鋤柄喜三郎
和田茂吉　酒井米次郎
阿野靜敏　吉田忠治郎
汐見幸太郎　田中弘

借地權者ノ部

大木卓夫　相川幸次郎
伊藤松三郎　山本力松
篠崎藤四郎　神戸彥太郎
西田繁治郎　萬洲年松

古川泉太郎　入部波留

第五十地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
吉村太吉　中村藤太郎
佐武市太郎　大塚權次郎
竹村幸太郎　若林保全合資會社
室木重三郎　栗原粂吉
借地權者ノ部
小栗富五郎　深谷立助
黑須覺太郎　關谷宗吉
山本清次郎　酒井榮次
平野六三郎　小倉新
土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
吉野鉦太郎　關口喜三郎
本多牛藏　鍋田忠七
宮村隼郎　野尻傳之丈
林定五郎
借地權者ノ部
古田土八重吉　澁谷竹之助
平松克己　福井松太郎
廣島清藏　玉川三郎
松本清次郎　芳間作太郎

第五十六地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
法禪寺　飯田一郎
木津惠助　東京製鋼株式會社
太田信次郎　中山定吉
川村七藏　鹽田粂次郎
數井市助
借地權者ノ部
篠塚芳藏　朝比奈信廉
藤井銀次郎　古島宮次郎
田熊要助　齋藤作治
菅原由次郎　神山傳次郎
三上新之助
土地區劃整理補闕委員
土地所有者ノ部
楠八十兵衞　龍光院
木村喜太郎　加畑長藏
友田八兵衞　友田芳太郎
太田重吉　東京印刷株式會社
借地權者ノ部
鴇田藤次郎　尾登藤吉
大山權太郎　木田國太郎
豐田庄太郎　榎戸海老藏
佐藤孝助　我妻代五郎

東京市告示第三百二十六號

大正十三年八月九日東京市告示第三百號及第三百一號東京都市計畫土地區劃整理第二十四地區、第五地區及第五十四地區並ニ大正十三年八月十三日東京市告示第三〇四號東京都市計畫土地區劃整理第四十七地區土地區劃整理委員補闕委員中、左記ノ者ハ委員ヲ辭任シタリ。

大正十三年九月三日　東京市長　永田秀次郎

記

第二十四地區土地區劃委員補闕委員
土地所有ヨリ選擧シタル委員　荒井吉五郎
第五地區土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ヨリ選擧シタル委員　齋藤利貞
第五十四地區土地區劃整理委員補闕委員
借地權者ヨリ選擧シタル委員　贄田信三郎
第四十七地區土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ヨリ選擧シタル委員　秋葉幸三郎

東京市告示第三百二十七號

大正十三年七月二十六日東京市告示第二百八十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內第九地區、第三十八地區及第三十九地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年九月三日　東京市長　永田秀次郎

記

第九地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
濱田端　吉田廣見
中川重政　梅岡正吉
黑崎直次郎　堀內伊太郎
中村桂太郎　宮田幸作
鈴木喜兵衞　稻茂登三郎
借地權者ノ部
小林巳之助　高橋章藏
鈴木彌吉　大見幸三部
長島辰五郎　大澤圭五郎
北原常次郎　福田勝太郎
伊藤小四郎　中山孝三郎
土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
田島悦次郎　金子新右衞門
古屋合名會社　稻葉倉治
松屋呉服店　宮坂留吉
奧村助五郎　泉勇助
小松市松　島村友三郎
株式會社武神商店
借地權者ノ部
松原宗五郎　野村庫造
足利晴之助　早川藤太郎
江口芳兵衞　秋庭喜平次
成塚良治　田中吉太郎
吉川增次郎　櫻井忠吾

第三十八地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
神谷傳兵衞　小川留次郎
太田久七　岩立治郎吉
本然寺　恩田金次郎
來馬琢道　小林和助
小林直一　中山愼一
借地權者ノ部
野田孫一　安藤寅之進
住吉忠次郎　小川伊太郎
榎戸隆道　中村秀三郎
片桐實　井原作太郎
野村金之補　岩田德三

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有地ノ部

田部井三郎
泉徳三郎
西川榮助
中西仲五
東光院
櫻井源太郎
得生院
横山和三郎
大野房次郎
清水龜太郎

借地權者ノ部

高柳平吉
比留間松藏
三島錠太郎
鈴木勝次郎
恩田龍吉
酒井正一
弓削寅吉
疋田清藏
近藤金之助

第三十九地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

荒川喜一郎
谷古善
小野寺文哉
阿部伊之松
松本銀次郎
近藤福太郎
矢野鉉吉
大音寺住職高瀬俊達
鈴木又八

借地權者ノ部

鈴木慶四郎
細田密城
山本仟
坂入彌作
佐々木圖三郎
常盤扇壽
石田安太郎
橋本武四郎
中村權一郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

關正藏
平井長次郎
小林徳太郎
鴨田甚助
正洞院住職神野定眞
松崎孫太郎
田中徳次郎
齋藤忠次郎
松本平次郎

借地權者ノ部

守田嘉助
吉田作次郎
田島勘次郎
島村貞二
藤田兼吉
石鍋米藏
栗原床三郎
武井寅之助
佐藤光雄

東京市告示第三百二十八號

大正十三年七月二十六日東京市告示第二百八十一號ニ依リ第八地區第三十五地區、第三十七地區、第四十五地區及第五十九地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左ノ通當選ス。

大正十三年九月三日
東京市長　永田秀次郎

記

第八地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

島山周助
峰島合資會社
村木喜助
株式會社博進社
鈴木友三郎
峰村睦之助
宇佐美由次郎
島速太郎
岩倉與三兵衛
三須安五郎
清田政

借地權者ノ部

大宮徳太郎
伊藤藤治
石田常太郎
福田又一
關根虎藏
酒井鉄太郎
泉清吉
今城禎太郎
秋草愛一
縱信治
小林金四郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

宮本仲
經田幸三郎
大久保權藏
熊澤熊吉
青山金四郎
藤本林藏
岡野富之助
岡田久太郎
澤與武夫
大瀧龜吉
石山和吉

借地權者ノ部

相原龜吉
伊東龜太郎
毛塚治兵衛
山田壽二
大里佐吉
石川喜一郎
植松勝次郎
初谷藤兵衛
平田竹次郎
崎山熊楠
伊澤弘芳

第三十五地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

福田三次郎
西山庄太郎
山本義貞
松井源右衛門
池田萬藏
村林專太郎
川口治之丞
稻垣市兵衛
池野谷徳太郎
常福寺

借地權者ノ部

岡本春吉
大橋新太郎
谷三平
大竹太平
時松茂
大谷津友三郎
淺野喜助
堀切神司郎
高橋源之助
稗田榮

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

櫻井新之助
神木辰五郎
上村國三郎
高井善次郎
荒井元治
名倉仙之助
大庭幾三郎
大坪臺助
實相寺

借地權者ノ部

吉田忠次郎
山崎伊三郎
加藤徳太郎
門野與重郎
花俣金太郎
株式會社百助商店
川桝愛
中村元右衛門

第三十七地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

米倉十藏
籾山牛三郎
古谷田彌十郎
海禪寺住職中原秀嶽
松前廣致
山口吉太郎
松本治郎太
石井新藏
栗田三藏
杉野文彌

借地權者ノ部

鈴木鐵造
松橋九八郎
大久保豐太郎
太田兼吉
佐藤清久

土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
山口治三郎
伊尾留次郎
小川讓太郎
飯塚榮次郎
阿部榮來郎
借地權者ノ部
村上莊一
大木紀伊藏
大草巳之助
佐藤紋次
白村德次郎

第四十五地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
大澤欽治
田中信太郎
加藤正信
勝倉佐平
借地權者ノ部
坂間好之助
小宮萬次郎
小林半三郎
渥美啓次郎
大塚祐次郎
佐藤磯次郎
加藤冲五郎
幸山小三郎
横山金太郎
泉川清太郎
中山和吉
相澤半太郎
川出伊太郎
岡本寛
日坂妙五郎
早川萬之助
伊藤鐵次郎
延澤虎次郎
小宮龜
佐野廣中
大塚金太郎
勝倉平次郎
大村三之助
黑澤儉兩郎
勝倉岩吉
木村伊之助

土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
小宮千太郎
西城龍堂
小宮甲次郎
成川兵次郎
小宮金兵衞
借地權者ノ部
根本正
早矢仕信次郎
萩原欽也
青木米藏
宮下八五郎

第五十九地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
松本忠次郎
笠原小十郎
榮子平次郎
竹下清助
三宅彌平
借地權者ノ部
今井兼仲
小倉鐺助
宮崎宇之助
山田勘藏
田中和作
勝倉猶次郎
荒木作藏
小宮賢三郎
小宮孫兵衞
岩田惣
島中勝十郎
榊原啓一郎
瀨尾砂
森治三郎
帝國倉庫運輸（株式會社）
心行寺
玖田金太郎
一又安平
田口篤信
松木深藏

坂東伊平
本田恒吉

土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
筒井忠次郎
玄信寺
三橋富夫
三橋松五郎
借地權者ノ部
西山宗義
新沼千代治
山本豐吉
河東田松三郎
風戸兼太郎
武田敬治
岡本新十郎
五十嵐益三郎
磯山丑藏
石岡源助
小幡孫四郎
石橋新之助
佐久間榮次郎
松永林次郎

東京市告示第三百三十六號

大正十三年七月二十六日東京市告示第二八一號ニ依リ第五十三地區第六十地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年九月六日　東京市長　永田秀次郎

記

第五十三地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
新井善作
小杉榮太郎
若林保全株式會社
田中力藏
高野重三
借地權者ノ部
內田安右衞門
間淵銀次
小林文之助
塚原寅次郎
佐藤愛藏
三好新次郎
高瀨助次郎
吉田吉五郎
武山繁十郎

土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
岡部貞助
高橋鐵次郎
蜂岸傳三郎
長明
借地權者ノ部
磯部竹次郎
和泉文助
横田七藏
半田天受
竹本貞次郎

第六十地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
小澤庄兵衞
藤倉電線株式會社
武市木材株式會社
神山長三
舟橋米藏
借地權者ノ部
須田角藏
若林源吉
澁井秀次郎
土屋保
藤井彦治郎
米澤源七
矢作金四郎
本多長次郎
坂卷福太郎
大河內幸藏
野口吉照
大澤光
相澤直次郎
戸川鯉喜江
黑田善太郎
松本光太郎
平田久藏
加瀨忠次郎
川端京五郎
石原友曉

八木寬　市村久治郎
金澤久藏　加藤二郎
福島幸太郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

犇正次郎　櫸原貞八
內田牛之助　鈴木牛七
萩原兼松　木村登吉郎
鷲塚潤一郎

借地權者ノ部

澤木源藏　內藤德藏
柳堀鐵之助　宮本久藏
關根忠七　土屋折之進
名塚忠五郎　中村克之
石橋満作

東京市告示第三百四十四號

大正十三年八月二十三日東京市告示第二百八十一號ニ依リ第四十五地區ニ於テ土地區劃整理委員補充選擧ノ結果、左ノ通當選ス。

大正十三年九月十日

東京市長職務管掌
內務省參事官　堀切善次郎

第四十五地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部

西尾忠方

東京市告示第三百五十八號

大正十三年八月東京市告示第三百六號ニ依リ第五十七地區、第四十地區、第四十三地區及第四十八地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年九月二十日

東京市長職務管掌
內務省參事官　堀切善次郎

第五十七地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部

鈴木鐵之助　榊原平三
深町經藏　鈴木金次郎
大澤治郎吉　細川鎌吉
鈴木喜太郎　鈴木要藏
秋山吉五郎　森田鐘十郎

借地權者ノ部

山岡新一郎　遠藤孫三郎
土生津熊太郎　飯島兼四郎
三輪茂市　山谷和吉
廣瀨新平　吉村覺太郎
宮方兼吉　合資會社關機械製作所

土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部

堅石重吉　濱口惣吉
長島吾助　並木由太郎
金子三之助　金子平太郎
榎本庄太郎　日東製氷株式會社

借地權者ノ部

福田玄　明石梅吉
伊藤寅藏　齋藤仲三郎
富田忠吉　塚谷復一
柏岡豐吉　細田德次郎
吉野伊三郎　川名藤吉

第四十地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部

松崎權四郎　佐伯昌道
毛塚清兵衞　八木新吉
島多郎　島口與茂作
大和延太郎　上原伊助
大瀧福之助

借地權者ノ部

松崎政吉　細沼德治
大野龜吉　稻見德太郎
大久保源之丞　三國彌之助
岸田源次郎　瀧野國吉
新村喜一郎

土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部

松崎文次　川喜多龍太郎
無動院　松本松太郎
梅村正太郎　吉澤喜代藏
越田重次郎　前田平亮

借地權者ノ部

伊藤專太郎　小林仁太郎
宮本吉太郎　松浦好藏
石井由太郎　長堀文吉
岡野八右衞門　槇正元
淺田德次郎

第四十三地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部

日野信次　瀧山清治
矢野鉉吉　鶴田勝重
花崎岩次郎　林千代松
石垣甲子造　發揚朝之助
原吉吾　渡龜造

借地權者ノ部

湯本久藏　鈴木力之助
石井清三郎　佐藤芳太郎
福田勇　石鍋清吉
三室德二郎　長井文藏
入田松太郎　石崎庄藏

土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部

秋山修　浦野榮藏
田中善作　野本慶次郎
前田仁吉　藤波次郎吉
丸島吉右衞門　佐藤德太郎
濱中藤一郎　近藤福太郎

借地權者ノ部

角谷菊次郎　岩本龜吉
草間卯八　林太長
今村藤一　澤井久造
川村市三郎　伊藤嘉七
中村七太郎　小園勇一郎

第四十八地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部

市川國松　喜多武秀
岡本大助　鈴木英吉
青木直治　杉野善作
新甫寛實　梅本榮次郎
君塚常右衛門
借地權者ノ部
宮崎憲文　鈴木吉次郎
河野春吉　寺尾德三
小濱竹治郎　中頭常藏
松永嘉次郎　吉野元吉
中山專三
土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
渡邊俊吉　稻垣廣三
齋藤五郎　三谷桂次郎
三宅正雄　押田武雄
田中柳三　田中弘三
大澤初七
借地權者ノ部
大角政次郎　宮岡友
土田喜一　江原新十郎
榊原廣吉　竹島金次郎
經間長三郎　村上文太
塚田伊之吉

東京市告示第三百五十九號

大正十三年八月東京市告示第三百六號ニ依リ第四十一地區、第六十一地區及第五十一地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年九月二十日

東京市長職務管掌
内務省参事官　堀切善次郎

第四十一地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
入田浪之助　大熊仁三郎
白旗定七　道林寺
田邊益太郎　須原宇之松
古島文次郎　桶田永二郎
大貫平七　東禪寺
借地權者ノ部
池田市太郎　小穴秀一
川上悅二　山田種三郎
鈴木德太郎　加藤鐵三郎
齋藤金之助　岡村多一郎
戸泉一男　田中留松
土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
上原政兵衛　金澤國藏
小泉國五郎　龜山龜太郎
田口平藏　淺倉彥次郎
玉蓮院　高橋眞太郎
福田元次郎　念佛院
借地權者ノ部
船山彥吉　丹羽勸三郎
加藤幸二郎　藤井惣太郎
塚本喜三郎　伊藤農夫雄
小澤寅吉　長谷川太市郎

原德次郎　平田助太郎
第六十一地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
關直之　長谷川銚次
武市森太郎　菊地武治
太田信治郎　東京製綱株式會社
羽中田民治　田邊鉉太郎
宮村豐　鈴木永吉
借地權者ノ部
佐藤彌作　鵜野留五郎
玉越增吉　清水鑑三
堀六太郎　小柳德平
三木豐造　鈴木壽作
土屋辰次郎　東京木材倉庫（株式會社）
土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
日向野辨吉　加藤平次郎
林福六　富本朝二
織田民六　渡會應助
鈴木鐵一　近藤福松
城塚源藏　河合八右衛門
借地權者ノ部
光枝禎二　渡會國次郎
伊東廣十郎　久保田仁平
香場金次郎　鶴岡鐵次郎
田中伊之助　野村金治
市川利助　花村金之助

第五十一地區
土地區劃整理委員
土地所有者ノ部
海老原秀吉　町田竹造
佐々木森男　日本コルク株式會社
福島市藏　大住榮次郎
倉持喜代次　小森三右衛門
杉浦倉次郎
借地權者ノ部
吉澤吉之助　大高大助
矢野富藏　井上學
那須文吉　保坂保
山本新太郎　神藤才次
大海清吉
土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ノ部
福島元次郎　松丸福太郎
齋藤鍋吉　杉本榮吉
住吉悅藏　小川久造
谷口安次郎　市原茂兵衛
長縄由次郎
借地權者ノ部
藤江大太郎　岩下要藏
堀内興三郎　中山太吉
倉内浪太郎　堀切寅藏
柳田金太郎　馬場光一
本多富久松

東京市告示第三百六十二號

大正十三年八月東京市告示第三百六號ニ依リ第六十二地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年九月二十四日　　東京市長職務管掌
　　　　　　　　　　　　　內務省參事官　堀切善次郎

第六十二地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

關口安五郎　帝國倉庫運輸株式會社
喜多吉兵衛　津谷治助
商業倉庫株式會社　鎌田文男
久保田興兵衛　山脇道子

借地權者ノ部

多子東市　森岡菊彦
清水米吉　望月橘次郎
本橋米吉　早川賀次郎
小川倉吉　清水恒七

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

秋田太吉　田中長一郎
上原三雄　濱口吉右衛門
森岡平右衛門　大岡顯三

借地權者ノ部

河野清太郎　鈴木八兵衛
太田靜之助　篠原政太郎
小林勘藏　石川直太郎
神島千代吉　森戸多藏

東京市告示第三百六十五號

大正十三年六月二十八日告示第二百四十八號第四十六地區借地權者選出土地區劃整理委員堀內福雄並ニ大正十三年八月九日告示第三百號第十一地區土地所有者選出土地區劃整理委員原忠三郎辭任大正三年五月十七日告示第百八十號第十八地區借地權者選出土地區劃整理委員石井修死亡ニ付、特別都市計畫法施行令第二十二條ニ依リ、左記ノ者ヲ以テ補充ス。

大正十三年九月二十七日　　東京市長職務管掌
　　　　　　　　　　　　　內務省參事官　堀切善次郎

第四十六地區土地區劃整理委員補闕委員
借地權者ヨリ選出シタル委員　加藤龜太郎

第十一地區土地區劃整理委員補闕委員
土地所有者ヨリ選出シタル委員　窪田惣八

第十八地區土地區劃整理委員補闕委員
借地權者ヨリ選出シタル委員　吉田牛六

東京市告示第三百六十九號

大正十三年五月九日東京市告示第百七十二號東京都市計畫土地區劃整理第十九地區土地所有者選出土地區劃整理委員新倉源太郎同地區借地權者選出土地區劃整理委員大津牛兵衛委員ヲ辭任シタルニ付、左記ノ者ヲ以テ補充ス。

大正十三年十月四日　　東京市長職務管掌
　　　　　　　　　　　內務省參事官　堀切善次郎

記

土地區劃整理委員補闕員
土地所有者ヨリ選出シタル委員　小林久吉

土地區劃整理委員補闕員
借地權者ヨリ選出シタル委員　塚本鐵吉

東京市告示第三百六十六號

大正十三年九月三日東京市告示第三百二十八號第三十五地區土地區劃整理委員補闕委員中、左記登載漏ニ付追加ス。

大正十三年九月二十九日　　東京市長職務管掌
　　　　　　　　　　　　　內務省參事官　堀切善次郎

記

土地所有者ノ部　桑山忠孝

借地權者ノ部　平松健一

東京市告示第三百六十七號

大正十三年九月二十四日東京市告示第三百六十二號東京都市計畫土地區劃整理第六十二地區土地區劃整理委員土地所有者ノ部喜多吉兵衛辭任ニ付、補闕委員秋田太吉ヲ以テ補充シタリ。

大正十三年九月二十九日　　東京市長職務管掌
　　　　　　　　　　　　　內務省參事官　堀切善次郎

東京市告示第三百七十號

大正十三年九月二十日東京市告示第三百五十九號東京都市計畫土地區劃整理第六十一地區土地區劃整理委員補闕員日向野辨吉（土地所有者選出）、大正十三年九月二十四日東京市告示第三百六十二號東京都市計畫土地區劃整理第六十二地區土地區劃整理委員補闕委員濱口吉右衛門（土地所有者選出）及田中長一郎（土地所有者選出）ハ委員ヲ辭任シタリ。

大正十三年九月二十九日　　東京市長職務管掌
　　　　　　　　　　　　　內務省參事官　堀切善次郎

東京市告示第四百三十五號

大正十三年十一月東京市告示第四百號ニ依リ、第二地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年十二月六日　　東京市長　中村是公

第二十七地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

吉田勘右衛門　松下善太郎
神子秀男　山崎盛次
坂田金太郎　神子四郎
明石三吉　徳田久次郎

借地權者ノ部

內田勘次郎　谷田部幸太郎
渡邊一一　中西敬二
內藤純三郎　豐島幸太郎
水谷石松　小澤清次郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

金子寅太郎　松井平五郎
高橋增太郎　苗村牛次
片山八十一　喜代田圓識
島崎鐵五郎　練尾忠次

借地權者ノ部

小林磯次郎　梅野薫
本田文之助　猿田甲子藏
鈴木巻堅　金井慶作
光澤松之助　四出定次郎

東京市告示第四百三十六號

大正十三年十一月東京市告示第四百號ニ依リ、第二地區、第六十六地區ニ於テ土地區劃整理委員選擧ノ結果、左記ノ者當選ス。

大正十三年十二月十一日　　東京市長　中村是公

第二地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

工藤角三郎　中村德次郎
大坪藤朔　遠藤亮太郎
杉崎六吉　笹田政治
前田幸造　山本初雄
石山靜輔

借地權者ノ部

阿久津喜兵衛　關友暢
本吉正雄　齋藤三郎
安田久次郎　岸他丑
關野廣恭　小林幸太郎
石濱寅吉

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

塚原佐吉　森井啓之助
大橋正雄　福田壽二
小堀鍊之助　宮本央
堀川彌太郎　松島誠明
昆田文治郎

借地權者ノ部

吉井宗親　山中顯三
諸井勝太郎　中山孝吉
關川重雄　伊藤新四郎
内田友藏　青井深
鈴川鳴平

第六十六地區

土地區劃整理委員

土地所有者ノ部

久保田正三郎　千葉仁三郎

八木敬藏　石川彥太郎
鈴木彥太郎　福壽共益合資會社
岡田昇　高野喜佐久

借地權者ノ部

飯室昌吉　三宅次太郎
北島巳三郎　磯部寅松
大中義正　稻垣倘壽
都築藤吉　日比貫三郎

土地區劃整理委員補闕委員

土地所有者ノ部

保坂又之助　横山彌太郎
岡田興吉　長谷川彌一郎
石崎仲三郎　山本金五郎
大川元吉　内田興五郎

借地權者ノ部

布井甚吉　寺村政太郎
染谷文次郎　清水潔
清水律郎　志村重太郎
山崎吉五郎　秋山安太郎

東京市告示第四百三十九號

大正十三年九月東京市告示第三百二十八號第八地區土地所有者選出土地區劃整理委員岩倉與三兵衛死亡ニ付、特別都市計畫法施行令第二十二條ニ依リ、左記ノ者ヲ以テ補充ス。

大正十三年十二月十六日　東京市長　中村是公

記

第八地區土地區劃整理委員補闕員

土地所有者ヨリ選出シタル委員　宮本仲

〔參　考〕第二十地區ハ大正十四年二月二日、二十一地區ハ四日、二十二地區ハ六日、何レモ選擧ヲ執行シ、當選者ハ七日十日十二日市告示ヲ以テ公示セラル。

B、會議　土地區劃整理委員會は、六月十二日第十八、十九番地區の第一回委員會を開き、其他も順次選擧終了地區より開會し、十一月末日までに四十五地區委員會の開催を見たり、會議は何れも正副議長の選擧、席次の決定、議事規則の議定等にして、事業の内容を付議するは第二回以後の事に屬す、第一回委員會の未だ開催に至らざるものには第二、第二十、第二十一、第二十二、第二十七、第六十六の六箇地區を存し、内選擧未了の三箇地區を除き、他は近く開會の運びとなるべし、而して第二回委員會を開きたるものには、十月十四日開催の第四十六地區、十月二十五日開催の第四地區ありて、

整理前土地面積決定期日ニ關スル件。

換地位置決定ニ關スル件。

整理前後路線價指數決定ニ關スル件。

但、第四十六地區ハ、整理前路線價指數ニ關スル件。

を付議し、内土地面積決定期日に關する件は之を議了し、其他は引續き數回の協議會小委員會を開きて愼重に審議しつゝあり。

整理委員會組織

地區番號	區名	委員數	選擧期日（大正年月日）	第一回委員會期日（年月日）	議長	副議長
一	麹町	二〇	一三・六・七	一三・七・二四	垣見八郎右衛門	中山利平
二	同	一八	同・一一・二八			
三	同	四	同・七・二九	同・八・九	株式會社日本興業銀行	株式會社三越呉服店
四	同	一六	同・六・二四	同・七・二四	光田幸次郎	櫻井小太郎
五	神田	一八	同・七・二九	同・八・九	笠原文太郎	水原漸
七	同	一六	同・八・五	同・八・二七	米田實	江草重忠
八	同	二二	同・八・一九	同・九・五	秋草愛一	鳥山周助
九	神田 日本橋	二〇	一三・八・二三	一三・九・五	堀内伊太郎	鈴木彌吉
一一	日本橋	二〇	同・七・二九	同・八・二	高木益太郎	山本德次郎
一五	同	一六	同・五・三	同・六・一三	中澤要輔	大塚彌吉
一八	京橋	一八	同・同・同	同・六・一三	早川庄太郎	石崎三吉
一九	同	一八	同・五・七	同・同・同	辰澤延次郎	大村五左衛門
二〇	同	二四				
二一	同	一六				
二二	同	一六				
二三	麹町、芝	一八	同・六・一三	同・七・三	黒須龍太郎	小倉喜作
二四	芝	一八	同・七・二九	同・八・一三	竹下延保	久能木孝則
二五	同	一八	同・六・二六	同・七・三	吉川忠志	關谷興助
二六	同	一八	同・八・五	同・八・二七	岡田利之助	富田勸次郎
二七	赤坂	一六	同・一一・二八			
二八	本郷	二〇	同・六・一三	同・七・二五	伊藤定七	加藤三平
二九	本郷 神田	二〇	同・六・二六	同・同・同	植村永之助	宇田倘
三〇	本郷 神田 下谷	一〇	同・六・二四	同・七・一八	守田治兵衛	矢口織藏
三二	神田 淺草	一四	同・七・二九	同・八・一三	阿部喜藤治	津熊館三郎
三三	淺草	二〇	同・八・五	同・八・二九	古谷豐三郎	兼藤良三郎
三五	淺草	二〇	同・八・一九	君・九・四	吉田道裕（常[illegible]寺住職）	谷三平
三七	淺草 下谷	二〇	同・同・同	同・同・同	小林牛三郎	石井新藏
三八	淺草	二〇	同・八・三	同・九・一五	神谷傳兵衛	安藤寅之進
三九	淺草 下谷	一八	同・八・三	同・九・一七	橋本竹四郎	鈴木慶四郎
四〇	淺草	一八	同・九・六	同・九・二四	松崎權四郎	新村喜一郎
四一	同	二〇	同・九・九	同・九・二七	八田浪之助	小穴秀一
四二	淺草 下谷	一八	同・六・一九	同・七・一八	日本護謨株式會社	小宮山牛次郎

四三	淺草下谷	二〇	一三・九・六	一三・九・二九	甕揚朝之助	瓢田勇
四四	本所	二〇	同・六・二六	同・七・一九	齋藤道	橋本平七
四五	同	一八	同・八・一九	同・九・一六	大澤欽治	延澤寅次郎
四六	同	一八	同・六・一九	同・七・一九	星野準三	原澤儀雄
四七	同	一八	同・七・二九	同・八・三	松田鐵作	津田岩吉
四八	同	一八	同・九・六	同・九・二六	杉野善作	小濱竹治郎
五〇	同	一六	同・八・五	同・八・二九	吉村多吉	黒須覺太郎
五一	同	一八	同・九・九	同・九・二六	佐々木森男	保坂保
五二	本所深川	二〇	同・六・一六	同・七・二〇	島田藤吉	宮村龜一
五三	本所深川	一八	同・八・二三	同・九・一六	小林文之助	高野重三
五四	本所深川	二〇	同・七・二九	同・八・二三	市野澤太吉	田鍋萬治
五五	深川	一八	同・六・一七	同・七・二〇	田畑大藏（三井村合名會社理事）	古島周作
五六	同	一八	同・八・五	同・八・二八	太田信治郎	朝比奈信康
五七	同	二〇	同・九・六	同・九・二五	秋山吉五郎	山岡新一郎
五九	同	一八	同・八・二九	同・九・三	笠原小十郎	田口篤信
六〇	同	一八	同・八・三	同・九・一八	鈴木光太郎	石原友曉
六一	同	二〇	同・九・九	同・九・二五	太田信治郎	玉越増吉
六二	同	一六	一三・九・一六	同・九・二〇	關口安五郎	名子東市
六六	本所	一六	同・二・二六			

3　街路工事

東京市執行の街路工事は、帝都復興費を以て支辨するものと、帝都復興費中街路修築區劃整理費を以て支辨するものとの兩者あり、前者は復舊を主とする路面鋪裝及傷損橋梁の復舊改築にして、後者は所謂補助線街路の修築及之が橋梁架設なり。

イ、路面鋪裝

路面鋪裝事業は、豫算金二十八萬圓を以て、震災に燒損したる鋪裝路面一萬五千四百坪及緣石一千間を修理するものにして、大正十二年度十三年度に執行すべきものに係り、即ち

一、鋪木道　一五四、〇〇〇圓

自日本橋至萬世橋一、六五〇坪、自京橋至日本橋二、四〇〇坪、自京橋至芝口一丁目九七〇坪、自小川町至神保町一七〇坪、櫻田本郷町交叉點四〇坪、雷門前一〇〇坪、自馬場先門外至神田橋八〇坪、自神田橋至錦町一丁目九〇坪計五、五〇〇坪。

二、瀝青混凝土道　一八、〇〇〇圓

自和泉橋至御徒町六〇坪、自美倉橋至和泉橋三六〇坪、自御藏前片町至榮久町四〇坪、自通神保町至南神保町五六〇坪、自水道橋至揚場町七五坪、自虎門至溜池二〇坪、自赤坂見附至溜池一〇坪、自海軍省角至幸町二丁目一五坪、計一、五〇〇坪。

三、瀝青マカダム道　二九、〇〇〇圓

自今入町至土橋二五〇坪、自南神保町至今川小路八八〇坪、自裏神保町至水道橋一、〇二〇坪、自飯田町四丁目至三崎町一丁目七五〇坪、計二、九〇〇坪。

四、混凝土道　三六、〇〇〇圓

各路線四、五〇〇坪。

五、緣石　九、〇〇〇圓

各路線一、〇〇〇間。

六、鋪石道　三四、〇〇〇圓

自蓬萊橋至尾張橋一〇坪、神田區佐久間町一〇坪、自花房町至和泉橋通三〇坪、自日本橋新材木町至新葭町三〇〇坪、日本橋區小舟町四〇〇坪、日本橋區堀留町二五〇坪、計一、〇〇〇坪。

の鋪裝豫定なり、執行に際し、坪數其他に變更を生じ、大正十三年十一月竣成し、若くは工事中に在るもの左の如し。

鋪裝道路修築工事

路線名	工種	坪數	金額	起工年月日	竣工年月日
自日本橋至萬世橋	鋪木道	二、九〇五・八九三坪	九五、〇八一・七六三円	一三年・二月・一九日	工事中
自京橋至日本橋	同	一、八〇三・二四七	四九、八三九・二四〇	一三・四・一九	一三・八・二四
自京橋至芝口一丁目	同	二、七九八・〇八四	六一、四七六・三六八	一三・四・一八	工事中
自小川町至神保町	同	二四三・三六五	八、八三八・四九〇	一三・四・一	一三・七・二三
櫻田本郷町交叉點	同	三二・八三五	一、四二〇・一六四	一三・六・一〇	一三・六・三〇
淺草雷門前	同	六九・〇六八	二、三一四・六九六	一三・五・一三	一三・六・二〇
自和泉橋至御徒町	瀝青混凝土道	一、四五〇・六一〇	三六、一九一・七一四	一三・四・二三	工事中
自下谷善養寺至坂本四丁目	同	三三八・三〇〇	二、七六四・五四七	一三・六・一	一三・六・二一
自萬世橋至和泉橋	同	四七五・七〇〇	七、八九五・八七三	一三・四・二九	一三・六・三〇
自御藏前片町至榮久橋	同	二八六・五〇〇	三、七八七・〇〇九	一三・五・一七	一三・五・二五
自通神保町至南神保町一丁目	同	四二一・六九八	六、三六八・二三四	一三・四・一八	一三・四・二三
自水道橋至揚場町	同	二四・三六〇	五〇〇・九八五	一三・八・一七	一三・八・二七
自須田町至小川町	同	一、〇三三・三六〇	一六、六八三・四四九	一三・二・一七	工事中
自芝今入町至土橋	瀝青マカダム道	二八八・四〇〇	二、二九七・〇〇三	一三・五・一四	一三・六・二〇
自南神保町至今川小路	同	八七〇・〇〇〇	五、〇一九・五〇三	一三・六・一三	一三・八・一八
自飯田町四丁目至三崎町一丁目	同	一、六〇〇・五六〇	一五、二八五・八四七	一三・九・二〇	一三・一一・三〇
自裏神保町至水道橋	ターピヤマカダム道	一、五二六・八〇四	一八、九七四・五六八	一三・七・一九	一三・一一・一四
各路線	步道混凝土板	四、七〇九・三二九	二二、六八三・三三〇	一三・四・一六	工事中
同	緣石	三六一・一〇〇間	一〇、八三三	一三・四・二	一三・四・一四

ロ、街路修築

市執行の街路修築は、所謂補助線街路百二十三線延長約十三萬八千三百三十一米幅員八米乃至二十二米（大正十四年三月現在）を開設するものにして、豫算は橋梁費を合せ六千七百五拾參萬壹千八百貳拾四圓を以て、大正十二年度より十七年度に至る六箇年度に執行する事業たり、路線は大正十三年三月十一日の內務省告示及其後に於ける若干の修正告示に由り、敷地の地均、側溝の敷設、砂利敷設及雜工事を施すを目的とし、本所深川の街路に盛土を爲すものとす、而して之が擴築新設に要する用地一二一、七八三坪の補償は、區劃整理に於て之を執行する筈なり。

是の故に補助線の街路修築事業は、概して區劃整理の施行を俟つに非されば能はず、從て大正十三年の如き、執行する所、概して之が準備を爲すに止まり、纔に區劃整理に關係なき地域に於て、一部の着手を見たるのみ、即ち

都市計畫街路築造工事

復興事業に屬するもの

（一）出張所設置　左の如し。

名稱	位置	所管區域
第一出張所	京橋區築地三丁目五番地	麴町區、神田區（神田川以北ヲ除ク）、日本橋區、京橋區、芝區、麻布區、赤坂區、四谷區、牛込區及隣接町村
第二出張所	淺草區松葉町百二番地	下谷區、淺草區、本郷區、小石川區、神田區ノ一部（神田川以北）及隣接町村
第三出張所	本所區松井町三ノ二番地	本所區、深川區及隣接町村

（二）　材料倉庫、材料置場設置　材料倉庫を設くる一箇所（但し鐵道省より借入）、材料置場を設くること十二箇所。

（三）機械器具購入　　二七四、一一三圓

（四）砂利購入　　二〇六、一三〇圓

（五）測量及設計調査　を爲すこと左の如し。

延長	豫算額	實施額	工程	摘要
三、五八二間	五八、八〇八・〇〇円	六、六六七・四三円	一分七厘	第一號路線外四十八路線

（六）街路築造工事を實施したるもの、

路線番號	工事名稱	工事箇所	延長	設計金額	工程
五	一部地上工事	自深川區東扇橋町 至同區豊住町	七三九・五間	一三、六六九円	二厘六毛
一一	同	自本所區小梅業平町 至同區德右衛門町	一、四〇三・一	一四〇、〇六八	三厘四毛
一〇六	同	自本所區綠町二丁目 至同區松代町三丁目	九七七・七	三五、九〇〇	一厘七毛

〔參考〕大正十四年一月現在工程を擧ぐれば、

街路

計畫路線　一二三線　延長　七〇、五九三間

工事着手のもの　五線　延長　三、八九六間

外、工事に伴ふ支線增加の分　一二八間

第五號線中（東扇橋町－豊住町）

第十一號線中（小梅業平町－德右衞門町）

第四號線中（西元町－四町）

第六十六號線中（駿河臺鈴木町地內）

第一〇六號線中（元町一丁目松代町三丁目）

起工手續中　四線　延長　一、二九六間

第八號線中（西紅梅町－駿河臺下）

第十七號線中（有樂町－西紺屋町）

第六十六號線中（淡路町二丁目－三崎町一丁目）

第一二三號線中（烏森町－有樂町）

測量中　五一線　延長　二〇、〇二三間

未着手　五五線　同　四五、三七八間

本所區深川區道路盛土工事

本所深川の兩區の道路盛土工事は、大正十二年度より十四年に至る繼續事業として施行し來り、震災のため一時中止したりしも、震火災の灰燼を利用して工事を續け、爲に意外の進捗を見、殆ど竣工の域に達したり、尙兩區に於ける土溜は、破損燒失せるもの夥多なるが、盛土工事に關聯するを以て、亦之が工事施行中なり。

八、橋梁復舊

橋梁復舊は、震災に破損したる橋梁中、永く使用に堪へ得るものを復舊し、兼て應急橋梁の假復舊及假設を爲すものにして、合計二百九橋面積一萬六千百十七坪九合あり、豫算總額百九十七萬二千二十圓を以て大正十二十三兩年度に、

神田橋（麴町區大手町外濠）、一ツ橋（同區元衞町外濠）、俎橋（神田區今川小路外濠）、榮橋（日本橋區久松町濱町川）、千鳥橋（同區橘町濱町川）、小川橋（同區浪花町濱町川）、新場橋（同區本材木町楓川）、箱崎橋（同區箱崎町箱崎川）、親父橋（同區新葭町東堀留川）、思案橋（同區小網町東堀留川）、東仲之橋（同區本銀町龍閑川）、地藏橋（同）、四仲之橋（同）、甚兵衞橋（同區小傳馬上町龍閑川）、玉出橋（同區龜井町龍閑川）、千代田橋（同區本材木河岸楓川）、白魚橋（京橋區材木町京橋川）、一之橋（同區靈岸島町新川）、新川橋（同區靈岸島四日市町新川）、三之橋（同區靈岸島町銀町新川）、龜島橋（同區川口町龜島川）、新龜島橋（同）、中之橋（同區本八町堀町櫻川）、采女橋（同區采女町築地川）、祝橋（同區木挽町築地川）、合引橋（同區築地町築地川）、備前橋（同）、堺橋（同區入船町築地川）、明石橋（同區南飯田町築地川）、龜井橋（同區木挽町築地川、木挽橋（同區三十間堀町三十間堀川）、豐玉橋（同區銀座町三十間堀川）、紀伊國橋（同）、汐先橋

（同區木挽町汐留川）、彈正橋（同區同町楓川）、新錢座橋（芝區新錢座町大下水）、會仙橋（同區汐留町汐留川入堀）、木橋（同區新堀町大下水）、小石川橋（小石川區小石川町神田川）、今戶橋（淺草區今戶町山谷堀）、枕橋（本所區中ノ鄕瓦町源森川）、一之橋（同區相生町豎川）、三之橋（同區綠町豎川）、菊川橋（同區菊川町大横川）、長崎橋（同區長崎町大横川）、法恩寺橋（同區淸水町大横川）、業平橋（同區小梅業平町大横川）、江東橋（同區入江町大横川）、押上橋（同區押上町北十間川）、小梅橋（同區業平町北十間川）、横川橋（同區中ノ鄕横川町大横川）、京成橋（同區押上町北十間川）、天神橋（同區柳島元町横十間川）、福島橋（深川區中島町大島川西支川）、下之橋（同區佐賀町油堀）、千鳥橋（同區堀川町油堀）、永居橋（同區大和町油堀）、元木橋（同區堀川町大島川西支川）、蓬萊橋（同區富岡門前町大島川）、平野橋（同區入船町大島川）、汐見橋（同區數矢町中之川）、海邊橋（同區萬年町仙臺堀）、富島橋（同區吉永町福富川）、猿江橋（同區西町大横川）、扇橋（同區扇橋町大横川）、新高橋（同區西町小名木川）、猿子橋（同區西元町六間堀）、北ノ橋（同區東六間堀町八間堀）、辨天橋（同區洲崎町大横川）、黑龜橋（同區龜住町大横川）、船木橋（同區入船町大島川東支川）、澤海橋（同區木場町大横川）、千田橋（同區千田町二十間川支川）、繁榮橋（同區木場町大横川支川）、龜井橋（同）、末廣橋（同區扇町仙臺堀）、矢竹橋（同區平久町埋立地平久川支川）、千船橋（同）、大富橋（同區東大工町小名木川）、吳服橋（麴町區永樂町外廓堀）、常盤橋（同區大手町同）、鍛冶橋（同區八重洲町同）、數寄屋橋（同區有樂町外濠）、新常盤橋（同區大手町外廓濠）、和泉橋（神田區佐久間町神田川）、萬世橋（同區小柳町同）、柳原橋（同區東龍閑町濱町川）、大和橋（同區豐島町同）、佐久間橋（同區佐久間町神田川支川）、御茶の水橋（同區駿河臺西紅梅町神田川）、日本橋（日本橋區通一丁目日本橋川）、江戶橋（同區本船町同）、西河岸橋（同區西河岸町同）、一石橋（同區北鞘町同）、荒布橋（同區本船町西堀留川）、綠橋（同區通油町濱町川）、鞍掛橋（同區小傳馬町同）、海運橋（同區兜町楓川）、今川橋（同區本銀町龍閑川）、龍閑橋（同）、九道橋（同區小傳馬上町同）、土州橋（同區箱崎町箱崎川）、豐海橋（同區北新堀町日本橋川）、京橋（京橋區銀座京橋川）、比丘尼橋（同區北紺屋町京橋川）、櫻橋（同區南八丁堀櫻川）、萬年橋（同區采女町築地川）、

出雲橋（同區竹川町三十間堀川）、三原橋（同區三十間堀町三十間堀川）、月島橋（同區月島通月島川）、靈岸橋（同區富島町富島川）、初見橋（同區新佃町佃川）、高橋（同區本湊町龜島川）、湊橋（同區南新堀町日本橋川）、元彈正橋（同區本材木町楓川）、土橋（芝區二葉町外濠）、難波橋（同區芝口汐留川）、新橋（同）、蓬萊橋（同區汐留町汐留川）、金杉橋（同區土手跡町古川）、宇田川橋（同區宇田川町大下水）、芝濱橋（同區芝浦埋立地新芝川北支川）、八千代橋（同區同地同川南支川）、竹芝橋（同區同地新芝川）、淺草橋（淺草區茅町神田川）、柳橋（同區下平右衞門町同）、左衞門橋（同區左衞門町同）、須賀橋（同區須賀町須賀堀川）、榮久橋（同區北三筋町新堀川）、紙洗橋（同區吉野町山谷堀）、吉野橋（同）、壽福橋（同區老松町新堀川）、兩國橋（本所區元町大川）、吾妻橋（同區中ノ鄕竹町同）、厩橋（同區外手町同）、御竹橋（同區龜澤町南割下水）、久濁橋（同區長岡町同）、二之橋（同區相生町豎川）、永代橋（深川區相川町大川）、新大橋（同區西元町同）、松永橋（同區今川町大島川西支川）、東元橋（同區東元町五間堀）、高橋（同區東大工町小名木川）、鎧橋（日本橋區南茅場町日本橋川）、朝日橋（京橋區銀座三十間堀川）、元高橋（同區東湊町龜島川）、新月橋（同區新佃町佃川）、日の出橋（芝區芝浦埋立地芝浦川東支川）、市ケ谷橋（牛込區八幡町外濠）、伊豫橋（深川區東森下町五間堀）、和田倉橋（麴町區元千代田町內濠）、船路橋（芝區芝浦埋立地芝浦川西支川）、新飯田橋（神田區三崎町外濠）、岩井橋（同區元岩井町濱町川）、三崎橋（同區三崎町外濠）、橋本橋（同區材木町濱町川）、高砂橋（日本橋區高砂町濱町川）、汐見橋（同區橘町同）、永久橋（同區箱崎町箱崎川）、白旗橋（同區本銀町龍閑川）、火除橋（日本橋區大傳馬鹽町龍閑川）、久松橋（同區久松町濱町川）、中之橋（同區伊勢町西堀留川）、男橋（同區濱町箱崎川）、萬橋（同區新材木町東堀留川、蠣濱橋（同區蠣殼町濱町川）、明大橋（京橋區木挽町大下水、新富橋（同區新富町入船川）、榮橋（同區越前堀町越前堀）、囘漕橋（同區同町越前堀入堀）、伊藤橋（同區新富町入船川）、濱前橋（同區月島西河岸通大川支川）、芝濱橋（芝區新錢座町大下水）、生洲橋（同區芝浦埋立地芝浦川入堀）、地方小橋（淺草區今戶町大下水）、長法寺橋（同區吉野町山谷堀）、玉姫橋（同區玉姫町下水）、見返橋（同區吉原堤山谷堀）、內沼橋（同區玉姫町下水）、八反目橋（本所區小梅町曳舟川）、山城橋

（同區松井町六間堀川）、土橋（同區押上町大下水）、板橋（同）、新辻橋（同區柳原町竪川）、北辻橋（同區花町大横川）、美登利橋（同區南二葉町南割下水）、木橋（同區横綱町大下水）、細川橋（深川區常盤町六間堀川）、坂田橋（同區福住町北黒江川）、石島橋（同區富岡門前町大島川）、要橋（同區吉永町仙臺堀）、山本橋（同區山本町福富川）、中之橋（同區東六軒町六間堀川）、木橋（同區猿江裏町一三四一〇六大下水）、大塚橋（同區西森下町五間堀川）、東仲之橋（同區深川公園油堀東支川）、時雨橋（同區平久町埋立地平久川）、住吉橋（同區木場町私有貯水池）、若木橋（同區同町入堀）、中之橋（同區木場町同）、正平橋（同）、板橋（深川區入船町入堀）、豐平橋（同區東平井町十間川）、豐榮橋（同區千田町二十間川）、板橋（同區豐住町）、大久保橋（同區東森下町五間堀川）、關口橋（同區蛤町角黒江川）、寶橋（同區古石場町入堀）。

を執行するものなり、外に私有水面に於ける私設橋梁の市道に認定せられたる五十六橋中、四十五橋即ち

汐入橋（日本橋區蠣殼町入堀）、中之橋（本所區錦絲堀入堀）、睦橋（深川區和倉町入池）、永喜橋（同）、武田橋（同區大和町入堀）、太田橋（同區西平井町入堀）、古川橋（同）、平井橋（同區東平井町入堀）、石小田橋（同）、平野橋（同區東平野町入堀）、榮綠橋（同區石島町入堀）、堺橋（本所區柳原町入堀）、山名橋（同）、近海橋（深川區木場町入堀）、中鹿橋（同町私有貯水池）、鹿ノ子橋（同町入堀）、琴平橋（同區古石場町大島川南支川）、伊豆美橋（同區和倉町入堀）、龜壽橋（同區大和町入堀）、鶴立橋（同區鶴歩町入堀）、坂田橋（同區扇町入堀）、惠比壽橋（同區數矢町入堀）、西永橋（同區西永町入堀）、青山橋（同區山本町入堀）、萬代橋（同區東平野町入堀）、久榮橋（同區西平井町入堀）、長谷川橋（同區豐住町入堀）、横相橋（同）、加藤橋（同）、丸本橋（同）、松ヶ枝橋（同）、舞鶴橋（同）、土橋（同區千田町入堀）、和泉橋（同區東扇橋町入堀）、山下橋（同）、入水橋（同區石島町入堀）、石島橋（同）、新木橋（同）、友田橋（同區扇島町入堀）、製鋼橋（同區東大工町入堀）、銚子揚橋（同）、宮城橋（同區清住町入堀）、櫻橋（同區西町入堀）、通運橋（同）、岡田橋（同區西平井町入堀）。

の復舊に對して、六萬二千三百八十圓を補助す、工事は年度内に大體終了せんとしつゝあるも、區劃整理の關係上、小部分の繰越を見るべく、同時に復興計畫に依る街路工事のため、見合せたるものも少なからず。

二、橋梁改築

橋梁改築は、震災の破損甚しくして修理に堪へさるもの及燃燒造若くは强度不十分なるものゝ改築に係り、豫算額壹千貳百八拾五萬八百四拾六圓を以て、大正十二年より十七年度に至る六箇年に之を執行するものたり、其數百三十六橋、外に私設橋梁の補助改築せしむべきもの十六橋、補助費七十四萬圓なり。

帝都復興費中改築橋梁

區名	橋名
麹町	辨慶橋
〃	竹橋
〃	有樂橋
神田	萬世橋
〃	新三崎橋
〃	佐久間橋
日本橋	江戸橋
〃	西河岸橋
〃	川口橋
〃	箱崎橋
〃	女橋
〃	今川橋
〃	東仲之橋
〃	西仲之橋
〃	玉出橋
日本橋	竹森橋
京橋	一之橋
〃	櫻橋
〃	佃小橋
〃	佃橋
〃	築地橋
〃	小田原橋
〃	備前橋
〃	堺橋
〃	明石橋
〃	出雲橋
〃	木挽橋
〃	北船見橋
〃	新島橋
〃	新月橋
京橋	南新富橋
芝	新橋
〃	赤羽橋
〃	中之橋
〃	新錢座橋
〃	芝園橋
〃	會仙橋
〃	南濱橋
〃	鹿島橋
〃	八幡橋
〃	月見橋
〃	日之出橋
〃	浦島橋
〃	汐路橋
〃	霞橋
〃	香取橋
麻布	一之橋
〃	三之橋
〃	四之橋
〃	廣尾橋
〃	天現寺橋
〃	十番橋
〃	古川橋
赤坂	桐畑橋
〃	土橋
〃	土橋
牛込	市ヶ谷橋
〃	船河原橋
牛込	飯田橋
小石川	小石川橋
〃	隆慶橋
〃	石切橋
〃	江戸川橋
〃	裏柳橋
〃	千川橋
〃	富坂橋
〃	氷川橋
〃	小櫻橋
〃	古川橋
〃	久堅橋
〃	鼠坂橋
〃	華水橋
〃	祇園橋
〃	御殿橋
本郷	鐙橋
〃	菊代橋
下谷	三ノ輪橋
淺草	紙洗橋
〃	富坂橋
本所	兩國橋
〃	吾妻橋
〃	厩橋
〃	枕橋
〃	庚申塚橋
〃	請地橋
〃	竪川橋
本所	一ノ橋
〃	三ノ橋
〃	松井橋
〃	南辻橋
〃	長崎橋
〃	若葉橋
〃	箕龜橋
〃	若松橋
〃	六萬橋
〃	水門橋
〃	押上橋
〃	小梅橋
〃	横川橋
〃	京成橋
〃	七本松橋
〃	松花橋
深川	福島橋
〃	綠橋
〃	下之橋
〃	千鳥橋
〃	永居橋
〃	相生橋
〃	入舟橋
〃	上之橋
〃	崎川橋
〃	吉岡橋
〃	青梅橋
〃	富島橋
深川	大榮橋
〃	福永橋
〃	中之橋
〃	豐島橋
〃	富士見橋
〃	孝慈橋
〃	古石場橋
〃	千田橋
〃	平久橋
〃	繁榮橋
〃	龜井橋
〃	末廣橋
〃	矢竹橋
〃	千舟橋
〃	江川場橋
〃	和倉橋
〃	共同橋
〃	鶴歩橋
〃	井住橋
〃	豐住橋
〃	松島橋
〃	芦洲橋
計	一三六橋

同工費の一部を補助すべき橋梁

區名	橋名	區名	橋名
日本橋	汐入橋	深川	武田橋
本所	中久橋	〃	太田橋
深川	睦橋	〃	平野橋
〃	永喜橋	〃	古川橋
〃	野口橋	〃	平井橋
〃	小川橋	〃	石小田橋
〃	巽橋	〃	太田橋
〃	長島橋	計	一六橋
〃	榮綠橋		

工事は十三年度豫定の十一橋中、十四年一月現在の進捗程度左の如し。

1、工事竣成したるもの　一橋
築地橋。

2、工事に着手したるもの　六橋
新橋、船河原橋、今川橋、出雲橋、西河岸橋。

3、起工手續中のもの（年度内着手の見込）　二橋
竹橋、芝園橋。

4、設計中のもの（年度内着手の見込）　二橋
明石橋、萬世橋。

ホ、補助街路橋梁

街路修築事業中、市執行の補助線に於ける橋梁百四十三橋は、豫算額壹千参百七拾参萬壹千九百六拾圓を以て、大正十二年度より十七年度に至る六箇年繼續事業として架設すべきもの、即ち左の各橋なり。

街路修築橋梁

路線番號	橋名	區名	河川	位置	型式	面坪
二	湊	京橋=日本橋	日本橋川	南新堀町=北新堀町	鐵筋拱	三五七・四〇
二	一之	京橋	新川	靈岸島町=富島町	鈑桁	六九・三〇
三	新架三A橋	深川	大横川	扇橋町=石島町	〃	一三一・〇〇
三	〃三〇	深川=郡部	横十間川	千田町=郡部	〃	一三五・一〇
四	〃四A	本所=郡部	曳舟川	向島請地	〃	四九・五〇
五	〃四之	本所=深川	竪川	松代町=本村町	〃	二二七・八〇
五	小名木川	深川	小名木川	猿江町=東扇町	〃	二六五・〇〇
五	豊住	〃	二十間川	千田町=豊住町	〃	二四三・〇〇
五	井住	〃	十間川	豊住町=平井町	〃	一四五・二〇
六	新月	淺草	入谷堀	新町=光月町	鐵筋鉢	二六・四〇
八	新架八A橋	麹町=神田	外濠	元衛町=錦町	鐵筋拱	三六五・〇〇
八	御茶之水	神田=本鄕	神田川	西紅梅町=湯島	鐵拱	四六二・三三
九	新架九B橋	日本橋	東堀留川	伊勢町=小舟町	鈑桁	一三六・四〇
九	〃九C	日本橋	濱町川	富澤町=久松町	〃	三三・八〇
一一	三之	本所	竪川	花町=德右衛門町	〃	二四二・〇〇
一一	大富	深川	小名木川	富川町=東大工町	〃	三六五・〇〇
一一	富島	〃	福富支川	西永町=吉永町	〃	九六・八〇
一一	末廣	〃	福富川	吉永町=扇町	〃	一八一・五〇
一一	龜井	〃	大横川支川	扇町=木場町	〃	二一・三三
一一	繁榮	〃	入堀	木場町	〃	二一・三三
一三	將監	芝	古河	土手跡町=新堀町	〃	六一・八七一
一六	新架一六A橋	麹町=芝		内幸町=櫻田本鄕町	鐵筋鉢	二四・七五
一七	新架一七A橋	麹町=京橋	外濠	有樂町=西紺屋町	鐵拱	一八一・五〇
一八	豊玉	京橋	三十間堀川	銀座二=木挽町	鈑桁	一四八・五〇
一八	龜井	〃	築地川	木挽町=築地	〃	一四八・五〇
一八	新架一八A橋	〃	同築地川南支川	築地=明石町	鐵筋拱	一四八・五〇
一九	紀伊之國	〃	三十間堀川	銀座二=木挽町	鈑桁	一四八・五〇
一九	新架一九A橋	〃	新運河	木挽町=新富町	鐵筋桁	一四八・五〇
一九	南新富	〃	入船川	新富町=新榮町	鈑桁	四九・六〇
二〇	新水谷	〃	三十間堀川	銀座=南水谷町	〃	一三三・〇〇
二〇	新架二〇A橋	〃	新運河	南水谷=新富町	鐵筋桁	一四八・六〇
二〇	〃二〇B	〃	入船川	南八丁堀	鈑桁	四九・五〇
二一	〃二一A	〃	楓川	本材木町=松屋町	鐵筋拱	一五六・七五
二二	〃二二A	〃	三十間堀川	三十間堀=木挽五	鈑桁	一四八・五〇
二二	〃二二B	〃	築地川	木挽町=築地	鐵筋桁	一四八・五〇
二三	木挽	〃	三十間堀川	三十間堀=木挽町四	鈑桁	一四八・五〇
二三	釆女	〃	築地川	釆女町=築地	鐵筋拱	一九八・〇〇
二四	新架二四A橋	〃	築地東支川	明石町=小田原町	鈑桁	一四四・三七五
二四	〃二四B	〃	築地川	築地	鐵筋拱	八二・五〇
二五	稲荷	〃	櫻川	日比谷町=本港町	鐵構	一七三・二五
二七	新架二七A橋	日本橋	楓川	本材木町=本港町	鐵拱	一五二・六二五
二七	新龜島	日本橋=京橋	龜島川	龜島町=靈岸島町	鈑桁	一三三・七五
二八	新架二八A橋	日本橋	濱町川	蠣殻町=濱松町	〃	五三・六二
三〇	新架三〇A橋（千束橋）	淺草	入谷堀	千束町内	鐵筋鉢	三五・〇〇
三三	左衛門	神田	神田川	馬喰町=左衛門町	鐵構	二三四・五〇
三八	雲母	淺草	山谷堀	地方今戸町=五十間町	鐵筋鉢	二〇・六二五
四〇	一三	本所	竪川	元町=千歳町	鐵構	一六五・〇〇
四〇	萬年	深川	小名木川	西元町=清住町	〃	二四七・五〇
四一	新架四一A橋	本所	竪川	林町=緑町	鈑桁	一六五・〇〇
四一	〃四一B	深川	小名木川	富川町=東大工町	〃	二四七・五〇
四一	龜久	〃	仙臺堀	東平野町=龜久町	鐵構	一〇五・一二五
四一	新永居	〃	油堀川	大和町=數矢町	鈑桁	九九・〇〇
四一	新惠比壽	〃	入堀	數矢町	鐵筋鉢	三五・〇〇
四一	新架四一C橋	〃	〃	山本町	〃	二四・七五
四一	〃四一D	〃	大島川	東仲町=平富町	鐵構	一四八・五〇
四一	琴平			古石場町	鈑桁	四一・二二
四一	新架四一E橋	〃	越中島川	埋立地	鐵構	八二・五〇
四二	中之	本所	入堀	錦絲堀	鈑桁	四一・二五
四二	新架四二A橋	〃	竪川	柳原町=茅場町	〃	一六五・〇〇
四二	新山名	〃	入堀	柳原町	鐵筋鉢	二四・七五
四二	新架四二B橋	深川	小名木川	猿江町=東扇橋町	鈑桁	二四七・五〇
四二	〃四二C	〃	二十間川	石島町=豊住町	〃	一四八・五〇
四二	〃四二D	〃	十間川	豊住町=西平井町	〃	一〇七・二五
四二	洲崎	深川	洲崎川	西平井町=辨天町	〃	五七・七五
四三	新架四三A橋	本所	曳舟川	向島請地	〃	四一・二五
四四	猿子	深川	六間堀川	西元町=常磐町	〃	四五・三七五

四四	東元	深川	入堀	東元町＝富川町	鈑桁	七四・三五
四四	新架橋四四A	〃	大横川	西町＝東町	〃	一六五・〇〇
四四	〃四四B	深川＝郡部	横十間川	本村町＝上大島	〃	一八一・五〇
四五	〃四五A	〃	〃	海邊町＝永代新田	〃	一八一・五〇
四六	〃四六A	〃	平久川	古石場町＝鹽濱町	鐵構	一三五・七五
五四	〃五四A	京橋	櫻川	南八丁堀＝幸町	〃	一三九・一五
五九	〃五九A	日本橋	箱崎川	蠣殼町＝箱崎町	鐵筋拱	九〇・七五
六〇	甚兵衛	〃	龍閑川	村木町＝小傳馬町	鈑桁	四三・一五
六一	新架橋六一A	〃	濱町川	蠣殼町＝濱町	〃	三六・三〇
七〇	〃七〇A	淺草	山谷堀	金杉下町＝田中町	鐵筋駄	一八・二五
七二	〃七二A	〃	〃	〃	〃	一八・二五
七三	入谷	〃	入谷堀	新谷町＝入谷町	〃	一八・二五
七四	合羽	〃	〃	松葉町＝田島町	〃	一八・二五
七五	田島	〃	〃	松清町＝松葉町	〃	一八・一〇
七九	新紙洗	〃	山谷堀	地方今戸＝田町	鈑桁	四五・三七五
八二	地方（A）	〃	〃	〃	〃	四一・二五
八九	新架橋八九A	深川	油堀川	材木町＝一色町	鐵構	七五・六二五
九二	老松	淺草	山谷堀	老松町＝猿町	鐵筋駄	二〇・五七
九四	新三筋	〃	〃	東三筋町＝榮久町	〃	二〇・五七
九六	新架橋九六A	〃	〃	北三筋町＝榮久町	〃	二〇・五七
九九	上之	深川	仙臺堀	清住町＝佐賀町	鐵構	一六五・〇〇
九九	中之	〃	中之堀川	佐賀町	鈑桁	五七・二二五
九九	下之	〃	油堀	〃	鐵構	九〇・六〇一
九九	巽	深川	大島川西支川	諸町＝中島町	鈑桁	五七・七五
一〇〇	新架橋一〇〇A	下谷	下水	三ノ輪町	鐵筋駄	一八・一〇
一〇三	〃一〇三A	本所	大横川	中ノ郷横川町＝中ノ郷業平町	鈑桁	三一・〇〇
一〇四	〃一〇四A	〃	〃	横川町＝柳島梅森町	〃	三一・〇〇
一〇五	〃一〇五A	〃	〃	清水町＝太平町	〃	三一・〇〇
一〇六	〃一〇六A	〃	〃	花町＝柳原町	〃	三一・〇〇
一〇六	〃一〇六B	本所＝郡部	横十間川	松代町	〃	一三三・一〇
一〇七	〃一〇七A	本所	竪川	相生町＝松井町	〃	三一・〇〇
一〇八	〃一〇八A	〃	〃	綠町＝林町	〃	一〇八・〇九
一〇八	〃一〇八B	深川	小名木川	東元町＝東大工町	〃	一八一・五〇
一〇八	〃一〇八C	〃	入堀	西平野町	〃	五〇・二九
一〇八	〃一〇八D	〃	仙臺堀川	西平野町＝冬木町	〃	九〇・七五
一〇八	〃一〇八E	〃	油堀川	和倉町＝深川公園	〃	七三・六〇
一〇九	新架橋一〇九A	本所	竪川	花町＝菊川町	〃	一〇八・九〇
一〇九	〃一〇九B	深川	小名木川	東元町＝東大工町	〃	一八一・五〇
一〇九	〃一〇九C	〃	入堀	扇橋町	鐵筋駄	二一・一七〇
一〇九	〃一〇九D	〃	福富川支川	扇橋町＝島崎町	鈑桁	六〇・五〇
一〇九	〃一〇九E	〃	福富川	久永町＝茂森町	〃	一〇八・九〇
一一四	元木	〃	大島川西支川	堀川町＝東永代川町	鐵構	七三・六〇
一一四	丸太	〃	仙臺堀支川	材木町＝龜住町	鈑桁	四八・四〇

一一五	新架橋一一五A	本所	六間堀川	松井町	〃	三〇・二五
一一六	〃一一六A	〃	大横川	菊川町＝柳原町	〃	三一・〇〇
一一七	〃一一七A	本所＝深川	竪川	茅場町	鈑桁	一〇八・九〇
一一七	〃一一七B	深川	小名木川	猿江町＝東扇橋町	〃	一八一・五〇
一一七	〃一一七C	〃	入堀	石島町	鐵筋駄	一八・一五
一一七	〃一一七D	〃	仙臺堀川	石島町＝豐住町	鈑桁	一〇八・九〇
一一八	新架橋一一八A	〃	横十間川	本村町＝大島町	〃	一三七・〇〇
一一九	〃一一九A	〃	永代橋入堀	山本町＝西永町	〃	四三・三五
一一九	〃一一九B	〃	德永橋入堀	西永町	鐵筋駄	二四・二〇
一一九	〃一一九C	〃	山水橋入堀	三好町	〃	二一・七八
一一九	〃一一九D	〃	三好橋入堀	〃	鈑桁	三〇・二五
一一九	〃一一九E	〃	栗谷橋入堀	〃	〃	三〇・二五
一一九	〃一一九F	〃	横川	扇橋町＝石島町	〃	一〇八・九〇
一一九	〃一一九G	〃	長島橋入堀	石島町	鐵筋駄	三六・二五
一一九	〃一一九H	〃	千田橋入堀	〃	〃	一八・一五
一一九	〃一一九I	深川＝郡部	横十間川	千田町＝永代新田	鈑桁	一三七・〇五
一一九	〃一一九J	郡部	瀧川	永代新田	鐵筋駄	一三・一〇
一二〇	伊豆美	深川	入堀	和倉町	〃	二四・二〇
一二〇	睦	〃	〃	〃	鈑桁	三〇・二五
一二〇	永喜	〃	〃	〃	〃	三〇・二五
一二〇	武田	〃	〃	〃	〃	三〇・二五
一二〇	龜壽	深川	入堀	〃	鐵筋駄	二一・一七五
一二〇	鶴歩	〃	中ノ川	大和町＝鶴歩町	鈑桁	六六・八〇
一二〇	新架橋一二〇A	〃	大島川東支川	鶴歩町＝木場町	〃	九〇・七五
一二〇	〃一二〇B	〃	入堀	木場町	〃	七五・六二五
一二〇	〃一二〇C	〃	〃	〃	鐵筋駄	一八・一五
一二〇	〃一二〇D	〃	〃	木場町＝西平井町	鈑桁	七五・六二五
一二一	〃一二一A	〃	大島川	門前中町＝佃町	鈑桁	一三三・一〇
一二一	〃一二一B	〃	入堀	古石場町	〃	三〇・二五
一二一	〃一二一C	〃	越中島川	〃	〃	六〇・五〇
一二二	越中島	〃	〃	大島町＝越中島町	〃	一三九・一五
一二二	新架橋一二二A	〃	入堀	牡丹町	〃	三〇・二五
一二二	共同	深川	入堀	平富町＝古石場町	〃	三〇・二五
一二二	平久	〃	平久川	古石場町＝平久町	鐵構	一〇三・八五

補助街路橋梁工事は、多く區劃整理を待つべきものなれども、橋臺地に架橋の餘裕ありて、直に着手し得べきもの五十橋あり、内大正十三年度に、架橋豫定のもの十二橋、之が十四年一月現在の工程左の如し。

起工手續中のもの

木挽橋（京橋區）　橋長一八間、橋幅八間、面積一五〇坪、第二十三號路線。

設計中のもの

麴町區新架橋（補助線第八號）。　日本橋區新龜島橋。
日本橋區甚兵衛橋。　京橋區豐玉橋。
京橋區一ノ橋。　京橋區紀伊國橋。

一、本所區三ノ橋。　深川區井住橋。　深川區富島橋。

深川區下ノ橋。　深川區中ノ橋。　内木挽橋、三ノ橋、新龜島橋、豐玉橋、末廣橋、中ノ橋、一ノ橋は

深川區末廣橋。　深川區元木橋。　方に材料の調達中なりき。

〔參　考〕大正十三年十一月末日までに市の執行したる橋梁工事全部を擧ぐれば左の如し。（△ハ震災寄贈木材見積價格）

工事件名	豫算額	事業年度	橋型	橋長	幅員	摘要
美倉橋改築	一九九、二〇五円	十一、二、三、年度	鐵橋	一五・〇〇間	一一・〇〇間	震災ニ起因シ打切
永代橋下部架換	五〇〇、〇〇〇	十二、三年度	〃	一〇一・〇〇	一一・〇〇	〃
井住橋新築	五四、四二七	十一、二年度	〃	一〇・〇〇	八・〇〇	〃
四ノ橋(本所)改築	一一二、〇三九	〃	〃	一八・五〇	一一・〇〇	〃
會仙橋架換	九、一八〇	十二年度	木橋	五・〇〇	四・〇〇	〃
時雨橋〃	一二、七〇〇	〃	〃	一五・〇〇	三・〇〇	〃
元彈正橋修築	七、四八六	〃	鐵橋	八・三三	四・六六	〃
蓬莱橋改築	三一、一九〇	〃	木橋	一七・〇〇	二・五〇	〃
西江戸川橋修繕	三、八八五	〃	〃	九・〇〇	二・二六	震災ニ起因シ中止
炭屋橋〃	三、六六二	〃	〃	九・〇〇	二・六一	〃
豐平橋架橋	△九、五四〇 三〇〇	〃	〃	一五・〇〇	六・〇〇	十一月廿九日竣工
越中島橋〃	△一、〇七〇 一、一二八	〃	〃	五・一七	二・五〇	十二月二日竣工
琴平橋〃	△一、八二〇 四二八	〃	〃	六・〇〇	二・五〇	十二月三日〃
中ノ橋(日本橋)擴築	△二、五九〇 八四	〃	〃	一三・〇〇	二・五〇	〃
共同橋架橋	二、二七〇	〃	〃	五・〇〇	二・〇〇	〃
和泉橋修繕	一、九八一	〃	〃	二〇・〇〇	一四・〇〇	〃
豐榮橋架橋	△一、六二〇 四、九一一	〃	〃	二二・五〇	二・〇〇	十二月四日〃
辨天橋〃	△二、三九〇 三三九	〃	〃	九・〇〇	二・五〇	〃
古石場橋架橋	△二、六九〇 二〇三	十二年度	木橋	五・八〇	二・〇〇	十二月六日竣工
幾世橋〃	一、五九〇	〃	〃	五・三三	二・〇〇	〃
入船橋〃	△三、三七〇 二八	〃	〃	八・〇〇	二・五〇	十二月七日〃
甚兵衛橋〃	△一、九三〇 一二〇	〃	〃	六・〇〇	二・五〇	〃
白旗橋〃	△一、九六〇 二〇四	〃	〃	六、〇〇	二・五〇	〃
湊橋修繕	二、五四六	〃	鐵橋	一九・〇〇	五・〇〇	十二月八日〃
平久橋〃	△六、八一〇 六六五	〃	木橋	一七・〇〇	三、〇〇	十二月十日〃
親父橋〃	七、八二〇	〃	〃	一四・〇〇	四・〇〇	〃
父除橋〃	△一、九〇〇 一二〇	〃	〃	六・〇〇	二・五〇	十二月十一日〃
蠣濱橋〃	△二、三三〇 二〇四	〃	〃	六・〇〇	二・六六	十二月十二日〃
新場橋〃	二、四二〇	〃	〃	一三・五〇	一・五〇	〃
中之橋(日本橋)〃	△五、一一〇 一、三五〇	〃	〃	一三・〇〇	二・五〇	〃
四中之橋〃	△一、九六〇 一二〇	〃	〃	六・〇〇	二・五〇	〃
丸太橋〃	△三、二〇〇 二五五	〃	〃	八・〇〇	二・五〇	十二月十三日〃
元木橋〃	一、二六〇 四、五三六	〃	〃	一二・〇〇	二・五〇	〃
正法寺橋〃	九一〇	〃	〃	五・三三	二・〇五	〃
吾妻橋上部修繕	一一、〇一五	〃	〃	八一・五〇	三・八〇	〃
地藏橋架橋	△一、九五〇 一二〇	〃	〃	六・〇〇	二・五〇	十二月十四日〃
石小田橋〃	△三、四二〇 一〇〇	〃	〃	五・〇〇	二・〇〇	十二月十五日〃
平井橋〃	△二、〇三〇 一〇〇	〃	〃	五・〇〇	二・〇〇	〃

高砂橋架橋	△	六四〇 二、二〇五	十二年度	木橋	五・〇〇	四・〇〇	十二月十五日竣工
堺橋擴張		九六〇	〃	〃	五・五〇	三・〇〇	十二月十六日〃
西河岸橋架橋	△	一〇、二〇〇 九三九	〃	〃	二八・六六	四・一〇	十二月十七日〃
矢竹橋〃	△	一、七三〇 二、二四二	〃	〃	一〇・一六	二・五〇	〃
加藤橋〃		一、六三〇	〃	〃	五・〇〇	二・〇〇	〃
横相橋〃		一、八三〇	〃	〃	五・〇〇	二・〇〇	〃
京成橋〃		四、一七〇	〃	〃	一〇・三四	二・五〇	〃
南新富橋〃	△	三、一三〇 七二七	〃	〃	七・〇〇	三・〇〇	十二月十九日〃
紙洗橋〃		九七〇	〃	〃	五・三三	二・〇五	〃
松花橋〃		四五〇	〃	〃	二・〇〇	二・〇〇	〃
枕橋〃		二、〇〇〇	〃	〃	一八・〇〇	三・〇〇	〃
六萬橋〃		六七〇	〃	〃	一・八三	二・〇〇	〃
萬橋〃	△	三、四九〇 二四二	〃	〃	一一・六〇	二・五〇	〃
蓬莱橋〃	△	四、三七〇 三五五	〃	〃	一七・七五	一・五〇	十二月二十日〃
三筋橋〃		二、〇八〇	〃	〃	三・四〇	二・七六	〃
富島橋〃		四、一一〇	〃	〃	九・六〇	四・〇〇	〃
庚申塚橋〃		九九〇	〃	〃	四・〇〇	一・九〇	〃
新富橋架換		一、一四〇	〃	〃	六、〇〇	二・六〇	〃
菊川橋擴張		二、六九四	〃	〃	一五・七〇	五・一八	〃
紺屋橋鐵部製作		五、四五四	〃	鐵橋	七・五〇	四・〇〇	〃
豐玉橋架橋	△	四、六二〇 二九七	〃	木橋	一四・八三	二・五〇	十二月廿一日〃
江川場橋〃		一、二七〇	〃	〃	五・四〇	一・五〇	〃
新辻橋〃		五、四五〇	〃	〃	一五・〇〇	三・〇〇	〃
兜橋〃		七、六三〇	〃	〃	一七・〇〇	三・〇〇	十二月廿二日〃

巽橋架橋		一、九三〇	十二年度	木橋	五・五〇	二・〇〇	十二月廿二日竣工
水門橋〃		一、二四〇	〃	〃	五・〇〇	四・〇〇	十二月廿三日〃
江東橋〃		七、〇七〇	〃	〃	一七・一三	六・〇〇	〃
祝橋〃	△	一、五五〇 四、九八〇	〃	〃	一八・〇〇	二、五〇	十二月廿四日〃
汐先橋〃		六、二一〇	〃	〃	一六・二八	二・五〇	〃
炭屋橋〃		三、七〇〇	〃	〃	九・〇〇	二・五〇	〃
猿江橋擴張		四、〇八〇	〃	〃	一六・〇〇	二・三三	〃
龜井橋擴築		六、一二〇	〃	〃	二一・七五	三・〇〇	〃
中之橋(京橋)架換		七、三三五	〃	〃	二〇・四五	三・〇〇	〃
水谷橋〃		四、九二〇	〃	〃	一六・〇〇	三・六七	〃
小田原橋架橋		六、〇〇〇	〃	〃	一〇・五〇	四・〇〇	〃
澤海橋〃	△	九、二〇〇 四三二	〃	〃	一二・〇〇	六・〇〇	〃
新榮橋〃	△	七、八四〇 八九二	〃	〃	二〇・三〇	二・五〇	十二月廿五日〃
三崎橋〃		五、二六〇	〃	〃	一四・〇〇	二・五〇	〃
扇橋擴張		四、八四〇	〃	〃	一八・五〇	三・〇〇	十二月廿五日〃
新高橋〃		二、七八〇	〃	〃	一四・七五	一・五〇	〃
一ツ橋架橋		一、二四八	〃	〃	一七・〇〇	六・〇〇	十二月廿六日〃
玉出橋架換		五五〇	〃	〃	六・〇〇	三・〇〇	〃
龜井橋〃		三、五〇〇	〃	〃	九・二〇	四・〇〇	十二月廿七日〃
末廣橋〃		九、五五〇	〃	〃	一五・〇〇	四・〇〇	十二月廿八日〃
業平橋架橋	△	九、五四〇 三〇〇	〃	〃	一五・〇〇	六・〇〇	十二月廿九日〃
北辻橋〃		五、二七〇	〃	〃	一二・〇〇	三・九三七	〃
白魚橋〃		四、一四〇	〃	〃	八・八五	三・六七	十二月三十日〃
稻荷橋〃		九、二八〇	〃	〃	二一・六三	四・〇〇	〃
富島橋〃		四、一一〇	〃	〃	九・六〇	四・〇〇	〃
岩井橋〃		三、六一〇	〃	〃	六・九〇	二・五〇	〃

久松橋	架橋	四、四五〇	十二年度	木橋	七・〇〇	二・八八	十二月三十日竣工
松枝橋	〃	二、二五〇	〃	〃	五・五〇	二・〇〇	〃
汐見橋	〃	二、七四〇	〃	〃	八・〇〇	二・五〇	〃
榮橋	〃	一、九二〇	〃	〃	一七・〇〇	六・〇〇	〃
北之橋（深川）	架設	八三〇	〃	〃	五・〇〇	六・二五	十二月卅一日〃
福島橋	橋上部修繕	一、一九五	〃	〃	一〇・〇〇	二・〇〇	〃
鎧橋	〃	六、九〇六	〃	鐵橋	三一・四〇	一六・六〇	〃
小石川橋	架橋	四、三二〇	〃	木橋	一一・〇〇	三・〇〇	一月四日〃
築地橋	〃	一〇、九〇〇	〃	〃	二三・六七	四・〇〇	一月七日〃
南辻橋	〃	三、二三〇	〃	〃	一二・〇〇	三・〇〇	一月十日〃
永代橋	修繕	二一、一六八	〃	〃	—	—	一月十一日〃
佃橋	〃	七、六九〇	〃	〃	二四・〇〇	一六・〇〇	一月十七日〃
靑海橋	擴張	一、〇八〇	〃	〃	五・八三	二・〇〇	一月廿一日〃
神田橋	架橋	一一、〇三〇	〃	〃	二五・〇〇	三・二五	一月廿四日〃
吉岡橋	擴張	二、三〇〇	〃	〃	八・〇八三	二・三八三	一月三十日〃
橋本橋	架換	四、二九〇	〃	〃	六・六六七	二・六六七	一月卅一日〃
新三崎橋	〃	五、九一〇	〃	〃	一六・〇〇	二・六六七	二月一日〃
新川橋	〃	八、六五〇	〃	〃	一四・三〇	五・一六七	二月四日〃
竹森橋	〃	四、一四〇	〃	〃	七・〇〇	二・六〇	二月五日〃
繁榮橋	〃	三、六四〇	〃	〃	九・二〇	四・〇〇	二月六日〃
三之橋（京橋）	架橋	一三、六七〇	〃	〃	二〇・〇〇	六・〇〇	二月七日〃
柳橋	修繕	一、一一二	〃	〃	一四・〇〇	—	二月十一日〃
福永橋	擴張	四五二	〃	〃	一〇・〇〇	四・〇〇	二月十二日〃
大榮橋	〃	六、三四〇	〃	〃	二〇・〇〇	三・五〇	二月十五日〃
四之橋（本所）	架換	一一、八四〇	〃	〃	二四・〇〇	三・〇〇	二月十七日〃
彌勒寺橋	擴張	二、八四〇	〃	〃	六・〇〇	六・〇〇	二月十八日〃
玉姫橋	架橋	三七〇	〃	〃	一・三三三	一・五〇	二月廿一日〃
地方小橋	〃	三三〇	〃	〃	二・三六七	八三三	二月廿一日〃

八反目橋	架橋	一、〇九〇	十二年度	木橋	四・二〇	一・五〇	二月廿二日竣工
數寄屋橋	修繕	一、三九二	〃	〃	—	—	二月廿四日〃
鹿島橋	〃	六、二〇〇	〃	〃	一九・六六七	四・六一六	二月廿五日〃
山城橋	架橋	一、四六〇	〃	〃	五・一六七	二・五〇	二月廿六日〃
彈正橋	擴張	五、四〇〇	〃	〃	一一・三三三	六・〇〇	〃
岩井橋	架換	一、五二〇	〃	〃	五・五〇	二・〇〇	二月廿七日〃
土橋	修繕	一、二一三	〃	〃	—	—	〃
船見橋	架橋	一、八三〇	〃	〃	六・〇〇	三・〇〇	〃月廿八日〃
松幡橋	〃	三、八五〇	〃	〃	九・〇〇	四・〇〇	〃
女橋	〃	一〇、三六〇	〃	〃	二一・五〇	三・三〇	三月三日〃
新川橋	擴張	四、八九〇	〃	〃	八・五〇	六・〇〇	〃
松下橋	架橋	三九〇	〃	〃	三・〇〇	二・〇〇	〃
千歳橋	〃	二八〇	〃	〃	二・〇〇	一・八三三	〃
若菜橋	〃	三九〇	〃	〃	二・一六七	二・〇〇	〃
關口橋	架換	五五〇	〃	〃	四・〇〇	一・六六七	〃
永居橋	修繕	一、五三九	〃	〃	一二・〇〇	二・二五	三月四日〃
濱前橋	〃	九、六二〇	〃	〃	二六・五〇	二・八五	三月四日〃
崎川橋	擴張	四、五二〇	〃	〃	一七・二二	二・五〇	三月八日〃
清水橋	架換	二、四一〇	〃	〃	七・六六七	二・五〇	〃
厩橋假橋	鐵桁製作	一四、〇三〇	〃	鐵橋	—	—	三月十日〃
東仲之橋	架橋	七五〇	〃	木橋	六・〇〇	一・一〇	三月十一日〃
近海橋	〃	九九〇	〃	〃	三・八三三	一・五〇	三月十五日〃
中鹿橋	〃	一、一三〇	〃	〃	四・〇〇	一・五〇	〃
住吉橋	〃	一、六三〇	〃	〃	四・七五	一・五〇	〃
鹿子橋	〃	八二〇	〃	〃	四・〇〇	一・五〇	〃
美芳橋	〃	五六〇	〃	〃	三・七五	一・六六七	三月十七日〃
栗谷橋	〃	三〇〇	〃	〃	三・五〇	一・六六七	〃
山水橋	〃	五七〇	〃	〃	三・五〇	二・二〇	〃

青山橋	〃	五七〇	十二年度	木橋	三・五〇	二・二〇	三月十七日竣工
新木橋（深川）	〃	九〇〇	〃	〃	三・五〇	一・八〇	〃
木橋（深川）	〃	三〇〇	〃	〃	三・一六七	一・六六	〃
木橋（〃）	〃	六八〇	〃	〃	二・〇〇	三・〇〇	〃
芦洲橋	〃	四、一六〇	〃	〃	一〇・〇〇	四・〇〇	三月十九日〃
會仙橋	〃	二、三四〇	〃	〃	五・〇〇	四・〇〇	三月廿二日〃
兩國橋	修繕	五、九七〇	〃	〃	四三・〇〇	一・九三	三月廿五日〃
竪川橋	架換	七、九四〇	〃	〃	一八・〇〇	四・〇〇	〃
新芝橋外十一橋	修繕	一、二四二			—	—	三月廿八日〃
時雨橋	架橋	二、九四〇	十二年度	木橋	一五・〇〇	二・〇〇	三月廿九日〃
北之橋（深川）	擴張	三二一	〃	〃	五・二〇	五・〇〇	〃
相生橋	架換	五七、三八〇	〃	〃	八〇・〇〇	三・〇〇	三月三十日〃
吾妻橋	架橋	八二、三六〇	〃	〃	八五・五〇	三・四七五	三月卅一日〃
永代橋假橋	〃	一二三、一四〇	〃	〃	一〇八・〇〇	四・〇〇	〃
厩橋假橋	架設	一六〇、〇〇〇	〃	〃	八六・四七	四・〇〇	〃
海邊橋	鐵部製作	一五、五九〇	〃	鐵橋	一六・〇〇	八・三三	〃
豐住橋	架橋	六、九八〇	〃	木橋	二一・〇〇	二・〇〇	〃
非住橋	〃	二、六八〇	〃	〃	七・九一七	一・五〇	〃
福島橋	擴張	一、一八七	〃	〃	一〇・一六七	五・三二三	〃
黒船橋	〃	二、三六〇	〃	〃	一三・〇〇	四・〇〇	〃
仙臺橋外八橋	修繕	二、二五九	〃	〃	—	—	〃
新橋	地質調査	三八五	十三年度		—	—	六月八日
出雲橋	〃	五七七	〃		—	—	〃
備前橋	〃	五七七	〃		—	—	〃
萬世橋	〃	三八五	〃		—	—	六月十四日
竹橋	〃	五七七	〃		—	—	〃
船河原橋	〃	三八五	〃		—	—	〃
永喜橋	架換	一、三八五	〃	木橋	三・五〇	二・〇〇	〃

吉野橋	鐵部ペンキ塗替	三六三	十三年度	鐵橋	—	—	六月十五日
須賀橋（京橋）	〃	四三〇	〃	〃	—	—	〃
三之橋	擴張	二、五九五	〃	木橋	六・〇〇	三・七〇	〃
鞍掛橋	ペンキ塗替	六一〇	〃	鐵橋	—	—	六月十七日
今川橋	〃	五五七	〃	〃	—	—	〃
九道橋	〃	三三二	〃	〃	—	—	〃
龜壽橋	架換	九六〇	〃	木橋	四・〇〇	一・五〇	六月十九日
芝園橋	地質調査	三八五	〃		—	—	六月廿四日
櫻橋	〃	三八五	〃		—	—	〃
一之橋（芝）	〃	三八五	〃		—	—	〃
甚兵衛橋	擴張	一、八二〇	〃	木橋	六・〇〇	三・六〇	〃
西仲之橋（日本橋）	〃	一、八二〇	〃	〃	六・〇〇	三・六〇	〃
箱崎橋	架換	六、二六〇	〃	〃	一三・〇〇	四・〇〇	〃月廿六日
土橋	鐵部ペンキ塗替	六一五	〃	鐵橋	—	—	六月廿七日
難波橋	〃	六九〇	〃	〃	—	—	〃
京成橋	擴張	五、三〇〇	〃	木橋	一〇・四五	六・〇〇	〃
三之橋	地質調査	四九三	〃		—	—	六月廿八日
大富橋	〃	五四八	〃		—	—	〃
富島橋	〃	三二八	〃		—	—	六月廿八日
押上橋	擴張	三、四八〇	〃	木橋	一〇・〇三	四・〇〇	六月廿九日
萬世橋	ペンキ塗替	一、四〇八	〃	鐵橋	—	—	六月三十日
御茶の水橋	〃	一、三三八	〃	〃	—	—	〃
萬年橋	鐵部ペンキ塗替	一、一〇七	〃	〃	—	—	七月一日
數寄屋橋	〃	八〇八	〃	〃	—	—	〃
呉服橋	〃	二、二〇〇	〃	〃	—	—	七月二日
鎧橋	〃	三、六六五	〃	〃	—	—	〃
京橋	〃	一、二六〇	〃	〃	—	—	七月四日
櫻橋	〃	八九七	〃	〃	—	—	〃

千島橋擴張	二、四五〇	十三年度	木橋	六・〇〇	三・七〇	七月四日
小梅橋架橋	五、九二〇	〃	〃	一二・七五	三・四〇	七月五日
長崎橋擴張	三、七〇〇	〃	〃	一〇・〇〇	四・〇〇	〃
武田橋架換	五九〇	〃	〃	三・〇〇	八・〇〇	七月八日
小石川橋擴張	三、一一六	〃	〃	一〇・七〇	四・〇〇	七月九日
末廣橋地質調査	五四九	〃		—	—	七月十日
龜井橋〃	三六六	〃		—	—	〃
繁榮橋〃	三六六	〃		—	—	〃
稲荷橋〃	五七	〃		—	—	〃
新架橋（自京橋區八丁堀四丁目至同區南八丁堀三丁目）〃	三〇一	〃		—	—	〃
新架橋（自京橋區新富町四丁目至同區入船町一丁目）〃	二〇〇	〃		—	—	〃
南新富橋〃	二〇〇	〃		—	—	〃
枕橋擴張	一、五三〇	〃	木橋	六・〇〇	四・〇〇	七月十八日
豐海橋鐵部ペンキ塗替	五七六	〃	鐵橋	—	—	七月十九日
湊橋〃	五〇〇	〃	〃	—	—	〃
靈岸橋〃	一、五三七	〃	〃	—	—	〃
土州橋〃	一、五四六	〃	〃	—	—	〃
湊橋（京橋）地質調査	二七〇	〃		—	—	〃
一ノ橋〃	一八九	〃		—	—	〃
新龜島橋〃	二八三	〃		—	—	〃
新架橋（自日本橋區蠣殼町二丁目至同區濱町）〃	一八九	〃	木橋	—	—	〃
新月橋修繕	二二二	〃	〃	—	—	七月廿三日
大富橋擴張	五、〇五〇	〃	〃	一三・〇八	四・六五	七月廿五日
豐玉橋地質調査	二七八	〃		—	—	七月廿八日
紀伊之國橋〃	二七八	〃		—	—	〃
新架橋（自京橋區銀座一丁目至同區南水谷町）〃	二七八	〃		—	—	〃
龜井橋〃	二七八	〃		—	—	〃

兩國橋鐵部ペンキ塗替	八、五〇〇	十三年度	鐵橋	—	—	七月廿九日
南濱橋修繕	二、八七九	〃	木橋	—	—	〃
木挽橋地質調査	二九四	〃	〃	—	—	〃
采女橋〃	二九四	〃	〃	—	—	〃
新架橋（一）（京橋三十間堀ニ架ス）〃	二九四	〃	〃	—	—	〃
新架橋（二）（京橋區築地四丁目海軍大學前ニ架ス）〃	二九四	〃	〃	—	—	〃
巽橋地質調査	一三六	〃	〃	—	—	七月卅一日
中島橋〃	一三六	〃	〃	—	—	〃
新架橋（自深川區門前町至同區蛤町一丁目）〃	一三六	〃	〃	—	—	〃
元木橋（深川）〃	二四六	〃	〃	—	—	八月二日
丸太橋（〃）〃	二四六	〃	〃	—	—	〃
新架橋（自深川區材木町至同區松村町）〃	一二三	〃	〃	—	—	〃
上ノ橋（深川）〃	二四六	〃	〃	—	—	〃
中ノ橋（深川）〃	一四三	〃	〃	—	—	〃
下ノ橋（深川）〃	二四六	〃	〃	—	—	〃
新場橋擴張	三、九七五	〃	木橋	一三・五〇	三・六〇	八月三日
東仲之橋〃	二、〇三〇	〃	〃	五・五〇	三・六〇	〃
辨天橋〃	二、〇四〇	〃	〃	九・〇〇	三・五〇	〃
玉出橋〃	一、八六〇	〃	〃	六・〇〇	三・六〇	八月四日
新川橋〃	六、〇二〇	〃	〃	八・五〇	八・五〇	八月五日
思案橋〃	五、一七〇	〃	〃	九・〇〇	三・九〇	八月八日
豐海橋〃	四、九六〇	〃	〃	二一・八三	四・〇七	八月九日
吾妻橋修繕	七、六四五	〃	鐵橋	—	—	〃
御茶の水橋地質調査	六〇〇	〃		—	—	八日十日
新架橋一號〃	一〇八	〃		—	—	〃
新架橋二號〃	三六七	〃		—	—	〃
千鳥橋擴張	三、七六〇	〃	木橋	一二・〇〇	三・七〇	八月十一日

一之橋（自京橋區靈岸島町 架同區新富町）〃	三、三六八	十三年度	木橋	六・〇〇	三・九〇	八月十二日
中之橋（自本所區錦絲堀町架 同區太平町一丁目）〃	九二〇	〃	〃	四・四〇	二・七〇	〃
金杉橋修繕	八九〇	〃	鐵筋混凝土橋	—	—	八月十四日
一ッ橋擴張	八、〇六〇	〃	木橋	一七・〇〇	七・五〇	八月十八日
元木橋〃	三、一一〇	〃	〃	一一・七五	三・六六	八月十九日
地藏橋〃	一、三二〇	〃	〃	六・〇〇	三・六〇	〃
新橋〃	一、一五三	〃	鐵橋	—	—	八月二十日竣功
出雲橋〃	五三二	〃	〃	—	—	〃
元彈正橋〃	一八八	〃	〃	—	—	〃
比丘尼橋〃	六七	〃	〃	—	—	〃
龜島橋〃	七、四〇〇	〃	木橋	一五・〇〇	四・〇〇	〃
蓬莱橋〃	二、三九〇 △五、九九〇	〃	〃	一七・八〇	二・〇〇	八月廿二日
汐先橋〃	五、五〇五	〃	〃	一六・三〇	三・七〇	八月廿五日
永居橋〃	二、二四〇	〃	〃	一一・九〇	二・八〇	八月廿八日
淺草橋ペイント塗替	一、〇九一	〃	鐵橋	—	—	八月三十日
柳橋〃	二四二	〃	〃	—	—	〃
左衞門橋〃	六四七	〃	〃	—	—	〃
横川橋擴張	七、六二〇	〃	木橋	一六・〇〇	五・〇〇	〃
小名木橋修繕	一、一六八	〃	〃	—	—	八月卅一日
小柳橋擴張	五〇九	〃	鐵筋混凝土橋	一・八五	二・三七	〃
和泉橋〃	四、九五〇	〃	鐵橋	一四、七〇	八・四〇	九月二日
芝濱橋修繕	二、二二〇	〃	〃	—	—	九月三日
中之橋（自京橋區本八丁堀三丁目 架同區南八丁堀二丁目）擴張	四、九九〇 △二三〇	〃	木橋	二〇・〇〇	四・〇〇	九月六日
高橋鐵部ペイント塗替	八四〇	〃	鐵橋	—	—	九月八日
二之橋（自本所區相生町四丁目 架同區緑町一丁目）〃	一、一五〇	〃	〃	—	—	〃
東元橋鐵部ペイント塗替	二七〇	〃	〃	—	—	九月八日

西河岸橋ペイント塗替	六七〇	十三年度	鐵橋	—	—	九月九日
江戸橋〃	二、五三〇	〃	〃	—	—	〃
千船橋擴張	四、〇〇五 △二九九	〃	木橋	一〇・〇〇	三・六〇	〃
狙橋〃	七、三七〇 △一七六	〃	〃	一〇・九〇	九・五〇	九月十日
新高橋修繕	四、九七一	〃	〃	一五・八〇	三・〇五	九月十三日
榮橋擴張	一、九九〇	〃	〃	六・〇〇	四・九五	九月十七日
美倉橋假橋修繕	二、三四八	〃	〃	—	—	九月廿一日
御茶の水橋擴張	一三、五〇〇	〃	鐵橋	三八・二〇	七・四〇	九月廿二日
鶴歩橋修繕	七一二	〃	〃	—	—	九月廿五日
永代橋〃	二〇、六五八	〃	〃	—	—	九月廿六日
平野橋擴張	三、五〇〇	〃	木橋	八・〇〇	三・八〇	九月廿七日
船路橋々臺調査	三、四九八	〃	〃	—	—	十月九日
土州橋修繕	一、四三五	〃	鐵橋	—	—	十月十一日
明石橋擴張	二、七九〇 △四七〇	〃	木橋	八・三三	四・〇〇	〃
八千代橋修繕	九五〇	〃	〃	—	—	十月十三日
朝日橋〃	三、九九六	〃	鐵橋	—	—	十月十六日
常磐橋〃	一、八三〇	〃	混凝土橋	—	—	十月十七日
和泉橋鐵部ペイント塗替	七一〇	〃	鐵橋	—	—	十月十九日
佐久間橋〃	一七〇	〃	〃	—	—	〃
大和橋〃	三一	〃	〃	—	—	〃
永代假橋修繕	一四、一八一	〃	木橋	—	—	十月廿七日
千鳥橋地質調査	三八五	〃		—	—	十月三十日
枕橋〃	三八五	〃		—	—	〃
豊島橋〃	三八五	〃		—	—	〃
白魚橋修繕	一、一六六	〃	木橋	—	—	十月三十日
新月橋地質調査	七七〇	〃		—	—	十一月一日

三之橋（自京橋區靈岸島銀町二丁目架同區大川端町）地質調査	三八五	十三年度		—	—	十一月一日
佃小橋〃	三八五	〃		—	—	〃
辯慶橋地質調査	四二七	〃		—	—	十一月三日
中之橋（自日本橋區伊勢町架同區小舟町）〃	一二二	〃		—	—	〃
富坂橋〃	一二六	〃		—	—	〃
新川橋〃	一八九	〃		—	—	〃
西女橋架橋	六、〇一五	〃		一八・五〇	二・〇〇	十一月四日
明石橋〃	一八九	〃		—	—	十一月六日
堺橋〃	一二六	〃	木橋	—	—	十一月十日
合引橋〃	一二六	〃	〃	—	—	〃
輕子橋〃	一二六	〃	〃	—	—	〃
永久橋〃	△二、一五〇 一一七	〃	〃	一八・六〇	一・五〇	〃
鶴壽橋修繕	三六六	〃	〃	—	—	十一月十三日
備前橋假橋架替	六、六七〇	〃	〃	二一・〇〇	四・五〇	十一月十四日
櫻橋〃	五五〇	〃	〃	三・八〇	二・〇〇	十一月十六日
板橋〃	三六〇	〃	〃	二・三〇	一・八〇	十一月十七日
榮餘橋〃	六八〇	〃	〃	五・六〇	一・五〇	十一月十八日
元高橋修繕	五、九五〇	〃	鐵橋	二六・六七	二・五三	十一月十九日
堺橋架替	一、九〇七	〃	木橋	五・五〇	三・五〇	〃
一之橋（自本所區相生町一丁目架同區千歳町）擴張	△三、〇〇〇 二三五	〃	〃	一一・〇〇	二・五〇	十一月廿四日
猿子橋擴張	一、八〇〇	〃	〃	六・八〇	三・五〇	十一月廿五日
船路橋修繕	八三五	〃	〃	—	—	〃
通運橋架替	八九五	〃	〃	五・一〇	一・七〇	十一月廿七日
築地橋改築	二九一、五三七	〃	鐵橋	一九・〇〇	一〇・〇〇	施行中
船河原橋〃	一三〇、〇〇〇	〃	鐵筋混凝土橋	一一・四八	一二・一〇	〃
新橋〃	二四五、〇〇〇	十三、十四年度	鐵橋	一三・七五	一四・八五	〃

新大橋修繕	四二、〇〇〇	十三年度	鐵橋	—	—	施行中
今川橋擴張	四三、〇〇〇	〃	〃	六・〇五	一五・〇〇	〃
出雲橋改築	一〇八、〇〇〇	〃	〃	一八・一五	七・九七	〃
備前橋〃	一〇五、〇〇〇	〃	〃	一八・一五	八・八〇	〃
京橋修繕	二、六〇八	〃	〃	—	—	〃
九道橋〃	五八〇	〃	〃	—	—	〃
綠橋〃	六四五	〃	木橋	—	—	〃
呉服橋〃	二、二〇〇	〃	鐵橋	—	—	〃
一石橋〃	一二、〇〇〇	〃	鐵筋混凝土橋	—	—	〃
黒龜橋〃	二、五七九	〃	木橋	—	—	〃
芝園橋鐵部製作	三〇、〇四〇	〃	鐵橋	—	—	〃
難波橋修繕	一、二〇〇	〃	〃	—	—	〃
鍛冶橋〃	六四六	〃	鐵筋混凝土橋	—	—	〃
龍閑橋〃	一八一	〃	〃	—	—	〃
三原橋〃	六三一	〃	混凝土橋	—	—	〃
萬年橋〃	一、〇〇一	〃	鐵橋	—	—	〃
古川橋架替	一、二二〇	〃	木橋	五・二〇	一・四〇	〃
宇田川橋修繕	二〇〇	〃	石橋	一一・八〇	一一・六〇	〃
蓬萊橋〃	一六二	〃	〃	八・〇〇	五・五〇	〃
久濶橋〃	六六	〃	鐵筋混凝土橋	—	—	〃
松永橋〃	一七二	〃	鐵橋	一〇・〇〇	三・六〇	〃
竹芝橋〃	一、五〇〇	〃	〃	—	—	〃
海邊橋〃	二、八〇五	〃	木橋	一六・〇〇	三・四六	手續中
中ノ橋外十八橋〃	二一、五一七	〃	〃	—	—	〃
西河岸橋鐵部製作	三二、〇〇〇	〃	鐵橋	—	—	〃
月島橋外一橋修繕	六、〇〇〇	〃		—	—	〃
金杉橋ペンキ塗替	一七三	〃	鐵筋混凝土橋	—	—	〃
東仲之橋外二十七橋修繕	二六、七二八	〃		—	—	〃

小川橋擴張	三、〇〇〇	十三年度	木橋	六・〇〇	七・〇〇	手續中
中ノ橋（深川）〃	三、〇〇〇	〃	〃	四・五〇	二・五〇	〃
釆女橋修繕	一、四二八	〃	〃	—	—	〃
新飯田橋改築	六、九〇〇	〃	〃	一五・六七	一・五一	〃
元髙橋外二橋ペンキ塗替	五九二	〃	鐵橋	—	—	〃
木挽橋鐵部製作	一八、〇〇〇	〃	〃	—	—	〃
三ノ橋（本所）〃	五〇、〇〇〇	〃	〃	—	—	〃
西河岸橋改築	一一八、〇〇〇	十三、十四年度	鈑桁橋	二八・六〇	六・〇五	設計中
湊橋修繕	五、〇〇〇	十三年度	木橋	—	—	〃
睦橋擴張	一、七〇〇	〃	〃	五・二〇	三・〇〇	〃
岡由橋架換	一、八〇〇	〃	〃	五・五〇	一・五〇	〃
木挽橋改築	一〇八、二三〇	十三、十四年度	鈑桁橋	一八・二五	八・二五	〃
新龜島橋鐵部製作	一九、五〇〇	十三年度	〃	—	—	〃
豐玉橋〃	一九、五〇〇	〃	〃	—	—	〃
濱前橋改築	一五、〇〇〇	〃	木橋	二四・二〇	四・〇一	〃
伊勢橋外七橋架換	二一、二四四	〃		—	—	〃
一之橋（本所）改築	四八、五一〇	十三、十四年度	鈑桁橋	七・〇〇	九・九〇	〃
井住橋〃	八七、一二〇	〃	〃	一二・〇〇	一二・〇〇	〃
新架橋（麴町）〃	三九九、三〇〇	〃	鐵筋拱橋	三〇・〇〇	一二・一〇	〃
三之橋（本所）〃	一六七、八〇〇	〃	鈑桁橋	二〇・〇〇	一二・一〇	〃
末廣橋〃	一六三、三五〇	〃	〃	一五・〇〇	一二・一〇	〃
豐玉橋〃	一一八、八〇〇	〃	〃	一八・〇〇	八・二五	〃
紀伊之國橋〃	一三三、六五〇	〃	〃	一八・〇〇	八・二五	〃
新龜島橋〃	九九、〇〇〇	〃	〃	一五・〇〇	八・二五	〃
甚兵衞橋〃	二九、六〇〇	〃	〃	七・〇〇	六・〇五	〃
中之橋（深川）〃	二九、七〇〇	〃	〃	四・五〇	八・二五	〃
下之橋（深川）〃	一〇八、九〇〇	〃	鐵構橋	一一・〇〇	八・二五	〃
元木橋（〃）〃	七二、六〇〇	〃	〃	一二・〇〇	六・〇五	〃

明石橋改築	三六、〇〇〇	十三、十四年度	鐵筋混凝土桁橋	二四、〇〇	八・〇〇	設計中
萬世橋〃	一五八、三〇〇	〃	〃	二五・〇〇	二七・〇〇	〃
芝園橋〃	一三二、〇〇〇	〃	鈑桁橋	一九・〇〇	二六・〇〇	〃
竹橋〃	二一一、二〇〇	〃	鐵筋混凝土拱橋	五〇・〇〇	二二・〇〇	〃
吾妻橋下部〃	七〇〇、〇〇〇	〃	二鉸拱橋	一四五・〇〇	二〇・〇〇	〃
厩橋〃	七〇〇、〇〇〇	〃	繋拱橋	一四七・〇〇	二二・〇〇	〃
辨慶橋〃	八二、八〇〇	〃	鐵筋混凝土桁橋	四四・〇〇	九・〇〇	〃
新川橋〃	一〇〇、八〇〇	〃	鈑桁橋	二六・五〇	一一・〇〇	〃
輕子橋〃	一二三、二〇〇	〃	繋拱橋	二八・〇〇	一一・〇〇	〃
合引橋〃	一二九、六〇〇	〃	二鉸拱橋	三六・五〇	一一・〇〇	〃
江戸川橋〃	八八、〇〇〇	〃	鈑桁橋	一八・〇〇	二〇・〇〇	〃
一之橋（麻布）〃	六四、〇〇〇	〃	〃	一六・七〇	一七・三〇	〃
富坂橋〃	一八、四〇六	〃	鐵筋混凝土桁橋	五・五〇	一八・九〇	〃
日之出橋修繕外二橋	七三、六〇〇	〃	木橋	—	—	〃

4　上水道工事

復興事業としての上水道工事は、震災に破損したる設備の復舊、擴張工事の速成を期するものにして、國庫の補助を受け、豫算金一千萬圓を以て、大正十二年度より十五年度に至る四箇年に之を執行するものなり。

復舊工事　　豫算金五、三〇〇、〇〇〇圓

一、新水路　延長二千三百三十間中、笹塚外五箇所の隧道決潰、並に全水路の築堤破損箇所修理。

二、新宿淨水所

1、沈澄池四面の內、第一號池（面積六、九二九坪）の修理。

2、煉瓦造喞筒室（二一六坪）汽罐室並に篩炭機室（四三五坪）鐵筋混凝土造に改造。

3、濾過池二十四面中十八面（平均一、四〇四坪）の修理。

4、電動喞筒機（約千九百馬力）一臺、溜井（約三十萬立方尺）一箇所新設。

5、淨水池の內一面（容積百萬立方尺）修理。

6、淨水渠（八七四間）、排水渠（二四四一間）、並に溜井二箇所修理。

三、鐵管　破損漏水部分約五萬間、並に永代橋外二十六橋添架につき復舊及假工事を爲す。

擴張工事　上水道擴張工事は、大正元年九月七日內閣の認可を得、二年六月豫算金貳千七拾貳萬圓を以て、大正二年度より八年度に至る七箇年繼續事業として起工したるものにして、大要

一、取入口　多摩川左岸羽村の取入口を擴張し、一秒間八萬立方尺の水量を取入るゝ構造とす。

二、水路（羽村村山線）取入口　下流約五町まで現水路を擴張し、以下混凝土

卷隧道暗渠に依りて、村山貯水池に流入せしむ、延長二里七町、水量一秒間六萬立方尺、將來水量不足すれば秋川の水を導き、羽村に於て本渠に合せしむ。

三、村山貯水池　北多摩郡大和村字芋窪字清水地先に土堤を築き、上下二大貯水池を設く、貯水量上池約一億四千萬立方尺、下池五億一千萬立方尺、計六億五千萬立方尺なり以て人口三百萬人に對する三箇月分を貯水す、用地買收地域十萬坪、滿水百四十八萬二千坪。

四、水路(村山境線)　混凝土卷暗渠又隧道二里三十一町、以て村山貯水池より境淨水場に導流す、流下水量一秒間二百五十萬立方尺。

五、境淨水場　村山貯水池より來る水量の一半を場內の濾過池に入れて淨化し、之を上和田堀淨水池に輸送し、一半は未濾過のまゝ之を代田に於ける新水路に送り、更に淀橋淨水所に送水す、場の地積七萬坪、濾過池二十面、一面長さ二百八十六尺、幅百七十九尺、人口百五十萬に對する一日の最大給水量九百萬立方尺を濾過す。

六、水路(境和田堀線)　送水管二條、濾過水を和田堀淨水池に導くもの約二里二十七町、混凝土卷及モルタル塗鋼鐵管、毎秒百立方尺を流下す、未濾過水を淀橋淨水所に導くもの約二里二十一町、混凝土管、毎秒百二十五立方尺を流下す。

七、和田堀淨水池　荏原郡世田ヶ谷村に設け、濾過水を貯溜す、有效容積三百萬立方尺なり、二池に分つ。

八、配水管　配水本管(內徑十六吋以上六十吋以下)は、和田堀淨水池を發し、內徑六十吋鑄鐵管を最大幹線とし、自然流下を用ひて、山ノ手方面及神田、日本橋、京橋方面に配水す、別に淀橋淨水所給水區域內に於ける配水本管の配置を整理し、相俟ちて配水を潤澤ならしむ、配水本管の延長十五萬間、本支管合計延長八十九里に達す、既設鐵道二百里を合し、總延長二百八十九里となる。

なり、歐洲戰爭の影響を受けて工事遲延し、大正九年十二月事業を二期に分ち、大正八年度より十二年度までを第一期、十三年度より十七年度までを第二期とし、事業費四千七百六十萬圓中、三千六百萬圓を以て第一期工事、羽村々山線、村山上貯水池、村山境線、淨水濾過池十二面、境和田堀送水管、和田堀淨水池及配水本管の內和田堀青山新宿線、巢鴨線並に配水枝管全部を竣成して、一部の通水を爲し、一千百五十萬圓を以て、第二期工事下貯水池、境淨水場濾過池、境和田堀送水暗渠、市內配水本管殘部を成了する事とし、第一期工事成るに垂んとして震災に遭ふ、工を督して擴張水路に依り市內の一部に給水す、復興事業は所謂第二期工事なり、中に就て最も急施を要する下貯水池及配水本管和田堀新宿線を、大正十三年度より十五年度までに執行せんとす、豫算金四百七十萬圓、之が十三年度に於ける工程左の如し。

大正十三年度繼續水道復興費實施額

科目	豫算額	實施額	步合
繼續水道復興費	六、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇円	三、六四四、三九三・六三〇円	六割七厘
水道設備復舊費	四、〇〇三、五六四・〇〇〇	一、八七七、三九六・二四〇	四割六分八厘
事務費	—	一六〇、二〇四・九五〇	
濾過費	—	五六、〇三一・四九〇	
電動喞筒機並附屬品一式	—	二、二八四・〇〇〇	
溜井	—	一一、二七〇・六六〇	
喞筒基礎連絡管其他附帶工事	—	八九、四三一・三五〇	
淨水池	—	二、二〇一・四〇〇	
淨水渠	—	四二五・六〇〇	
新水路	—	三五八、五三三・九五〇	
沈澄池	—	一三一、二〇七・六一〇	
鐵管	—	一、〇六五、八〇五・二三〇	
水道擴張工事速成費	一、九九六、四三六・〇〇〇	一、七六六、九九七・三九〇	八割八分五厘
事務費	—	八五、三七四・八三〇	
村山貯水池費	—	九七五、五五一・六七〇	
配水本管費	—	六八三、六七七・八五〇	
測量調査費	—	二一、三六六・九四〇	
用地費	—	一、〇二六・一〇〇	

5　下水道工事

下水道工事は、復舊工事を併せて復興費を以て施行するものにして、參拾八萬貳千五百圓を以て既成第一期下水道改良工事震災損傷部を復舊し、災害工程二割强に在りたる第二期工事殘部を復興事業に移し、即ち第二期工事殘部及第三期工事中、燒失區域に屬する神田、麴町共の一部及本所、深川兩區の排水工事を復興事業とし、工費四千貳百八十九萬五千五百圓を以て大正十二年度より十七年度に至る六箇年繼續を以て之を施行する事と爲り、大正十三年十一月末までに左の工事を竣成す。

イ、既設下水道災害復舊工事

工事名	工種	着手年月日	竣功年月日	出來高	摘要
三河島汚水處分場板柵護岸修築工事	直營	一三、五、二三	一三、六、二五	—	
淺草喞筒場喞筒室揚重機修理工事	請負	一三、六、二	一三、七、一四	—	
三河島汚水處分場給水槽一部堆上水槽工事	〃	一三、五、一六	一三、七、一七	—	
同濾過池撒水機走行軌條及配水渠補修工事	直營	一三、五、二三	一三、七、二六	—	
同喞筒送水管据替修理工事	〃	一三、五、二五	一三、七、二八	—	
淺草喞筒場雨水渠門扉修理工事	請負	一三、六、八	一三、八、一八	—	
三河島汚水處分場沈澱池復舊工事	直營	一三、五、二三	一三、九、三〇	—	
同給水喞筒諸機械上家基礎工事	請負	一三、八、一六	一三、一〇、三一	—	
淺草喞筒場喞筒竝附屬諸機械復舊工事	〃	一三、八、九	—	〇・九三五	
同喞筒室電氣部分復舊工事	〃	一三、九、二八	—	〇・三五〇	
三河島汚水處分場給水喞筒諸機械工事	請負	一三、八、一	—	〇・八〇〇	

ロ、復舊事業

工事名	工種	着手年月日	竣功年月日	出來高	摘要
自吳服橋至大手門幹線工事	直營	一三、二、二四	一三、四、三〇	—	
中段幹線自大手門至勸銀前工事	〃	一三、三、一	一三、一〇、三〇	—	
自御成門至芝園橋幹線工事	〃	一三、三、八	一三、五、二三	—	
錢瓶町喞筒場沈砂池室一部基礎工事	〃	一三、四、二三		十二月末日 〇・八三三	
同沈砂池殘工事	〃	一三、五、六	—	〇・七一九	
同擁壁工事	〃	一三、五、七	—	〇・一六三	
同小屋掛工事	〃	一三、六、三	一三、八、一五	—	
同管渠殘工事	〃	一三、五、二〇	—	〇・六九〇	
錢瓶町集水池阻水扉工事	請負	一三、七、一〇	—	〇・八〇〇	
同機關室基礎土工工事	直營	一三、七、二五	—	〇・四四三	
低段幹線自新錢座至芝園橋工事	〃	一三、五、六	—	〇・九八一	
同自海運橋至錢瓶町喞筒場工事	〃	一三、七、二六	—	〇・四八三	
中段幹線自勸銀前至御成門工事	〃	一三、九、一六	—	〇・四三三	
低段幹線自八重洲町至錢瓶町喞筒場	請負	一三、九、一八	—	〇・二三六	

丸ノ内排水區其九ノ一部枝線工事	請負	一三、九、一五	—	—
同其六枝線工事	〃	一三、九、一八	—	〇・一六六
同其三、四、五枝線工事	〃	一三、九、一八	—	〇・二二一
愛宕排水區其四ノ內汐留驛前枝線工事	〃	一三、九、二〇	—	〇・八七五
高段幹線自虎ノ門至土橋雨水吐工事	〃	一三、九、一五	—	〇・一一一
同自芝公園至赤羽工事	〃	一三、一一、二四	—	〇・〇三〇
中段幹線自小川町至神田町工事	〃	一三、一一、二七	—	厘位達セス
吳服橋出張所周圍竹矢來建設工事	直營	一三、一二、一	一三、一二、一四	—
自動車格納庫修繕工事	〃	一三、一二、五	一三、一二、一五	—
第二期工事用古建物移轉工事	〃	一三、四、三	一三、五、一	—
セメント倉庫模樣替工事	〃	一三、九、二四	一三、九、二七	—
第一工營所板壁建設工事	〃	一三、九、二九	—	〇・七八九
汚水桝底塊設型枠製作工事	〃	一三、九、二九	—	〇、〇九〇
大正十三年度工事用機械器具修繕工事	〃	一三、九、二九	—	〇、五四三
下水道掃除設補習工事	〃	一三、九、一六	—	〇、一二四
第二工營所古建物移轉工事	〃	一三、八、一四	一三、九、一三	—
麹町暗渠修繕工事	〃	一三、八、一六	一三、九、一三	—
砂町處分場測量調査	〃	一三、七、三一	一三、一〇、三一	—
第三區內地質調査試鑿工事	請負	一三、八、一九	一三、一〇、一〇	—
砂町汚水處分場及附近試鑿工事	〃	一三、一一、一七	—	〇、四七〇
南割下水枝線工事	〃	—	—	十一月二十四日請負締結近ク工事着手ノ見込
第二工營所事務所圍欄設假小屋工事	直營	一三、一二、一〇	一三、一二、一八	—

6　公園

市執行の公園新設事業は、小學校に附設する小公園にして、一箇所九百坪內外とし、五十二箇所面積約四萬六千六百坪を、大正十三年度より十七年度に至る五箇年間に設置せんとするものに係る、豫算額壹千萬圓なり。

所謂五十二箇所は、大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號を以て公示したる所に依り、園の約四割を樹林花園に充て、六割を廣場として小學校授業時間中の專用運動場、放課後及休日の公衆用公園とし、運動器具便所其他を設備し、植込地は外柵に沿ひて廣場より高く、小常綠濶葉樹を主木とし、針葉樹其他花卉を配し、敎材植物を栽植し、廣場は集團運動に適するものたらしめ、細砂をまき、樹蔭を設くるものなり、十三年に於ける事業の進捗程度左の如し。

一、小學校附屬小公園用地獲得は、左表の如く進捗せり。

計畫總數　五二

（一）區劃整理に依り無償供用　一、（上六號園）

（二）市有地に屬するもの　二、（月島第一、第二）

（三）敷地買收又補償を要するもの　四九

內譯

1、市買收濟　一、（新花）

2、政府買收濟　三、（御徒町、元町、日本橋）

3、補償金に依り取得　二、（箱崎、江東）

4、買收手續中　一〇、（柳島、中和、山伏、横川、小島、錦華、淡路、西小川、石濱、柳北）

5、買收調査及未着手のもの　三三、（元加賀、練成、芳林、十思、越前堀、櫻田、南櫻、富士、松葉、芽場、菊川、永倉、常盤、八名川、森下、東陽、玉姬、田原、外手橋、本久松、臨海、房橋、鐵砲洲、京橋、築地、千束、金龍、精華、東盛、入谷、西町、神田）

7　塵芥處分

塵芥處分は、豫算金百八拾五萬圓を以て大正十三年度より十五年度に至る三箇年繼續を以て、塵芥取扱場二十七箇所、塵芥處理工場三箇所を新設し、以て全市一日の塵芥排出量二十萬貫を乾燥撰別篩別し、重量に於て約五分の二、容積に於て約五分の一に壓搾し、取扱上、衞生上懸念なき塊狀と爲して、乾溜原料又燃料肥料たらしめんとするものに係る。

（一）塵芥取扱場　左の二十七箇場を新設す。

名稱	所在地	敷地面積（坪）
雉子橋塵芥取扱場	麹町竹平町二番地	二二九・二三
新材木橋塵芥取扱場	日本橋區東方河岸四十六號	四八・九四
橘町〃	京橋區城邊河岸三十六號	一二〇・三五
八丁堀〃	同區北櫻河岸二十四號	五九・〇九
月島〃	同區月島通り六丁目七番地	一〇八・三〇
新橋〃	芝區芝口河岸二十四號	六一・二四
芝浦塵芥取扱場	芝區南港町一番地	四八・九八
赤羽橋〃	麻布區飯倉五丁目六十一番地	二四二・四九
神樂河岸〃	牛込區神樂河岸三號	一一九・四五
水道橋〃	小石川區市兵衞河岸八號二三	二〇七・一六
淺草橋〃	淺草區上平右衞門町十五番地先	二六・九四
厩橋〃	同區駒形河岸二號	七八・五四
今戸橋〃	同區淺草河岸百七號	二九・九九
林町〃	本所區南竪河岸六十四番地	四二・〇二
萬世橋〃	神田區佐久間河岸一及二號	二八八・四二
業平橋〃	本所區小梅業平町五十番地先	二二・八九
永堀町〃	深川區永堀町松永橋際道路	三八・二四
平久町〃	同區平久町五、六番地	七八・八三
赤坂見附〃	赤坂見附消防署派出所際	二・〇〇
市ケ谷〃	市ケ谷士官學校前四谷區砂利置場	二・〇〇
早稻田〃	牛込區早稻田舊車庫跡	二・〇〇
氷川町〃	小石川區氷川町植物園裏際	二・〇〇
坂下町〃	本鄕區坂下町舊車庫跡	二・〇〇
坂本町〃	下谷區新坂本町九十番地	二・〇〇
白金三光町〃	調査中	
霞町〃	〃	
濱町〃	〃	
計	二十七ケ所	

（二）塵芥處理工場　左の三箇場を新設す。

一、神田川筋水道橋附近
塵芥處理工場　一工場
附屬取扱場八箇所
一日處理能力　約五〇、〇〇〇貫

二、芝浦月見町電氣局用地　一工場
附屬取扱場八箇所
一日處理能力　五〇、〇〇〇貫

三、深川區古石場衛生課用地　二工場

附屬取扱場十一箇所　一日處理能力　約一〇、〇〇〇貫

即ち塵芥取扱場周圍十町以内の塵芥を七十貫積手車を以て、取扱場に搬集し、場內設置のエレベーターに移し、更に有蓋ドラム式回轉槽に容れ、半自動操作を以て運搬用自動車若くは船舶に積載し、以て處理工場に送り、工場內備付のダブルエレベーターに移すや、交互に工場三階に設備したる乾燥室に投入し、乾燥後之を撰別篩別して、不燃物及土砂は埋立用に、可燃物及粉塵は雜芥乾燥用燃料に、乾燥雜芥は之を塊狀として、深川貯場(豫定)に輸送するものなり、輸送は取扱場より、神田川筋芝浦兩處理場へ輸送するに自動車十四臺、古石場處理工場へ輸送するに二千貫積船舶六十隻曳船三隻を用ひ、神田川筋芝浦兩處理工場より厭搾塵芥を深川貯場に輸送するに船舶三十八隻曳船二隻を用ゆる計畫なり。

大正十三年度事業　六〇〇、〇〇〇圓

イ、用地買收　二〇〇、〇〇〇圓

取扱所五箇所　(一箇所二〇〇坪、坪二〇〇圓)

豫定箇所　下谷區入谷附近、本鄉區坂下町附近、小石川區氷川下町附近、牛込區早稻田附近、日本橋區濱町附近。

內一箇所日本橋區濱町附近の豫定地は、共同物揚場を取扱所用地に變更決定し、他の四箇所は區劃整理其他の理由に依り、十四年度に繰越す。

ロ、建築其他　四〇〇、〇〇〇圓

A、處理工場一箇所　深川區古石場町衛生課用地に建築するの豫定にして、設計完了す、工事は十四年度に繰越したり。

B、取扱所八箇所　月島一箇所工事中なり、他は十四年度に繰越す。

8　中央卸賣市場

中央卸賣市場事業は、國庫補助の下に、大正十三年度より十五年度に至る三箇年繼續を以て執行すべきもの、總費額一千五百萬圓なり。

一、設計　大要左の如し。

東京市中央卸賣市場建設概要

中央卸賣市場建設費　金壹千五百萬圓

本事業費ハ、築地本場一箇所ノ建設費ニシテ、中央卸賣市場ノ機能ヲ完全ニ發揮セシムル爲ニハ、分場ノ設置、其ノ他ノ設備費ヲ要スルモ、此等ハ財源ノ關係上、別ニ考慮スルコトトシ、政府ノ定メタル千五百萬圓ヲ以テ、本事業ヲ進ムルノ計畫ヲ樹テ、左ノ費目ヲ計上セリ。

用地費	金六百五拾四萬七千五百圓
建築費	金四百貳拾九萬九千四百圓
設備費	金參百六拾五萬壹千百四拾參圓
設計並監督費	金五拾萬壹千九百五拾七圓

一、用地費　本場ハ、築地四丁目及南小田原町一丁目ノ內海軍省用地約九萬八千坪ニ設置スル豫定ナリ、即チ之カ換地トシテ東京市有芝浦埋立地一萬四千九百九十八坪及六萬七千五百坪ヲ新規ニ買入レ、之ヲ海軍省ニ提出シ、以テ前記本場敷地ヲ取得スル見込ヲ以テ海軍省ト交渉中ナリ、而シテ本項豫算六百五拾四萬七千五百圓ハ、右提供地ノ內六萬七千五百坪ノ買入費竝ニ整地費ニ充當スル者ナルモ、海軍省ト交渉ノ結果、多少ノ變更ヲ生スルコトアルヘシ。

二、建築費　主ニ鐵筋混凝土建トス。

荷造及荷扱所ハ、魚市場ニ八百坪(魚市場ニ付テハ競賣場ヲ含ム)ヲ、青物市場ニ貳百坪ヲ充テ、競賣場ハ、疏菜果實類ノ糶場四箇所、肉卵類ノ糶場一箇所分トス、而シテ此ノ坪數ハ合計七百坪ナリ、賣場ハ魚市場五千八百坪、青物市場二千五百坪、肉卵類市場二百坪トシ、倉庫ハ鹽乾魚千五百坪、青物三百坪、肉卵類六十坪ノ建設ヲ爲ス。事務所ハ、市吏員ノ執務スル事務室、應接室、會議室等ノ建坪三百坪、及銀行郵便局營業人等ノ事務所建坪三百坪ヲ計上ス。市場內適當ナル場所ニ建坪百坪宛ノ食堂ヲ五箇所建設ス。附屬商賣場ハ三百坪トシ、市場ニ附屬セル金物商、籠商、漬物商等ヲ收容スルモノトス。

待合所ハ、生産者カ取引ノ完結スル迄ノ間待合セヲ爲シ、又ハ買入ノ荷物ヲ保管スル場所ニシテ、魚市場六百坪、青物市場三百坪、肉卵類市場六十坪ヲ之ニ充ツ。

其他物置、監視人詰所、消防具置場、交番等鐵筋混凝土平家建合計二百四十坪トス。

便所ハ鐵筋混凝土造平家建トシ、構內適當ノ場所ニ八箇所ヲ建設ス此坪數合計百二十坪トス。

廢棄物置場ハ、木造平家建五十坪、牛馬繫留所ハ木造「プラットフオーム」式五百坪トス。

雜工事ハ、門構等ノ設備ヲ爲スモノトス。

三、設備費　場內排水溝ヲ設ケ、各店鋪、待合室、事務室、便所等ニ水道ヲ敷設ス、此ノ工事面積八千坪トス。

構內鋪裝ハ、店鋪ノ間ノ通路ヲ全部混凝土ヲ敷キ、洗滌ヲ爲シ得ル樣施設スルモノニシテ、合計六千坪トス。

乾場ハ三百坪トシ、混凝土ヲ敷キ、鹽乾魚、干瓢等ノ日乾ヲ爲サシム。

車馬置場ハ五十坪トシ、車馬ノ出入ヲ便ニスル爲、全部混凝土ヲ敷ク。

冷藏庫ハ八百坪トシ、千五百噸內外ノ魚類、肉卵類ヲ收容スルニ足ル設備ヲ爲ス。

製氷場ハ一千二百五十坪トシ、毎日三十噸內外ノ製氷ヲ爲シ得ル設備ヲ爲シ、貯氷場ハ四百坪トシ、二千噸內外ノ貯氷ヲ爲シ得ルモノトス、但シ製氷場ノ地下室トス。

醱酵室ハ五百坪トシ、「バナナ」ノ色着ケ醱酵ニ充ツルモノトス、汐溜驛構內ヨリ市場構內ヘ鐵道引込線一哩ヲ敷設シ、一面海岸「キトロール」漁船ノ爲浮棧橋二十箇ヲ設ケ、又現ニ本市カ施行シツヽアル隅田川口改良工事ニ連絡シテ河川ノ浚渫ヲ爲スト共ニ、繋船岸壁百八十間ヲ築キテ、一二千噸級ノ漁船ノ横付ヲ爲シ得ル設備ヲ爲シ、尚近海漁船ノ入港碇泊ニ便セムカ爲、現在海軍省用地ニ在ル入港周圍五百四十坪ノ護岸工事ヲ施シ、船荷ノ積卸シニ便ナラシム。

市場內ノ鐵道引込線ニ沿ヒ、積込線ト荷卸線ノ構內軌道一哩ヲ敷設ス。

場內糶場及賣場ニ小軌道二哩ヲ敷キ、「トロック」ヲ以テ荷捌ヲナサシム。

輕量ノ荷物ニ付テハ、「ベルトコムベーア」五臺ヲ設ケテ場內運搬ニ充ツ。

漁船ノ出入ニ付監視取締ヲ爲ス爲、小蒸氣船二隻ヲ備フ。

其他起重機(六臺)、昇降機(二臺)「トロック」(五十臺)、生洲(百坪)井戸(六箇所)等ノ諸設備ヲ爲シ、尚市場貨物ノ運搬配達ニ充ツル爲貨物自動車四十臺ヲ備フ。

雜工事ハ運河ノ開鑿、通風、煖房裝置等ノ施設ヲナスモノトス。

四、設計並監督費　魚類、生果實、肉卵類、建築、機械、電氣、土木等ノ各專門技師及主事ヲシテ調査設計並監督ニ當ラシメ、夫々事

務員、技手及雇員ヲ採用シテ事務ヲ補佐セシムルモノトシテ本費ヲ計上ス。

分　場

中央卸賣市場分場二箇所、曰く江東分場、曰く神田分場を設くる事とし、政府より低利資金の融通を受け、豫算額七百萬圓を以て、大正十二年度乃至十四年度の三ケ年繼續事業をして之を建設すものとす。共計畫は、

東京市中央卸賣市場神田江東兩分場事業計畫概要

本事業ハ左記ノ計基ニ基キ、東京中央卸賣市場神田分場及江東分場ヲ建設スルモノトス。

一、位　置

神田分場　神田區山本町、相生町、花田町、花岡町、松永町及下谷區練塀町。

江東分場　本所區横網町一丁目二丁目。

二、用　地

神田分場　一萬二百三十坪

内　譯

建物敷地通路車置場用地　八、七五〇坪

荷揚場用地　六〇〇坪

青果專用引込線用地　八八〇坪

江東分場　五千三百六十六坪

内　譯

建物敷地車置場通路用地　五、一六六坪

荷揚場用地　二〇〇坪

三、建　築

兩分場共建物ハ、鐵筋混凝土トス。

市場ニ要スル建物ノ所要坪數左ノ如シ。

(一)荷揚場

神田分場　一二〇坪

江東分場　八九坪

神田分場ハ、練塀町ニ敷設スル鐵道引込線ヨリ「トンネル」ヲ以テ搬入シ來ルヲ以テ、荷捌場ノ一部ヲ地階トシ、他ノ一部ヲ共ノ地階上即チ一階ニ之ヲ設クルモノトシ、江東分場ニ於テハ、市場內鐵道引込線ニ沿ヒ「プラットフオーム」式ニ建築シ、競賣場ヲ兼用セシムルモノトス。

(二)競賣場

神田分場　七六坪

江東分場　荷捌場ヲ兼用ス

神田分場ハ、荷捌場ニ接シテ之ヲ設ケ、競臺ヲ設ケテ買手ノ座席ハ階段式トス。

(三)賣　場

神田分場　一、四〇六坪

江東分場　六八七坪

神田分場ハ、問屋仲買ヲ收容スルモノトシ、問屋ノ店舗ハ奥行約三間トシ、仲買店鋪ハ奥行約二間トシ、店鋪前ノ柱ノ間隔ハ四間トシ、江東分場ニ於テモ亦問屋仲賣ヲ收容シ、問屋店鋪ノ奥行ハ三間トシ、仲買店鋪ノ奥行一間半トシ、店鋪前ノ柱ノ間隔ハ四間トス。

(四)倉庫及計算所

神田分場　一、三一九坪

江東分場　四六六坪

神田分場ハ、倉庫及計算所ハ、問屋ノ店鋪ノ階上トシ、中央ニ通路ヲ設ケ、通路ノ兩側ヲ倉庫及計算所トス、而シテ倉庫ハ通路ヲ合シテ九四六坪、計算所ハ一四三坪トシ、共同階段ヲ設ケ、江東分場ニ於ケル倉庫及計算所ハ、兩側ノ問屋ノ階上ニ設ケ、各店鋪ヨリ階段ヲ設ケ、共同通路ノ片側ヲ倉庫及計算所トス、而シテ倉庫ハ通路ヲ合シテ三八一坪、計算所ハ八五坪トス。

(五)醱酵室

神田分場　二三九坪

江東分場　四八坪

神田分場ハ、醱酵室ハ「バナナ」ノ色着醱酵ニ充ツルモノニシテ、問屋ノ店鋪ノ下ヲ地階トシ、深サ九尺トス、江東分場ハ、中央ノ店鋪ノ兩側ニ配置スル問屋ノ店鋪ノ下ニ、深サ九尺ノ地階ヲ設クルモノトス。

(六)荷揚場

神田分場　一六〇坪

江東分場　—

水運ニ依リテ市場ニ搬入スル果物ニ對シ雨覆ノ必要アルヲ以テ上屋ヲ設クルモノトス、江東分場ニ於テハ蔬菜ヲ多ク取扱フヲ以テ共ノ必要ナキモノトス。

(七)市事務室

神田分場　五五坪

江東分場　五三坪

市場開始ニ至テハ、市吏員ヲ駐在セシメ、使用料及手數料ノ徵收、價格、及取引高ノ調査等ノ事務ニ從事セシムル事務室ヲ設クルモノトス。

(八)食　堂

神田分場　一五五坪

江東分場　三〇坪

神田分場ハ、食堂ヲ場內二ケ所ニ設ケ、入場ノ便宜ヲ圖ラントシ、江東分場ニ於テハ、食堂ヲ場內一ケ所ニ設ケ、入場者ノ便宜ヲ圖ラントス。

(九)附屬商賣場

神田分場　一二四坪

江東分場　二四坪

市場ニ附屬セル罐詰商、漬物商、理髮商、蒟蒻商、切花商、舗商等ヲ收容營業セシムルモノトス。

(十)待合所

神田分場　九三坪

江東分場　一九坪

市場ニ出入スル荷主及買手ノ荷車及牛馬車ヲ整理保管スル車茶屋ヲ收容スルモノトス。

(一一)營業人事務室

神田分場　一三七坪

江東分場

市場商人ノ集合所、組合事務所等ニ充ツルモノトス。

(一二)銀行郵便局

神田分場　四四坪

江東分場　一五坪

神田分場ニ於テハ、銀行郵便局ヲ收容スルモ、江東分場ニ於テハ銀行ノミヲ收容セントス。

(一三)芋洗場

神田分場　三〇坪

江東分場　二七坪

芋洗機ヲ据付ケ、里芋ヲ水洗スル設備ヲ爲スモノトス。

(一四)便　所

神田分場	六一坪
江東分場	一四坪

神田分場ニ於テ十三ケ所、江東分場ニ於テ三ケ所ヲ各建物ニ附屬セシメ、之ヲ水洗式トス。

(一五)其ノ他

神田分場ニ於テハ、果物ヲ取扱フ關係ヨリシテ雨覆ヲ爲ス必要アリ、店舖間ニ屋根ヲ設ケ、神田、江東兩分場ノ各問屋仲買ノ店舖間ニ間仕切ヲ必要トス。

四、設　備

(一)構內鋪裝

神田、江東兩分場共、店舖ノ通路及車置場ヲ「コンクリート」ヲ以テ鋪裝シ、洗滌ニ便セントス。

(二)鐵道引込工事

汽車便ニ依リテ市場ニ搬入セラレ市場ヨリ他地方ニ搬出セラルル物資ノ運搬ヲ利便ナラシメムカ爲メ、江東分場ニ於テハ兩國橋驛ヨリ地平線ニ依ル復線引込工事ヲナスモノトス。

(三)繫船岩壁護岸及浚渫工事

江東分場ニ於テ、兩國橋驛構內入江ニ出入スル市場關係ノ艀ノ繫船ニ便セムカ爲メ、施設ヲ要スルモノトス。

(四)照明電氣工事

各店舖、車置場、事務室、計算室等ニ配電スル電灯工事、及芋洗場等ニ要スル勤力工事等ヲ爲スモノトス。

(五)給水及排水工事

各店舖、待合所、合堂、芋洗場、事務室、便所等ニ水道ヲ敷設シ、雨水洗滌水等ヲ排スル爲メ、此ノ施設ヲ爲スモノトス。

(六)棧　橋

江東分場ニ於テ隅田川畔ニ之ヲ設ケ、船運ニ便ナラシム。

(七)醱酵裝置

「バナナ」ノ色着醱酵ハ瓦斯火力ニ依リテ加溫スルヲ以テ、地階ニ瓦斯管敷設等ヲ敷設スルモノトス。

(八)其ノ他ノ設置

市場ノ周圍境界、芋洗機械衛生設備等ヲ必要トス。

二、功程　中央卸賣市場は、中央卸賣市場法に基きて立計し、取扱品目を魚類、肉類、蔬菜、果實類、鳥類及卵類の五種とし、築地本場の用地獲得に關しては、海軍省に交渉し、未だ決定するに至らず、江東分場用地は、電氣局所管の土地なるを以て之を移管することに決し、神田分場敷地は土地收用の認可を得、土地細目告示の手續を了し、方に買收に關する實地調査中に在り、本場建設資金は政府より四分の一の補助を受くるに決して補助を申請し、神田江東兩分場の建設費は、大正十二年度分三百五十萬圓を大藏省預金部より融通を受け、歐米各國の市場視察として蔬菜果實及魚類專門の技師各一人を派遣し、尙農商務省示案の中央卸賣市場業務規程を基礎として使用條例を脫稿し、之を審議しつゝあり、工事は方に本場分場の基本設計中に在り、神田分場の基本設計亦進捗せるを見る、(江東分場は、十四年二月に至り地價調査を完了し、六月八月第一期第二期設計を完了す)。

〔參　考〕　經費は大正十三年度豫算四百五十萬中、設計監督費十一萬八千三百四十三圓六十九錢を支出す。

9　衛生施設

市執行の衛生施設として復興計畫に上りたるは、塵芥處分の外、大正十三年度より十六年度に至る四ケ年に、豫算金三百十萬圓を以て施療病院一箇所豫算六百萬圓、實費診療所四箇所、豫算二百五十萬圓を建設するに在り、然るに施療實費の名稱は、徒らに患者の自尊心を傷くるの外得る所なきを慮り、名稱を市立病院と改め、同型の病院五箇所を建設施療實費は病床に依りて區別する事とし、豫算年割を、

大正十三年度	一、三五〇、〇〇〇圓	建設二箇所
大正十四年度	七五〇、〇〇〇圓	〃
大正十五年度	五〇〇、〇〇〇圓	建設一箇所
大正十六年度	五〇〇、〇〇〇圓	建設二箇所

と定め、以て鐵筋混凝土造二階建及平家、一病院建坪平均延一、〇五二坪を建設せんとす、內十三年度に於ける豫算金百三十五萬は、內譯用地費百二十萬圓、建設費十五萬圓にして、用地中の二箇所は大久保廣尾市有地を以て之に充當し、一箇所は深川區牡丹町に購入し、用地費八十萬圓及建設費を大正十四年に繰越したり。

10　教育施設

教育施設は、豫算金三千八百萬圓を以て、震災に燒失したる小學校百十七校を復興するものにして、精しく言へば、豫算金三千五百十九萬二千三百六十六圓を以て區營小學校百九校の建築を補助し、豫算金二百五十八萬二千九百二十四圓を以て直營小學校八校を建設するため設計及監督費八十三萬四千七百十圓を以て、大正十三年度より十七年度までに執行せんとするなり。即ち

區名	校名	現位置	變更有無	學級數	備考
麹町	麹町	元園町	舊	二四	
〃	上六	上六番町	舊	二四	小公園附設
計	二校			四八	
神田	錦華	猿樂町	舊	二四	小公園附設
〃	淡路	淡路町	舊	一六	小公園附設
〃	神田	新銀町	變	二四	小公園附設
〃	千櫻	東松下町	舊	二二	
〃	練成	五軒町	舊	一八	小公園附設
〃	橋本	橋本町	舊	一八	小公園附設
〃	和泉	大和町	變	一六	
〃	小川	南甲賀町	變	一八	
〃	西小川	西小川町	舊	二四	小公園附設
〃	今川	紺屋町	舊	二二	
〃	神龍	永富町	變	一六	
〃	芳林	金澤町	舊	二四	小公園附設
〃	一橋高	一ッ橋通	舊	二四	
計	十三校			二六六	
日本橋	常磐	本石町	舊	一九	小公園附設
〃	坂本	坂本町	舊	一七	
〃	久松	久松町	舊	二四	小公園附設
〃	城東	箔屋町	舊	一八	
〃	有馬	蠣殼町	舊	一六	
〃	千代田	美倉町	舊	一八	
〃	十思	小傳馬上町	舊	一七	小公園附設
〃	東華	蠣殼町	舊	一八	
〃	濱町	濱町	舊	一六	
〃	箱崎	箱崎町	舊	一六	小公園附設
〃	日本橋高	蠣殼町	舊	一六	小公園附設
〃	日本橋女	坂本町	舊	一六	
計	十二校				
京橋	濱田	本村河岸	舊	一六	

京橋	靈岸島	越前堀町	舊	一六	
〃	鐵砲洲	新港町	舊	一八	小公園附設
〃	泰明	西紺屋町	變	一九	
〃	築地	築地二丁目	舊	一八	小公園附設
〃	京華	元島通	舊	二四	
〃	月島	月島通	舊	二四	小公園附設
〃	南横町	南横町	舊	一六	
〃	明石	明石町	舊	一八	
〃	越前堀	越前堀町	變	一八	小公園附設
〃	月島第二	月島西仲通	舊	一八	小公園附設
〃	京橋	木挽町	變	二〇	小公園附設
〃	文海	築地一丁目	舊	一六	
〃	佃島	月島西仲通	舊	一八	
〃	京橋高	明石町	舊	二二	
計	十五校				
芝	鞆繪	西久保巴町	舊	三二	
〃	櫻田	愛宕下町	變	一七	小公園附設
〃	櫻川	愛宕町	變	二四	
〃	南櫻	南佐久間町	變	一六	小公園附設
〃	西櫻	西久保櫻川町	舊	一六	
〃	愛宕	芝公園六號地	變	一六	
〃	神明	神明町	舊	二四	
〃	愛宕高	愛宕町	舊	一六	
〃	芝浦	新網町	舊	一六	直營小學校
計	九校			一一七	
本郷	湯島	新花町	舊	二四	小公園附設
〃	元町	元町一丁目	變	二二	小公園附設
計	二校			四六	
下谷	練塀	仲御徒町	舊	二四	
〃	下谷	車坂町	變	二四	
〃	東盛	金杉下町	變	二六	小公園附設
〃	西町	南稻荷町	變	二四	小公園附設
〃	御徒町	御徒町	變	二四	小公園附設
〃	黒門	西黒門町	舊	二四	
〃	山伏町	入谷町	變	二四	小公園附設
〃	竹町	竹町	舊	二四	
〃	臺東	入谷町	變	二四	
〃	龍泉	龍泉寺町	變	二四	
〃	大正	入谷町	變	二四	
〃	下谷高	入谷町	舊	二〇	小公園附設
〃	萬年	山伏町	變	二四	直營小學校
計	十三校			三二〇	
淺草	淺草	馬喰町	舊	二六	
〃	柳北	向柳原町	變	二六	小公園附設
〃	育英	猿屋町	舊	二六	
〃	富士	馬道町	舊	三二	小公園附設
〃	新堀	阿部川町	變	二六	
〃	福井	須賀町	變	二四	
〃	松葉	松葉町	舊	二六	小公園附設
〃	千東	千東町	舊	三二	小公園附設
〃	石濱	玉姫町	舊	三二	小公園附設
〃	小島	小島町	變	二六	小公園附設
〃	山谷堀	龜岡町	舊	三二	
〃	田原	田原町	變	二六	小公園附設
〃	金龍	新谷町	舊	三二	小公園附設
〃	待乳山	地方今戸町	舊	二六	
淺草	精華	北富坂町	舊	三二	小公園附設
〃	清島	北清島町	舊	三二	
〃	濟美高	森下町	舊	二六	
〃	玉姫	淺草町	變	三二	小公園附設 直營小學校
計	十八校			五一四	
本所	明德	表町	舊	三二	
〃	中和	林町	舊	三二	小公園附設
〃	本所	永倉町	舊	三二	少公園附設
〃	柳島	柳島横川町	舊	三二	小公園附設
〃	横川	中ノ郷横川町	舊	三二	小公園附設
〃	江東	相生町	舊	三二	小公園附設
〃	二葉	北二葉町	變	三二	
〃	茅場	茅場町	舊	三二	小公園附設
〃	綠	綠町	變	三二	
〃	本横	横川町	舊	三二	
〃	外手	外手町	舊	三二	小公園附設
〃	業平	中ノ郷業平町	舊	二八	
〃	小梅	向島小梅町	舊	三二	
〃	柳元	柳島元町	變	三二	
〃	本所高	横網町	變	三二	
〃	三笠	三笠町	舊	二六	直營小學校
〃	菊川	菊川町	舊	二六	直營小學校 小公園附設
〃	太平	太平町	變	一八	直營小學校
計	十八校			五八六	
深川	深川	東森下町	舊	二四	小公園附設
〃	東川	猿江裏町	舊	三二	
〃	明治	萬年町	舊	二四	
深川	東陽	東平井町	變	三二	小公園附設
〃	臨海	蛤町	舊	二八	小公園附設
〃	元加賀	元加賀町	舊	三二	小公園附設
〃	數矢	數矢町	舊	二八	
〃	八名川	八名川町	舊	三二	小公園附設
〃	川南	千田町	舊	二八	
〃	明川高	西永町	舊	三二	
〃	明治第二	萬年町	舊	二四	
〃	猿江	猿江町	變	一八	直營小學校
〃	靈岸	平久町	變	二四	直營小學校
〃	本村町	本村町	新	二四	六間堀小學校の變更
計	十五校			四一四	
總計	百十七校			二、八二三	

の百十七校舍を、一校舍建築面積千百坪を有する鐵筋混凝土三階建とし、平均二十四學級一學級五十人を收容するに足らしめんとす、工程は大正十三年末に竣功せしもの鞆繪小學校（芝區）あり、設計成りしもの富士（淺草）、下谷高等（下谷）、本所高等（本所）、月島高等（京橋）、湯島（本郷）、錦華（神田）、明石（京橋）あり。

〔參　考〕大正十四年一月現在工程。

一、震災當時工事中にて引繼きたるもの　五校

イ、竣　工　鞆繪（芝）、富士（淺草）、下谷高等（下谷）

ロ、大體出來　本所高等（本所）、月島（京橋）

二、設計完了し工事着手準備中のもの　三校

湯島（本郷）、錦華（神田）、明石（京橋）

三、設計中のもの　六校

四、五百分一設計中のもの　九校

橋本（神田）、元町（本郷）、箱崎、濱町、東華（日本橋）、精華、柳北、清島

（淺草）、本横（本所）

五、設計打合中のもの

麴町尋常（麴町）、練成、芳林（神田）、南櫻、櫻田（芝）、京華、越前堀、泰明（京橋）、十思、千代田（日本橋）、練塀、黑門（下谷）、小島、松葉、石濱（淺草）、臨海（深川）、本所尋常、中和（本所）、靈岸（深川）

11　社會事業

社會事業は、大正十三年度より五箇年繼續事業として施行するものに係り、總費四百五十二萬五千圓を以て左の建設を爲さんとす。

一、職業紹介所新設	豫算四十三萬四千二百五十圓
二、託兒並兒童健康相談所新設	豫算七十七萬五千五百圓
三、婦人授産場新設	豫算四十七萬七千圓
四、公衆食堂十箇所新設	豫算四十八萬三千四百圓
五、簡易宿泊所新設	豫算百四十四萬八千四百圓
六、質屋新設	豫算十七萬三百五十圓
七、浴場新設	豫算五十八萬三千九百圓

內職業紹介所は、災前九箇所の內六箇所燒失し、三箇所を殘したるに新設十五箇所を加へて、十八箇所と爲さんとするものにして、平均六十五坪の鐵筋混凝土造二階建とし、給水排水點燈諸設備を整ふ、敷地面積八百二十五坪中、四百三十五坪は新に買收するを要す、所謂十五箇所は、

一、神田區鎌倉河岸神田橋際　二、下谷區上野三橋町一三
三、淺草區玉姫町一二六　四、淺草區馬道町傳法院前
五、本所區外手町厩橋際　六、本所區入江町二一四
七、日本橋區馬喰町一丁目淺草橋際　八、麴町區飯田橋際
九、日本橋區茅場町坂本公園際　十、本所區中ノ郷業平町業平橋際
十一、芝區高輪車町泉岳寺際　十二、本郷區駒込上富士前町
十三、芝區櫻田本郷町　十四、京橋區數寄屋町數寄屋橋際
十五、本郷區元町一丁目水道橋際

託兒並兒童健康相談所は、震前の託兒場二箇所、兒童健康相談所四箇所（內二箇所は託兒場併置）共に燒失したるを以て、託兒數平均百人の託兒場兼兒童健康相談所十箇所を建設するを目的とし、平均百四十坪の鐵筋混凝土造二階建を新營し、給水點燈其他の設備を完具せんとす、總面積千八百坪中千百六十六坪の買收を要す、所謂十箇所は

一、本所區入江町二一四　二、深川區富川町七
三、淺草區玉姫町一二六　四、下谷區三ノ輪町附近
五、京橋區月島仲通一ノ二　六、下谷區二長町附近
七、本所區柳島梅森町附近　八、小石川區白山御殿町
九、牛込區早稻田鶴卷町附近　十、芝區新網町附近

婦人授産場は、平均二百人收容のもの五箇所を新設するものに係る、一箇所平均二百坪の敷地に、鐵筋混凝土造二階建平均六十坪を建設し、手內職ミシン裁縫の職業輔導を爲す、所謂五箇所は、

一、芝區芝公園內　二、小石川區水道橋際
三、淺草區松葉町附近　四、深川區富川町附近
五、本所區石原町附近

敷地一千坪は買收を要す。

公衆食堂は、災前の市設五箇所中燒失四箇所なり、殘存一箇所の外十箇所を新設するものとす、一箇所平均百坪の鐵筋混凝土造二階建建物を新營し、設備を整ふる事とし、敷地一箇所平均九十五坪總計九百五十坪中、二百八十坪は新に買收を俟つ、所謂十箇所は、

一、日本橋區坂本町　二、神田鎌倉河岸
三、麴町區飯田町　四、淺草區小島町
五、下谷區車坂町　六、本所區入江町
七、深川區黑江町附近　八、牛込區早稻田鶴卷町
九、芝區三田四國町

簡易宿泊所は、災前開設未開設各一箇所共に燒失し、內未開設分深川區富川町の鐵筋ブロック二階建を修理竣成すると共に、新に收容定員二百人のもの九箇所を設置せんとす、敷地千八百坪中買收を要するもの千四百六十坪にして、何れも鐵筋混凝土造二階建平均三百六十坪の建築をなす筈なり所謂十箇所は、

一、深川區富川町七番地四號　二、本所區入江町二一四
三、下谷區初音町附近　四、下谷區龍泉寺町附近（三ノ輪町附近）
五、淺草區玉姫町附近　六、淺草區松葉町附近
七、本所區小梅業平町　八、本所區須崎町附近
九、深川區靈岸島町附近　十、深川區平久町附近

質屋は、七箇所新設の計畫にして、敷地平均四十五坪總計三百十五坪を買收し、之に鐵筋混凝土造三階建平均三十八坪の建物を建造するものなり。所謂七箇所は、

一、淺草區淺草町附近　二、淺草區馬道町附近
三、下谷區初音町附近　四、下谷區龍泉町附近（三ノ輪附近）
五、本所區小梅業平町附近　六、本所區花町附近
七、深川區富川町附近

浴場は、災前月島古石場兩市營住宅附設二箇所を合せり、本事業は新に十箇所を營繕し、何れも理髪所洗濯所を附屬せしむるものにして一日二千人の入浴に充て、敷地平均百坪總計一千坪を買收し、平均百坪の鐵筋混凝土造二階建の建築を爲し、鑿井、烟突、給水、排水、點燈、瓦斯各設備を具せしむ、所謂十箇所は、

一、日本橋區坂本町附近　二、本所區入江町附近
三、深川區猿江町附近　四、深川區黑江町附近
五、京橋區月島一號地　六、淺草區馬道町附近
七、本所區小梅業平町附近　八、牛込區早稻田鶴卷町附近
九、芝區三田四國町附近　十、下谷區初音町附近

而して大正十三年に於ける事業の工程は、婦人授産場十一箇所中一箇所、簡易宿泊所十箇所中一箇所、增設一箇所、質屋七箇所中二箇所、浴場十箇所中二箇所、託兒竝兒童健康相談所十箇所中二箇所、職業紹介所十五箇所中二箇所、公衆食堂十箇所中二箇所を新設するものなれども、多くは區劃整理を俟つの要ありて著手する能はず、唯婦人授産場一箇所芝區白金志田町に敷地を買收し、起工設計中に屬す。

〔參　考〕大正十四年一月現在社會事業工程。

一、婦人授産場　新設一箇所

下町方面に一ヶ所建設の豫定なりしに、方針を變更して芝區白金志田町に敷地買收濟、目下起工設計中。

二、簡易宿泊所　新設一ヶ所

本所區入江町に建築すべき豫定なりしも、區劃整理に依る換地未決の爲、之が決定を俟ちて、工事に着手する筈。

同　增設一ヶ所

深川區富川町七番地所在簡易宿泊所に二階建を三階建に增改築の豫定なりし者、區劃整理に依る換地未決に付之が決定次第工事に着手の豫定。

三、質　屋　新設二ヶ所

一ヶ所は本所區太平町、一ヶ所は京橋區月島二號地市營住宅敷地內に建築する筈なるが、前者は區劃整理に依る換地未決に付之が決定を俟ち工事に着手せんとす。

四、浴　場　新設二ヶ所

本所深川方面二ヶ所の豫定にして、本所區は太平町に貸屋と同一敷地內に建設したき希望、深川區は靈岸町附近を適當と認め共に敷地目下物色中。

五、託兒設兒童健康相談所　　新設二ヶ所

本所江東橋及深川富川町に建設豫定なりしも、共に區劃整理に依る換地未決に付之が決定を俟つ。

六、職業紹介所　　新設二ヶ所

一ヶ所を上野三橋町、一ヶ所を神田區鎌倉河岸に建築の豫定なれども、孰れも區劃整理に依る換地未決に付之が決定を俟つ。

七、公衆食堂　　新設二ヶ所

一ヶ所を神田區鎌倉河岸に、一ヶ所を本所區押上町に建設することゝし、亦區劃整理に依る換地未決に依り、之が決定を俟ちて工事着手の豫定。

12　電氣事業

電氣事業は、電氣軌道事業の復興一なり、電氣供給事業二なり。

（一）電氣軌道事業　震災に破損したる軌道及附帶事業を復舊し、兼て震災に鑑みて軌道及附帶事業の改造新設を爲す者是なり、豫算額三千七百九十八萬圓を以て大正十三年度より十五年度に至る三箇年度に執行す、大要

一、用地　横網町軌道用地並に飯田町及黒江町變電所用地の補償、芝浦工場竝倉庫及石原倉庫の護岸工事、芝浦工場內の土地整理、自巣鴨二丁目至板橋町字下板橋道路及自千住大橋至荒川放水路築造費分擔等。

二、軌道

1、新設　巣鴨車庫（〇哩一二三）青山車庫裏（〇哩〇一九）虎の門材料置場（〇哩〇五）芝區新堀河岸材料置場（〇哩〇三）等の引込線、札の辻及京王電車連絡線、東京驛前（〇哩四五）、ループ線及御成門連絡分岐等の新設。

2、改良　有樂橋（〇哩〇五）及日比谷（〇哩四二等）の合計〇哩七〇待避線改良、自信濃町至權田原軌道（〇哩五五六位）置變更、大塚新車庫引込線變更、廣尾橋の補強、虎ノ門大下水橋改良、信濃橋專用橋及千住大橋改良費分擔等

3、復舊　自森下町至菊川町（一哩〇七八）、自相川町至洲崎（二哩三八八）、自吉野橋至南千住（一哩六三四）、自安宅町至猿江町（二哩三七八）、自龜澤町至外手町（一哩〇九四）、自兩國橋至錦絲町（二哩六八）、自業平橋至柳島（〇哩九八三）、自駕籠町至巣鴨（〇哩七七）、自外手町至中ノ郷元町（〇哩八四八）、自江戸川分岐至大曲分岐（一哩二五六）、自小川町至須田町（〇哩六〇三）、自黒江町至永代橋（〇哩三六二）、自松住町至水道橋（一哩四七五）、自永代橋至永代橋分岐（〇哩一七六）、自忍町至信濃町（〇哩九九六）、自飯田町至若松町（二哩八〇四）、自大手町至呉服橋（〇哩六六七）、自愛宕下町至御成門（〇哩四）自黒江町至柳島橋（七哩六九六）自新大橋至水天宮（〇哩七七）、自吾妻橋至吉野橋（一哩二〇九）、自本郷三丁目至松住町（一哩四二三）、自第一高等學校前至肴町（一哩二一一）等の直線、綠町五丁目（〇哩一〇七）、兩國驛前（〇哩二六二）、淺草驛前（〇哩一〇七）等の待避線。

本石町、日比谷、小川町、錦町三丁目、神保町、六本木、新宿車庫前、黒江町、雷門、青山車庫前、櫻田門外、青山六丁目、飯倉等の分岐線。

尾張町、上野郵便局前、小傳馬町等の交叉線並に本所（〇哩八七七）、新宿（一哩〇六一）、濱松町（一哩三二二）、三ノ輪（〇哩七四一）、三田（〇哩三五六）、青山（一哩六〇七）等の車庫內軌道、及芝浦工場內（三哩四三六）軌道復舊。

4、橋梁改築に伴ふ軌道改設　相生橋、神田橋、狙橋、新彈正橋、千代田橋中ノ橋、小川橋、北ノ橋、彌勒寺橋、海邊橋、黒船橋、汐見橋、船木橋、菊川橋、江東橋、業平橋、黒龜橋、福島橋、永代橋、淺草橋、美倉橋、和泉橋比丘尼橋、下柳堤橋、中柳堤橋、高橋（深川）、伊豫橋、水道橋、靈岸橋、三原橋、數寄屋橋、萬年橋、金杉橋、宇田川橋、石橋（御成門附近）、石橋（櫻川町）、石橋（御成門附近）、石橋（高輪車町）、須賀橋、新堀橋、菊屋橋、泪橋、二ノ橋（本所）、有樂橋、萬世橋、今川橋、櫻橋、築地橋、新橋、赤羽橋、芝園橋、一ノ橋（麻布）、十番橋、古川橋、市ケ谷橋、船河原橋、飯田橋、富坂橋、三ノ輪橋、吾妻橋、厩橋、兩國橋、新川橋等の軌道改設。

三、電線路

1、新設　巣鴨車庫（〇哩一二三）青山車庫裏（〇哩〇一九）虎ノ門材料置場（〇哩〇五）芝新堀河岸材料置場（〇哩〇三）等の各引込線、札の辻及京王電車各連絡線御成門連絡分岐線、東京驛前（〇哩四七三）ループ線等の新設に伴ふ電線路及目黒車庫外五ヶ所の火災報知電話、目黒電車課出張所外十五ヶ所の電話設備本局廳舍及芝崎町倉庫MM式火災報知機加入、間隔記錄器三田車庫外十四箇所の各種非常開閉器等の新設をなすものなり。）

2、改良　信濃町權田原間（〇哩五五六）の位置及大塚新車庫引込線の變更有樂橋（〇哩〇五）及日比谷（〇哩〇二）待避線の改良。信濃町權田原間（〇哩五五六）及南千住、三河島間（一哩一〇四）の地中線位置變更、新宿一丁目、角筈間架空線を地中線に變更、並に局用電燈配電線等の改良。

3、復舊　自黒江町至柳島橋（三哩八五六）自相川町至洲崎（一哩一九四）及自安宅町猿江町（一哩一八八）自兩國橋至錦絲堀（一哩三四）等の電車直線、綠町五丁目（〇哩〇六三）兩國驛前（〇哩一四一）及淺草驛前（〇哩一四）等の待避線芝浦工場內（二哩三）並に同工場トラバーサー（一哩一三六）及錦絲堀（〇哩五二六）新宿（一哩一五七）本所（一哩一五）濱松町（一哩三二二）三の輪（一哩一一）三田（一哩六五）青山（二哩五七）等の各車庫同電車線に伴ふ電線路。

自大塚變電所至電車通（〇哩〇七二）自三の輪變電所至電車通分岐點（〇哩二八二）自御成門變電所至電車通（〇哩二八二）自御成門變電所至電車通交叉（〇哩一四三）自三宅坂變電所至電車通（〇哩〇三一）自三宅坂變電所至電車通交叉（〇哩〇六二）自美倉橋變電所至電車通（〇哩一四二）自溜池變電所至電車通（〇哩二〇八）自溜池變電所至虎門交叉（〇哩五）自濱松町車庫內至虎門交叉等の送電地中線、自大塚變電所至駒込變電所（一哩三二五）自大塚變電所至春日町變電所（一哩七〇四）自小沼開閉所至三の輪變電所（一哩七〇四）自小沼開閉所至下谷變電所（三哩九〇一）自三の輪變電所至淺草變電所（一哩七〇四）自霞町變電所至一の橋開閉塔（〇哩七五七）自霞町變電所至青山變電所（一哩三二五）自櫻田本郷町交叉至虎の門交叉（〇哩三五九）自青山變電所至赤坂見付交叉（〇哩七五九）自春日町變電所至飯田橋交叉（〇哩九六六）自下谷變電所至美倉橋變電所（一哩一七四）自美倉橋變電所至平永町變電所（〇哩六六四）自御成門變電所至引込（〇哩一四二）自三宅坂變電所至引込（〇哩〇六六）自溜池變電所至引込（〇哩一〇四）自下谷開閉所附近開閉塔設備至引込、自芝浦發電所至芝變電所（一哩四七）自芝變電所至白金變電所（一哩八七）自芝變電所至京橋變電所（一哩七四）等の送電地中線及應急電話の電話線及本局廳舍電話設備本所消防署外六ヶ所出動信號電鈴電氣時計三宅坂自動轉轍機一ヶ所及應急電話設備並に相生橋黒船橋和泉橋神田橋汐見橋比丘尼橋狙橋船木橋下柳堤橋新彈正橋菊川橋中柳堤橋千代田橋江東橋高橋（深川）中の橋業平橋伊豫橋小川橋黒龜橋水道橋北の橋福島橋靈岸橋彌勒寺橋永代橋三原橋海邊橋淺草橋數寄屋橋萬年橋二の橋（本所）古川橋金杉橋有樂橋市ケ谷橋宇田川橋萬世橋船河原橋石橋（御成門附近）今川橋飯田橋石橋（櫻川町）櫻橋富坂橋石橋（御成門附近）築地橋三の輪橋石橋（高輪車町）新橋吾妻橋須賀橋赤羽橋厩橋新堀橋芝園橋新川橋菊川橋一の橋（麻布）兩國橋泪橋十番橋等の橋梁改築に伴ふ電線路の復舊をなす外、三の輪下谷有樂橋平永町濱松町春日町駒込御成門三宅坂八丁堀大塚黒江町飯田町常盤橋青山横網等の各變電所本建築に伴ふ地中線の移轉をなすものなり。

四、發電所　煙突並煙道給水設備汽罐汽機K、W配電盤起重機石炭並石炭殻處理裝置、附屬諸機械並に電線取付等の復舊。

五、變電所並開閉所

1、改良　一、〇〇〇A七五〇V單極開閉器六〇A六〇〇V抵抗器交流三〇〇A六〇〇V積算電力計プロアーモーターシンクロナイザー自動遮斷器受電線切替裝置並に局用電燈電源等の改良。

2、復舊　下谷有樂町美倉橋溜池春日町忍町常盤橋飯田町黒江町横網青山等の各變電所の機械、配電盤、附屬機械及電線並に下谷開閉所の機械及電線等を復舊するもの。

六、車　輛

1、新造　貨車ボギー車五〇臺の新造。

2、改良　舊ボギー車百臺に空氣制動機取付をなすもの。

3、復舊　ボギー車三五〇臺に付車臺、車體、電氣裝置、車輛備品等の復舊並に內一〇〇臺に付空氣制動機取付をなす。

4、自動車　軌道用貨物自動車、電路用梯付自動車、車輛用應急自動車等合計十臺の各種自動車の購入。

七、建　物

1、新設　濱松町軌道係出張所(延八〇坪)、淺草電路係出張所(延五〇坪)、大塚、廣尾、神明町、青山南町各電車課出張所食堂炊事場、横網軌道係作業場(延一六〇坪)同事務室及附屬家(延一七六坪)及同碎石及砂置場(延二〇〇坪)芝浦假倉庫(延三〇〇坪)三の輪現業員寄宿舍(延一〇〇坪)現業員宿舍(延一、二〇〇坪)病院(延一、三五〇坪)等總計延三、六四七坪の新築。

2、改良　電車課出張所の內青山、三田、巣鴨、早稻田等(各延三五〇坪)等合計一、四〇〇坪の改築、巣鴨及早稻田各車庫合計延六三六坪、同周圍塀合計二一八間の防火壁(鐵筋ブロック積)の築造、淺草及錦絲堀各車庫內自動ポンプ付掘井戶の新鑿等をなす。

3、復舊　芝浦發電所(延八〇〇坪)及下谷(延二六〇坪)有樂町(延三九〇坪)美倉橋(延一四六坪)溜池(延一四六坪)春日町(延一八五坪)濱松町(延一四八坪)常盤橋(延一四六坪)飯田橋(延一四六坪)黑江町(延一四六坪)忍町(延一八五坪)横網(延一八五坪)青山(延一四六坪)等の各變電所並に假格納庫。新宿、錦絲堀、濱松町、東大久保、早稻田、本所、三の輪、三田、青山等各車庫合計四、〇四七坪。本局及本所、三ノ輪、新宿、錦絲堀等各電車課、日比谷、新宿、本所等の各軌道係並電路係。日比谷、三宅坂、神田橋、大門、千代田橋、御成門、三ノ輪、市ケ谷、上野三橋、須田町、本町、兩國、南茅場町等の各詰所。御成門、萬世橋、土橋、市役所前、柳島、月島等の各操車場並に工場及石原、芝崎町、濱松町各倉庫等の復舊をなすもの。

八、機械器具

1、新設　ワゴンローダー、レコーディングボルトメーター、リヤーカー、レコーディングアムメーター、エコノミメーター、ポータブルエアーコンプレッサー、コンパウンドモーター、ブローアー、ホッフマン蒸氣仕上機、縮絨機械。ルウイス掬縫ミシン、反延機、其他試驗室設備機械一式等の新設。

2、改良　トラバーサーの改良。

3、復舊　クラッシングプラント、エリトリックドクル、ニューマチックドクル　リヤーカー、碎石運搬輕便軌條、鋪裝用機械器具及オーバーヘットクレン、トラバーサー、壓搾空氣設備、電力設備、アスファルト試驗機械、セメント試驗機械、アスファルトプラント、青寫眞機械、高聲電話機用バルブ及トランスフォーマー其の他百アンペアタイアル付エコノミメーター、バキュームクリナリー、ポータブルエヤーコンプレッサー、トラバーサー、其の他機械器具並に備品の復舊。

九、電氣研究所　建築及諸設備をなす。

(二)電氣供給事業　豫算額二百五十二萬圓を以て、大正十三四年度に震災に依る電氣供給設備を復舊するもの、事業の大要左の如し。

一、小沼變電所用地(四〇〇坪)補償。

二、建　築　物

1、新設　小沼變電所舍宅(一五〇坪)、白金變更所宿直室(延四坪)。

2、復舊　小沼、下谷、飯田町、澁谷、小石川、芝、京橋、各變電所、京橋、芝各出張所、赤坂建設所並出張所復舊、計延一、一四二坪。

三、電線路　特別高壓地中線(四、〇〇〇尺)、高壓地中線(八〇、〇〇〇尺)、低壓地中線(一〇〇、〇〇〇尺)、埋設配電函(二五四、一〇〇個)、變壓器(三四〇個)、變壓器設備(三四〇)、引込線(二〇、〇〇〇個所)工事。

四、變電所開閉所　小沼、下谷、京橋、芝各變電所ノ變壓器、電壓調整機其他ノ電氣工事。

五、需用家電氣　電燈取付(五〇、〇〇〇個)、積算電力計(一、五四四個)、電氣扇(六二八臺)等ノ工事。

(三)電氣事業功程　姑く大正十三年度內の進捗狀況を擧ぐ。

大正十三年度電氣復興事業進捗狀況

電氣軌道事業

一、用地收得	市算額		五〇四、〇八五・〇〇円
	支出額		八五、一九一・六四
イ、軌　道	一ケ所	一五坪	八、四五〇・〇〇
買收手續中	一ケ所	—	一、二五〇・〇〇
ロ、變電所	二ケ所	二三〇坪	一一三、五五〇・〇〇
買收手續中	二ケ所	—	一、七七七・五三
ハ、護岸及土地整理	四ケ所	—	一五二、〇八五・〇〇
竣工セシモノ	三ケ所	—	八二、一六四・一一
ニ、道路築造費分擔	二ケ所	—	二三〇、〇〇〇・〇〇
未着手			—
二、軌　道	豫算額		二、二二五、四四六・〇〇円
	支出額		八四〇、七三九・三一
1、軌道新設	〃		一一一、三二七・〇〇
	〃		六四、〇二二・六九
イ、引込線	四線	〇・二二二哩	六六、〇五三・〇〇
竣工セシモノ	四ケ所	〇・二一七	六〇、六三六・二一
ロ、連絡線	二線		四五、二七四・〇〇
竣工セシモノ	一ケ所		三、三八六・四八
2、軌道改良	豫算額		一四四、八七六・〇〇
	支出額		四七、三六七・五二
イ、軌道位置變更	一線		四八、四一〇・〇〇
工事中	二ケ所(豫備費支出)		一、七一三・七二
ロ、軌道待避線及引込線	二線		二五、四六五・〇〇
未着手			—
ハ、橋　梁	四橋		七一、〇〇一・〇〇
工事中	三ケ所		五、六五三・八〇
3、軌道復舊	豫算額		一、七八二、八九二・〇〇
	支出額		七〇一、六九三・〇七
イ、直　線	十四線	二四・六五七哩	一、一四六、七九八・〇〇
竣工セシモノ	十一ケ所	八・一六〇	三一二、七〇六・四八
工事中ノモノ	七ケ所	一七・七二一	一五九、七五八・八九
ロ、待避線	三線	〇・六三一	一九、九二一・〇〇
工事中ノモノ	一ケ所	〇・一〇七	二六・一〇
ハ、分岐線並交叉線	十三ケ所		一二七、六〇九・〇〇
竣工セシモノ	十一ケ所		一一、二二三・八四
ニ、車庫及工場	四ケ所	四・四〇五	九六、二六六・〇〇
竣工セシモノ	二ケ所	〇・八六一	五、五八六・四八
ホ、橋梁改築ニ伴フ軌道	—	—	三九二、二九八・〇〇
竣工セシモノ	—	—	一一二、三九一・二八
4、職工々夫給其他			一八六、三五一・〇〇
同　支出額			六七、六五六・〇三
三、電線路	豫算額		二、六三九、九五一・〇〇
	支出額		六三一、七六三・一五
1、電線路新設	同		五六、〇九五・〇〇
	同		一八、四七五・三七
イ、電車線引込線	四ケ所		八、六七六・〇〇
竣工セシモノ	四ケ所	〇・二三八哩	六、七〇四・七三
ロ、連絡線	二ケ所		一〇、八九八・〇〇
竣工セシモノ	一ケ所		四八二・八六
ハ、電話其他	十五ケ所		三六、五二一・〇〇
竣工セシモノ	五ケ所		一一、二八七・七八
2、電線路改良	豫算額		三〇四、一〇九・〇〇
	支出額		一八五、〇八二・六五
イ、引込線	一ケ所		一、五六三・〇〇
未着手			—
ロ、待避線	一ケ所		二、九一四・〇〇
支障物件整理費、工事中途豫定ヲ變更廢止セリ			三八九・七九
ハ、電車線位置變更	一ケ所		一〇、二二四・〇〇
工事中	一ケ所		一、四〇四・七九
ニ、電話線位置變更	—		—

工事中　一ヶ所　六、三九〇・一三
ホ、地中線　二ヶ所　二四〇、八四四・〇〇
工事中　三ヶ所　二・一〇四哩　一三七、〇七六・四〇
ヘ、局用電燈配電線改良　―　四八、五六四・〇〇
工事中　九六・六六七哩　三九、八二一・五四
ト、變電所建築ニ伴フ地中線移轉　十一ヶ所　四五八、〇七六・〇〇
未着手　―
3、職工々夫給其他　一七九、二〇四・〇〇
支出額　六九、一六二・〇三
四、變電所　豫算額　一六一、八〇六・〇〇
支出額　七六・七〇
1、變電所復舊　一ヶ所　一三〇、〇〇〇・〇〇
未着手　―
2、職工々夫給其他　三一、八〇六・〇〇
支出額　七六・七〇
五、變電所芝開閉所　豫算額　四三一、七九八・〇〇
支出額　二七三、一九四・九〇
1、變電所改良　八ヶ所　八四、二〇一・〇〇
工事中　局用電燈電源改良其他　六八、五三一・一五
應急施設ヲ爲シ使用中ニシテ追テ改良スル豫定
2、變電所並開閉所　五ヶ所　三一七、〇七〇・〇〇
竣工セシモノ　三ヶ所　一八三、一七五・八九
應急施設ヲ爲シ使用中ニシテ區劃整理ヲ俟テ完了ノ豫定
3、職工々夫給其他　三〇、五二七・〇〇
支出額　二一、四八七・八六
六、車輛　豫算額　八、五五二、〇〇〇・〇〇
支出額　四、六七二、八四〇・三三
1、車輛新造(貨物ボギー車)　五〇　四一五、〇〇〇・〇〇
竣工セシモノ　四五　三五二、〇八〇・〇〇
2、車輛復舊　豫算額　四五〇臺　八、〇二〇、〇〇〇・〇〇
支出額　二五〇臺　四、二二四、八〇〇・〇〇

イ、ボギー車　三五〇　七、八九〇、〇〇〇・〇〇
竣工セシモノ　二三〇　四、一九五、六二〇・〇〇
ロ、空氣制動機取付　一〇〇　一三〇、〇〇〇・〇〇
竣工セシモノ　二〇　二九、一八〇・〇〇
3、自動車　豫算額　一〇〇　一一七、〇〇〇・〇〇
支出額　一〇〇　九五、九六〇・三三
イ、貨物用　四　三八、〇〇〇・〇〇
竣工セシモノ　四　三五、六九〇・七六
ロ、架線用　四　四八、〇〇〇・〇〇
竣工セシモノ　四　三八、五八一・六八
ハ、應急用　二　三一、〇〇〇・〇〇
竣工セシモノ　二　二一、六八七・八九
七、建物　豫算額　三、〇七六、四七四・〇〇
支出額　一六五、二三五・四四
1、建物新設　〃　三六〇、九二〇・〇〇
〃　七、三〇二・一八
イ、出張所　二ヶ所　二九、九〇〇・〇〇
未着手　―　―
ロ、出張所食堂炊事場四ヶ所　三一坪　七、〇二〇・〇〇
竣工セシモノ　四ヶ所　三七・八　六、〇〇二・七四
ハ、作業場　一ヶ所　五三六・〇　八八、〇〇〇・〇〇
工事中ノモノ　一ヶ所　―　四一一・八八
ニ、假倉庫　一ヶ所　三〇〇・〇　六、〇〇〇・〇〇
竣工セシモノ　一ヶ所　二八二・〇　八八七・五六
ホ、寄宿舍　二ヶ所　二三〇、〇〇〇・〇〇
未着手　―　―
2、建物改良　豫算額　一〇三、七三〇・〇〇
支出額　三、一二三・一二
イ、車庫防火壁　二ヶ所　六三六面坪　二一八間　一〇〇、七三〇・〇〇
工事中ノモノ　一ヶ所　―　一、七八四・四八
ロ、掘井戸　二ヶ所　―　三、〇〇〇・〇〇

竣工セシモノ　一ヶ所　―　一、三三八・六四
3、建物復舊　豫算額　二、六一一、八二四・〇〇
支出額　一五四、八一〇・一四
イ、發電所　一ヶ所　四七五延坪　二三六、五〇〇・〇〇
工事中ノモノ　一ヶ所　―　一二、三八〇・八六
ロ、變電所　七ヶ所　一、二五九延坪　五三二、八四六・〇〇
竣工セシモノ　二ヶ所　六〇〇　四、五七三・三五
工事中ノモノ　二ヶ所　五三六　三、三一六・二一
ハ、車庫　五ヶ所　六、六五六　六九六、七六八・〇〇
工事中ノモノ　四ヶ所　―　一三、四二〇・三六
ニ、本局書庫其他　一ヶ所　一二〇　六〇、八〇〇・〇〇
竣工セシモノ　一ヶ所　―　八二、四七五・七九
ホ、出張所　五ヶ所　七〇五延坪　二七〇、〇六〇・〇〇
竣工セシモノ　一ヶ所　一三九　一九、九三四・一九
工事中ノモノ　二ヶ所　―　九、八五三・六六
ヘ、詰所　八ヶ所　一四、八七五・〇〇
未着手　―　―
ト、操車場　六ヶ所　八、六二五・〇〇
竣工セシモノ　一ヶ所　二延坪七　五四〇・五九
チ、工場　一ヶ所　六、七一〇　七〇七、三五〇・〇〇
工事中　一ヶ所　―　八、三〇三・一三
リ、倉庫　一ヶ所　三〇〇　八四、〇〇〇・〇〇
未着手　―　―
八、機械器具　豫算額　四一〇、二三六・〇〇
支出額　一三〇、五八〇・九四
1、機械器具新設　九、〇〇〇・〇〇
支出額　五、七六九・八〇
2、機械器具復舊　四〇一、二三六・〇〇
支出額　一二四、八一一・一四

一、用地取得　豫算額　二〇、〇〇〇・〇〇
支出額　三六・〇〇
1、變電所　一ヶ所　二〇、〇〇〇・〇〇
買收手續中　一ヶ所　三六・〇〇
二、建物　豫算額　三七〇、九一八・〇〇
支出額　八、四二五・八七
1、建物新設　二ヶ所其他　一五四坪　三五、六五〇・〇〇
未着手　―　―
2、建物復舊　豫算額　六ヶ所　三三五、二六八・〇〇
支出額　八、四二五・八七
イ、變電所　五ヶ所　二八〇、〇六八・〇〇
完成　四ヶ所　八、四二五・八七
ロ、出張所　一ヶ所　五、二〇〇・〇〇
未着手　―　―
三、電線路　豫算額　四三一、三五〇・〇〇
支出額　四一〇、九二三・五〇
1、電線路工事　九三、〇〇〇尺　三九六、五〇〇・〇〇
竣工セシモノ　三八九、九五六・一九
地中線高壓並低壓ノ內
イ、電線延長
地中線　高壓　六七、八一六尺
低壓　五六、六八八尺
架空線　〃　五、五一九尺
〃　一〇、三八九尺
ロ、電線路亙長
地中線　八八、三八四尺
架空線　六、九一五尺
變壓器
(一)變壓器取付箇數　三八七個
(二)同　容量　六、二六〇キロ
電柱建柱數　五七本
2、職工々夫給其他　三四、八五〇・〇〇

支出額		二〇、九六七・三一
四、變電所	豫算額 支出額	四二六、一七一・〇〇 二七、五二二・四二
1、變電所復舊	二ケ所	四一三、三〇〇・〇〇
工事中	二ケ所	一五、八〇二・一六
應急設備ヲ爲シ使用中ニテ追々區劃整理ヲ俟テ完成ノ見込		
2、職工々夫給其他		一二、八七一・〇〇
支出額		一一、七二〇・二六
五、需用家電氣工事	豫算額 支出額	一二八、四七六・〇〇 五五、一二〇・八〇
1、電燈取付 積算電力計 電氣扇	二五、〇〇〇個 七七二個 六二八	一一七、三三〇・〇〇
竣工　電燈取付 積算電力計 電氣扇	一一、四四〇個 一、四五一個 四三七臺	四六、〇四〇・五二
2、職工々夫給其他		一、八三八・〇〇
支出額		一、三三三・三六

第二項　復興施設

第一　計畫

（一）一般會計所屬復舊事業、復興事業として施設するものゝ外、復舊を要すべき震災の被害少なからず、乃ち經費二千三百十二萬八千四百八十六圓を以て大正十三年度より十七年度に至る五箇年繼續の事業として、曰く區役所建設、曰く小學校設備、曰く圖書館建設、曰く本所病院隔離所消毒所建設、曰く街頭便所新設、曰く公園施設、曰く街燈設備、曰く河川造修、曰く施療病院建設の諸事業を擧ぐる事とし、大正十三年三月十五日市長は之が豫算事業を市會に提出したり。

第三十五號

自大正十三年度至大正十七年度　東京市震災復舊費繼續年期及支出方法

一、金二千三百十二萬八千四百八十六圓　震災復舊費

内譯

金四百四十四萬九千五百七十五圓	大正十三年度支出額
金三百二十三萬五千三百六圓	大正十四年度支出額
金三百八十二萬四千八百七圓	大正十五年度支出額
金五百八十九萬五千二百九十六圓	大正十六年度支出額
金五百七十二萬三千五百二圓	大正十七年度支出額

客年九月震災ノ爲損害ヲ蒙リタル營造物其ノ他工作物ノ復舊ヲ爲スモノトシ、五箇年繼續事業トシテ、本費ヲ計上セリ。

東京市繼續震災復舊費支出計算表

科目　款	科目　項	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	計
一、震災復舊費		四、四四九、五七五円	三、二三五、三〇六円	三、八二四、八〇七円	五、八九五、二九六円	五、七二三、五〇二円	二三、一二八、四八六円
	一、區役所建設費	—	—	八九一、二七四	一、九四七、三六三	一、九四七、三六三	四、七八六、〇〇〇
	二、小學校設備費	一、二七八、九七五	一、二八〇、〇〇〇	一、二八〇、〇〇〇	一、二八〇、〇〇〇	一、〇五八、六二五	六、一七七、六〇〇
	三、圖書館建設費	六八、〇〇〇	—	二七六、一五〇	三四七、一五〇	三〇八、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
	四、本所病院隔離所竝消毒所建設費	一、五〇〇、〇〇〇	—	—	一、三五〇、〇〇〇	一、四二五、〇〇〇	四、二七五、〇〇〇
	五、街頭便所新設費	一一四、二〇〇	一一四、二〇〇	一一四、二〇〇	一一四、二〇〇	一一四、二〇〇	五七一、〇〇〇
	六、公園施設費	四二五、九六三	五九九、四二三	—	—	—	一、〇二五、三八六
	七、街燈設備費	七三、四三七	九四、六五三	一二六、一五三	一〇六、五五三	一六一、七〇四	五六二、五〇〇
	八、河川造修費	五六二、〇〇〇	七二〇、〇〇〇	七二〇、〇〇〇	七二〇、〇〇〇	七〇八、〇〇〇	三、四三〇、〇〇〇
	九、施療病院建設費	四二七、〇〇〇	四二七、〇〇〇	四二七、〇〇〇	—	—	一、二八一、〇〇〇

東京市繼續震災復舊費支出計算表說明

科目　款	科目　項	支出額	說明　種目	說明　金額
一震災復舊費		二三、一二八、四八六円		円
	一區役所建設費	四、七八六、〇〇〇	一建築費	三、八六〇、三〇〇
			二設備費	七八七、六三三
			三設計竝監督費	一三八、〇六七
	二小學校設備費	六、一七七、六〇〇	一小學校設備費補助	五、七五五、二〇〇
			二直營小學校設備費	四二二、四〇〇
	三圖書館建設費	一、〇〇〇、〇〇〇	一用地費	六八、〇〇〇
			二建築費	五三五、九〇〇
			三設備費	三七九、八〇五
			四設計竝監督費	一六、二九五
	四本所病院隔離所竝消毒所建設費	四、二七五、〇〇〇	一用地費	一、五〇〇、〇〇〇
			二建築費	二、〇二六、一七五
			三設備費	六六八、三六七
			四設計竝監督費	八〇、四五八
	五街頭便所新設費	五七一、〇〇〇	一工事費	五五四、五五三
			二設計竝監督費	一六、四四七
	六公園施設費	一、〇二五、三八六	一用地費	一〇四、七六二
			二植物費	一八六、六八〇
			三土木費	三二一、九一二
			四營繕費	四一一、八四一
			五掃除費	三、八〇〇
			六雜費	一二、七六四
			七設計竝監督費	八二、九〇四

七街燈設備費	三六二、三〇〇	一街燈費	三三八、九三〇
		二設計竝監督費	二三、三七〇
八河川造修費	三、四三〇、〇〇〇	一用地費	一、九四七、八〇八
		二工事費	一、三三三、二八二
		三設計竝監督費	一四八、九一〇
九施療病院建設費	一、二六二、〇〇〇	一建築費	八八五、〇〇〇
		二設備費	三三四、〇〇〇
		三設計監督費	四三、〇〇〇

市參事會審査意見

大正十三年三月十五日市參事會ハ、本議案ヲ相當ナリト認メ同意セリ。

大正十三年三月十七日提出　東京市長　永田秀次郎

內十三年度分ハ、

十五、繼續震災復舊費本年度支出額	四、四四九、五七五円
一、小學校設備費	一、二七八、九七五
二、圖書館建設費	六八、〇〇〇
三、本所病院隔離所並消毒所建設費	一、五〇〇、〇〇〇
四、街頭便所新設費	一一四、二〇〇
五、公園施設費	四二五、九六三
六、街燈設備費	七三、四三七
七、河川造修費	五六二、〇〇〇
八、施療病院建設費	四二七、〇〇〇

にして三月十七日第三十四號議案を以て市會の協賛を求めたり。市會は即日上議し、議員瀧澤七郎質問す、

隔離病舍避病院第一の目的は隔離に在り、第二の目的は病者の衞生に、適するに在り、本所區は、今や大阪に次ぐ日本第二の工業地と爲り、煤煙の巷と化す、本所病院の建設は兩目的に合せざるのみならず、他に用地費一萬坪百五十萬圓即ち一坪百五十圓を要せずして、兩目的に合すべき好地有らんとす。理事者は一層好適の地を選ぶに意なきやと、永田市長答辯して言ふ、傳染病院を遠方に移すは、市民の衞生上將た病人の心持上大に考慮すべき事たり。加ふるに現在の進歩したる醫學上の見地よりすれば、傳染病院の市中に存する、必ずしも病毒を附近に傳播するものに非ずと、是時小森議員(七兵衞)發議して、兩案を一括して之を調査委員の調査に付す。三月二十二日委員より報告の呈出あり。

第三十五號議案調査委員意見報告

委員ハ、實地ヲ踏査シ、屢集會審議ノ末、左記希望ヲ附シ、原案ヲ可決スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年三月二十二日

委員長　六十一番　倉田金三郎

理事　十番　吉川忠志　　八十四番　瀧澤七郎

委員

三番　瀨川光行　　六番　三枝米太郎

十三番　橋本直　　十七番　笠原文太郎

二十三番　本田義成　　三十番　伊藤仁太郎

三十一番　坪野房治　　四十四番　西村吉兵衞

四十五番　渡邊繁太郎　　四十六番　中村富三郎

五十七番　大石熊吉　　七十番　國枝捨次郎

七十八番　木下常松　　七十九番　本宮辰次郎

東京市會議長・伯爵　柳澤保惠殿

希望

一、本所病院擴張ニ對スル部分ハ、他ニ適當ノ土地ヲ求メ之ニ關スル豫算ハ、適宜更正ノ上、提案アランコトヲ望ム。

第三十四號議案調査報告同文。

二十九日議場に報告し、異議なく之を可決す、財源計畫法は、

第百十八號

震災復舊費並歲入缺陷起債ニ關スル件

一、起債ノ時期及金額　大正十三年度七十七萬五千三百圓、大正十四年度二百九十四萬圓七千七百圓、大正十五年度二百九十九萬千六百圓、大正十六年度四百三十五萬五千七百圓、大正十七年度四百五十九萬千圓、合計二千二百六十六萬千三百圓。

二、起債ノ目的　震災復舊費並歲入缺陷ニ充當。

三、借入金利率　年五分、但シ据置期間ハ無利子トス。

四、借入ノ方法　國庫ヨリ借入。

五、償還ノ期間及方法　別紙償還年次表(略)ノ如ク、大正十七年度迄据置、大正十八年度以降三十年間ニ償還シ、但シ市財政ノ都合ニ依リ、繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得。

六、元利支拂資源　普通市債ヲ以テ充當。

七、借入ノ爲メニ發行スル債券　借入ノ爲ニ證券交附ノ要アルトキハ適宜券面額ヲ定メ、一種若ハ數種ノ債券ヲ發行スルモノトス。

説明　震災復舊費並歲入缺陷ニ對シ、政府ヨリ低利資金ノ融通ヲ受クルモノトシ、本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十三年七月二十一日市參事會ハ、本議案ヲ相當ナリト認メ、同意セリ。

大正十三年七月二十二日提出　東京市長　永田秀次郎

第百二十三號

震災復舊教育費起債ニ關スル件

一、起債ノ時期及金額　大正十三年乃至大正十七年度、二十三萬四千圓、合計百十七萬圓。

二、起債ノ目的　震災復舊小學校費ニ充當。

三、借入金利率　年五分、但据置期間ハ無利子トス。

四、借入ノ方法　國庫ヨリ借入。

五、借入ノ期間及方法　別紙償還年次表(略)ノ如ク、大正十二年度据置、大正十八年度以降三十年間ニ償還、但シ市財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ、又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得。

六、元利支拂資源　普通市債ヲ以テ充當。

七、借入ノ爲ニ發行スル債券　借入高ニ證券交付ノ要アルトキハ、適宜券面額ヲ定メ、一種若ハ數種ノ債券ヲ發行スルモノトス。

説明　震災復舊教育費ニ對シ、政府ヨリ低利資金ノ融通ヲ受クルモノトシ、本案ヲ提出ス。

市參事會審査意見

大正十三年七月二十一日市參事會ハ、本議案ヲ相當ナリト、認メ同意セリ。

大正十三年七月二十二日提出　東京市長　永田秀次郎

共に十三年七月二十六日の市會に付議し、異議なく可決せらる。

(二)特別會計所屬復舊事業　特別會計所屬中、復興費を以て執行する

復舊事業の外、復舊費の名を以て執行する事業あり、電氣、上水道、養育院復舊の類是なり。

イ、電氣事業復舊計畫　特に急を要するを以て、大正十二年度に於て、應急施設と共に之に着手する事とし、大正十二年度東京市電氣軌道事業追加豫算として、震災復舊施設費五百四十九萬六千圓を十二年度第九十四號議案中に要求し、十二年十月十五日提案十八日付議、直に調査委員に付託し、二十一日委員の報告あり。

第九十四號議案調査委員意見報告

委員ハ集會審議ノ末、原案ヲ可決スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年十月二十日

委員長　五十五番　久保　三友

委員
十　番　吉川　忠志
十七番　笠原文太郎
二十三番　本田　義成
二十六番　田中　康三
三十八番　安東　正臣
四十番　鎌田芳太郎
五十一番　寺田彌一郎
五十三番　大野　敬吉
五十六番　小森七兵衞
五十五番　長町　康夫
六十四番　大野　伴睦
六十七番　宇都宮政市
八十五番　中南定太郎
八十六番　角野庄太郎

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

異議なく報告通り可決す。

然るに大正十三年五月十四日に至り、市參事會は第百六十六號、大正十三年發東京市電氣軌道事業費歳入出追加豫算議定の件（二百三十一萬八千二百六十一圓大正十二年より繰越）を決議し、十三年六月二十五日市長之を財發第四二三號を以て、他の繰越事業と共に市會に通知す。

（大正十二年第九十四號市會決議）

大震災復舊費　二三五、二六八圓

一、復舊施設費　二三五、二六八圓（機械器具費）

ロ、上水道事業復舊計畫　大正十三年三月十七日提出、第四十六號議案大正十三年度東京市水道歳入出豫算歳出臨時部中。

六、震災復舊費　四八五、〇七三圓
一、量水器費　二九一、五四三〃
二、淨水場費　一六一、四五〇〃
三、玉川上水費　三二、〇八〇〃

あり、即日付議して調査委員に付託し、二十四日委員の報告あり。

第四十六號議案調査委員意見報告

委員ハ、屢集會審議ノ末、別紙朱書ノ通修正スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年三月二十四日

委員長　六十一番　倉田金三郎

理事
十　番　吉川　忠志
八十四番　瀧澤　七郎

委員
三　番　瀨川　光行
六　番　三枝米太郎
十三番　橋本　直
十七番　笠原文太郎
二十三番　本田　義成
三十番　伊藤仁太郎
三十一番　坪野　房治
四十四番　西村吉兵衞
四十五番　渡邊繁太郎
四十六番　中村富三郎
五十七番　大石　熊吉
七十番　國枝捨次郎
七十八番　木下　常松
七十九番　本宮辰次郎

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

別紙略、震災復舊費修正ナシ。

異議なく報告通り可決す。

ハ、養育院復舊計畫　大正十三年三月十七日提出即日付議の第五十一號議案大正十三年度東京市養育院歳入出豫算歳出臨時部中、

二、震災復舊費　五〇、〇〇〇圓
一、安房分院震災復舊費　五〇、〇〇〇〃

あり、第四十六號同一の調査委員審査後、二十二日左の如く報告す。

第五十一號議案調査の委員意見報告

委員ハ、屢ゝ集會審議ノ末、原案ヲ可決スルコトニ議決セリ。

右報告候也。

大正十三年三月二十二日

委員長　六十一番　倉田金三郎

委員略

東京市會議長　伯爵　柳澤保惠殿

二十四日議場は異議なく報告を可決す、是より先市參事會は、大正十二年十一月二十一日市參事會第二百六十一號大正十二年度東京市養育院歳入出追加豫算（震災應急施設費八萬八千八百圓追加）を議定し、十三年五月十四日市參事會第百十號案を以て、之が十三年度の繰越を議決す。

大正十二年第二百六十一號市參事會議決

三、震災復舊費　二九、六六二圓

二、板橋本院並谷中墓地復舊費　二九、六六二〃（工事費　二八、三八五圓　雜費　一、二七七〃）

第二　執行

一　區役所建設

震災に依りて破損若くは燒燬したる區役所は、麹町、神田、日本橋、京橋、芝、赤坂、牛込、本郷、下谷、淺草、本所、深川、十二區役所にして何れもバラックに執務し居り、新廳舍の建設を要し、豫算金四百七十八萬六千圓を以て、大正十五年度より十七年に至る三箇年度に之を建設せんとするものなり、其計畫は、

	現敷地面積	復舊所要建築延坪數
麹町區役所	五〇一・三〇〇坪	七〇〇・〇〇〇坪
神田區役所	五一四・五〇〇	九二〇・〇〇〇
日本橋區役所	五六七・四五〇	九二〇・〇〇〇
京橋區役所	三五八・六〇〇	九六〇・〇〇〇
芝區役所	一、〇六二・七七〇	一、〇〇〇・〇〇〇
赤坂區役所	七五七・八一〇	六六〇・〇〇〇
牛込區役所	四七四・五〇〇	七四〇・〇〇〇
本郷區役所	五七三・三六〇	八〇〇・〇〇〇
下谷區役所	七〇一・一四五	九三〇・〇〇〇
淺草區役所	八六三・一五三	一、一一〇・〇〇〇
本所區役所	七二一・八〇〇	一、〇〇〇・〇〇〇
深川區役所	五〇〇・四〇〇	九一〇・〇〇〇
計	七、五九六・七八八	一〇、六五〇・〇〇〇

の鐵筋混凝土造三階及二階建地下室附の建物を建造し、事務室、議場、議員控室、委員會室、學務委員室、書記室、應接室、階段室、豫備室、宿直室、小使室、湯沸室、浴室、倉庫、物置、便所、ボイラールーム、火夫室、石炭置場等を設け、塀、柵、門、掲示場、排水、砂利敷、造

庭、電燈、瓦斯、給水、衞生工事、煖房工事、其他を附設せんとす。位置は概して舊位置に於てすべきも、區劃整理其他の理由に基き、二三の變更を見るべきものあり。

二　小學校設備

震災に燒失し復興費を以て建設する小學校百十七校の設備復舊を目的とするものにして、豫算額六百十七萬七千六百圓を以て、大正十三年度より十七年度に至る五箇年に執行する事とし、一年平均二十四校に對して、左の各設備を施す。

一、煖房工事　蒸氣煖房、一、二、三階全部。

一、電燈工事　理科教室實驗用、手工教室工作用、裁縫教室アイロン用、機關室用等。

一、給水工事　手洗、足洗、水呑用、理科圖畫手工各教室用、事務室、炊事室用、撒水消火栓用等。

一、排水工事　敷地及校舍內全部。

一、衞生工事　便所を水洗式とし、改良下水なき所にては汚水淨化槽を設く。

一、瓦斯設備　理科教室實驗用、手工教室工作用、裁縫教室アイロン用、其他湯沸炊事用等。

一運動場設備　屋外運動場は、タークレー類を以て舗裝し、排水を完全にし、花苑足洗所水呑所等を設け、空所は砂利敷又はタイル敷とし、運動具を設備し、植樹を爲す。

一、門　塀　一式。

一、校具費　一學級五百圓補給。

而して市會第三十四號決議に基く十三年度豫算は、百二十七萬八千九百七十五圓なりしも、區劃整理其他の關係上建築著手の運に至らざるもの多く、年度內に小學校建設費補助として二校の備品費二萬六百圓を支出したるに止まる。

三　圖書館建設

震災に燒失したる圖書館の復舊なり。

深川圖書館	深川公園內	面積四五〇坪
一橋圖書館	神田區內	面積三四〇坪
京橋圖書館	京橋區金六町十六、二十番地（市有地）	面積四〇〇坪

を鐵筋混凝土四階建又三階建に建造し、書庫、事務室、下足室、便所、婦人閲覽室、普通閲覽室、目錄室、倉庫、新聞雜誌閲覽室、製本室、湯沸室、蒸汽罐室、講演室、豫備室、休憩室、會議場、屋上庭園を設け、圖書一萬冊を備付け、種々新設備を爲す事とし、豫算金百萬圓を以て大正十三年度十五年度十六年度十七年度に之を竣成する豫定なり、內十三年度は、第三十四號市會決議に依り、用地費六千八百圓を豫算せしも、土地整理其他の關係上、買收の運に至らず。

四　本所病院隔離所並消毒所建設

震災に燒失したる本所區松代町三丁目所在本所病院隔離所並消毒所の復舊建設なり、府の補助金を受け、豫算額四百三十七萬五千圓を以て之を執行する豫定なりしも、豫算を更正して二百五十二萬圓を以て、大正十六、十七兩年度に患者五〇〇人、隔離二〇〇人、ペスト患者五〇人を收容すべき病舍及消毒所として、鐵筋混凝土造二階建延五、四六二坪二五を建設する事にし、工程は大正十六年度に百九萬五千圓を以て四割八分、十七年度に百四十二萬五千圓を以て殘部を完成するものたり。

五　街頭便所建設

街頭便所は、震災に燒燬したる二百十箇所の復舊にして、總建坪八百四十坪一箇所四坪の鐵筋混凝土建とし、屎尿處置は、下水道完成區域は水洗式を以て下水道に放流し、其他は從來の汲取方を用ひ、豫算額五十七萬一千圓、大正十三年度より十七年度に至る五箇年度繼續事業とし、毎年四十二箇所工費十一萬四千二百圓づゝを執行す、所謂二百十箇所中位置の決定せるものは、

神田區　三崎町新三崎橋際、三崎町一丁目水道橋際、旅籠町昌平橋際、和泉町。
京橋區　月島西河岸通四丁目月島渡船場、月島西河岸通月島四丁目月島橋際、新佃島西町四三小橋際、月島西河岸通九丁目渡船場、新佃島車町初見橋際。
芝　區　三田老増町二〇、三田同朋町一六。
赤坂區　新町三丁目四三。
牛込區　八幡町市ヶ谷見附前。
小石川區　大和町牛天神下、西江戸川町一八江戸川橋際。
本鄉區　湯島二丁目三、湯島三丁目女子師範向側、御茶ノ水博物館向側（本鄉三丁目）、元町。
下谷區　元黑門町池ノ端、淸水町（護國院前）三ノ輪町四四。
淺草區　新吉原京町吉原病院入口前。
深川區・洲崎辨天町一ノ一六、洲崎辨天町二丁目河岸堤防下。

工程は大正十三年度に、豫定四十二箇所中十二箇所を竣成し、電燈水道工事十九箇所及雜工事を施行し、豫算額一萬一千四百二十圓中工事費一萬一千百圓、設計及監督費三千二百圓を支出す。

六　公園施設

公園施設は、震災に傷損したる十五公園及罹災者收容の日比谷芝二公園の復舊也、豫算金百二萬三百八十六圓を以て、大正十三十四兩年度に之を執行す、共名稱及面積左の如し。

日比谷公園	四九、七八一・五二坪	芝公園	一四六、〇三八・七四坪
麹町公園	九、二四四・六二	虎ノ門公園	二、三一九・三三
坂本公園	一、七八四・二七	兩國公園	六六〇・一五
蠣殼町公園	三九一・〇九	淺草橋公園	六〇八・八六
數寄屋橋公園	八一六・八八	愛宕山公園	四、七九三・八〇
御茶ノ水公園	七五三・〇八	淺草公園	六三、六〇四・三七
今戸公園	一、〇一三・三八	待乳山公園	二、四三四・八五
若宮公園	四八九・八四	深川公園	一六、九五三・七三
舊安田庭園	四、五〇〇・〇〇	計	三〇六、一八八・四三

大正十三年度は、第三十四號市會決議に依り、四十二萬五千九百六十三圓の事業を擧ぐる筈なりしも、建物移轉未了若くは區劃整理の關係上施工し得ざるもの少なからず、用地費十萬四千七百十二圓中二萬三千圓の建物移轉を爲さしめ、植物費五萬八千七百九圓七十一錢、土木費五萬六千八百四圓四十五錢、營繕費二萬九千四十一圓四十七錢、掃除費七百九十四圓七十一錢、雜費一千六百五十九圓三十二錢、設計及監督費一萬九千三百七十五圓三錢を支出し、計十八萬六千四百十五圓二十錢の事業を成し、二十五萬九千五百四十七圓八十錢を殘したり。

七　街燈設備

震災に傷害を被りたる街路電燈一千二百三十三基、橋梁電燈五百五

十五基、計一千七百八十八基を復舊改設するを本事業とす、豫算金五十八萬二千五百圓、大正十三年度より十七年度に至る五箇年度に繼續執行す。

大正十三年度豫算は七萬三千四百三十七圓、道路街燈豫定百五十基中百二十七基を施工し、二萬七千九十八圓六十一錢、橋梁電燈八十基中八基を施工し、一千六十七圓四十二錢を支出し、設計監督費一千六百十九圓五十錢を合せて二萬九千七百八十五圓六十錢の工事を擧ぐ。

八　河川修造

河川修造は、震災に崩壞したる市內枝川の護岸改築修繕、土捨場假護岸、堤防改修、土砂浚渫障碍物除却、燒失船補給新造及附屬修理、驗潮設備、差蓋設備、物揚場改修設備、新設擴張を爲すもの、豫算金三百四十三萬圓を以て大正十三年度より十七年度までは之を執行す、即ち、

一、**護岸改築修繕**　市內枝川護岸改築一千三百六十八間七分、同修繕一千二十八間七分。

三十間堀川改築二七八間八、修繕二六間〇、汐留川改築二三間〇、修繕五六間〇、築地川改築四間〇、修繕二三二間一、古川改築一三間〇、山谷堀川修繕四八間〇、外濠川改築一二五間五、修繕三〇間〇、東堀留川改築七間〇、江戶川改築七〇間〇、修繕五七間〇、五間堀川改築三〇間〇、福富川改築五五間〇、中ノ堀川改築二間〇、十間川改築一九〇間〇、修繕一四五間〇、大川改築六〇間〇、濠池筋改築四六四間三、修繕七四間五、芝浦修繕三六間〇、大橫川改築四六間一、計改築一、三六八間七、修繕一、〇二八間七。

二、**堤防改修**　延長五百十七間五分、間知石護岸を以て造修す。

洲崎川三二六間〇、新月島川四五間〇、佃川二一間〇、月島西河岸二六間五、月島東河岸七六間〇、月島川二〇間五、月島東河岸九二間五、計五一七間五。

三、**土捨場假護岸**　延長二千七百十九間、假土留柵を以て造修す。

深川地先第四號埋立地八五四間〇、同第五號埋立地五一〇間〇、越中島地先第七號埋立地一、三五五間〇、計二、七一九間〇。

四、**附帶事業**　河川浚渫二六、一六六坪、船舶新造七〇隻、船舶兼附屬留修繕、驗潮設備六箇所、差蓋設備八箇所。

五、**物揚場改修、設備及新設擴張**　內新設擴張左の如し。

古川筋　南金杉河岸二—三號地長一一間五〇、面積五一坪一二、擴張、北金杉河岸九—一三號地長二一間八二、面積六六坪八二、同、南新門前河岸一八—一九號地長七間〇〇、面積五六坪〇、同。

大川筋　駒形河岸二—四號地長二一間八三、面積二一五坪九〇、同擴張、同五〇—五四號地長二五間八〇、面積一五六坪一二、同、中洲河岸一九—二一號地長一四間七〇、面積一七九坪二八、同、船松河岸九—一八號地長三六間九五、面積二四三坪九二、同、青物河岸二七—三〇號地長五間三〇、面積七四坪四九、同、代地河岸一二—一九號地長二三間〇〇、面積二四七坪三三、新設、西元河岸七號地、長一〇間〇〇、面積一〇〇坪〇〇、擴張、佐賀河岸一六—一七號地長一八間五〇、面積一七三坪八八、新設、將監河岸五八新埋立長四〇間六五、面積三一八坪六三、擴張、藥師河岸一—四新埋立長四九間三五、面積三五三坪九六、同、淺草河岸一〇七長九間五〇、面積一七九坪七〇、同、駒形河岸七三—七五長五間〇〇、面積四二坪五〇、同、淺草河岸三五—三九長五間〇〇、面積一四四坪〇三、同、尾上河岸三一長三八間〇〇、面積八七七坪六八、同。

三十間堀川　東豐玉河岸五九—六一長一三間〇〇、面積七四坪四五、擴張、同二二—二三長一二間四〇、面積六七坪四〇、新設。

楓川　木材河岸三一—三三、長一〇間三〇、面積一一〇坪五五、擴張、同、二三—二五長八間九〇、面積一三一、四六、同。

神田川　市兵衞河岸七長三一間三三、面積二七八坪五五、新設、神樂河岸二長一二間〇〇、面積一六三坪七二、擴張、陸軍用地長二〇間〇〇、面積二六二坪五〇、新設、佐久間河岸三—六長八間一九、面積一一六坪八八、擴張。

汐留川　芝口河岸二—四長七間八〇、面積四六坪八二、擴張。

濱町川　東綠河岸一二—一四長一四間九〇、面積五九坪五〇、擴張、西綠河岸四六—四八長一二間〇〇、面積四〇坪三一、同。

箱崎川　行德河岸一—三長一五間六九面積四六坪八五、擴張、箱崎町四—一地先長九間〇〇、面積六三坪一三、同、菖蒲河岸一六—一七長一三間五〇、面積四五坪二九、同。

櫻川　南櫻河岸二六—二八長八間八七、面積七九坪〇〇、擴張、北櫻河岸一長一〇間〇〇、面積九八坪〇〇、新設、同三九—四〇長九間〇五、面積一一三坪五六、同、南櫻河岸六二長九間〇〇、面積五〇坪七〇、同。

大橫川　西橫川河岸二六長二〇間一七、面積九四坪一二、新設、同九五—九七長一九間五五、面積一七二坪二四、擴張、西橫川河岸二三—二四長十五間、一四面積一二四坪四三、新設、四八—九長一五間五五、面積一八五坪四二、同、東亥堀河岸二七—二九長一五間一五、面積三四坪六〇、擴張、東橫川河岸八—九長九間〇〇、面積八四坪〇〇、同、西亥堀河岸六長一五間〇〇、面積五二坪五〇、新設、東亥堀河岸一九—二一長一五間〇〇、面積二九坪五〇、同、西亥堀河岸一八長一五間〇〇、面積六七坪五〇、同、東亥堀河岸五—六長一五間〇一、面積二五坪四五、擴張、東橫川河岸二〇長五間〇〇、面積四三坪五〇、新設、西橫川河岸六〇—六二長一〇間〇〇、面積九二坪〇〇、同。

東堀留川　西萬河岸五〇—五三面積二三坪〇〇、擴張、同一七—一九長一六間四〇、面積八六坪三五、同、東萬河岸四六—四九長一二間四〇、面積一一三坪〇四、同。

外濠川　美土代町二六—二七長二二間六五、面積二三四坪五〇、擴張、飯田町二—三一材料置場長一〇間五〇、面積八四坪〇〇、同。

龜島川　濱河岸一五—一八長二〇間〇〇、面積二七二坪四九、擴張、將監河岸五—六長一四間七三、面積一五三坪八三同、龜島河岸一九—二四長一三間一〇、面積一二八坪三六、新設、日比谷河岸二二—二三長八間八五、面積五〇坪三三、同。

仙臺堀川　北仙臺堀河岸三一—三三長一七間〇八、面積一二三坪九六、新設。

大島川支川　伊澤河岸五長一九間九五、面積一〇〇坪四六、新設。

竪川　北竪河岸一八五—一八八長二〇間〇〇、面積二四七坪八〇、新設、四六九—一七〇長一六間八〇、面積一四六坪一六、擴張、同一四一—一四三長一三間九〇面積一三三坪〇〇、同、南竪河岸一〇三—一〇四長一六間五五、面積一四九坪三七、四、同七九—八二長一三間六一、面積一二三坪〇五、同、北竪河岸四九—五一長八間一五、面積七六坪〇四、同、南竪河岸三六—三九長一七間三〇、面積一五一坪二七、同、北竪河岸一八—二二長一〇間四三、面積九三坪九三、同四九一長六間七〇、面積五九坪八〇、新設。

河森川　澤森河岸七—九長一二間四〇、面積三四坪一二五、擴張、北源森河岸號外一號長一二間〇五面積六三坪八七、同。

日本橋川　西河岸六—八長一三間八〇、面積一二六坪〇八、新設、四日市河岸四—五長二三間〇〇面積三五一坪三二、擴張、茅場河岸六—七長七間四二、面積八六坪九六、新設、魚河岸三三—三九長一八間三八面積一六八坪五五、同。

油堀川　油堀河岸五—六長六間一〇、面積三二坪〇八、新設。

計　長一、一二一間六五、面積九、七五一坪〇六。

十三年度は豫算額五十六萬二千圓、內工事費二十七萬六千三百八十九圓七十錢、設計監督費一萬四千五百二十七圓四錢、計二十九萬九百十六圓七十五錢の工事を成す、左に工事の箇所費額を擧ぐ。

科目				件名	長	面坪	精算額	着手	摘要
款	項	種目	附記			立坪		竣工	
震災復舊費							二九〇、九二六、七三〇		

河川修造費			二九〇、九二六、七五〇		
用地費					
河岸用地			—		
家屋移轉			—		
工事費			二七六、三八九、七一〇		
護岸改築	四六〇、三八	三三〇、二四七餘	一〇一、三九七、六五〇		
汐留川筋京橋區南金六町自五至四番地先護岸石垣改築	一九、〇〇 四、〇〇	三六、五〇 一二、〇〇	六、七〇七、六〇〇	十三、四、二四 十三、七、三	
三十間堀川筋京橋區西豐玉河岸自十一至二六號地先堅間知石護岸改築工事	九八、九〇	—	—	十三、六、一 十四、三、八	
震災復舊護岸改築工事混凝土塊製作工事	—	—	三、二二八、六九〇	十三、六、一八 十三、一二、二三	
大横川筋深川區西平井町自五二、至五四番地先間知形混凝土塊護岸改築工事	四六、一〇	八四、五三〇	六、七三〇、〇〇〇 一、九〇〇、〇八〇	十三、八、一〇 十四、一、一八	請負（前　澤）
三十間堀川筋京橋區西豐玉河岸自三二、至三五號地先外一ヶ所混凝土塊護岸改築工事	延 五四、三〇	一三六、一四〇	一四、六一七、〇〇〇 二、七三七、一五〇	十三、九、二 十四、一、三〇	〃（江口忠一）
大横川筋深川區西平井町五〇、五一番地先外二ヶ所警視廳電話柱移轉費	—	—	三五、〇〇〇		警視廳
外濠筋京橋區西紺屋町二六番地先外三ヶ所間知石並混凝土塊護岸改築工事	延 七二、六〇	一七六、〇三	一四、〇九二、〇〇〇 一、三九〇、六四〇	十三、九、二〇 十四、二、二六	請負
濠池筋麴町區富士見町一丁目一番地先外八ヶ所、間知石並混凝土塊護岸改築並修繕	延 四九、六〇	七〇、一四	四、〇六七、〇〇〇 九六五、〇一〇	十三、九、二〇 十三、一二、二〇	請負（神野吉之助）
三十間堀川筋京橋區西豐玉河岸自五三至五四號地混凝土塊護岸改築工事	二一、五〇	五二、〇〇	七、〇八〇、〇〇〇 七一八、五一〇	十三、九、二七 十四、三、三一	請負（江口忠一）
三十間堀川筋京橋區白魚河岸四十七號地先外一ヶ所混凝土塊護岸増築工事	三七、三〇	二一、五一〇	七三二、〇〇〇 六七、五六〇	〃	〃

三十間堀川筋京橋區水谷町四番地先外一ヶ所護岸石垣修築工事	延 四〇、〇〇	八〇、四七	三五、二一四、〇〇〇 二六四、六一〇	〃	〃
大横川筋深川區西平井町一〇、五〇番先持碍電話柱移轉	—	—	四二、九六〇		遞信局
護岸修繕					
日本橋川筋日本橋區通一丁目十九番地先外一ヶ所間知石並混凝土塊護岸修築	延 二、三〇	一五、六〇	九、二三〇、〇〇〇 六七、五六〇	十四、一、三 十四、三、一八	請負（沼津種吉）
日本橋川筋日本橋區本材木町一丁目一番地先護岸石垣修築工事	四、〇八〇	五、〇五	二六、九八〇 三、五三三	〃	〃
日本橋川筋日本橋區本船町十九番地先　同工事	二、〇〇	四、二八	二七七、〇〇〇 一六、八九〇	〃	〃
外濠筋神田區今川小路一丁目自七至九番地先護岸石垣改築並補綴工事	改築 三三、四〇 補綴 一五、〇〇	七七、三三 二、五〇	八八、七八〇 五三二、八〇〇	十四、二、四繰越	出來形金越トス 請負（脇田龜吉）
同　三丁目自二至一番地先護岸石垣改築並修築工事	— —	— —	— —	〃 〃	〃 〃
混凝土塊準備材脇田戻入	—	—	三、二三、五九〇		
平均一〇二圓一六六餘	二七間四〇	—	三、二一〇、九七〇		
芝浦日ノ出町東面地先第二項浮游物ノ揚場護岸復舊工事	一四、九〇	—	四、九七〇、二四〇	十三、五、一八 十三、一二、二四	
芝區芝浦町一丁目西面地先外三ヶ所木造物揚場護岸修繕外三工事	延 七四、二〇	—	二、〇三一、二一〇	十三、一一、九 十四、一、二三	
內譯					
外濠筋麴町區丸屋町三番地先外三ヶ所護岸石垣修繕並補綴工事	延 修 一九、九〇 補 三八、六〇	二五、五七 四五、三〇	二、五〇八、三一〇	十三、一二、一六 十四、三、一八	
日本橋川筋日本橋區小網町三丁目一番地先外二ヶ所護岸石垣修繕工事	延 一四、一〇	一五、八九	二四〇、九八〇	十三、一一、二〇 十四、三、一〇	
小名木川筋深川區西元町一番地先外九ヶ所護岸石垣並板柵修築工事	延 四五、〇〇	四〇、一六	一、〇九八、八七〇	十三、一二、二〇 十四、三、三〇	
外濠筋神田區一ッ橋通町一番地護岸石垣修築工事	一三、九〇	一四、六〇	—	十四、二、四繰越	請負（脇田勇吉） 出來形金越